

平成 29 年度  
かわさき市民アンケート  
報 告 書

川 崎 市



# 目 次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	5
1	第1回アンケートの回答者	7
2	第2回アンケートの回答者	11
III	調査結果	15
①	第1回アンケートの調査結果	17
1	多様な世代が快適に暮らせる住まいに向けた取り組みについて	19
1-1	現在の住まい	19
1-2	現在の住まいから住み替えたい住宅	21
1-3	住み替えたいと思う住宅	23
1-4	現在の生活環境(子育てのしやすさ/高齢者の暮らしやすさ)に対する評価	29
1-5	子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと	31
1-6	高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと	38
1-7	親もしくは子世帯との距離	45
1-8	親もしくは子世帯との理想の距離	47
2	都市景観について	56
2-1	川崎市全体の景観	56
2-2	お住まいの地域周辺(町内会や自治会ぐらゐの範囲)の景観	58
2-3	お住まいの地域の景観は、現在のままでよいと思うかどうか	60
2-4	「屋外広告物」について感じるこゝ	62
2-5	「良い点」「悪い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所	64
2-6	「屋外広告物」についての基準(制限)を定める必要があると 思う場所	66
2-7	公共空間の利活用についての景観上の印象	68
2-8	公共空間の利活用について景観上配慮すべき点	70
3	市民自治の実態等について	72
3-1	地域の範囲	72
3-2	地域の課題	74
3-3	地域の課題解決に有効な取り組み	76
3-4	社会活動・地域活動への関心度	78

3-5	社会活動・地域活動への継続的な参加状況	80
3-6	参加しやすい活動範囲	82
3-7	地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所	84
3-8	市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目	86
②	第2回アンケートの調査結果	89
1	定住状況について	91
1-1	居住年数	91
1-2	定住意向	93
1-3	転居意向の理由	95
1-4	転居先の希望	97
2	生活環境の評価について	100
2-1	生活環境の満足度	100
2-2	総合的な生活環境の満足度	111
3	関心ごとと行動範囲について	114
3-1	関心を持っていること	114
3-2	行動範囲	117
4	市政に対する評価と要望について	122
4-1	市政の仕事でよくやっていると思うこと	122
4-2	市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	125
4-3	施策や事業の総合的な満足度	128
5	市職員について	130
5-1	市職員と接する頻度	130
5-2	市職員の市民対応等について	134
5-3	市職員の仕事ぶり	148
5-4	市職員に求めるもの	165
6	がん検診について	169
6-1	がん検診の受診状況	169
6-2	がん検診を受診した機会	176
6-3	がん検診を受診していない理由	184
6-4	がん検診を受診した理由	186
6-5	がん検診について、市から発信して欲しい情報	188
IV	調査票	191

# I 調査概要



## 1. 調査の目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18 年度から実施することとしたものである。

昭和 50 年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2. 調査の方法

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 調査の地域  | 川崎市全域   |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 18 歳以上の男女個人   |
| (3) 標本の抽出  | 第 1 回 インターネットモニター登録者から事前調査により抽出<br>第 2 回 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出                     |
| (4) 標本数    | 第 1 回 1,500 標本回収まで実施<br>第 2 回 3,000 標本(平成 29 年 10 月抽出)                          |
| (5) 調査方法   | 第 1 回 インターネット調査<br>第 2 回 郵送法(郵便配布一郵送回収・はがき督促を 1 回)                              |
| (6) 調査期間   | 第 1 回 平成 29 年 9 月 1 日(金)～9 月 15 日(金)<br>第 2 回 平成 29 年 11 月 22 日(水)～12 月 27 日(水) |
| (7) 調査委託機関 | 第 1 回 株式会社クロス・マーケティング<br>第 2 回 株式会社グループワークス                                     |

## 3. 調査項目

### ◎第 1 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 多様な世代が快適に暮らせる住まいに向けた取り組みについて	(A1～A8)
(2) 都市景観について	(B1～B9)
(3) 市民自治の実態等について	(Q1～Q8)

### ◎第 2 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1～問 4)
(2) 生活環境の評価について	(問 5～問 6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 7～問 8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 9～問 10)
(5) 市職員について	(問 11～問 14)
(6) がん検診について	(問 15～問 18)

## 4. 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	1,500 標本回収まで	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,500	1,611
(3) 有効回収率		53.7%

## 5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、図表中の数値の合計が100.0%にならない場合や、複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 標本誤差

※標本誤差は、無作為抽出を実施した第2回調査にのみ適用される。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数(川崎市の18歳以上人口)  
n=比率算出の基数(回答者数)  
p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(p) 基数(n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
2,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,611	±2.11%	±2.82%	±3.23%	±3.45%	±3.52%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
200	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%
30	±15.49%	±20.66%	±23.66%	±25.30%	±25.82%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注/この表の見方

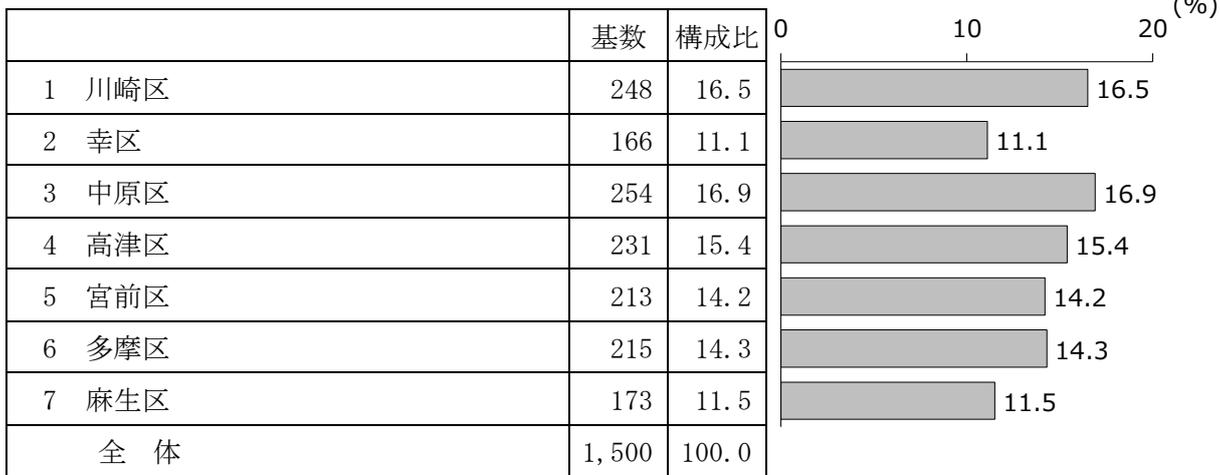
標本誤差とは、今回(第2回調査)のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が2,000人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.10%以内(56.90~63.10%)である」とみることができる。

## Ⅱ 調査回答者の属性



# 1 第1回アンケートの回答者

## 1. 居住区



## 2. 性別



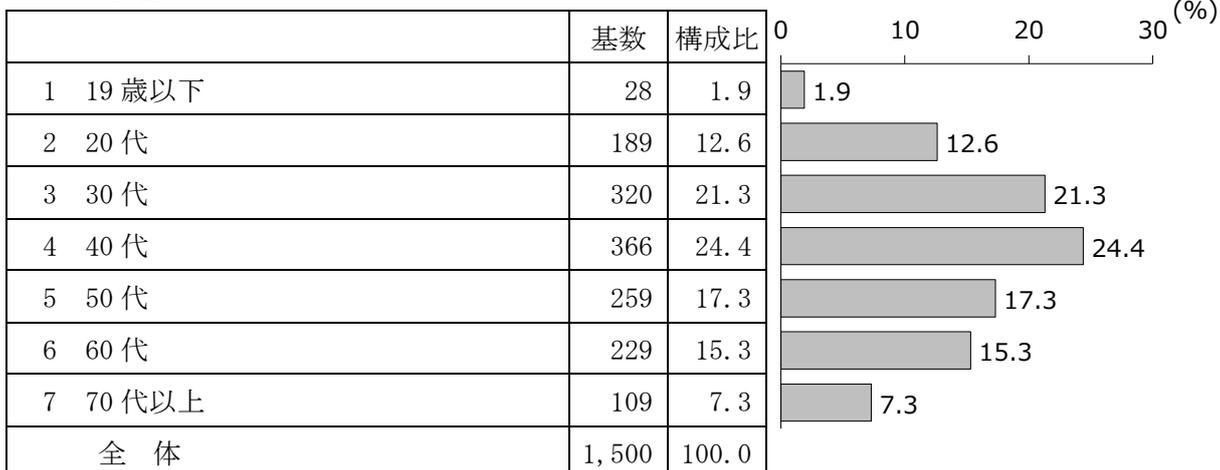
## 3. 婚姻



## 4. 子どもの有無



## 5. 年齢



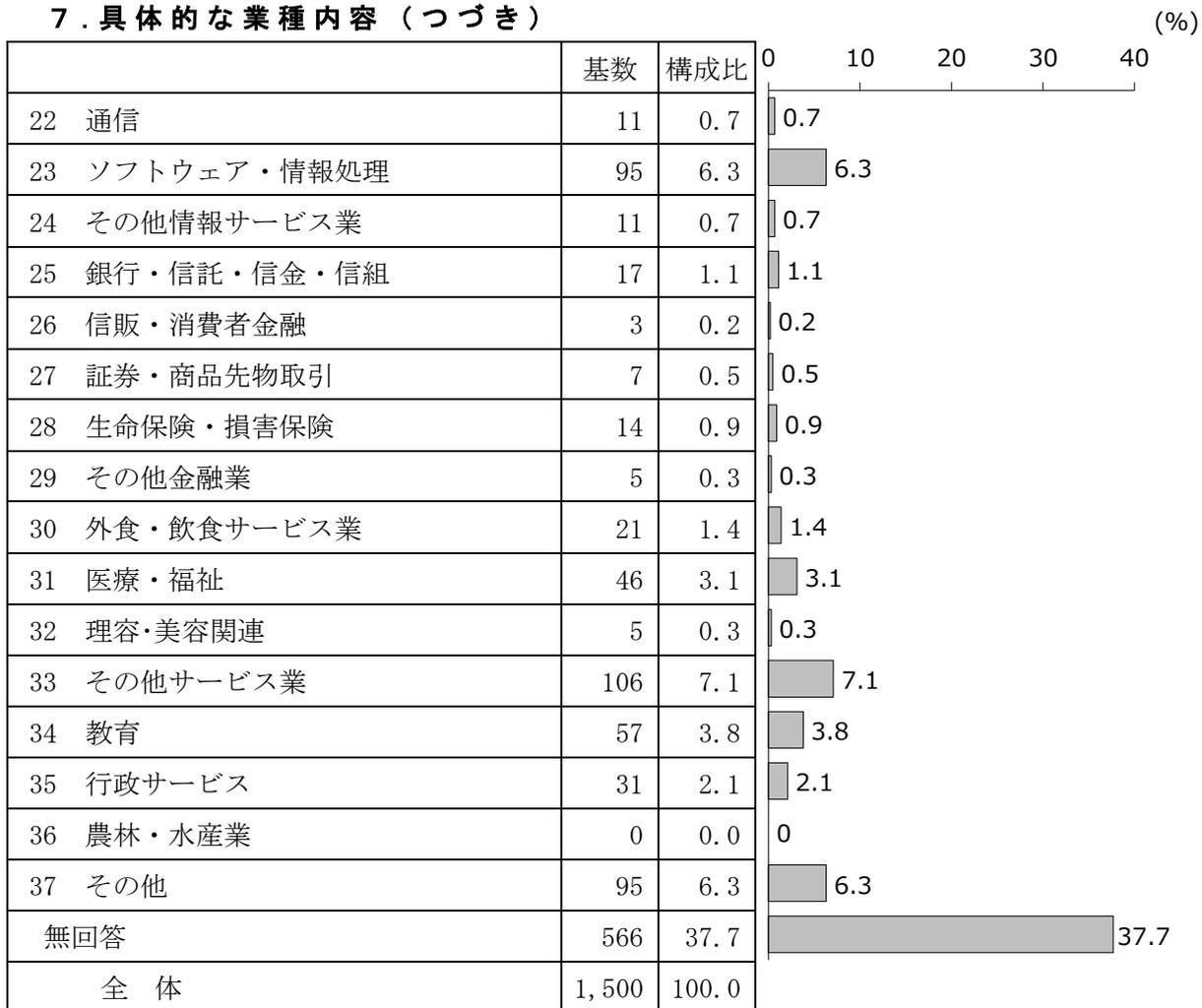
## 6. 職業

	基数	構成比	
1 市内で自営業主	81	5.4	5.4
2 市外で自営業主	15	1.0	1
3 市内にお勤め(全日)	182	12.1	12.1
4 市外にお勤め(全日)	437	29.1	29.1
5 市内にお勤め(パートタイム)	109	7.3	7.3
6 市外にお勤め(パートタイム)	69	4.6	4.6
7 内職	9	0.6	0.6
8 主婦・主夫(家事専業)	269	17.9	17.9
9 市内の学校の学生	12	0.8	0.8
10 市外の学校の学生	53	3.5	3.5
11 無職(収入が年金のみの方を含む)	188	12.5	12.5
12 その他	76	5.1	5.1
全体	1,500	100.0	

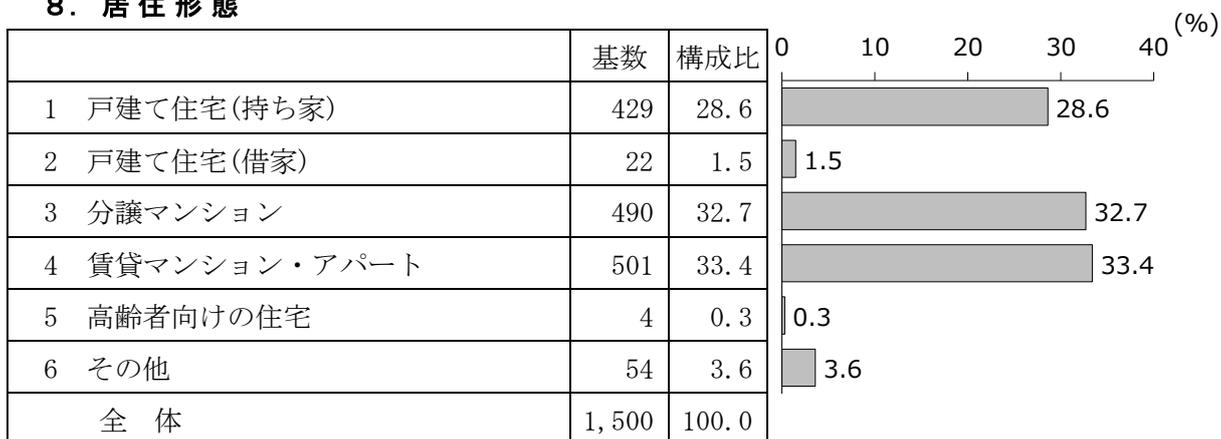
## 7. 具体的な業種内容

	基数	構成比	
1 土木・建設・不動産・住宅・建物サービス	76	5.1	5.1
2 飲料・食品・食品加工	9	0.6	0.6
3 化粧品・トイレタリー製品・ヘアケア製品	4	0.3	0.3
4 繊維・衣料	11	0.7	0.7
5 紙・パルプ・木材	1	0.1	0.1
6 日用雑貨・文具・事務用品	0	0.0	0
7 医療品・健康食品・薬品・化学・石油化学	24	1.6	1.6
8 鉄鋼・非鉄金属・金属・硝子・窯業・土石	9	0.6	0.6
9 電器・機械・輸送用機器	49	3.3	3.3
10 半導体・精密機器・コンピューター・通信機器	44	2.9	2.9
11 家電製品	9	0.6	0.6
12 自動車	7	0.5	0.5
13 その他製造業	31	2.1	2.1
14 出版・印刷	10	0.7	0.7
15 新聞・放送・マスコミ・広告	10	0.7	0.7
16 市場調査	1	0.1	0.1
17 商社・卸売	21	1.4	1.4
18 百貨店・スーパー・コンビニエンスストア	30	2.0	2
19 その他流通・小売業	25	1.7	1.7
20 運輸・倉庫・物流	36	2.4	2.4
21 電気・ガス・熱供給・水道	3	0.2	0.2

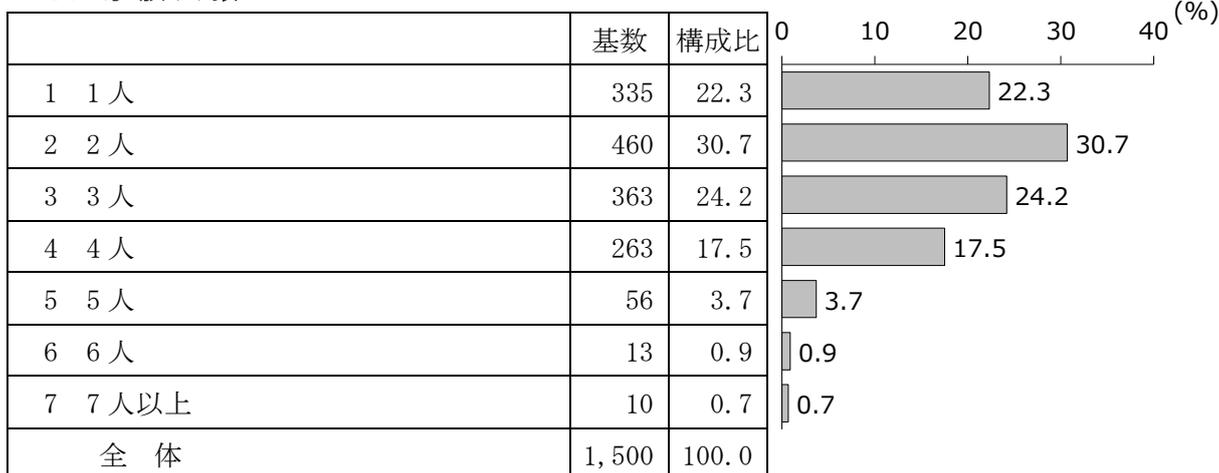
## 7. 具体的な業種内容（つづき）



## 8. 居住形態



## 9. 家族人数



## 10. 家族の年代



## 11. 川崎市居住期間

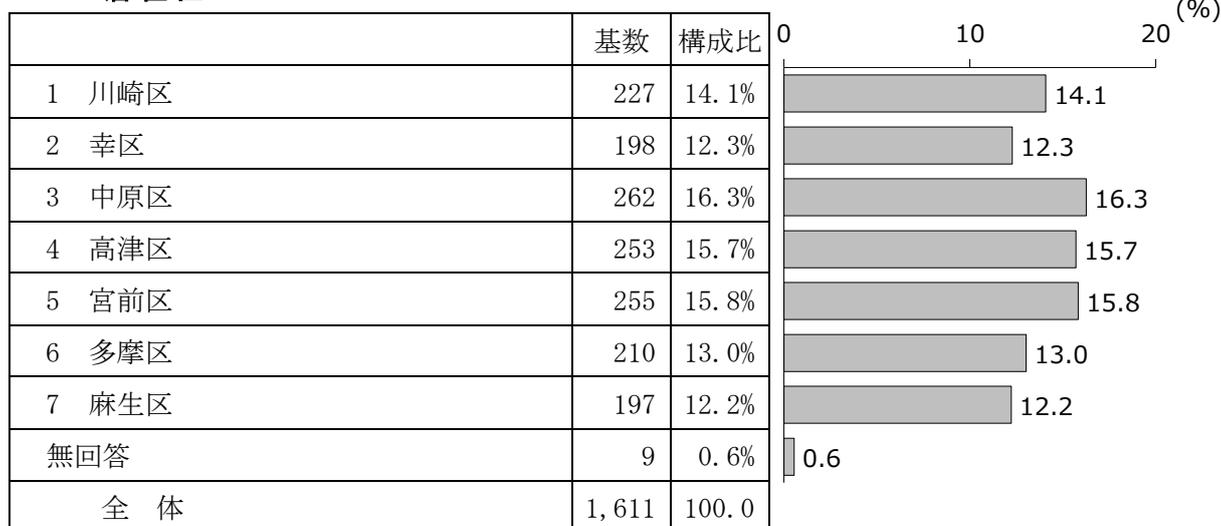


## 12. 自宅から最寄り駅までの移動手段と距離



## 2 第2回アンケートの回答者

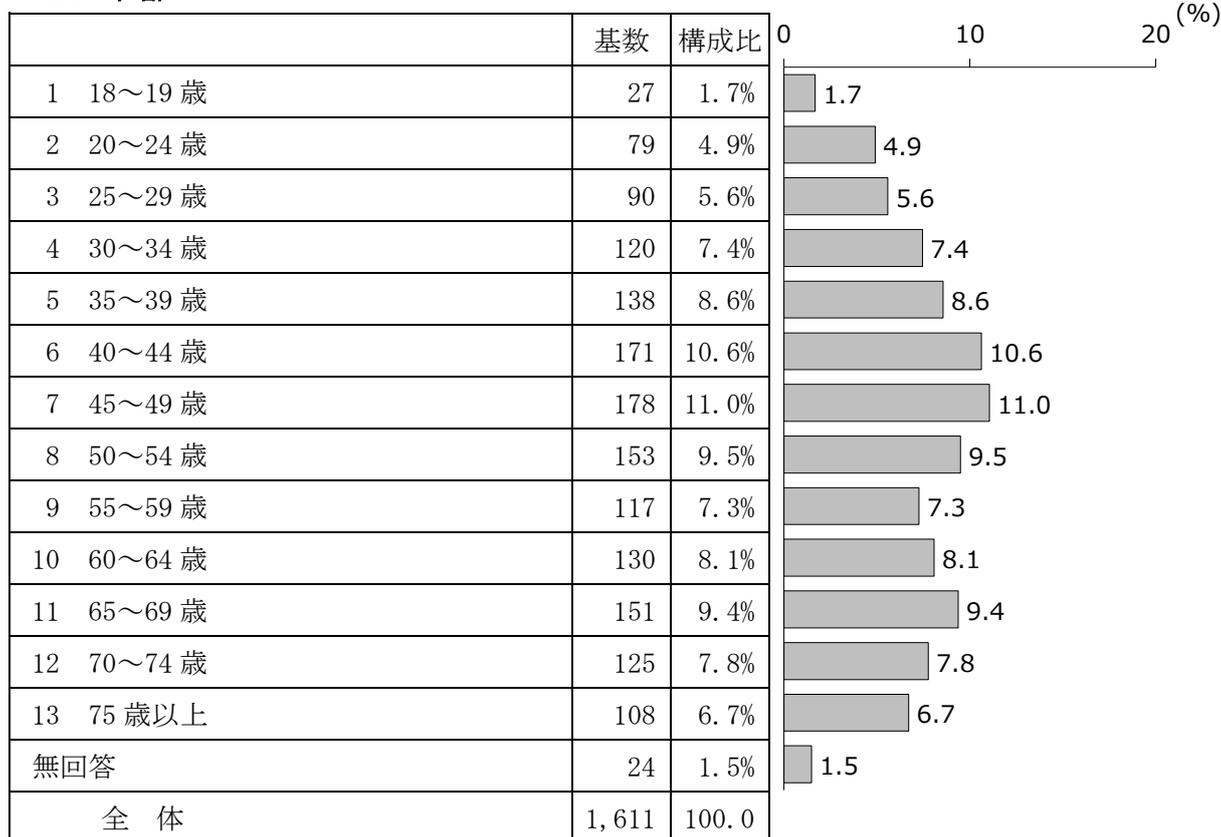
### 1. 居住区



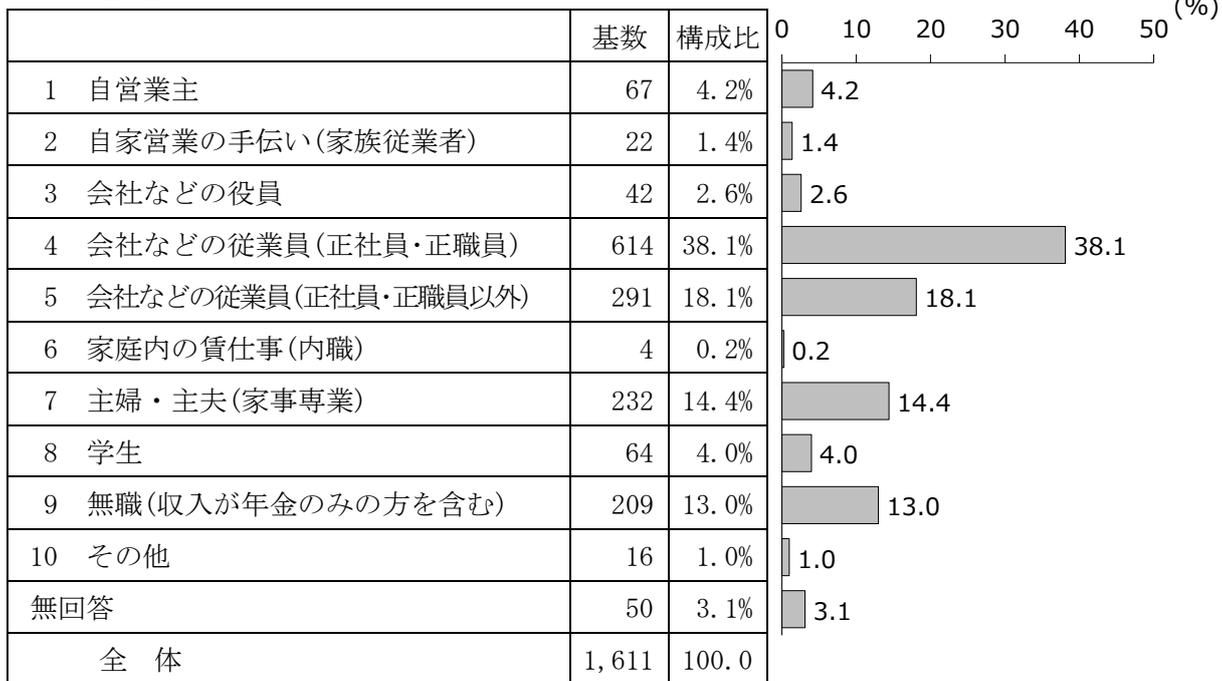
### 2. 性別



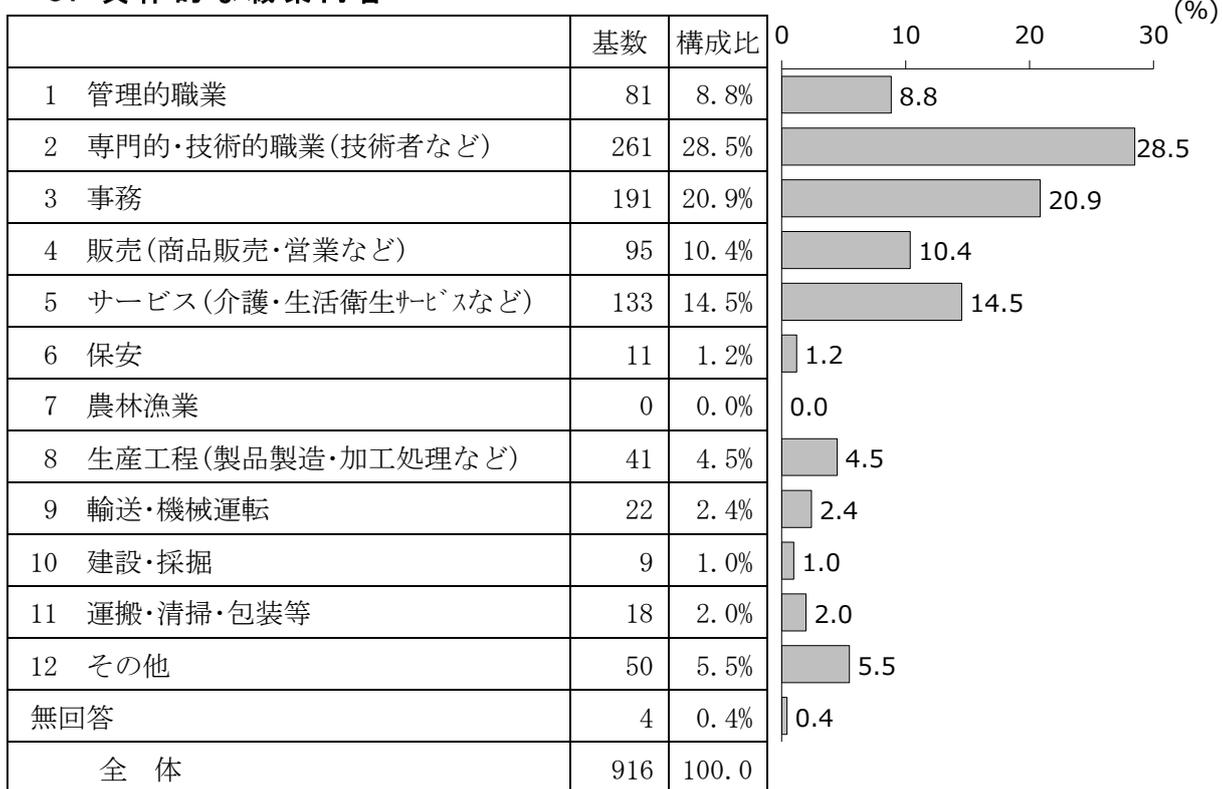
### 3. 年齢



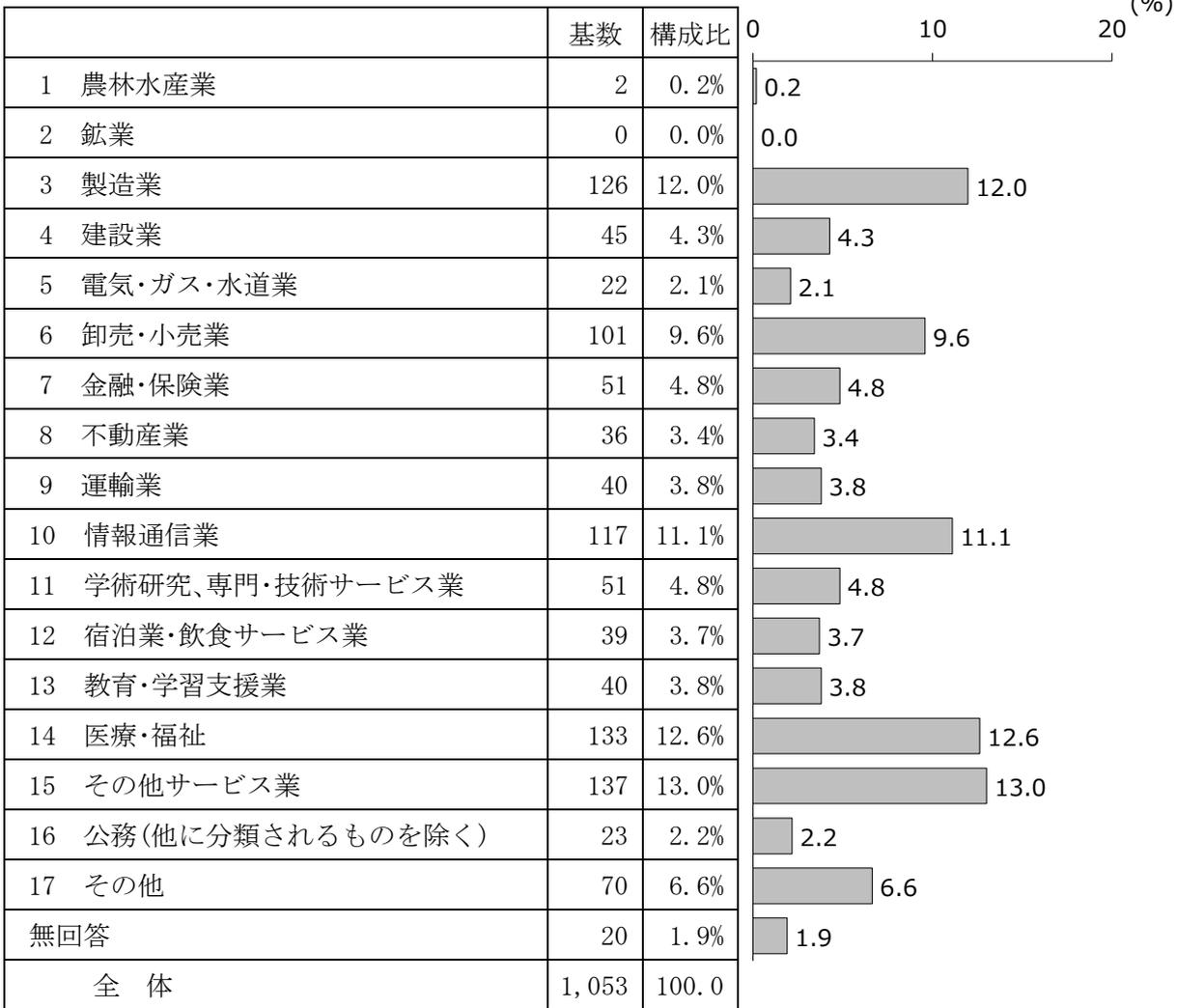
#### 4. 職業



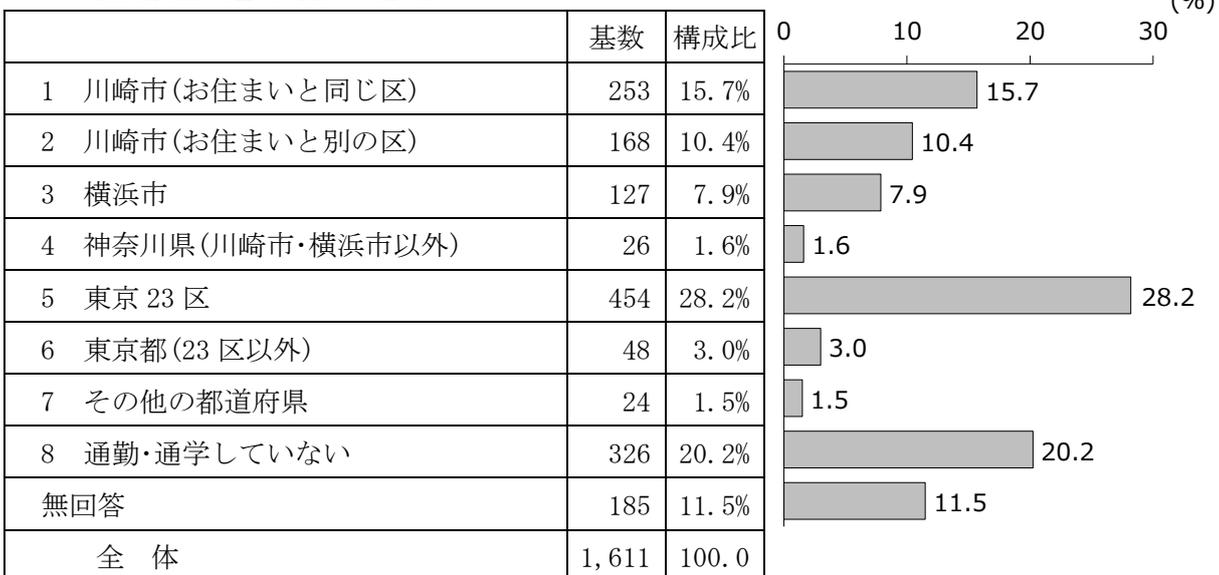
#### 5. 具体的な職業内容



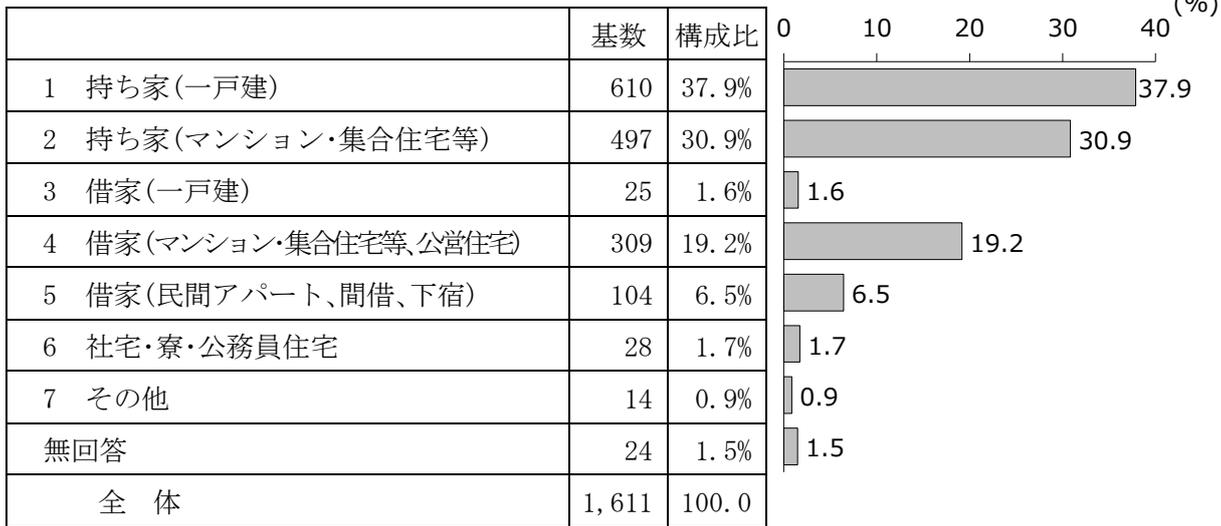
## 6. 業種



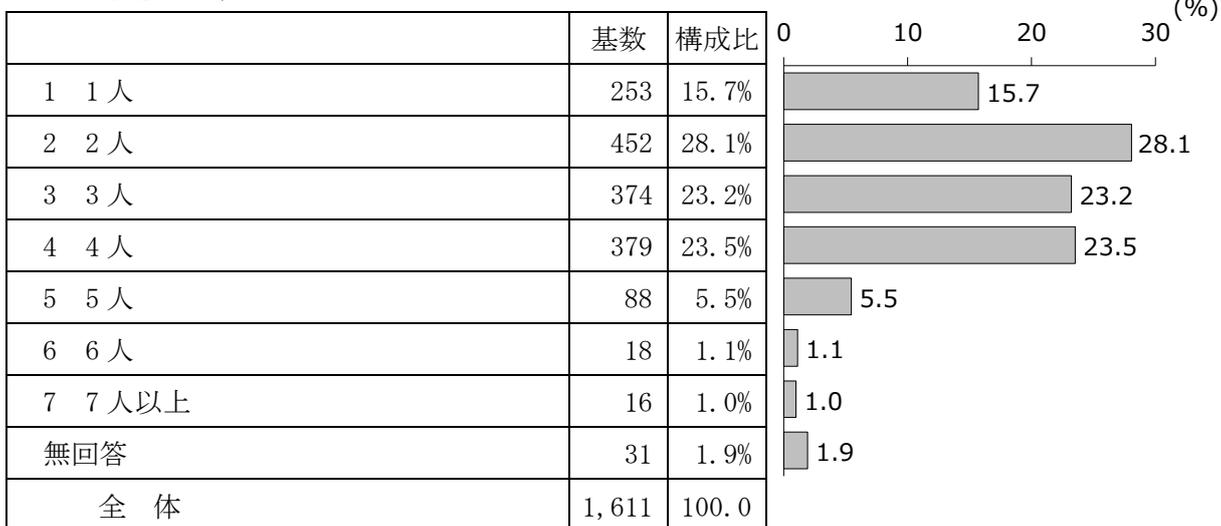
## 7. 勤務先・通学先の地域



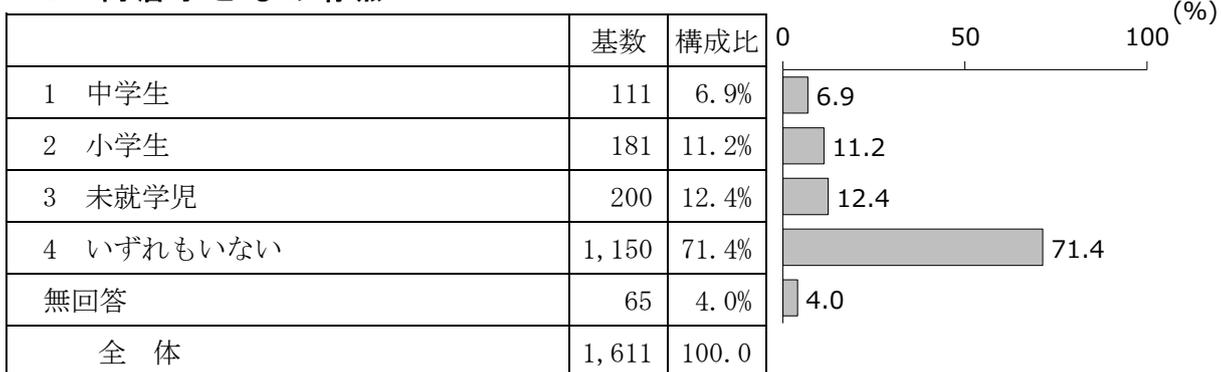
## 8. 居住形態



## 9. 家族人数



## 10. 同居子どもの有無



## 11. 同居65歳以上の有無



## Ⅲ 調査結果



## ① 第1回アンケート調査の結果



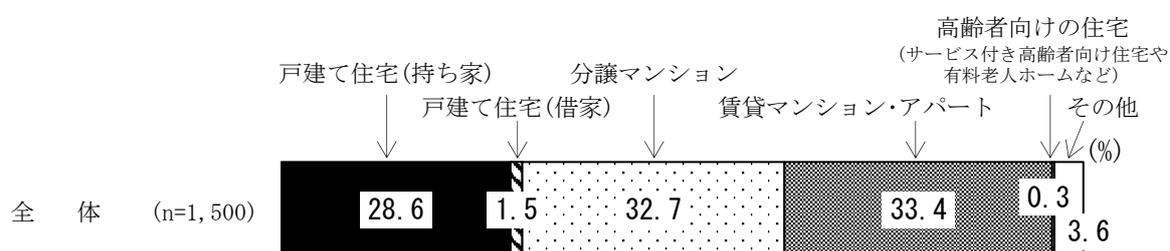
# 1 多様な世代が快適に暮らせる住まいに向けた取り組みについて

## 1-1 現在の住まい

◎「賃貸マンション・アパート」が33.4%

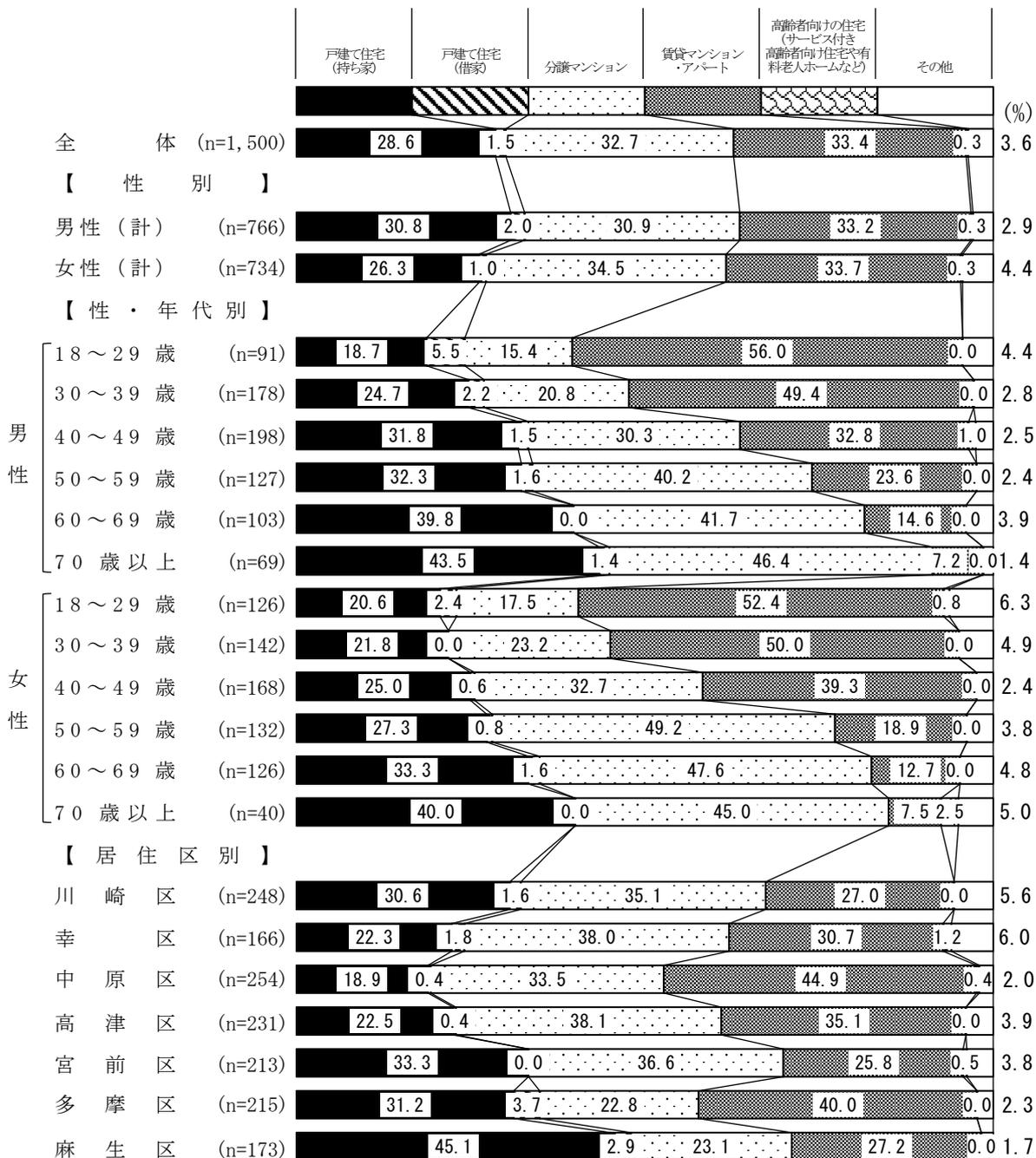
A1. あなたの現在のお住まいは次の中のどれにあたりますか。

図表1-1 現在の住まい



現在のお住まいは、「賃貸マンション・アパート」(33.4%)が最も高く、次いで、「分譲マンション」(32.7%)、「戸建て住宅(持ち家)」(28.6%)の順となっている。

図表1-2 現在の住まい(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男女とも年代が上がるにつれ「賃貸マンション・アパート」の割合が低くなる一方で、「分譲マンション」と「戸建て住宅(持ち家)」の割合が高くなっている。

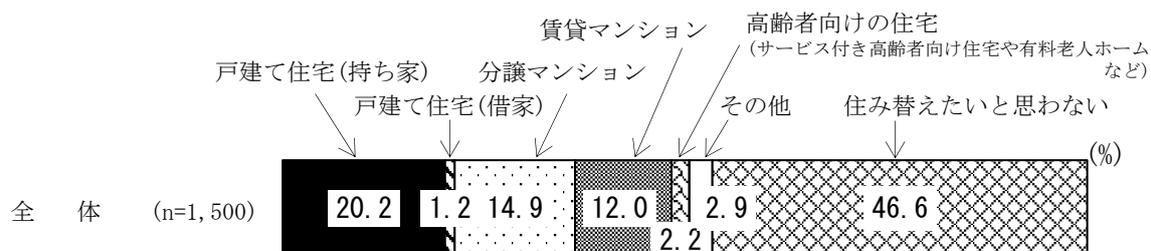
居住区別では、「賃貸マンション・アパート」の割合は中原区(44.9%)が最も高く、「戸建て住宅(持ち家)」の割合は麻生区(45.1%)で最も高い。

## 1-2 現在の住まいから住み替えたい住宅

◎「戸建て住宅(持ち家)」が20.2%

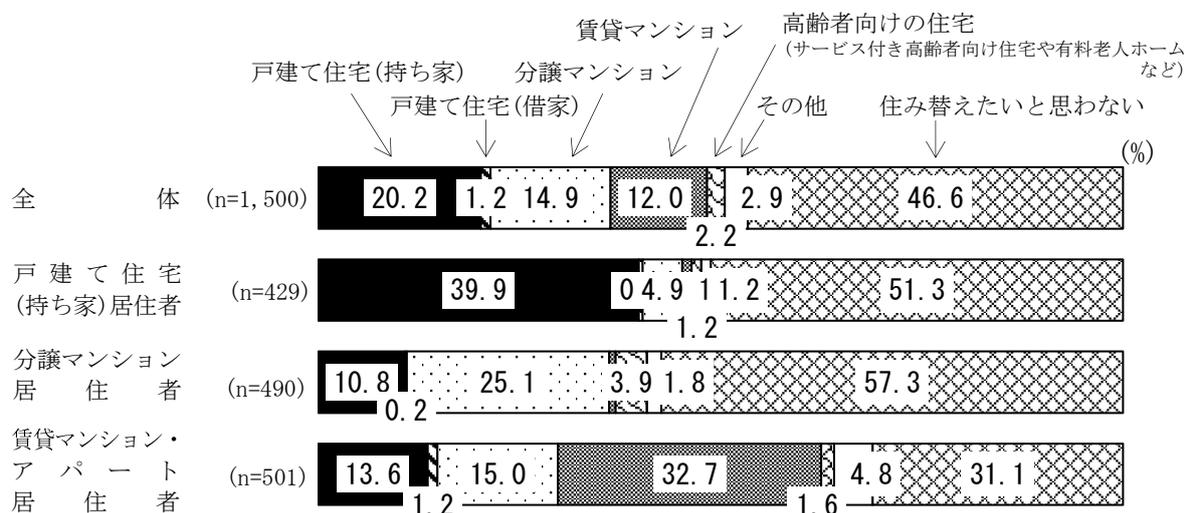
A2. あなたは現在のお住まいの住宅からどのような住宅に住み替えたいと思いますか。

図表1-3 現在の住まいから住み替えたい住宅



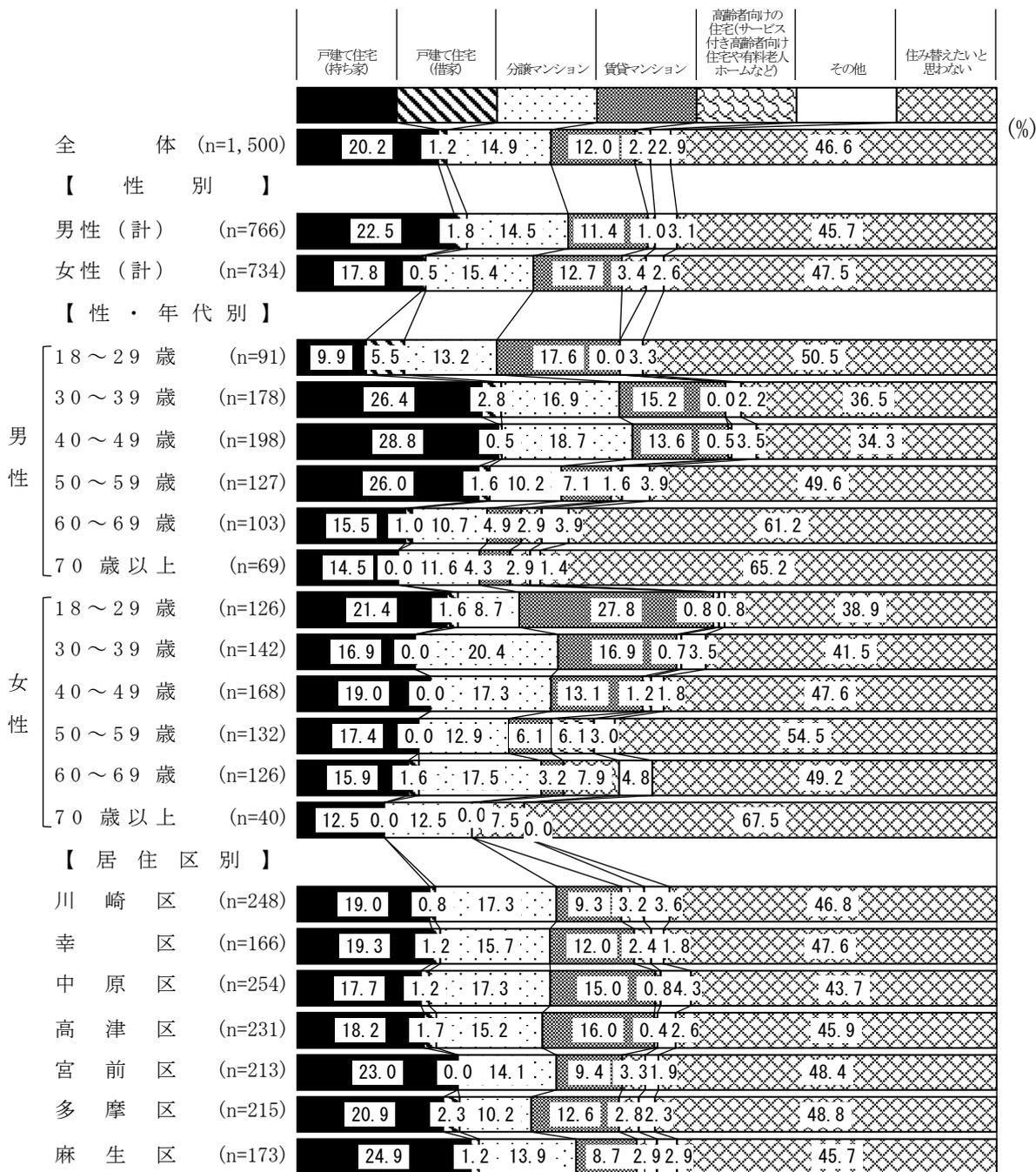
現在のお住まいから住み替えたい住宅については、「戸建て住宅(持ち家)」(20.2%)、「分譲マンション」(14.9%)、「賃貸マンション」(12.0%)の順で、「住み替えたいと思わない」が46.6%となっている。

図表1-4 現在の住まいから住み替えたい住宅(現在の住まい別)



現在のお住まいの住宅形態別にみると、「戸建て住宅(持ち家)居住者」(n=429)の39.9%が「戸建て住宅(持ち家)」に、「分譲マンション居住者」(n=490)の25.1%が「分譲マンション」に住み替えたいと回答している。一方、「賃貸マンション・アパート居住者」(n=501)では、「賃貸マンション」に住み替えたい(32.7%)と「住み替えたいとは思わない」(31.1%)が同程度となっている。

図表1-5 現在の住まいから住み替えたい住宅(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、全体的に年代が高い方が「住み替えたいとは思わない」割合が高い傾向となっている。また、男性の30歳以上59歳以下の年代では、他の年代に比べ「戸建て住宅(持ち家)」の割合が高い。

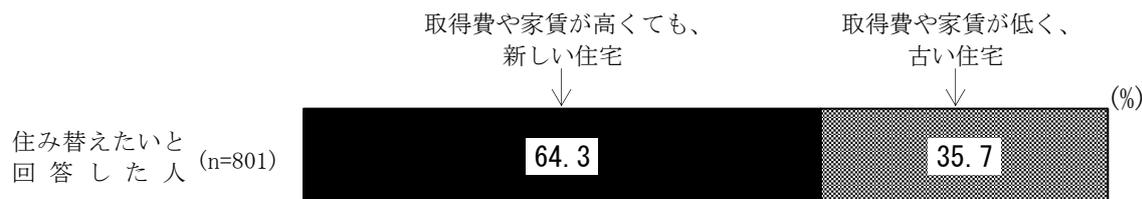
居住区別では、顕著な傾向の違いはない。

### 1-3 住み替えたいと思う住宅

◎「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」が64.3%

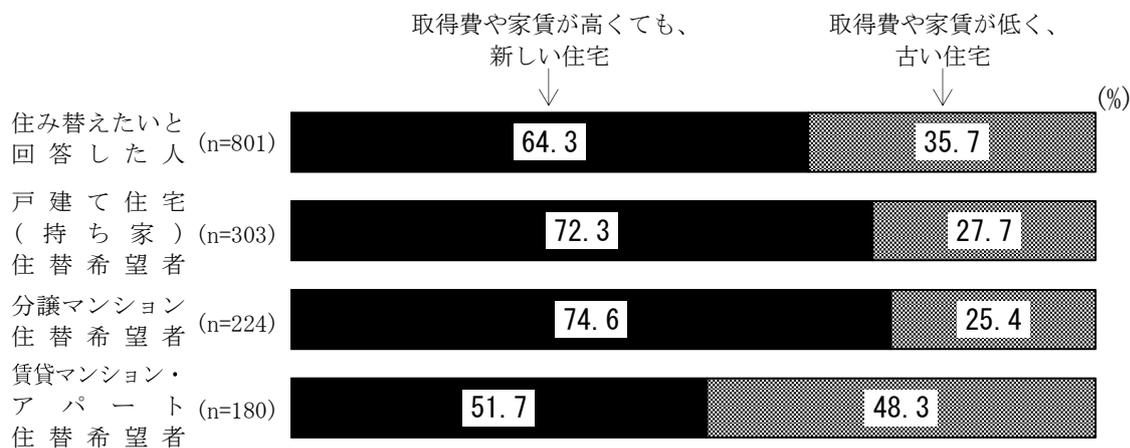
A3. あなたの住み替えたいと思う住宅について教えてください。

図表1-6 住み替えたいと思う住宅



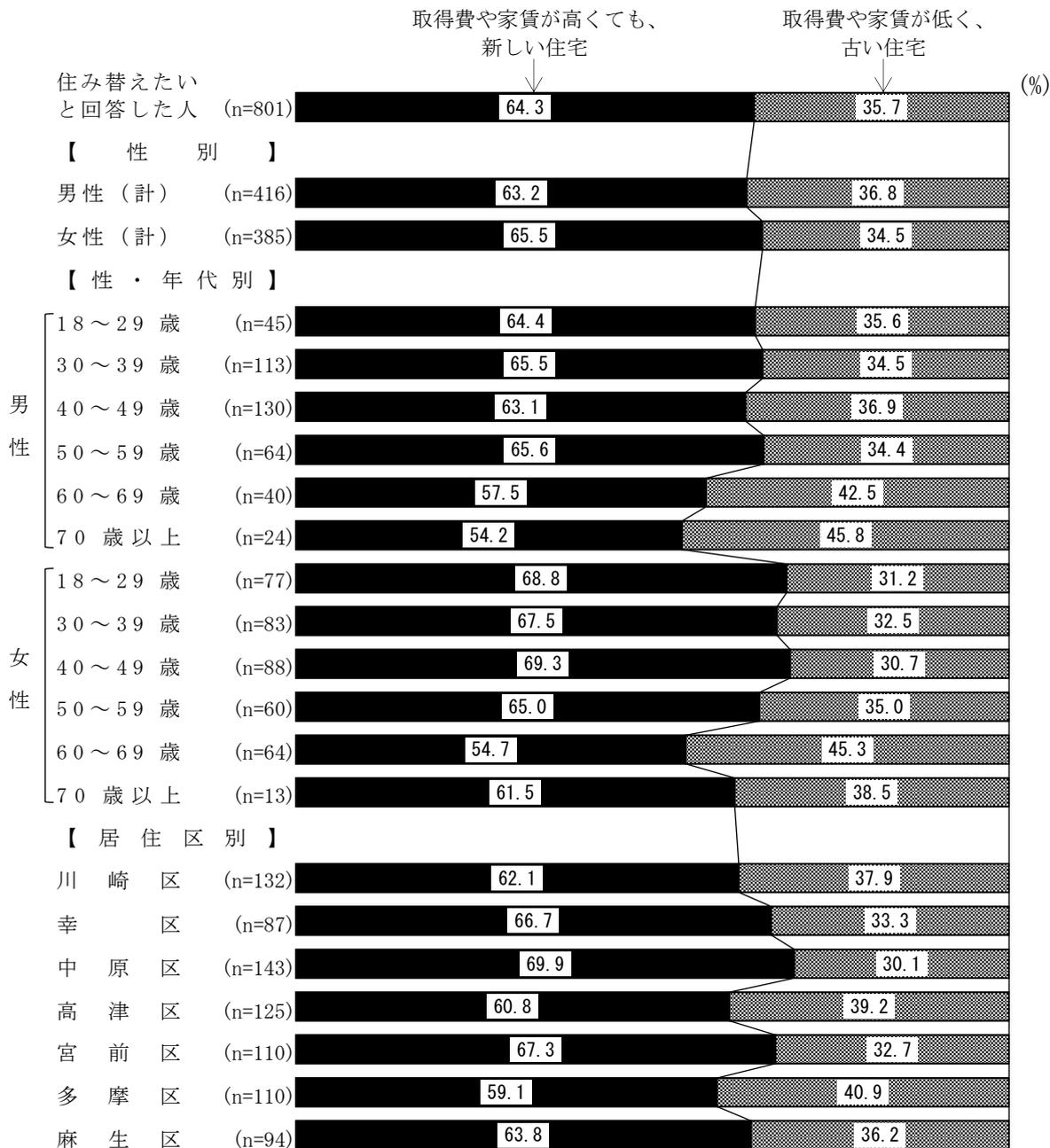
現在のお住まいから住み替えたいと回答した人(n=801)に、住み替えたいと思う住宅のタイプを聞いたところ、「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」が64.3%となっている。

図表1-7 住み替えたいと思う住宅（住み替えたい住宅タイプ別）



住み替えたいと思う住宅のタイプ別にみると、「戸建て住宅(持ち家)住替希望者」(n=303)や「分譲マンション住替希望者」(n=224)では「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」が7割を超えている。一方、「賃貸マンション・アパート住替希望者」(n=180)では「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」(51.7%)と「取得費や家賃が低く、古い住宅」(48.3%)とが同程度となっている。

図表1-8 住み替えたいと思う住宅(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、多くの年代で「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」が6割を超えている中で、男性の60~69歳と70歳以上、女性の60~69歳で、「取得費や家賃が低く、古い住宅居」が4割を超え、他の年代よりも高くなっている。

居住区別では、「取得費や家賃が高くても、新しい住宅」は、中原区(69.9%)で最も高く、多摩区(59.1%)を除く他の区においても6割を超えている。

市全体、居住区別、年代別に、現在の住まいから住み替えたい住宅の形態(A2)と住み替えたいと思う住宅の種類(A3)を見ると、以下の通りとなっている。

**図表1-9 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、市全体)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(303)	(18)	(224)	(180)	(33)	(43)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	72.3%	22.2%	74.6%	51.7%	42.4%	41.9%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	27.7%	77.8%	25.4%	48.3%	57.6%	58.1%

**図表1-10 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、川崎区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(47)	(2)	(43)	(23)	(8)	(9)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	74.5%	0.0%	72.1%	39.1%	50.0%	33.3%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	25.5%	100.0%	27.9%	60.9%	50.0%	66.7%

**図表1-11 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、幸区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(32)	(2)	(26)	(20)	(4)	(3)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	68.8%	50.0%	84.6%	45.0%	100.0%	0.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	31.3%	50.0%	15.4%	55.0%	0.0%	100.0%

**図表1-12 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、中原区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(45)	(3)	(44)	(38)	(2)	(11)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	84.4%	33.3%	79.5%	52.6%	50.0%	45.5%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	15.6%	66.7%	20.5%	47.4%	50.0%	54.5%

**図表1-13 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、高津区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(42)	(4)	(35)	(37)	(1)	(6)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	66.7%	25.0%	77.1%	45.9%	100.0%	33.3%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	33.3%	75.0%	22.9%	54.1%	0.0%	66.7%

**図表1-14 住み替えたいと思う住宅  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、宮前区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(49)	(0)	(30)	(20)	(7)	(4)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	73.5%	0.0%	66.7%	70.0%	42.9%	25.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	26.5%	0.0%	33.3%	30.0%	57.1%	75.0%

**図表1-15 住み替えたいと思う住宅**  
**(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、多摩区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(45)	(5)	(22)	(27)	(6)	(5)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	66.7%	20.0%	63.6%	59.3%	16.7%	60.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	33.3%	80.0%	36.4%	40.7%	83.3%	40.0%

**図表1-16 住み替えたいと思う住宅**  
**(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、麻生区)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(43)	(2)	(24)	(15)	(5)	(5)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	69.8%	0.0%	75.0%	53.3%	0.0%	80.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	30.2%	100.0%	25.0%	46.7%	100.0%	20.0%

**図表1-17 住み替えたいと思う住宅**  
**(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、18~29歳)**

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(36)	(7)	(23)	(51)	(1)	(4)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	77.8%	14.3%	82.6%	64.7%	0.0%	25.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	22.2%	85.7%	17.4%	35.3%	100.0%	75.0%

**図表1-18 住み替えたいと思う住宅**  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、30～39歳)

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(71)	(5)	(59)	(51)	(1)	(9)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	69.0%	60.0%	72.9%	54.9%	100.0%	66.7%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	31.0%	40.0%	27.1%	45.1%	0.0%	33.3%

**図表1-19 住み替えたいと思う住宅**  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、40～49歳)

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(89)	(1)	(66)	(49)	(3)	(10)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	75.3%	0.0%	77.3%	40.8%	33.3%	40.0%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	24.7%	100.0%	22.7%	59.2%	66.7%	60.0%

**図表1-20 住み替えたいと思う住宅**  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、50～59歳)

	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(56)	(2)	(30)	(17)	(10)	(9)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	76.8%	0.0%	80.0%	35.3%	50.0%	33.3%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	23.2%	100.0%	20.0%	64.7%	50.0%	66.7%

**図表1-21 住み替えたいと思う住宅**  
(住み替えたい住宅の種類×住み替えたい住宅の形態、60歳以上)

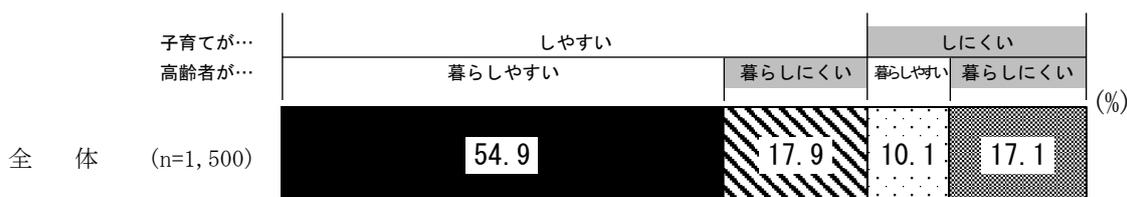
	住み替えたい住宅の形態					
	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (借家)	分譲 マンション	賃貸 マンション	高齢者向け の住宅	その他
住み替えたいと回答した人	(51)	(3)	(46)	(12)	(18)	(11)
住み替えたい住宅の種類						
取得費や家賃が高くても、 新しい住宅	62.7%	0.0%	65.2%	50.0%	38.9%	36.4%
取得費や家賃が低く、 古い住宅	37.3%	100.0%	34.8%	50.0%	61.1%	63.6%

## 1-4 現在の生活環境(子育てのしやすさ/高齢者の暮らしやすさ)に対する評価

◎「子育てしやすく、高齢者も暮らしやすい」が54.9%

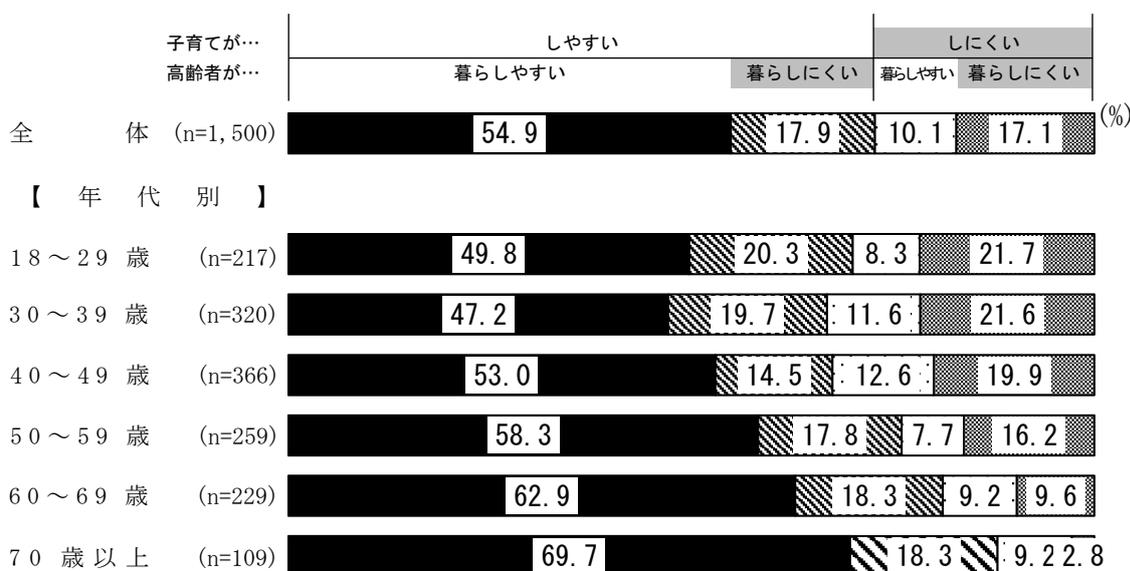
A4. あなたの今の生活環境は、子育てがしやすく、高齢者が住みやすいと思いますか。

図表1-22 現在の生活環境に対する評価



現在の生活環境(子育てのしやすさ/高齢者の暮らしやすさ)について、54.9%の方が「子育てしやすく、高齢者も暮らしやすい」と評価している。これに「子育てしやすいが、高齢者は暮らしにくい」(17.9%)を加えた<子育てしやすい>は72.8%、「子育てしにくい、高齢者は暮らしやすい」(10.1%)を加えた<高齢者が暮らしやすい>は65.1%となっている。

図表1-23 現在の生活環境に対する評価(年齢別)



年齢別では、<子育てしやすい>は30～39歳と40～49歳で7割弱と他の年代に比べて低い。一方、<高齢者が暮らしやすい>は年代が高くなるほど、その割合も高くなり、60～69歳と70歳以上では7割を超えている。

図表1-24 現在の生活環境に対する評価（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「子育てしやすく、高齢者も暮らしやすい」と「子育てしやすいが、高齢者は暮らしにくい」を合計した<子育てしやすい>の回答は、男女とも30～39歳と40～49歳では7割弱と他の年代に比べて低い。

一方、「子育てしやすく、高齢者も暮らしやすい」と「子育てしにくい、高齢者は暮らしやすい」を合計した<高齢者が暮らしやすい>は年代が高くなるほど、その割合も高くなる傾向となっており、男女とも60歳以上の年代では7割を超えている。

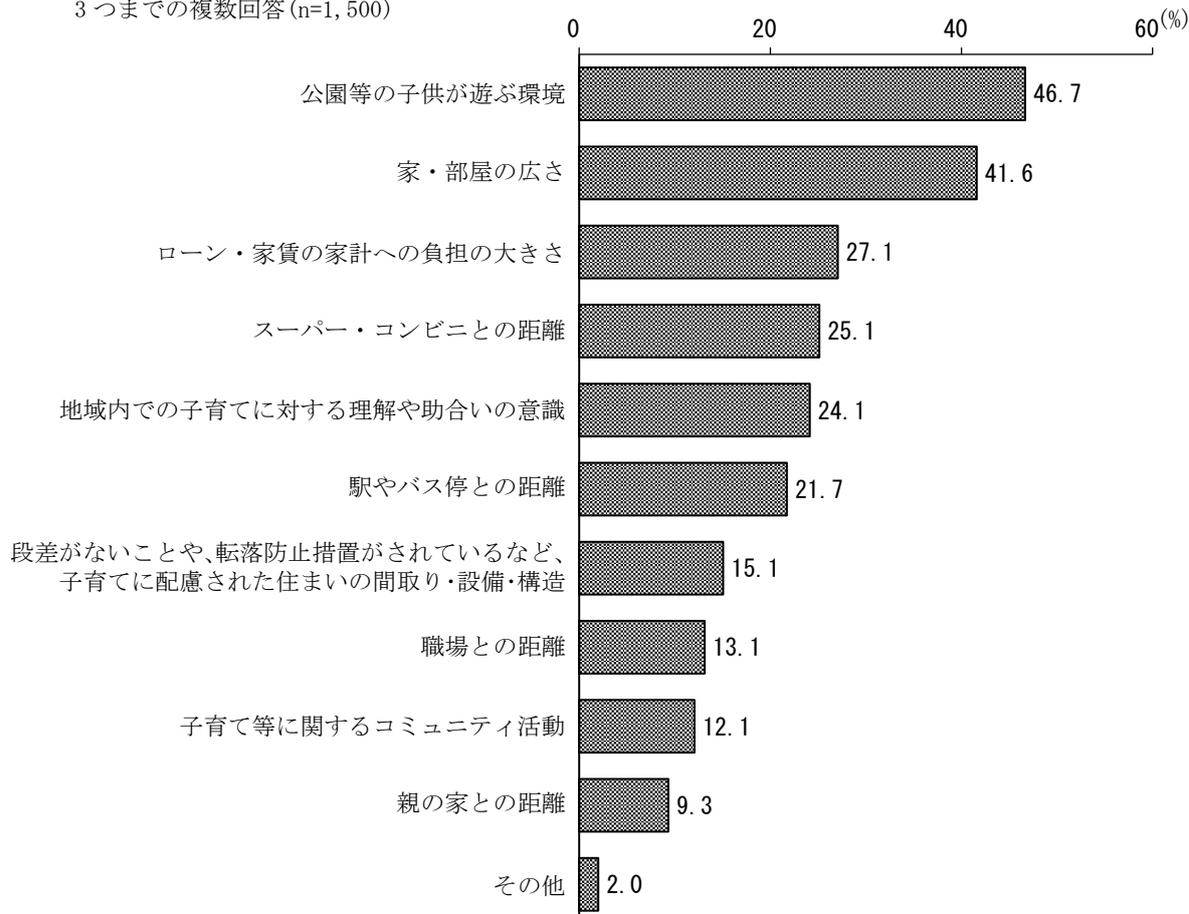
## 1-5 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと

◎「公園等の子供が遊ぶ環境」が46.7%

A5. あなたが思う子育てしやすい住まいを考える上で、何が重要だと思いますか。  
(3つまで)

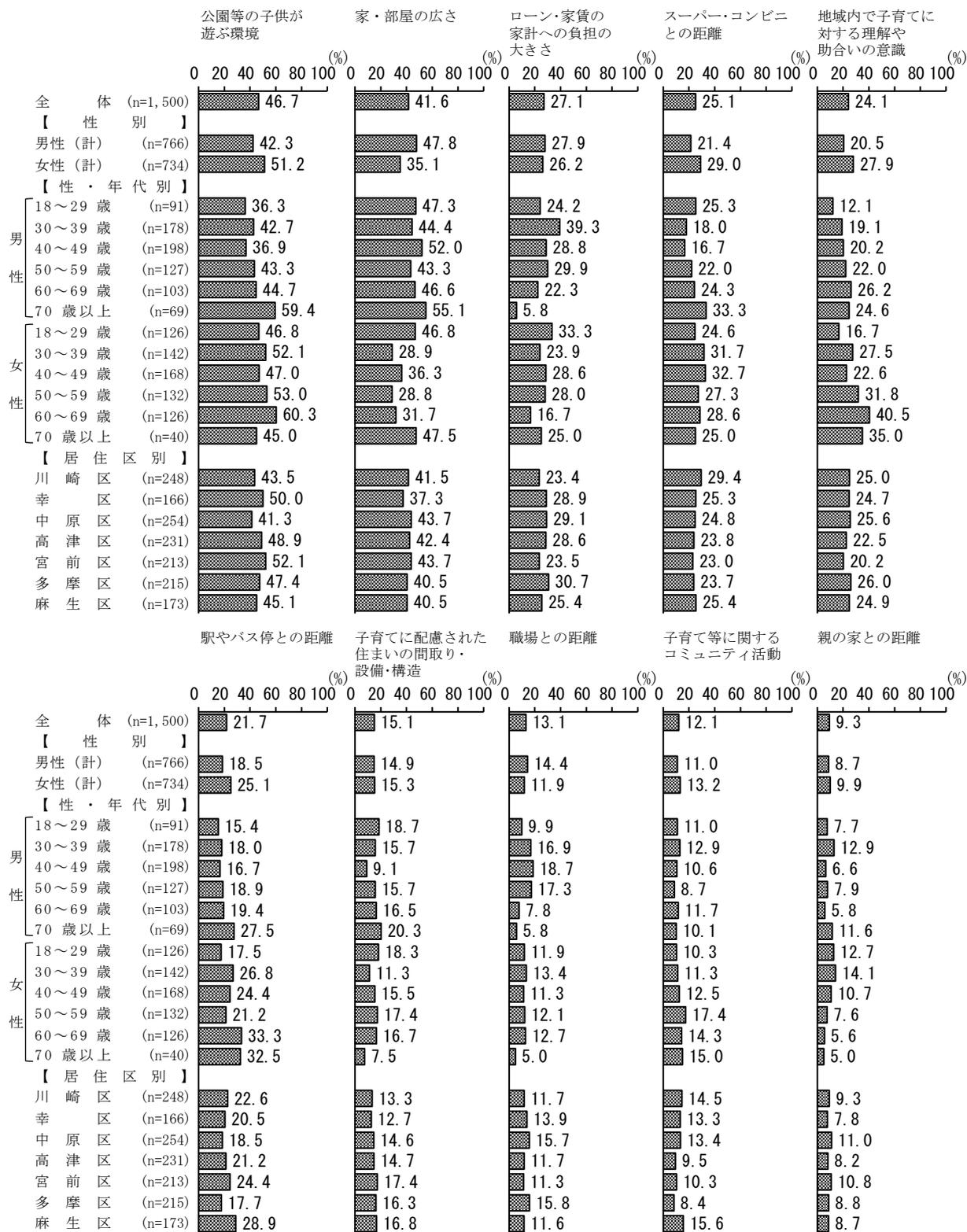
図表1-25 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと

3つまでの複数回答(n=1,500)



子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うことでは、「公園等の子供が遊ぶ環境」(46.7%)が最も高く、次いで、「家・部屋の広さ」(41.6%)、「ローン・家賃の家計への負担の大きさ」(27.1%)、「スーパー・コンビニとの距離」(25.1%)の順となっている。

図表1-26 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(性/年齢別・居住区別 上位10項目)

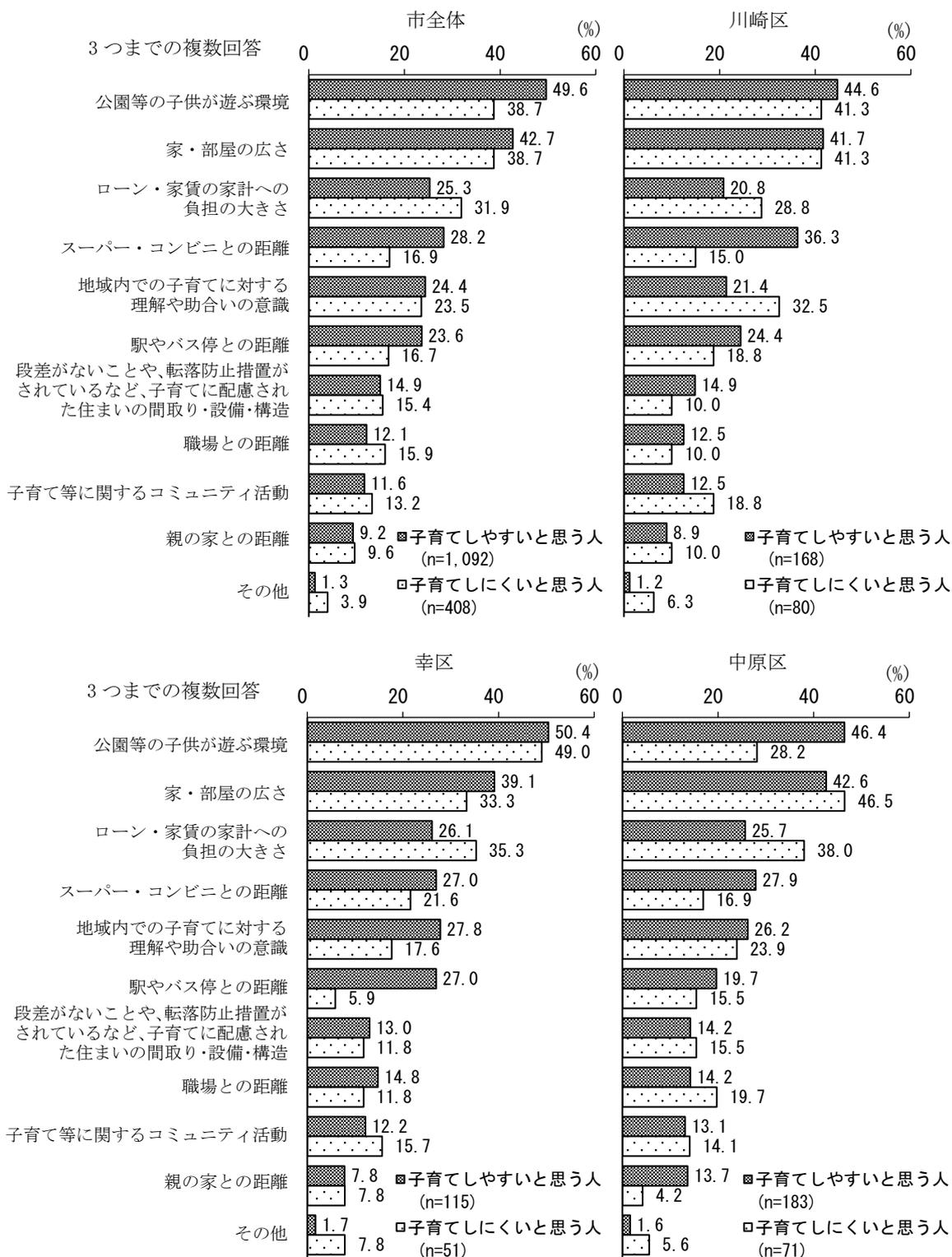


性/年齢別では、女性の30歳以上69歳以下の年代で、「公園等の子供が遊ぶ環境」が5~6割程度と高い。

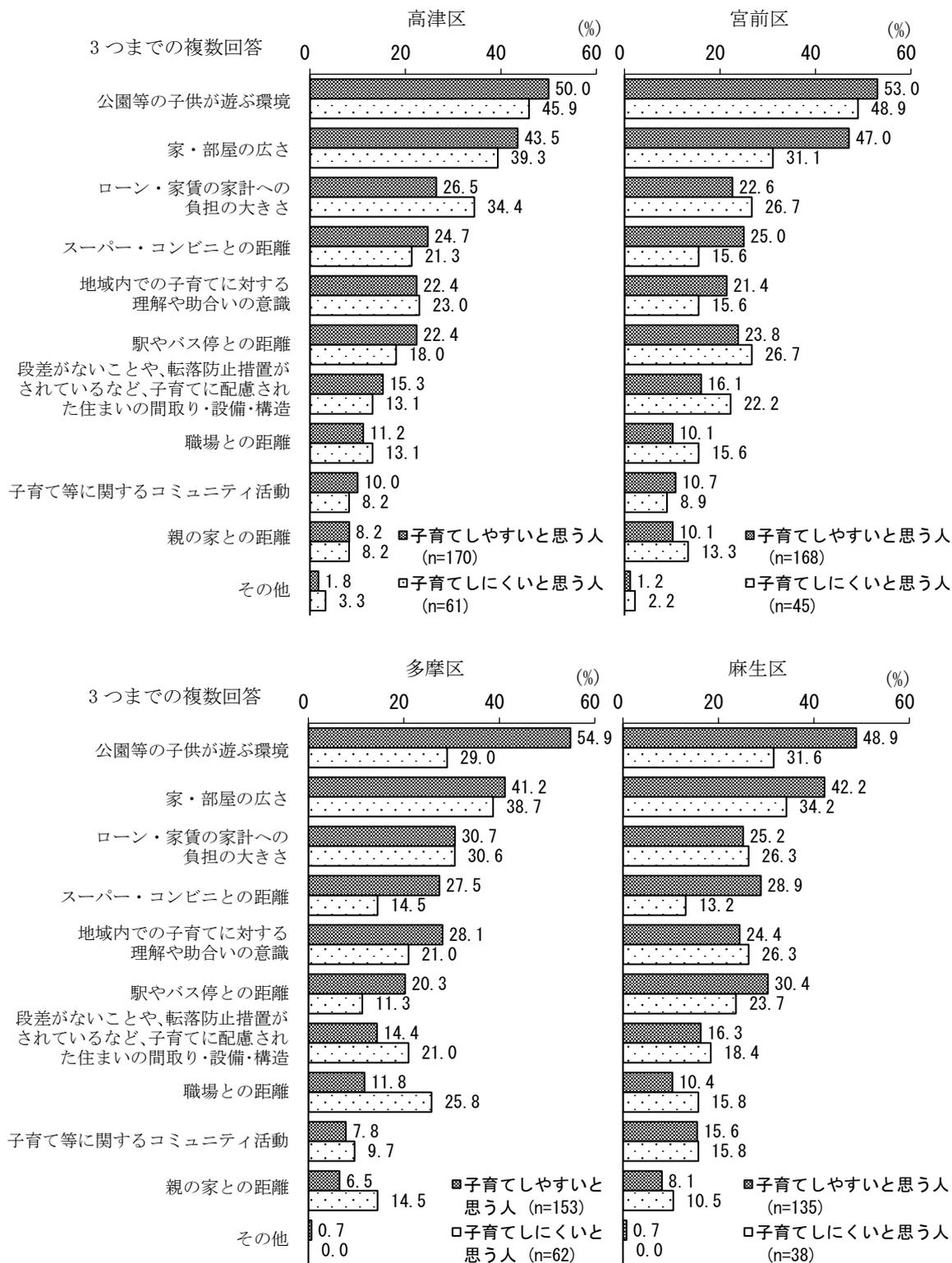
居住区別では、宮前区と幸区で「公園等の子供が遊ぶ環境」が5割を超えている。

現在の生活環境(子育てのしやすさ)に対する評価(A4)と子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと(A5)について、市全体と居住区別に見ると、以下の通りとなっている。

**図表1-27 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(重要だと思うこと×子育てしやすさの評価、市/居住区別)**



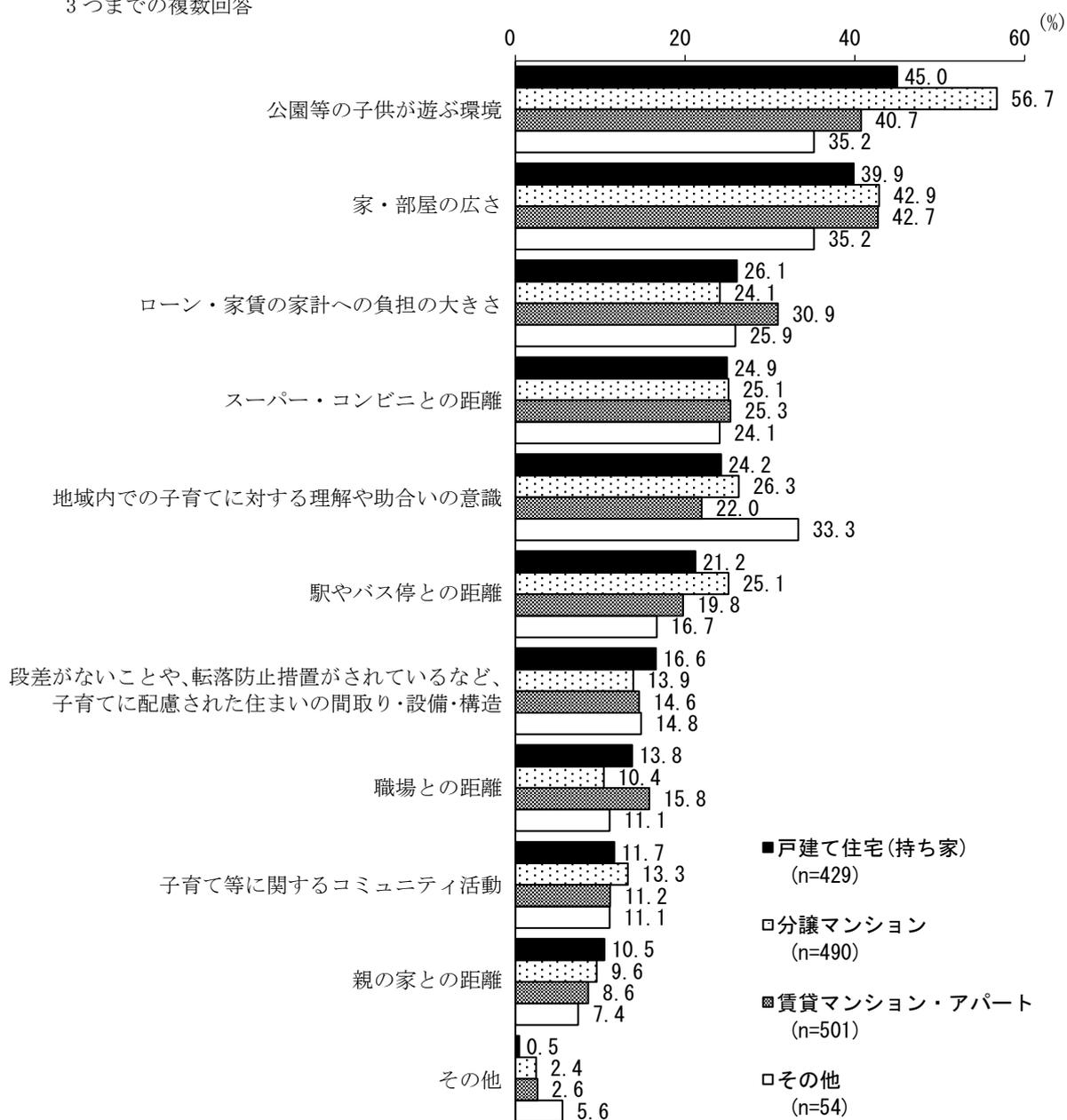
図表1-28 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(重要だと思うこと×子育てしやすいの評価、市/居住区別)



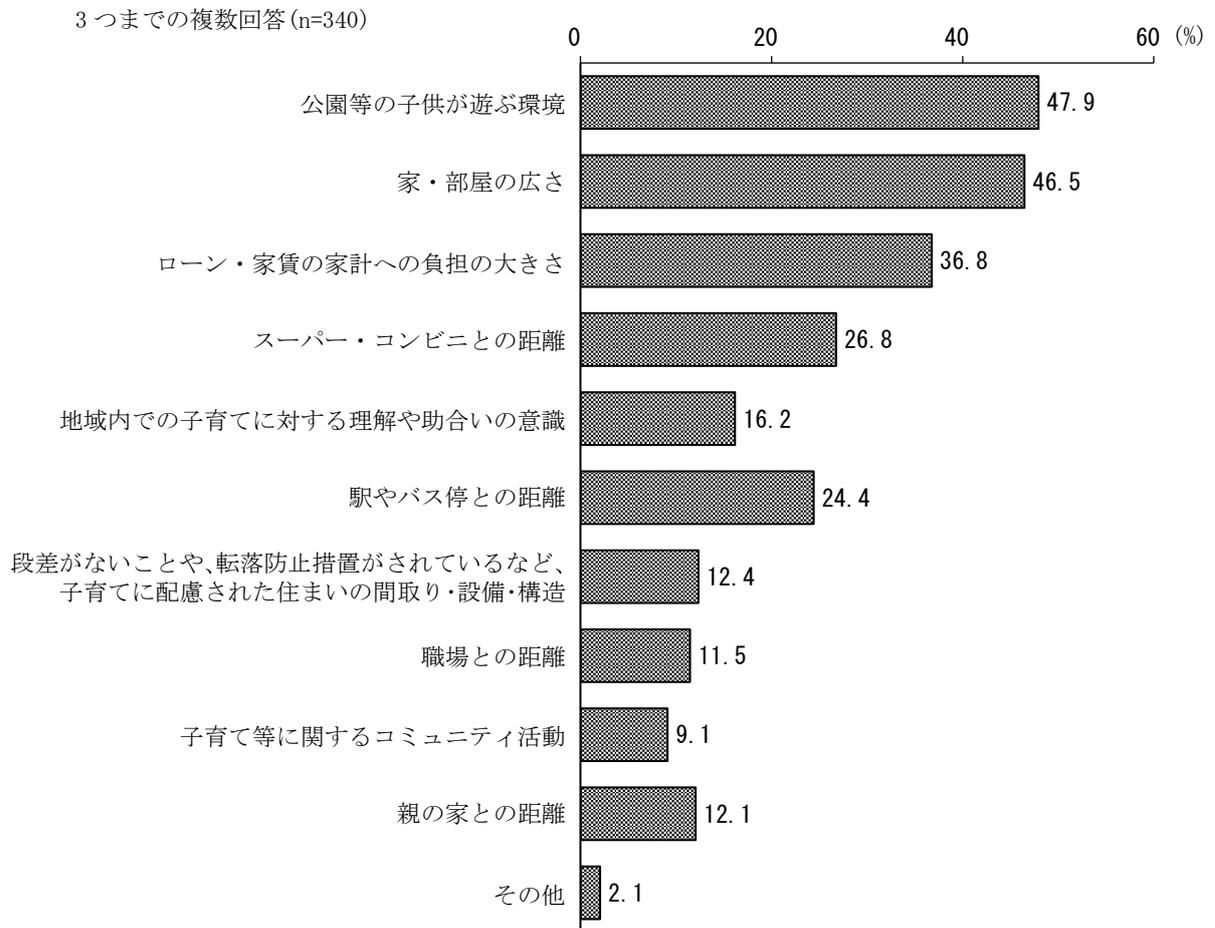
現在の住まい(A1)と子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと(A5)について見ると以下の通りとなっている。

**図表1-29 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(重要だと思うこと×現在の住まい)**

3つまでの複数回答



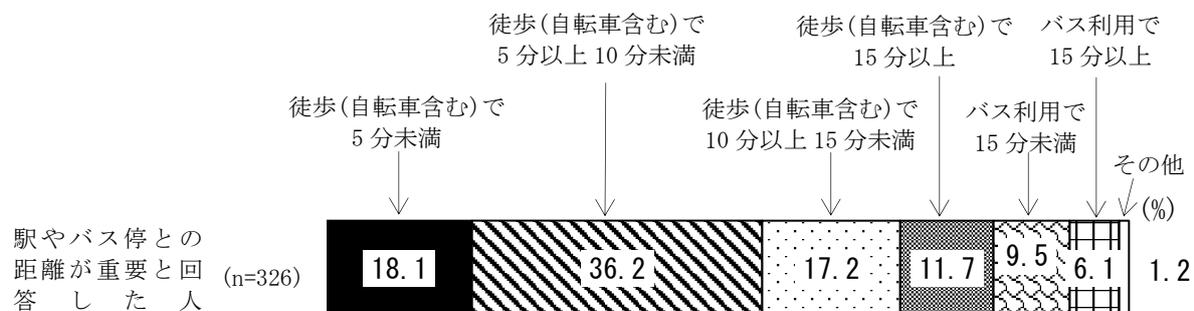
図表1-30 子育てしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(18歳未満の同居家族がいる人)



18歳未満の同居家族がいる人でも、「公園等の子供が遊ぶ環境」(47.9%)、「家・部屋の広さ」(46.5%)、「ローン・家賃の家計への負担の大きさ」(36.8%)、「スーパー・コンビニとの距離」(26.8%)と、上位4項目は全体と同様の順となっている。

子育てしやすい住まいに重要なこと(A5)として「駅やバス停との距離」を回答した人について、自宅から最寄り駅までの移動手段と距離を見ると、以下の通りとなっている。

**図表1-31 自宅から最寄り駅までの移動手段と距離**  
(子育てしやすい住まいに重要なこと＝駅やバス停との距離)



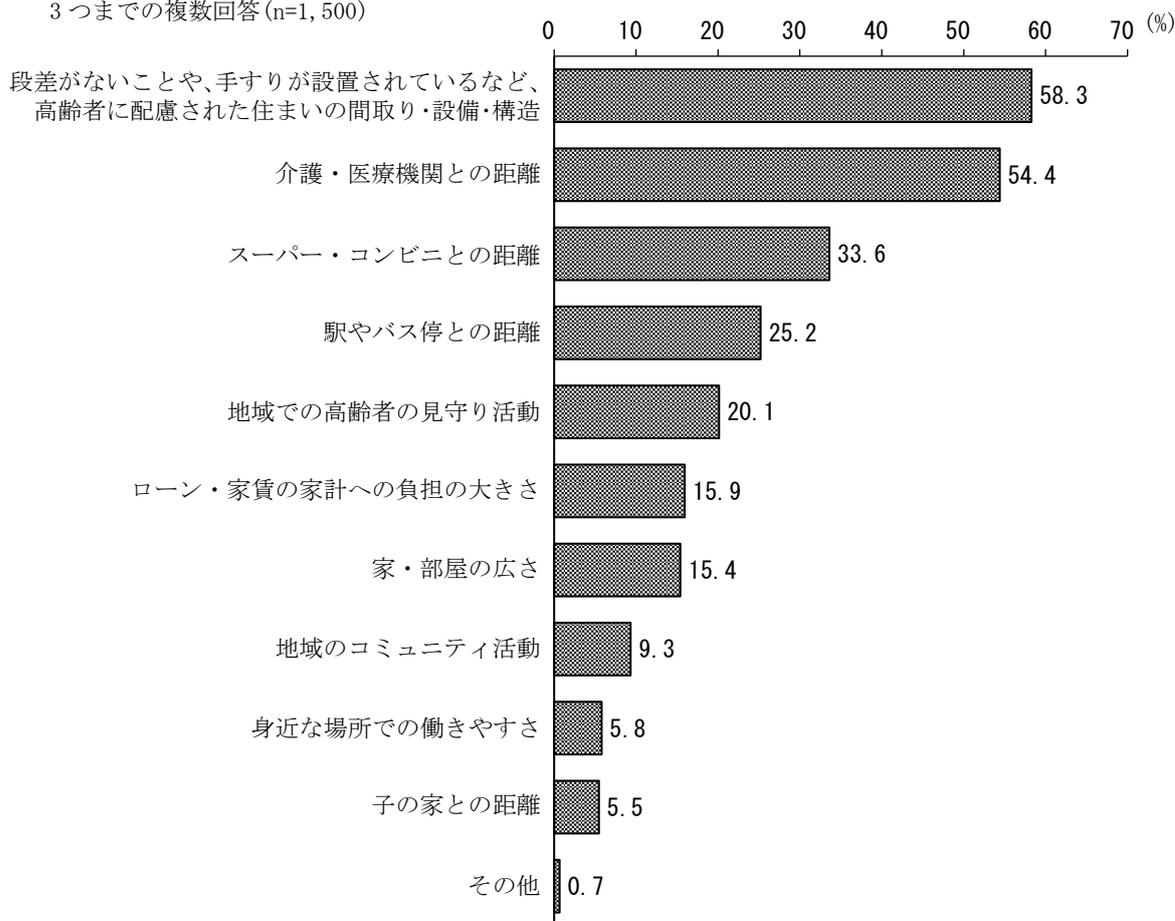
## 1-6 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと

◎「段差がないことや、手すりが設置されているなど、高齢者に配慮された住まいの間取り・設備・構造」が58.3%

A6. あなたが思う高齢者の暮らしやすい住まいを考える上で、何が重要だと思いますか。  
(3つまで)

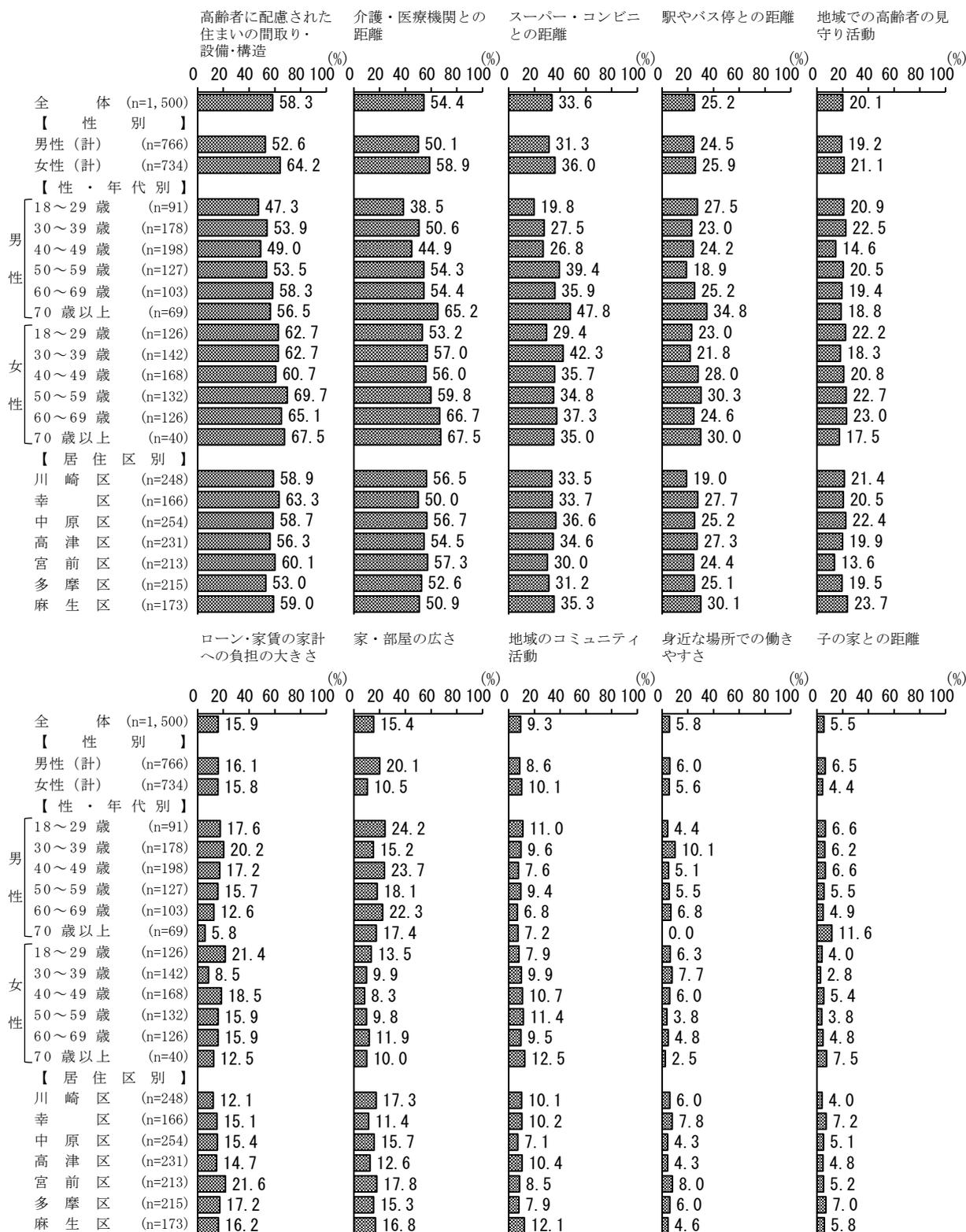
図表1-32 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと

3つまでの複数回答(n=1,500)



高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うことでは「段差がないことや、手すりが設置されているなど、高齢者に配慮された住まいの間取り・設備・構造」(58.3%)が最も高く、次いで、「介護・医療機関との距離」(54.4%)の順となっている。

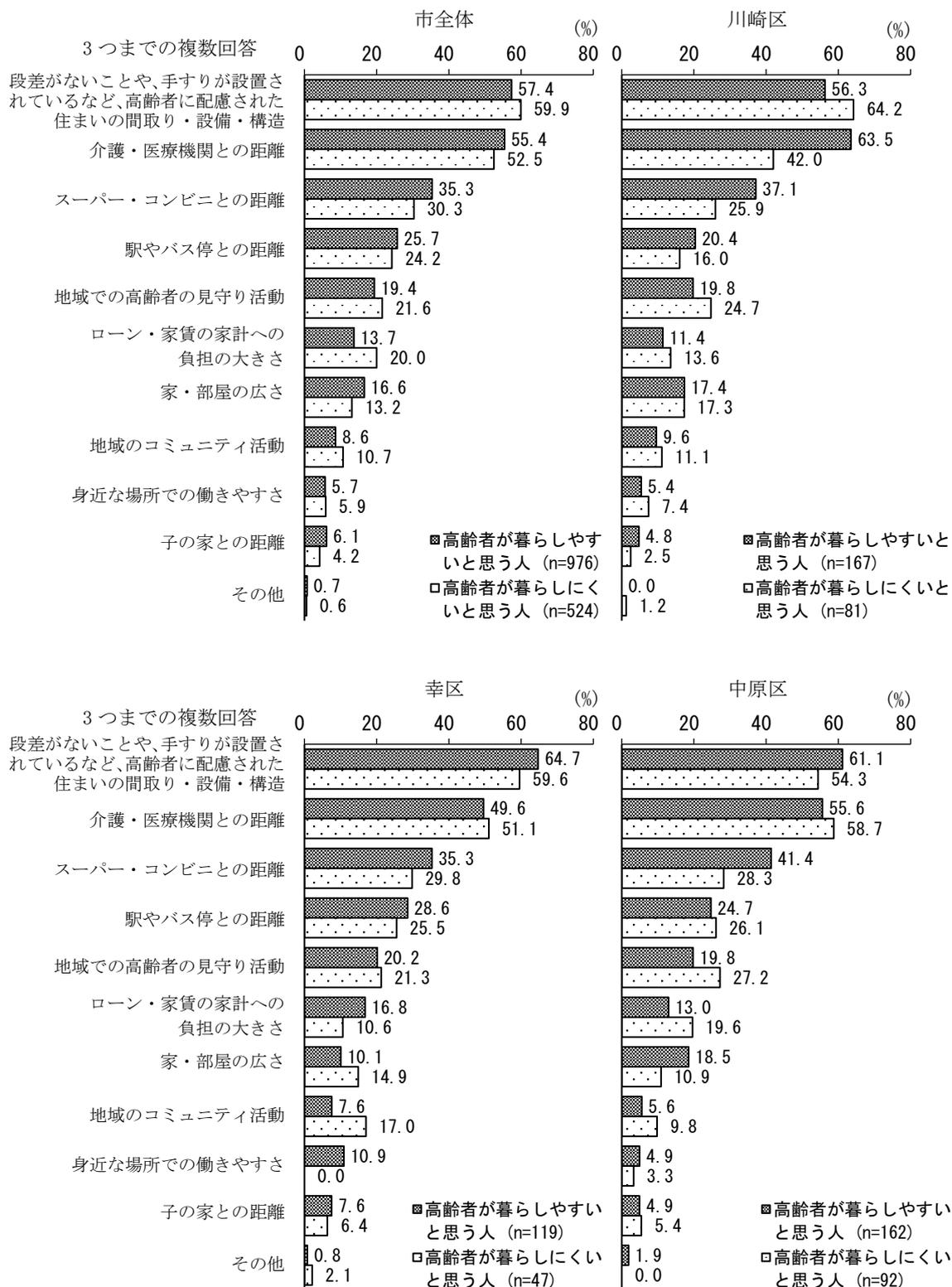
図表1-33 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(性/年齢別・居住区別 上位10項目)



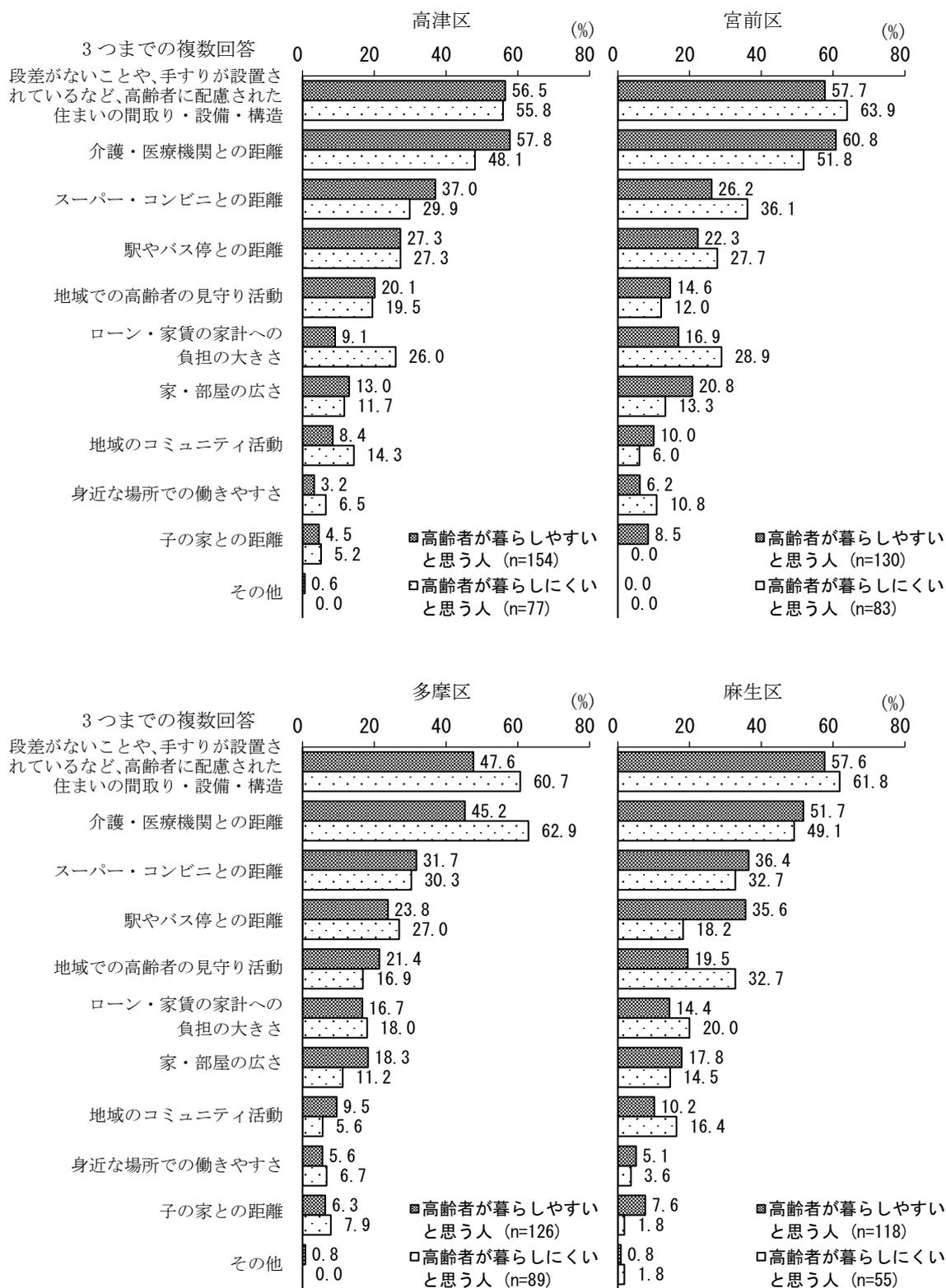
性/年齢別では、各年代を通じて、男性に比べ女性の方が「段差がないことや、手すりが設置されているなど、高齢者に配慮された住まいの間取り・設備・構造」や「介護・医療機関との距離」が重要と回答する割合が高い。

現在の生活環境(高齢者の暮らしやすさ)に対する評価(A4)と高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと(A6)について、市全体と居住区別に見ると、以下の通りとなっている。

図表1-34 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(重要だと思うこと×高齢者の暮らしやすさに対する評価別、市/居住区別)



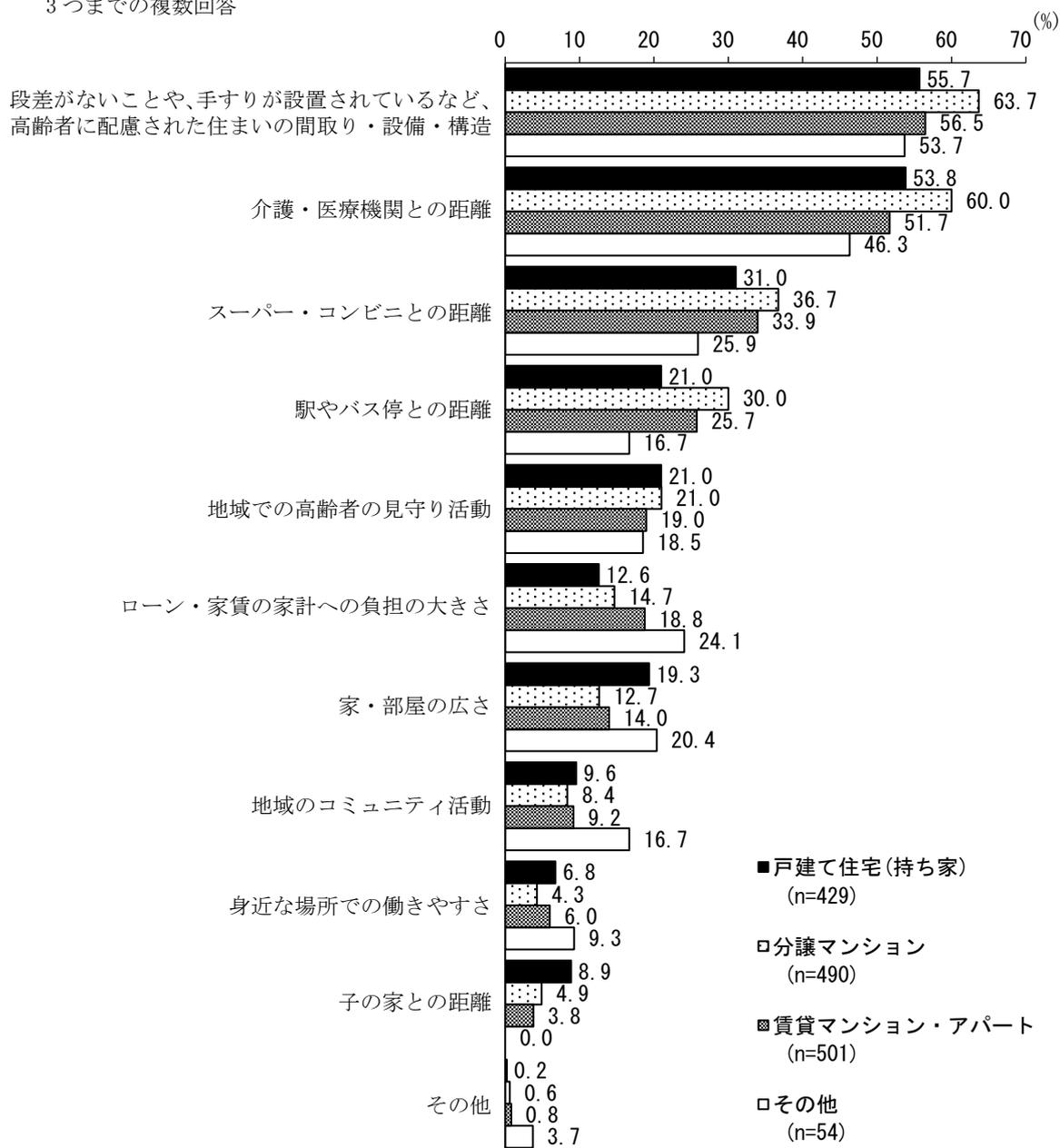
図表1-35 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと (重要だと思うこと×高齢者の暮らしやすさに対する評価別、市/居住区別)



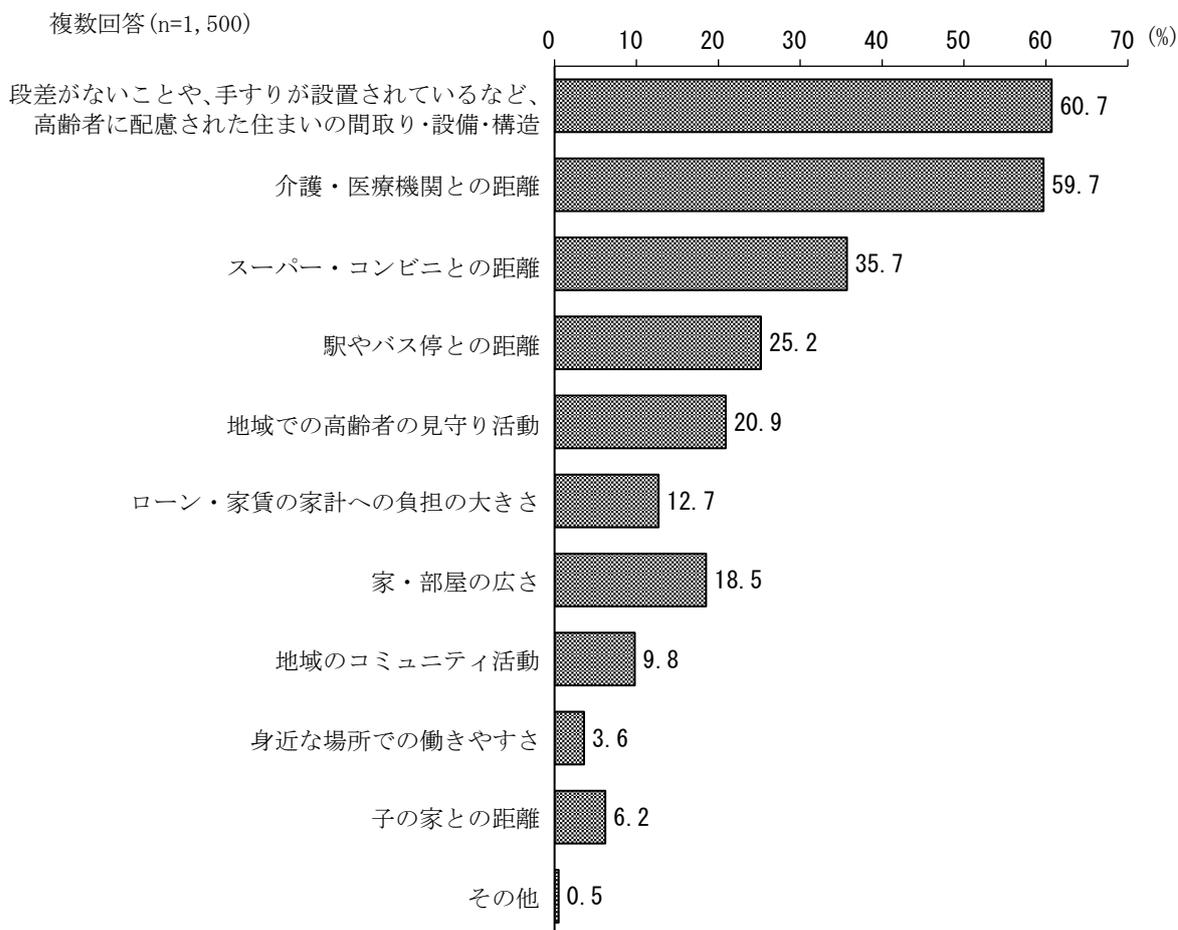
現在の住まい(A1)と高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと(A6)について見ると以下の通りとなっている。

**図表1-36 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(重要だと思うこと×現在の住まい)**

3つまでの複数回答



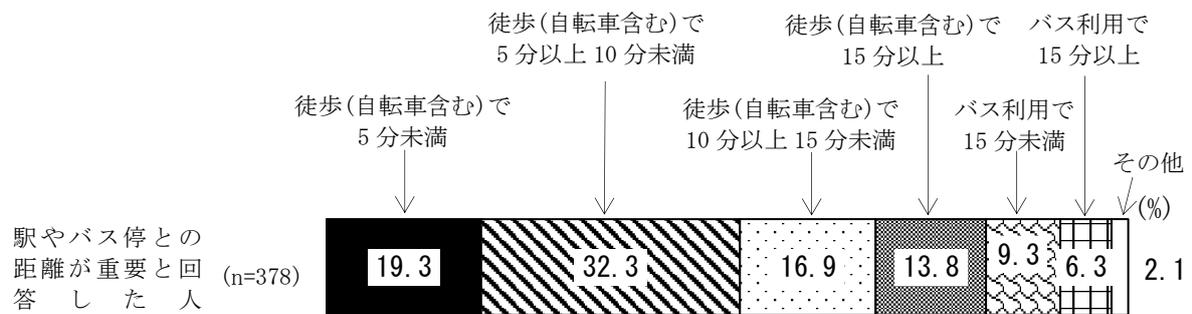
図表1-37 高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと  
(65歳以上の同居家族がいる人)



65歳以上の同居家族がいる人でも、全体と同様、「段差がないことや、手すりが設置されているなど、高齢者に配慮された住まいの間取り・設備・構造」(60.7%)が最も高く、次いで、「介護・医療機関との距離」(59.7%)の順となっている。

高齢者の暮らしやすい住まいを考えるうえで、重要だと思うこと(A6)として「駅やバス停との距離」を回答した人について、自宅から最寄り駅までの移動手段と距離を見ると、以下の通りとなっている。

**図表1-38 自宅から最寄り駅までの移動手段と距離**  
(高齢者の暮らしやすい住まいに重要なこと=駅やバス停との距離)

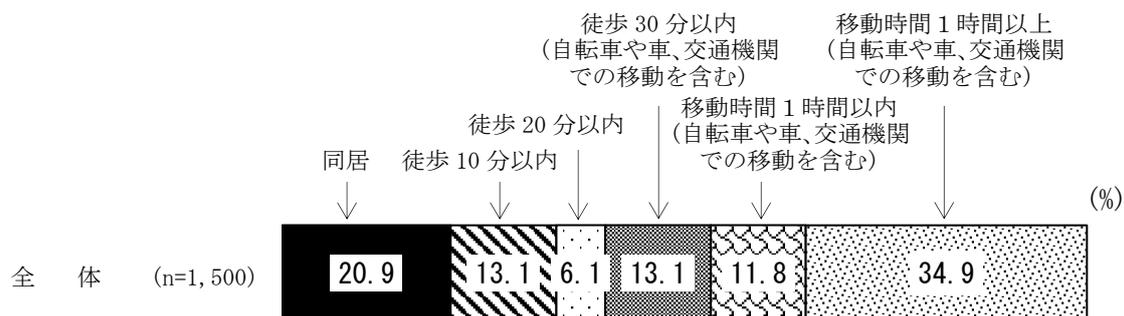


### 1-7 親もしくは子世帯との距離

◎「移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)」が34.9%、「同居」が20.9%

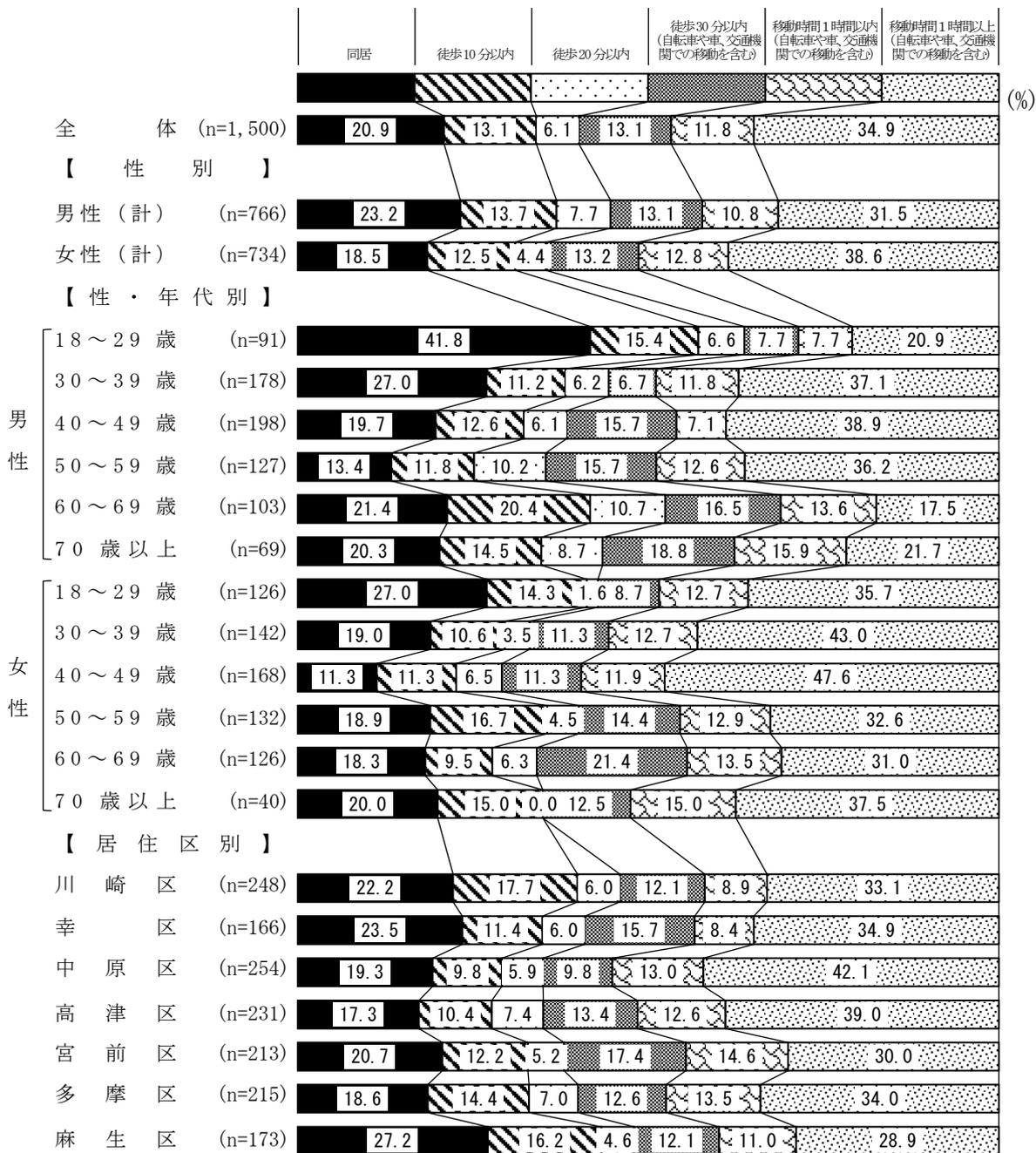
A7. 親・子世帯の住まいのあり方について伺います。  
現在のあなたのお住まいと、親もしくは子世帯のお住まいの距離を教えてください。  
(親と子世帯が両方いる場合は、子世帯との距離をお答えください)

図表1-39 親もしくは子世帯との距離



現在のお住まいと親もしくは子世帯のお住まいとの距離について、「移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)」(34.9%)が最も高く、次いで、「同居」(20.9%)の順となっている。

図表1-40 親もしくは子世帯との距離 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)」は女性の30~39歳と40~49歳で4割以上と、他の年代よりも高い。一方、「同居」は、男性の18~29歳で4割以上、男性の30~39歳と女性の18~29歳で3割弱と、他の年代に比べ高い。

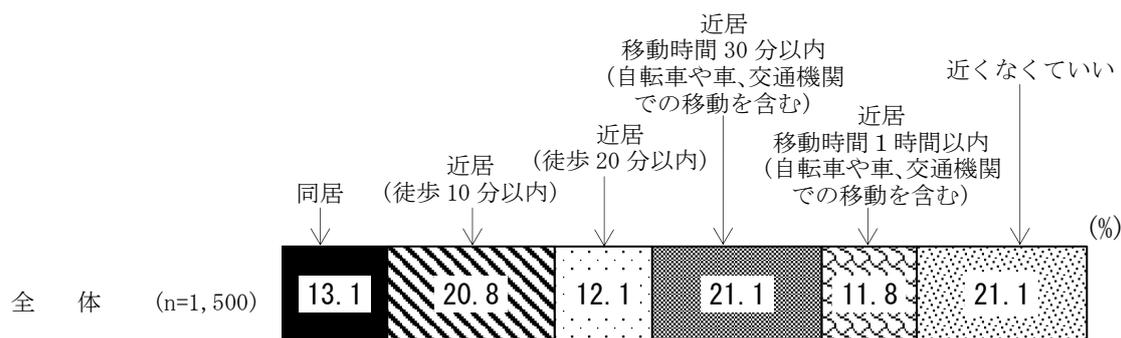
居住区別では、中原区と高津区では「移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)」が4割前後に上っているが、麻生区では「移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)」と「同居」が3割弱で同程度となっている。

### 1-8 親もしくは子世帯との理想の距離

◎「近居(移動時間 30 分以内(自転車や車、交通機関での移動を含む))」と「近くなくていい」が共に 21.1%

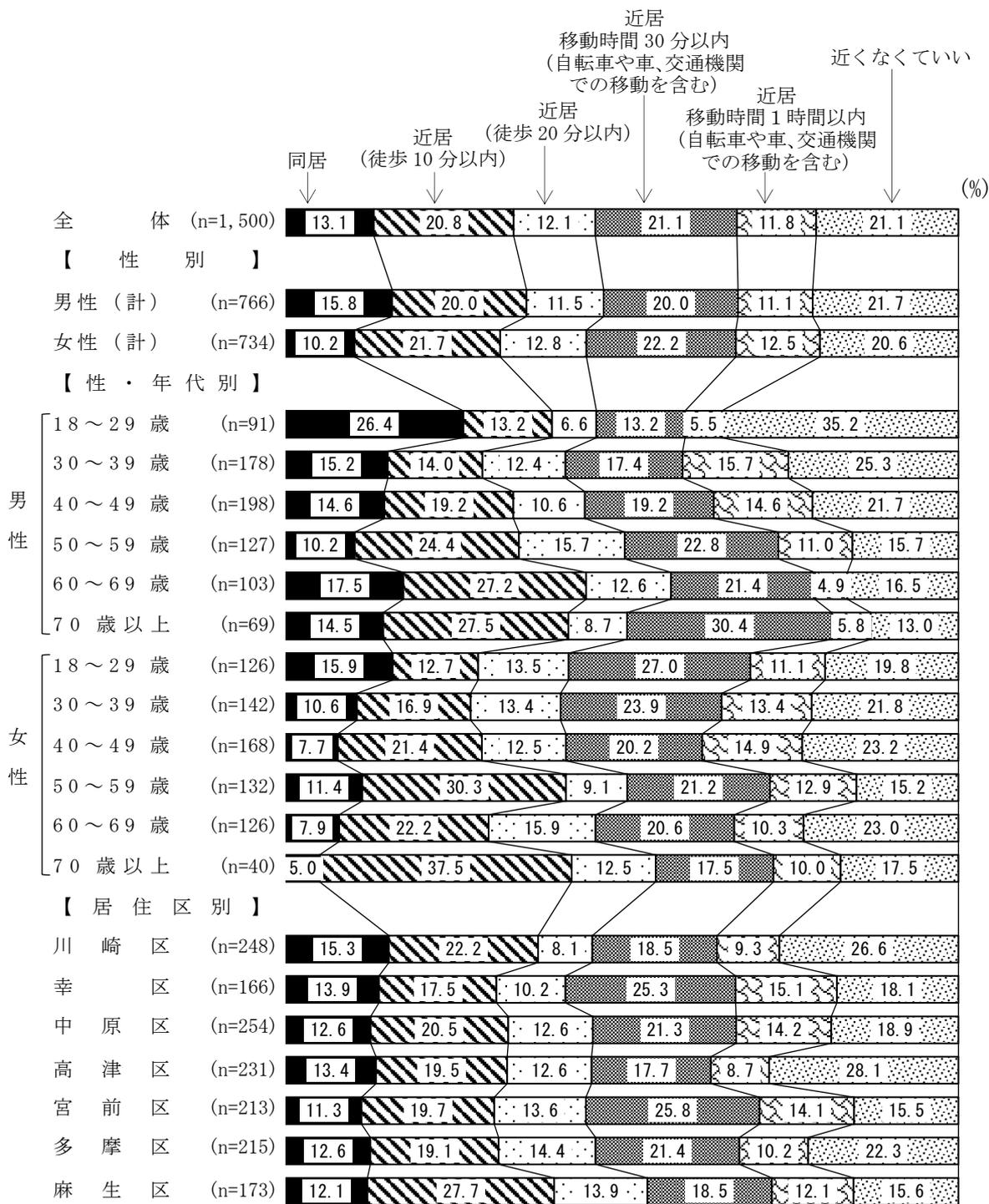
A 8. あなたのお住まいと親若しくは子世帯のお住まいとの理想の距離を教えてください。  
(親と子世帯が両方いる場合は、子世帯との距離)

図表 1-4-1 親もしくは子世帯との理想の距離



親もしくは子世帯のお住まいとの理想の距離について、「近くなくていい」(21.1%)、「近居(移動時間 30 分以内(自転車や車、交通機関での移動を含む))」(21.1%)、「近居(徒歩 10 分以内)」(20.8%)が同程度と意見が分かれています。

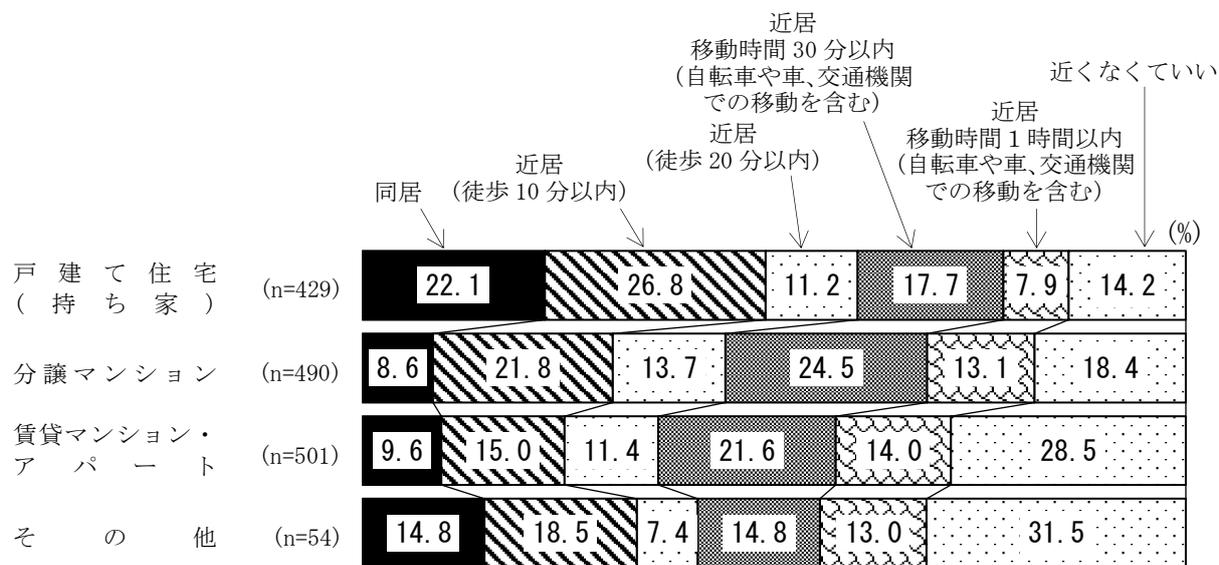
図表1-42 親もしくは子世帯との理想の距離 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の18~29歳では「近くなくていい」が35.2%に対して、「同居」が26.4%と、他の年代に比べると、大きく意見が分かれている。男性では、年代が上がるにつれ、「近居（移動時間30分以内(自転車や車、交通機関での移動を含む)）」と「同居」の合計割合が高くなる傾向となっている。

女性では、男性に比べると、年代による傾向の違いは大きなものではない。

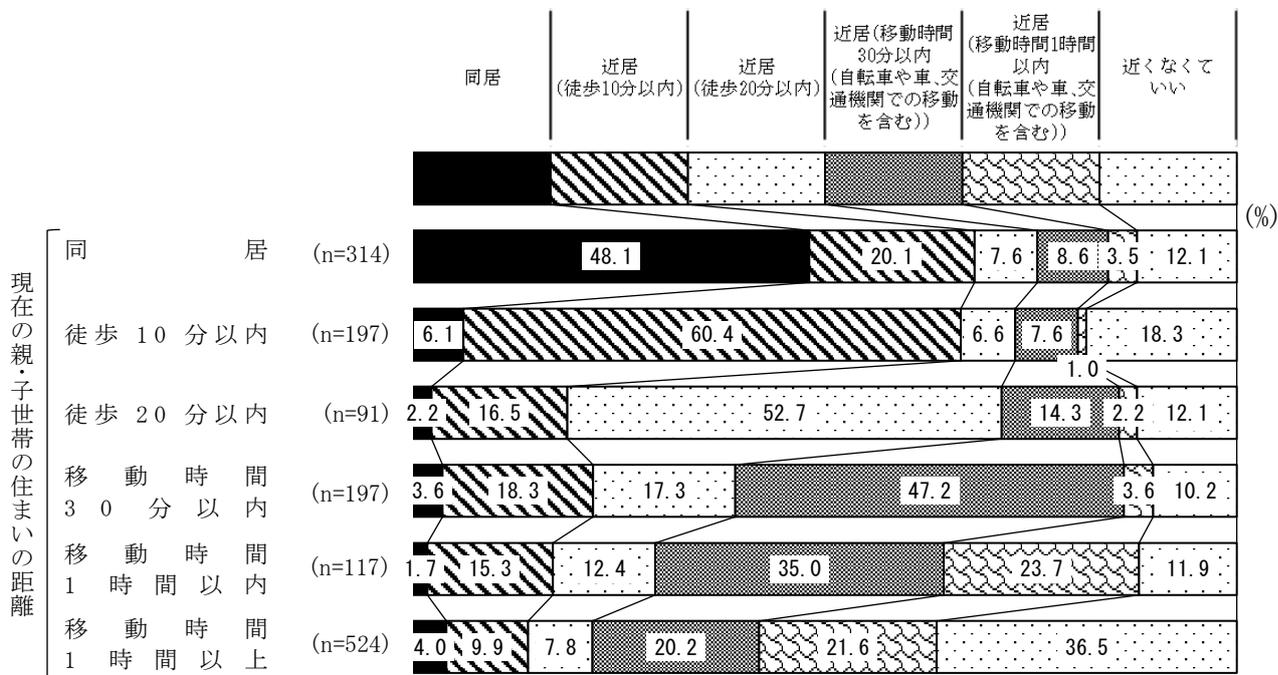
図表1-43 親もしくは子世帯との理想の距離（理想の距離×現在の住まい）



現在の住まい(A1)と親もしくは子世帯のお住まいとの理想の距離(A8)を見ると、「賃貸マンション・アパート」よりも「分譲マンション」で、そして「分譲マンション」よりも「戸建て(持ち家)」で、より距離の近い「近居」や「同居」を理想とする割合が高くなっている。

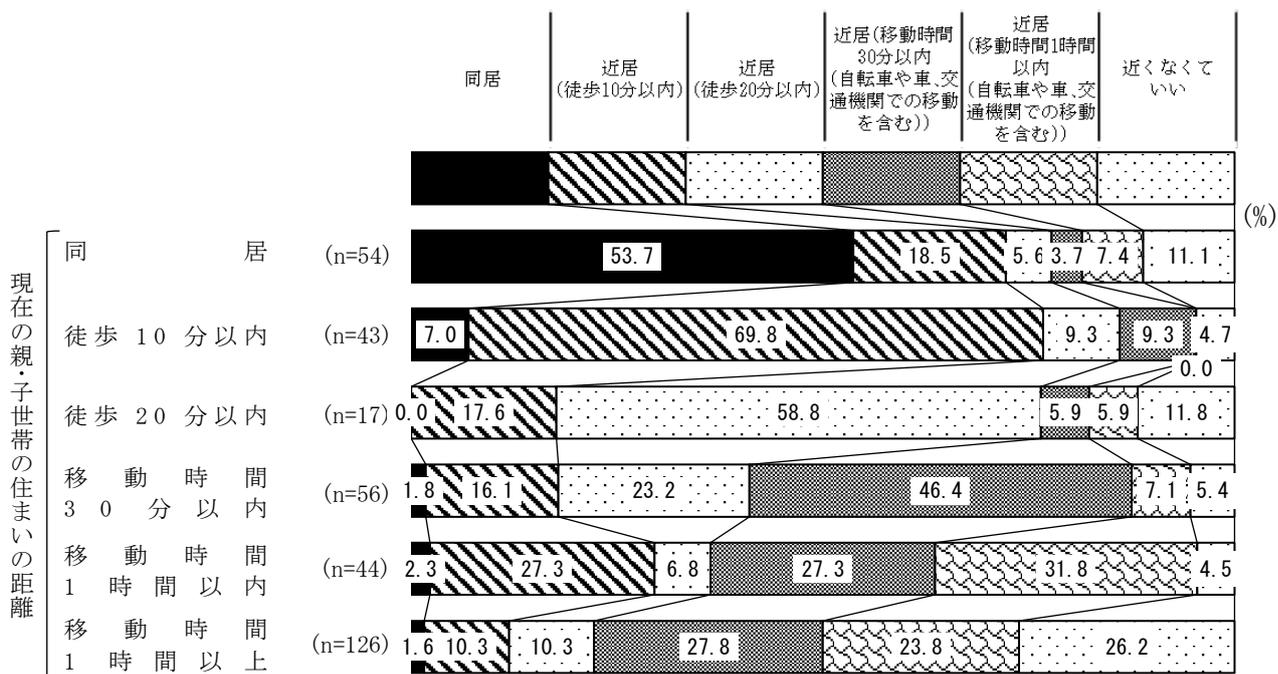
市全体について、親もしくは子世帯のお住まいとの現在の距離(A7)と理想の距離(A8)を見ると、以下の通りとなっている。

**図表1-44 親もしくは子世帯との理想の距離**  
(理想の距離×現在の距離、市全体)

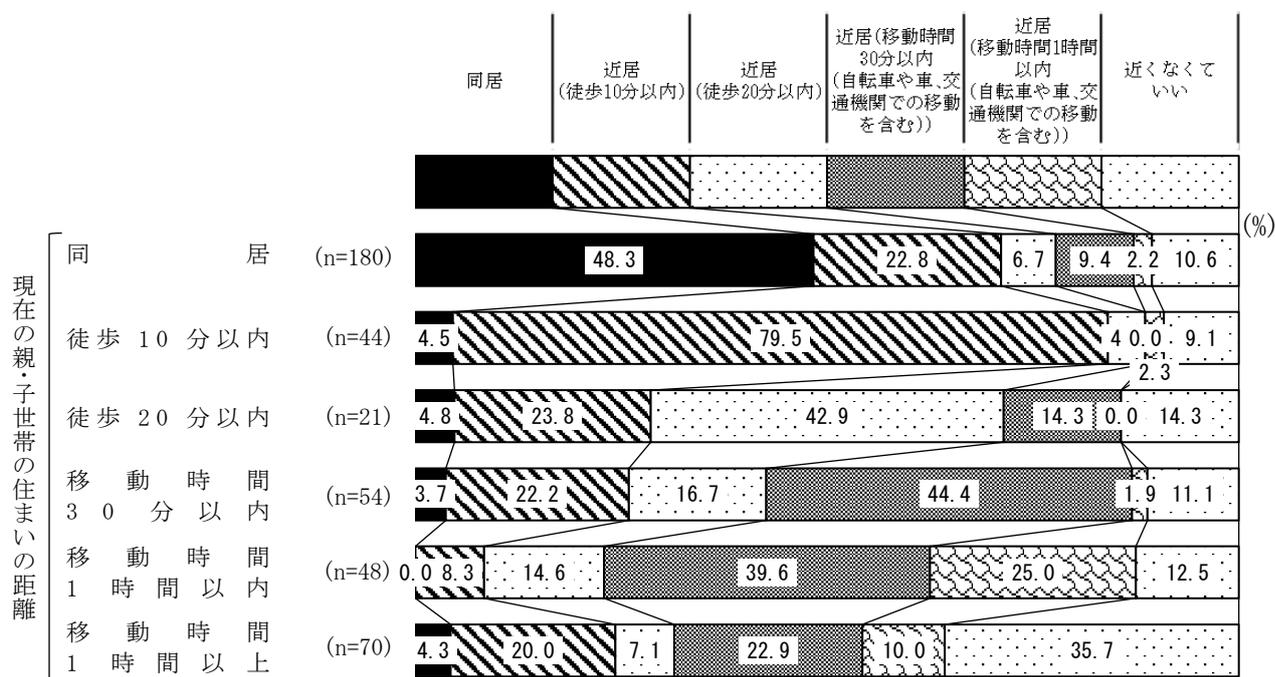


18歳未満の同居家族/65歳以上の同居家族の有無別に、親もしくは子世帯のお住まいとの現在の距離(A7)と理想の距離(A8)を見ると、以下の通りとなっている。

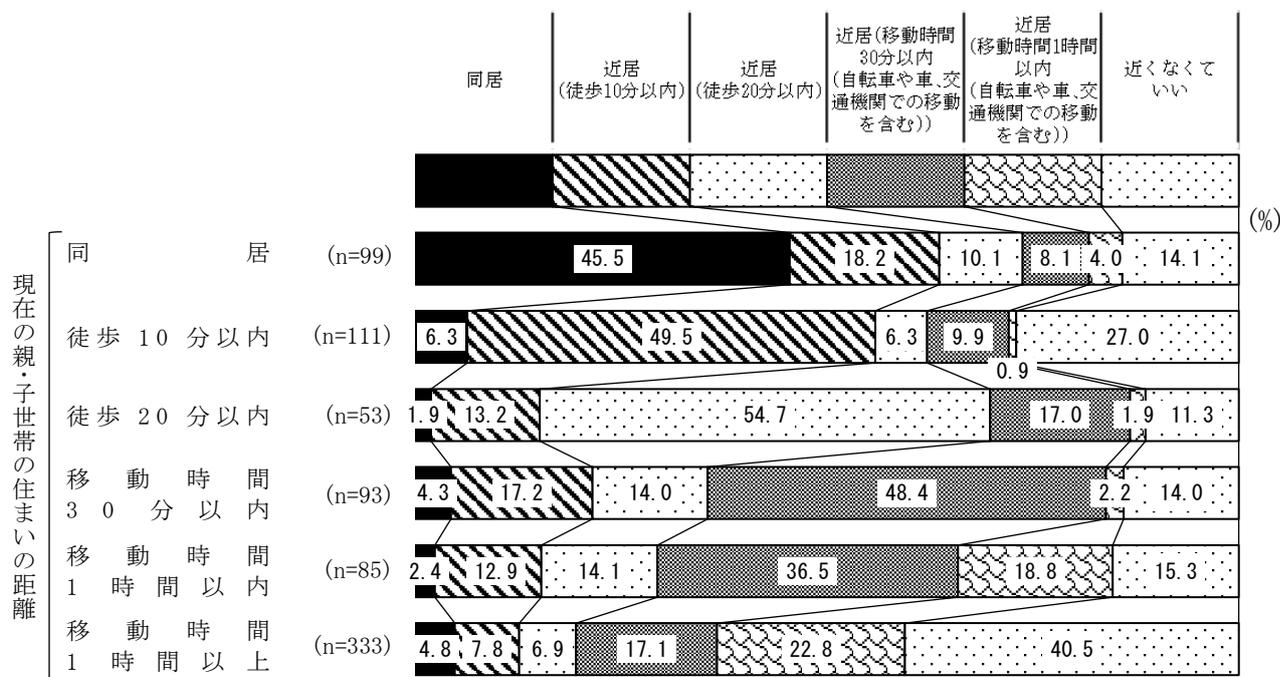
**図表1-45 親もしくは子世帯との理想の距離**  
(理想の距離×現在の距離、18歳未満の同居家族がいる人)



図表1-46 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、65歳以上の同居家族がいる人)

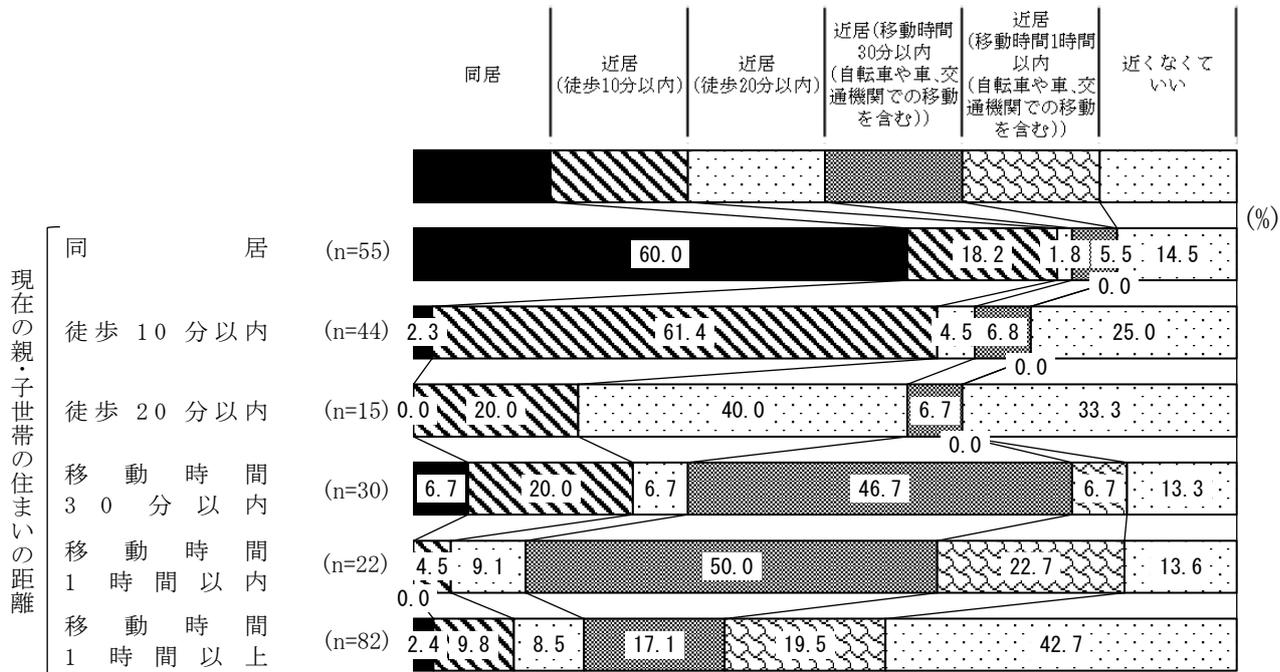


図表1-47 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、18歳未満や65歳以上の同居家族はいない人)

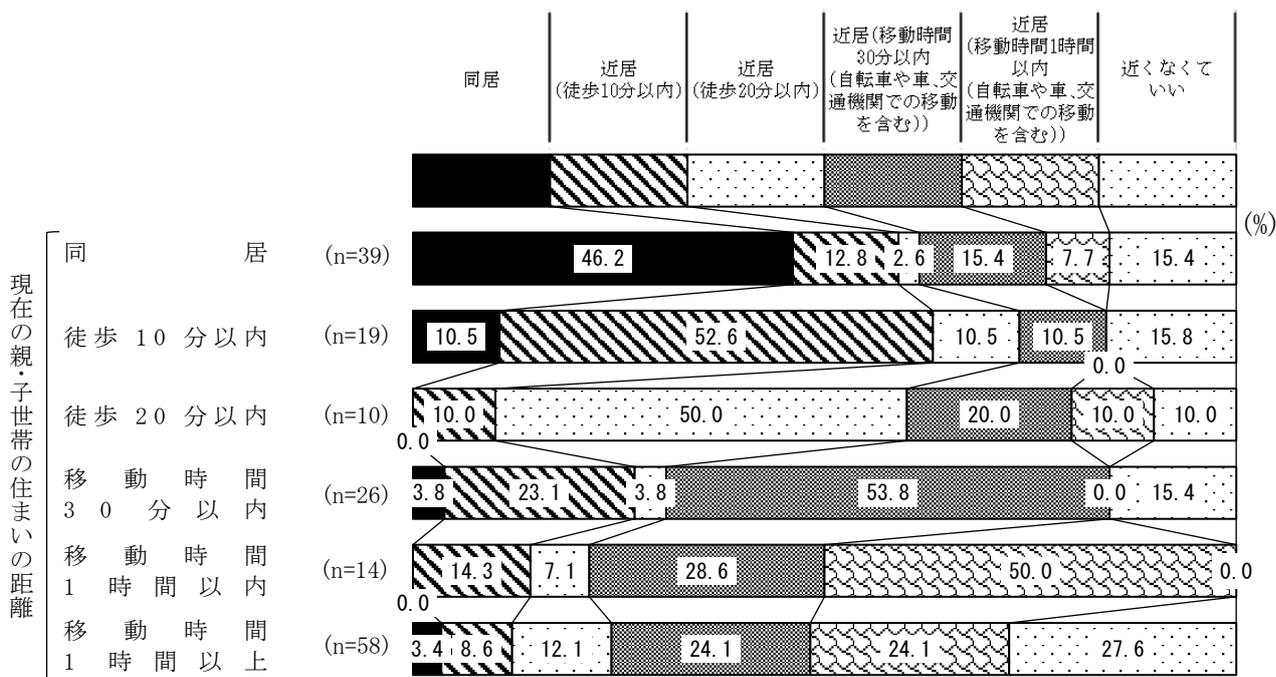


居住区別に、親もしくは子世帯のお住まいとの現在の距離(A7)と理想の距離(A8)を見ると、以下の通りとなっている。

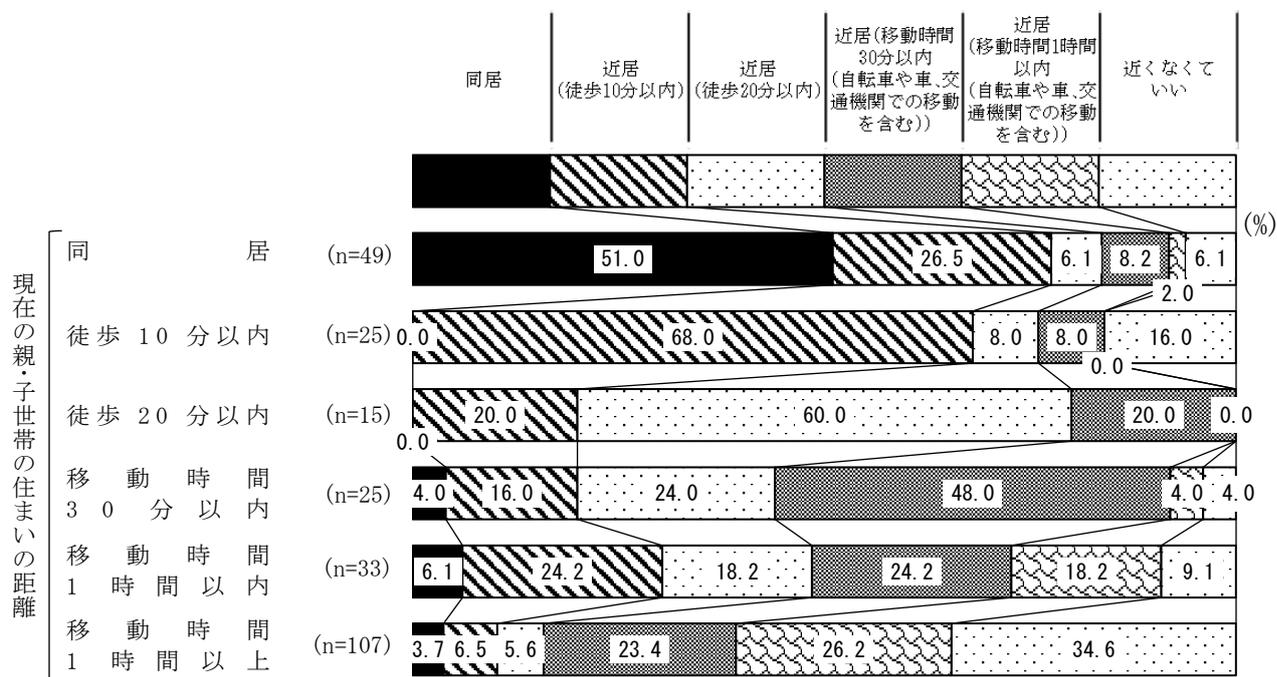
図表1-48 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、川崎区)



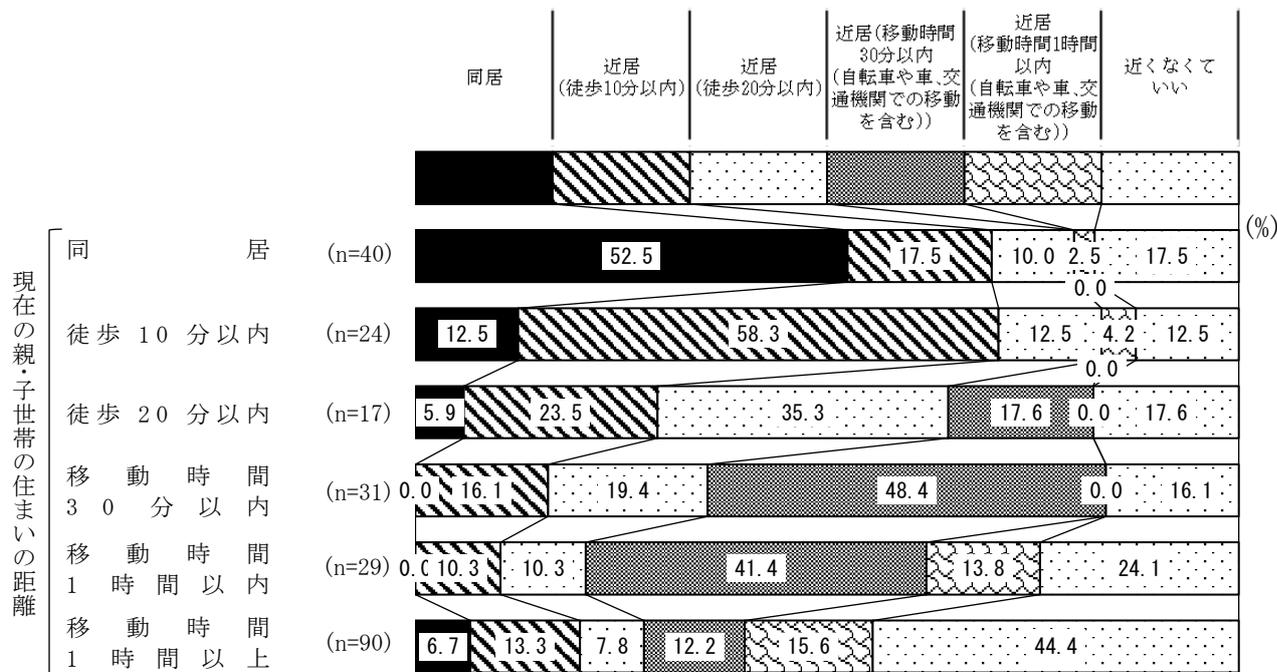
図表1-49 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、幸区)



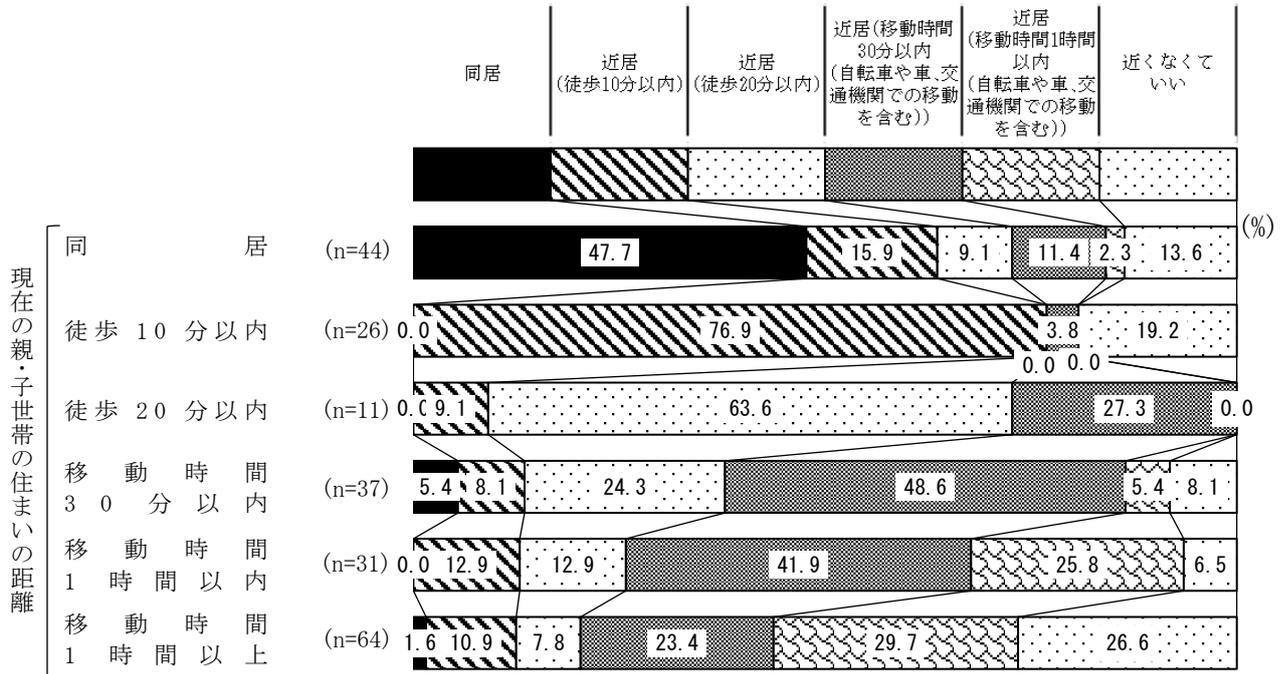
図表1-50 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、中原区)



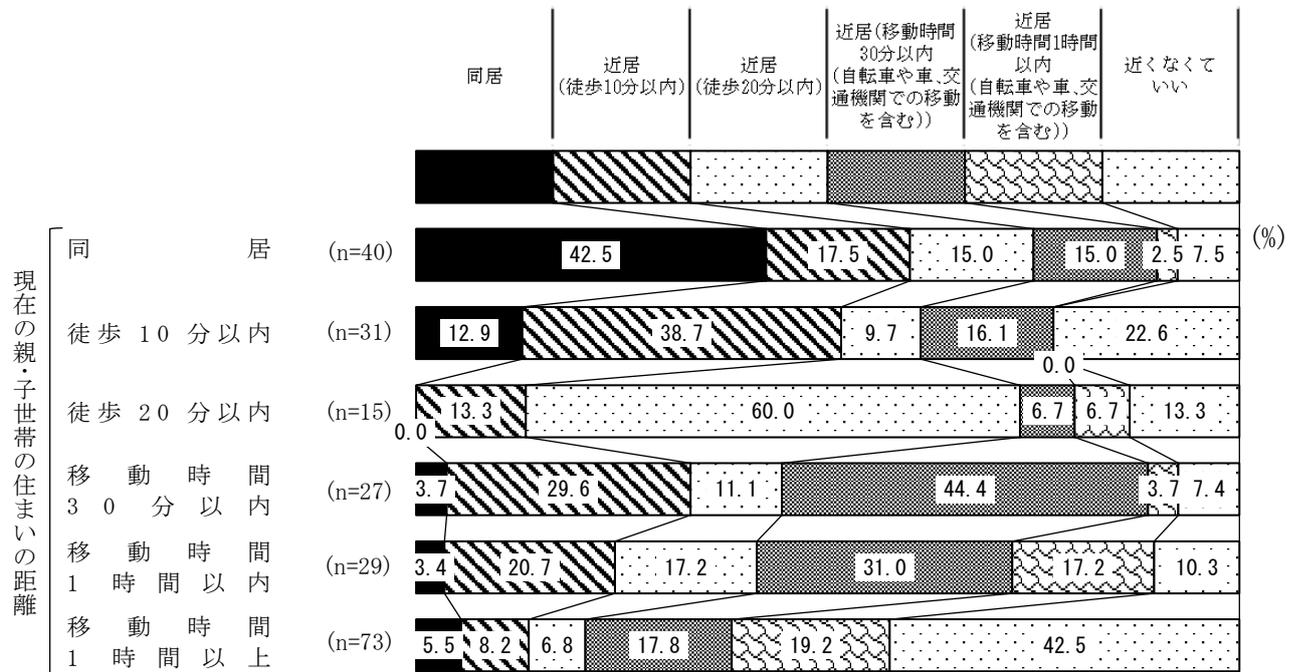
図表1-51 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、高津区)



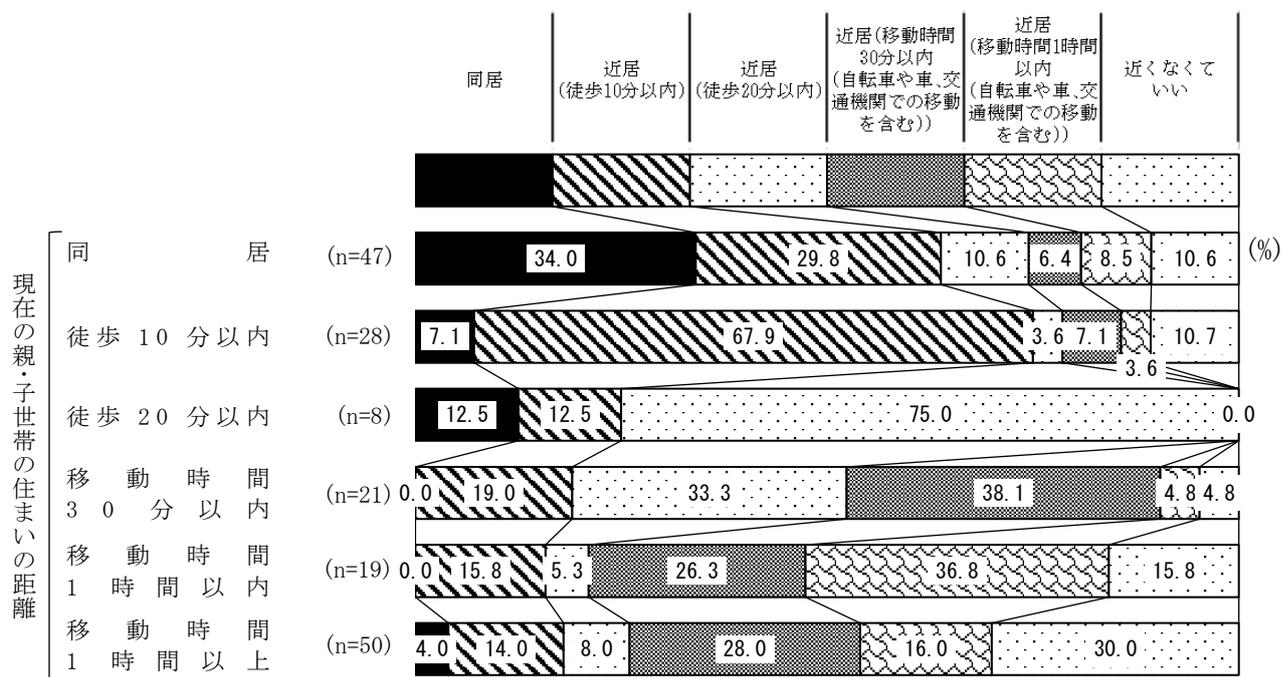
図表1-52 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、宮前区)



図表1-53 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、多摩区)



図表1-54 親もしくは子世帯との理想の距離  
(理想の距離×現在の距離、麻生区)



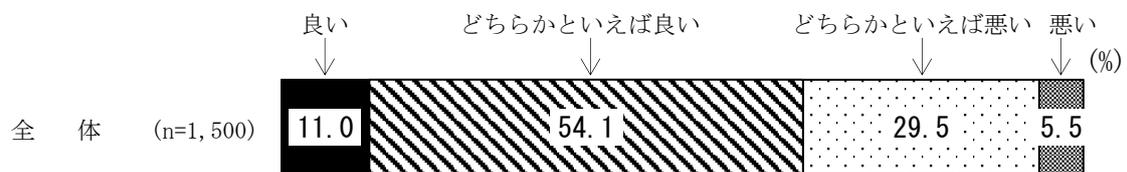
## 2 都市景観について

### 2-1 川崎市全体の景観

◎「良い」と「どちらかといえば良い」を合計した<良い>が65.1%

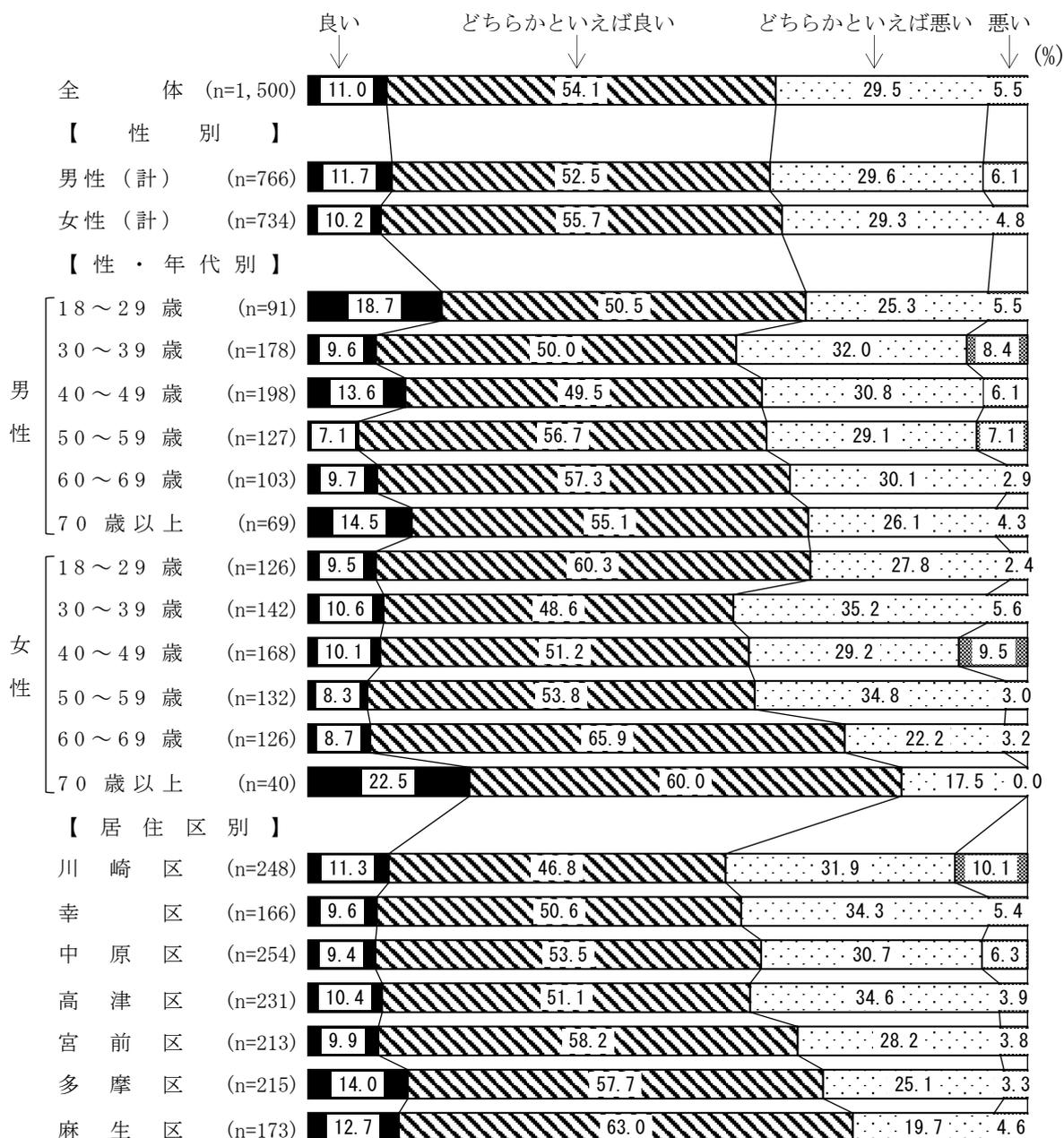
B1. 川崎市全体の景観について、どのような印象をお持ちですか。

図表2-1 川崎市全体の景観



川崎市全体の景観について、「良い」(11.0%)、「どちらかといえば良い」(54.1%)となり、約7割の方が<良い>と回答している。

図表2-2 川崎市全体の景観（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、男女ともに、30歳以上59歳以下の年代に比べ、18～29歳と60歳以上の年代の方が「良い」と「どちらかといえば良い」の合計が高く、特に女性の60～69歳と70歳以上では「良い」と「どちらかといえば良い」の合計が7割を超えている。

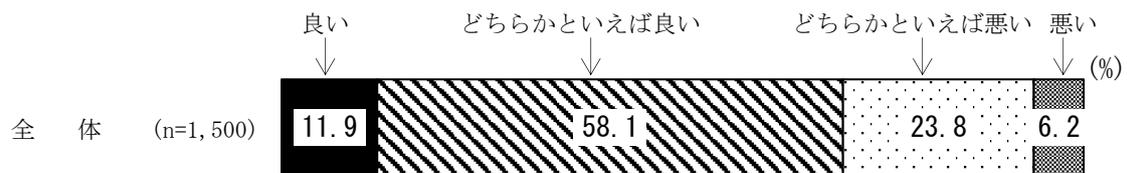
居住区別では、麻生区で「良い」と「どちらかといえば良い」の合計が75.7%と最も高い。

## 2-2 お住まいの地域周辺(町内会や自治会ぐらいの範囲)の景観

◎「良い」と「どちらかといえば良い」を合計した<良い>が70.0%

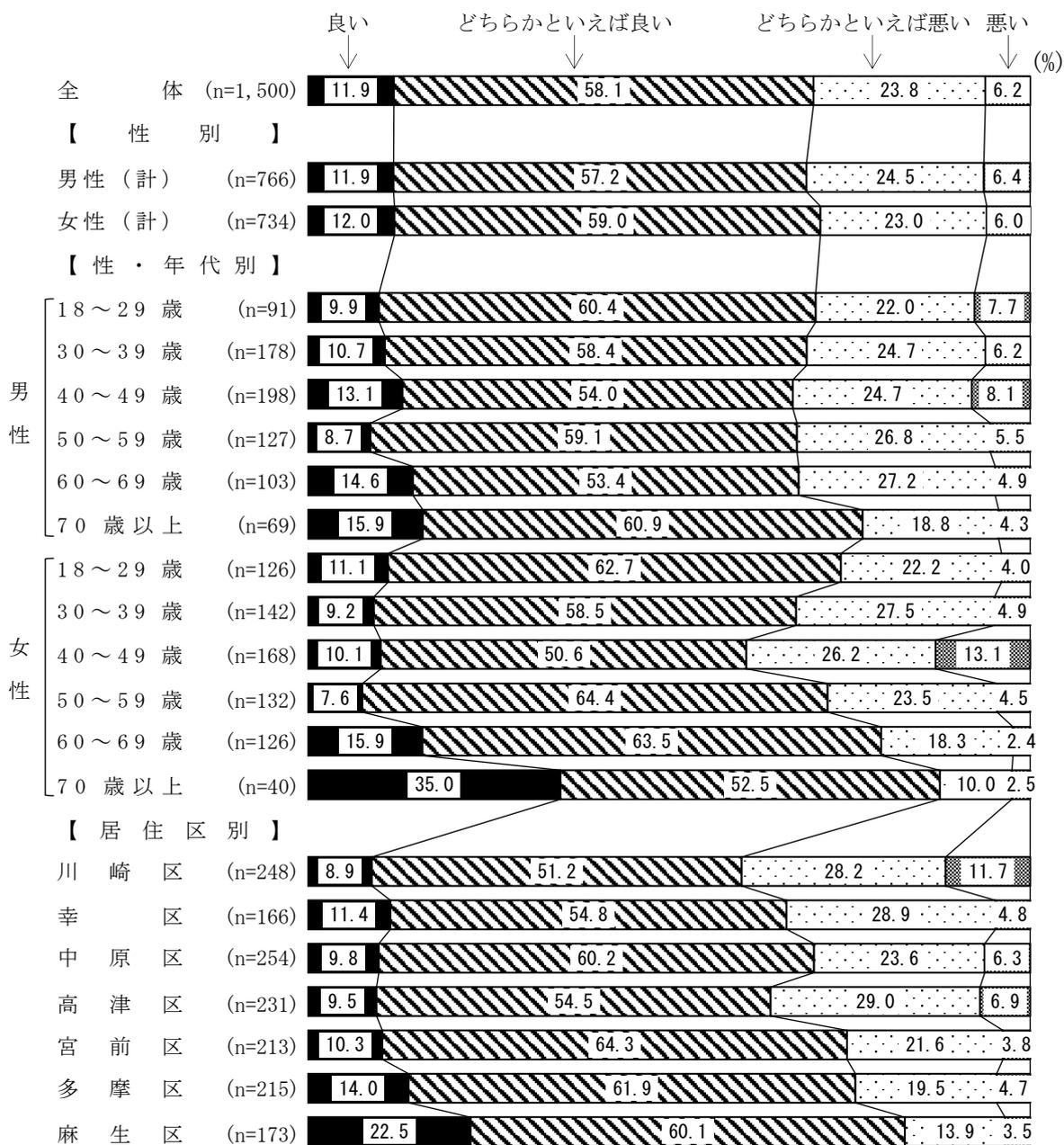
B2. あなたがお住まいの地域周辺(町内会自治会ぐらいの範囲)の景観について、どのような印象をお持ちですか。

図表2-3 お住まいの地域周辺(町内会や自治会ぐらいの範囲)の景観



お住まいの地域周辺(町内会や自治会ぐらいの範囲)の景観については、「良い」(11.9%)、「どちらかといえば良い」(58.1%)となり、川崎市全体の景観と同様に<良い>が7割に上っている。

図表2-4 お住まいの地域周辺(町内会や自治会ぐらいの範囲)の景観  
(性/年齢別・居住区別)

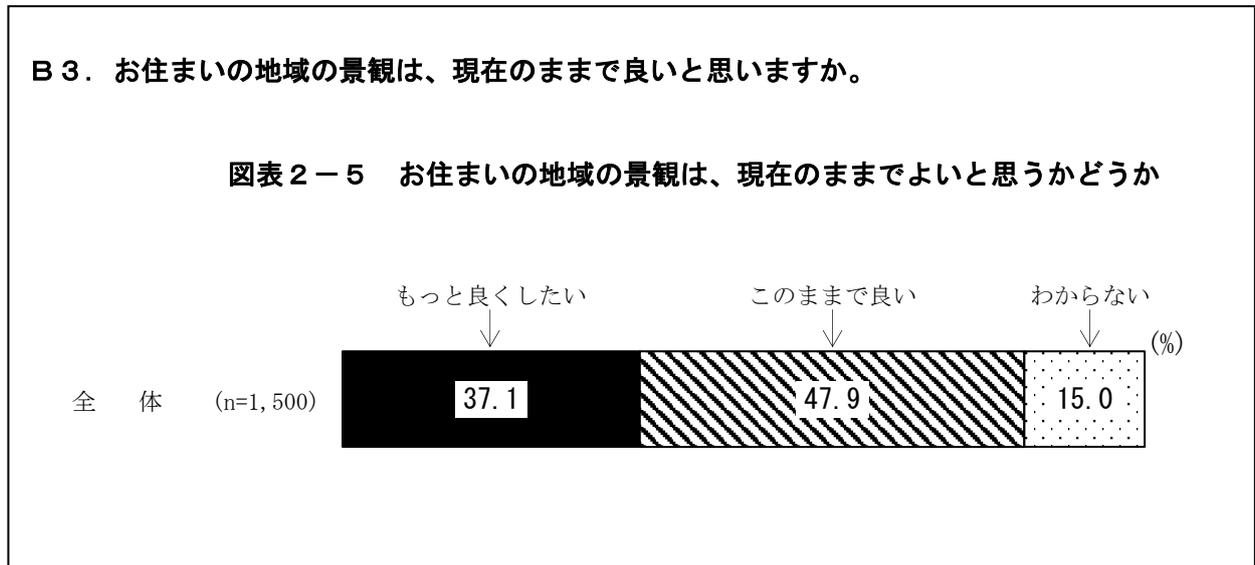


性/年齢別では、男性の18～29歳と70歳以上、女性の18～29歳と50歳以上の年代で、「良い」と「どちらかといえば良い」の合計が7割を超えている。

居住区別では、麻生区で「良い」と「どちらかといえば良い」の合計が8割を超え最も高く、多摩区、宮前区、中原区でも7割を超えている。

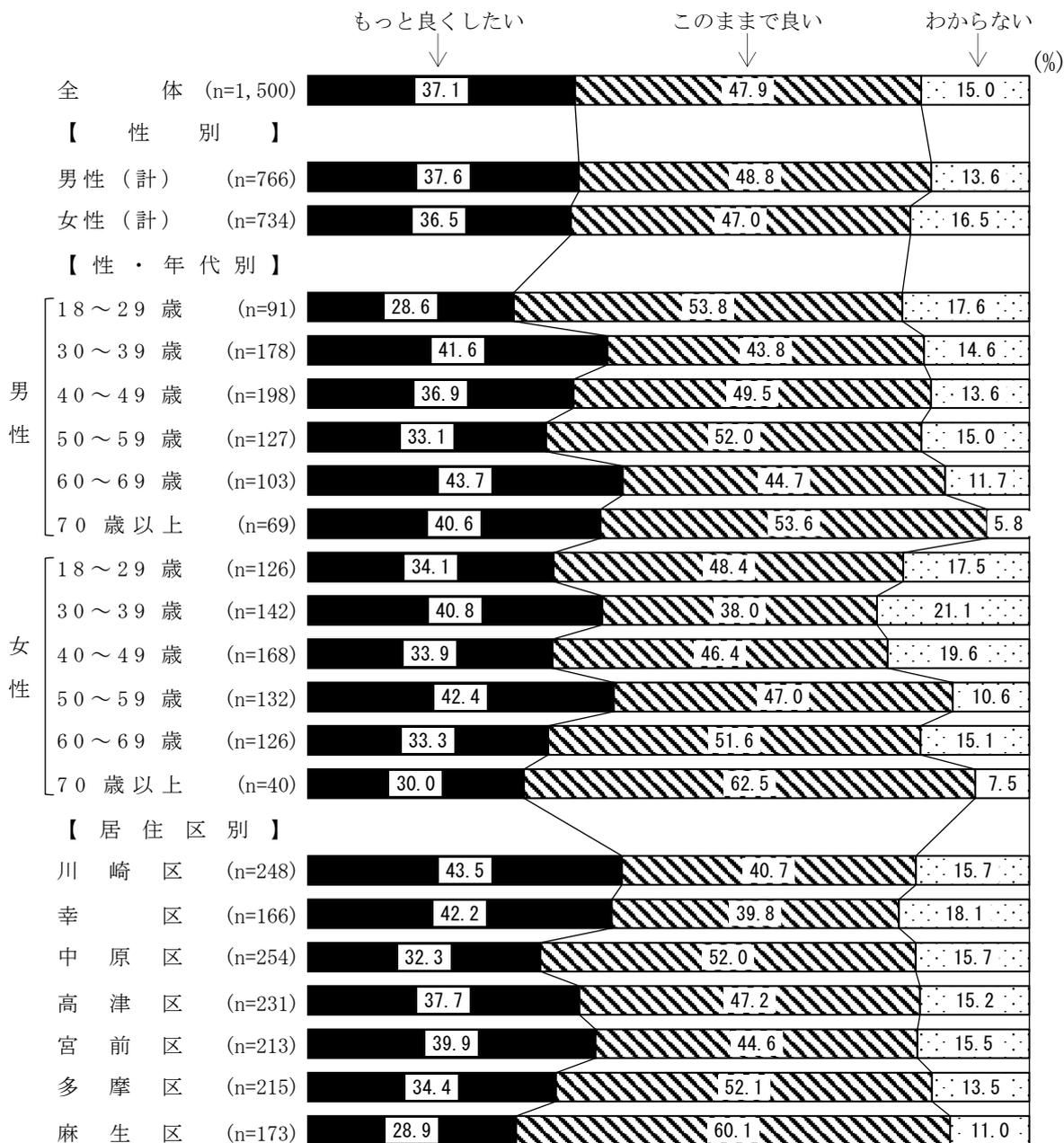
## 2-3 お住まいの地域の景観は、現在のままでよいと思うかどうか

◎「このままで良い」が47.9%



お住まいの地域の景観について、「このままで良い」が47.9%、「もっと良くしたい」が37.1%となっている。

図表2-6 お住まいの地域の景観は、現在のままでよいと思うかどうか  
(性/年齢別・居住区別)

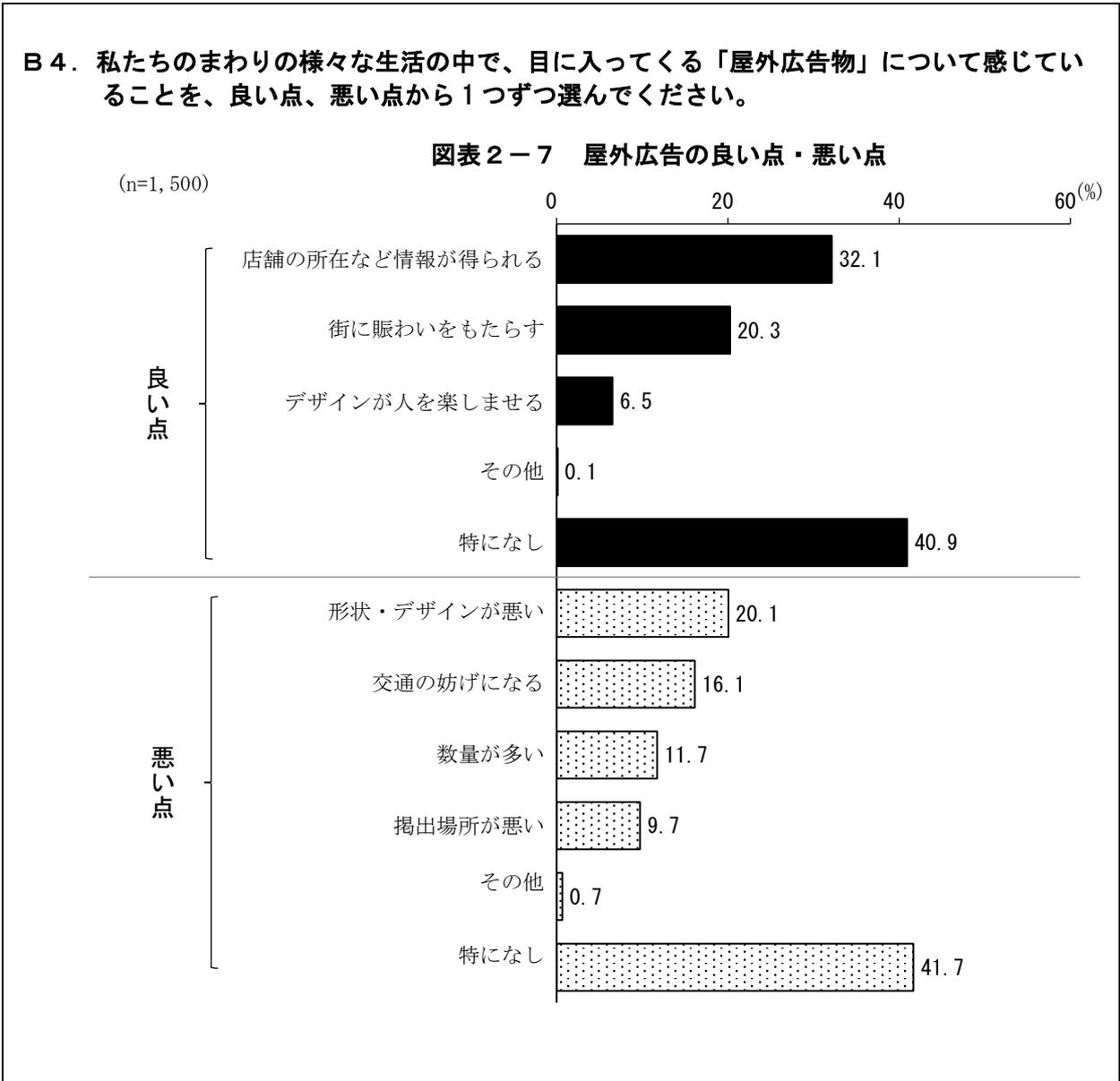


性/年齢別では、女性の70歳以上をはじめとして「このままで良い」が5割程度あるいはそれ以上となる年代が多いが、女性の30～39歳では「もっと良くしたい」が「このままで良い」を上回っている。

居住区別では、麻生区、多摩区、中原区では「このままで良い」が5～6割に上っている一方で、川崎区と幸区では「もっと良くしたい」が「このままで良い」を上回っている。

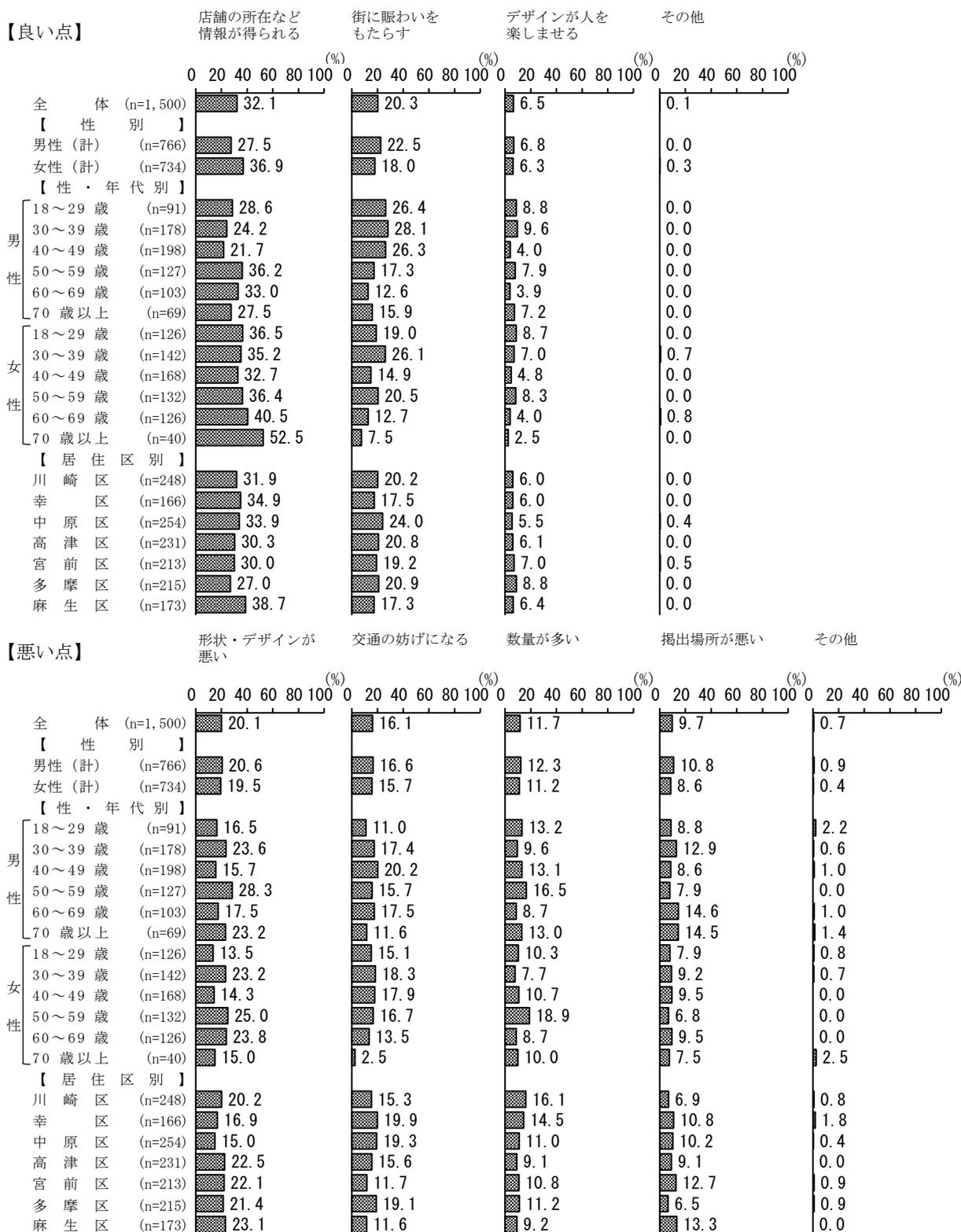
## 2-4 「屋外広告物」について感じること

◎良い点は「店舗の所在など情報が得られる」で32.1%、悪い点は「形状・デザインが悪い」で20.1%



「屋外広告物」の良い点としては「店舗の所在など情報が得られる」(32.1%)、「街に賑わいをもたらす」(20.3%)が高く、悪い点としては「形状・デザインが悪い」(20.1%)、「交通の妨げになる」(16.1%)が高い。

図表2-8 屋外広告の良い点・悪い点(性/年齢別・居住区別 上位4/5項目)



性/年齢別では、男性の49歳以下の年代と女性の30~39歳で「街に賑わいをもたらす」を良い点とする割合が、他の年代よりも高い。

居住区別では、川崎区と幸区で、他の区に比べ、「数量が多い」を悪い点とする割合が高い。

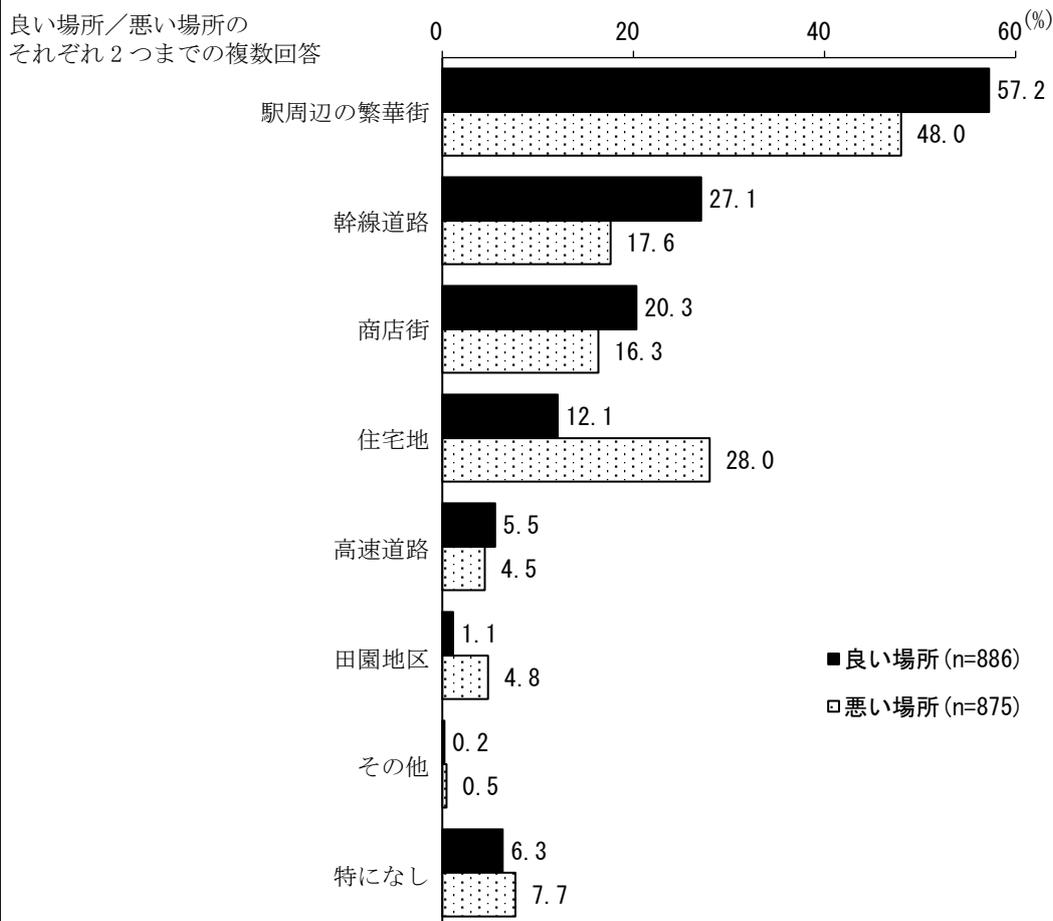
## 2-5 「良い点」「悪い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所

◎良い点を感じる場所、悪い点を感じる場所いずれも「駅周辺の繁華街」

B5. B4で良い点を感じると回答いただいた「屋外広告物」は主にどこの場所で目にしますか。(2つまで)

B6. B4で悪い点を感じると回答いただいた「屋外広告物」は主にどこの場所で目にしますか。(2つまで)

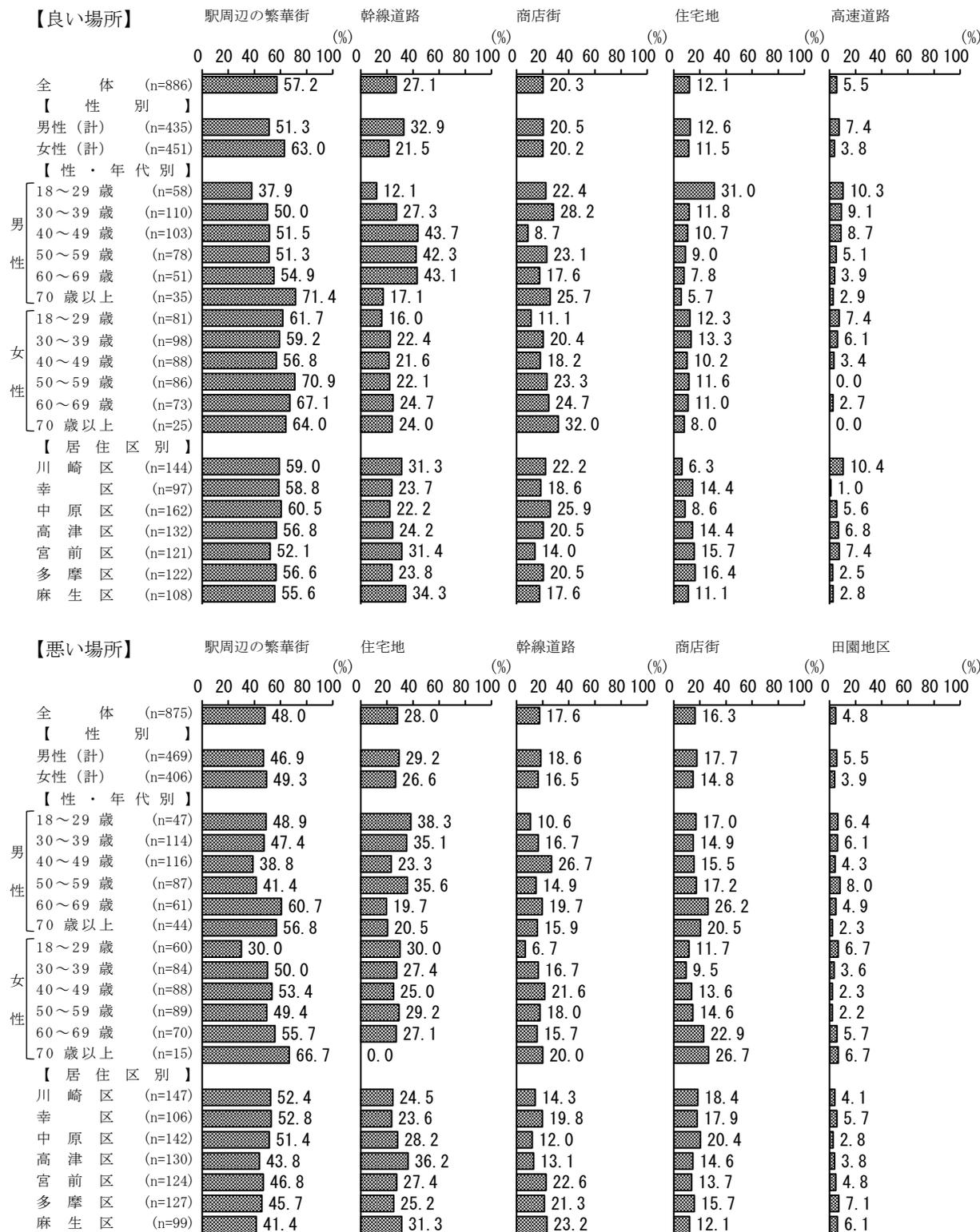
図表2-9 「良い点」「悪い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所



「屋外広告物」に対して「良い点」を感じると回答した人(n=886)が、「良い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所としては、「駅周辺の繁華街」(57.2%)が最も高く、次いで「幹線道路」(27.1%)、「商店街」(20.3%)の順となっている。

一方、「屋外広告物」に対して「悪い点」を感じると回答した人(n=875)が「悪い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所では、「駅周辺の繁華街」(48.0%)が最も高く、次いで「住宅地」(28.0%)、「幹線道路」(17.6%)の順となっている。

図表2-10 「良い点」「悪い点」を感じる「屋外広告物」を目にする場所  
(性/年齢別・居住区別 上位5項目)



性/年齢別では、「良い点」を感じる屋外広告を目にする場所について、男性の40歳以上69歳以下の年代では、「幹線道路」が4割程度と他の年代よりも高い。

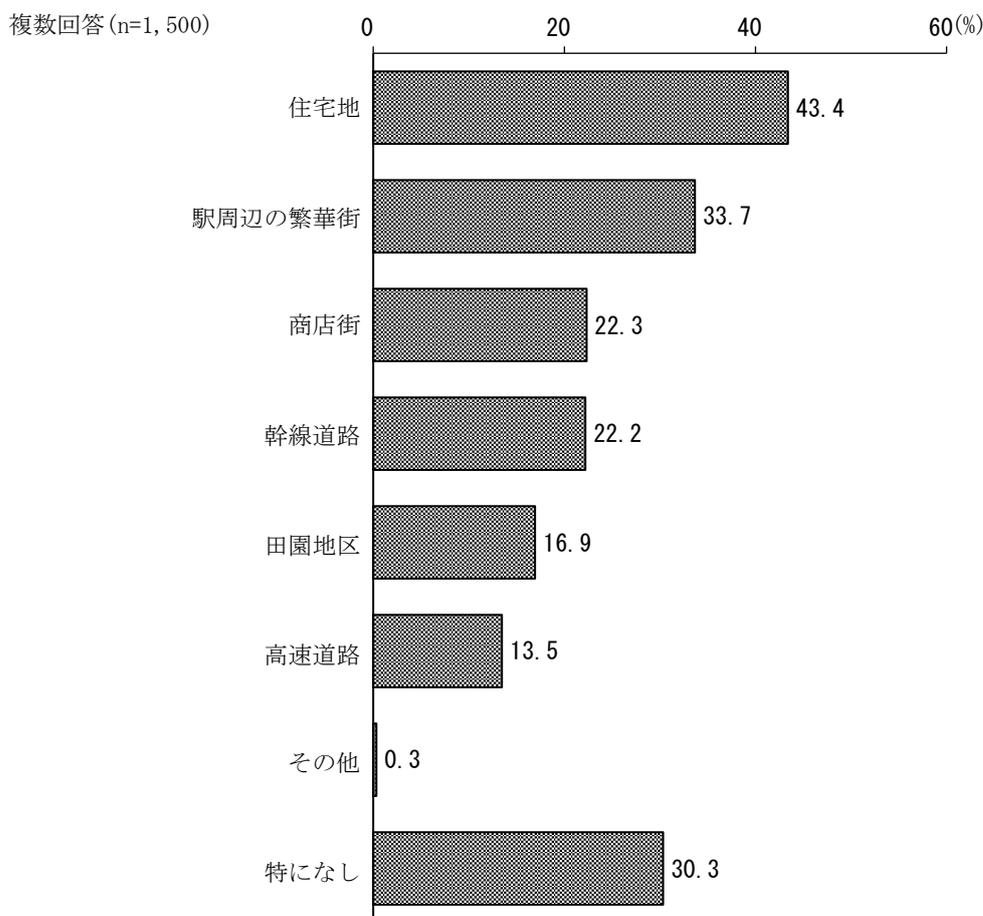
居住区別では、「悪い点」を感じる屋外広告を目にする場所として、川崎区、幸区、中原区では「駅周辺の繁華街」が5割を超えている。

## 2-6 「屋外広告物」についての基準(制限)を定める必要があると思う場所

◎最も基準を定める必要がある場所は「住宅地」で43.4%

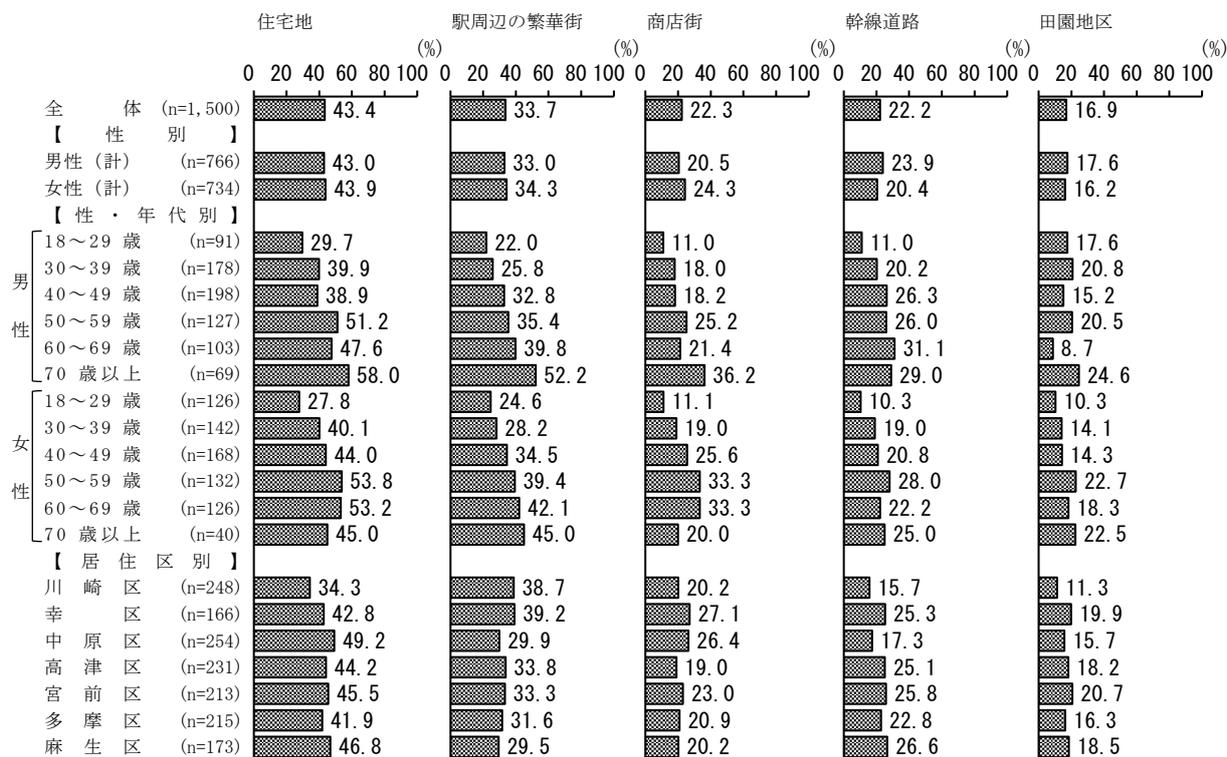
B7. 下記に示す場所において、魅力ある景観形成を進めていくために、屋外広告物の位置や大きさ、色彩といったデザインなどについて基準(制限)を定める必要があると思いますか。基準を定める必要があると思う場所をすべて選んでください。(いくつでも)

図表2-11 魅力ある景観形成を進めるために基準を定める必要がある場所



魅力ある景観形成のために「屋外広告物」についての基準(制限)を定める必要がある場所は、「住宅地」(43.4%)が最も高く、次いで「駅周辺の繁華街」(33.7%)の順となっている。

図表2-12 魅力ある景観形成を進めるために基準を定める必要がある場所  
(性/年齢別・居住区別 上位5項目)



性/年齢別では、男女ともに50歳以上の年代で「住宅地」が5割程度となっている。また、男女ともに、年代が上がるにつれ、「駅周辺の繁華街」が高くなっている。

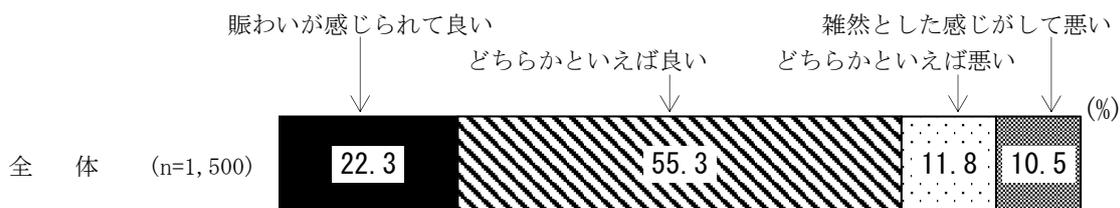
居住区別では、川崎区、幸区で「駅周辺の繁華街」が4割程度と、他の区に比べ高い。

## 2-7 公共空間の利活用についての景観上の印象

◎「賑わいを感じられて良い」と「どちらかといえば良い」を合計した<良い>が77.7%

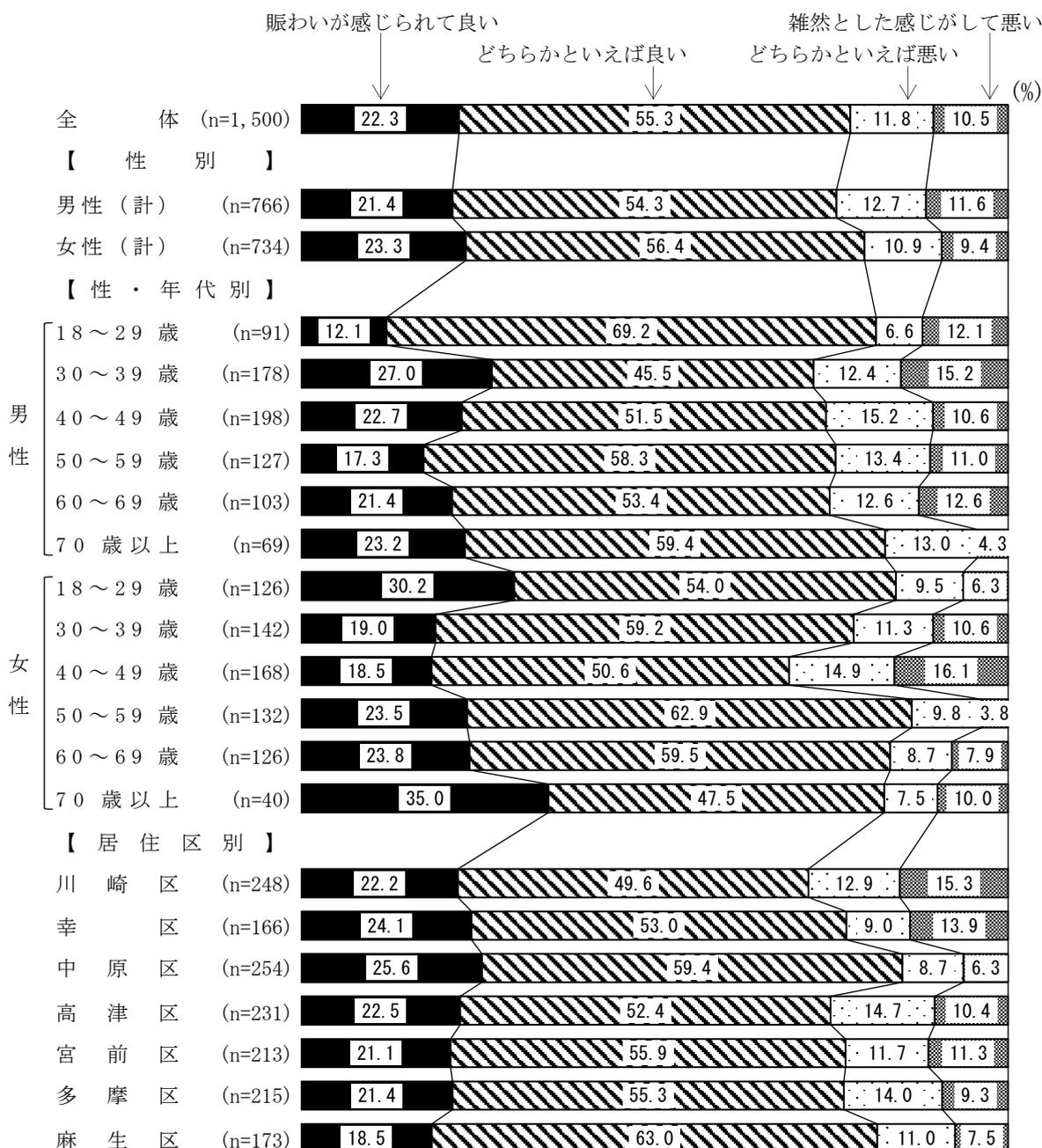
B8. 近年、道路等の公共空間において、カフェを設置したり、イベントを開催したりするような「公共空間の利活用」が増えています。このような「公共空間の利活用」について、景観上どのような印象をお持ちですか。

図表2-13 公共空間の利活用についての景観上の印象



道路等の公共空間において、カフェを設置したり、イベントを開催したりするような「公共空間の利活用」について、「賑わいを感じられて良い」と「どちらかといえば良い」を合計して、77.7%が景観上の印象が<良い>と回答している。

図表 2-14 公共空間の利活用についての景観上の印象 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の18~29歳と70歳以上、女性の18歳~29歳と50歳以上の年代で、「賑わいを感じられて良い」と「どちらかといえば良い」を合計した<良い>が8割を超えている。

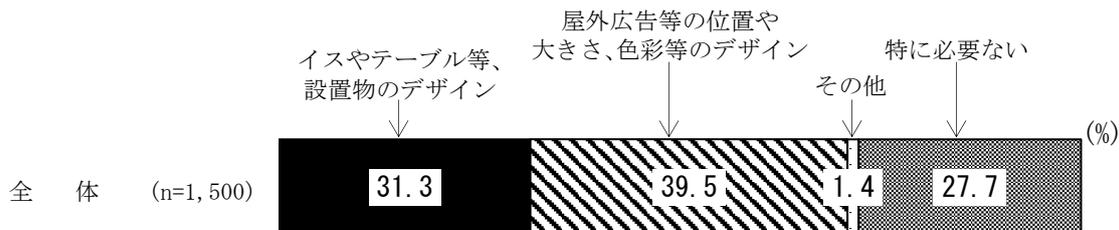
居住区別では、中原区と麻生区で「賑わいを感じられて良い」と「どちらかといえば良い」を合計した<良い>が8割を超えている。

## 2-8 公共空間の利活用について景観上配慮すべき点

◎「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」が39.5%

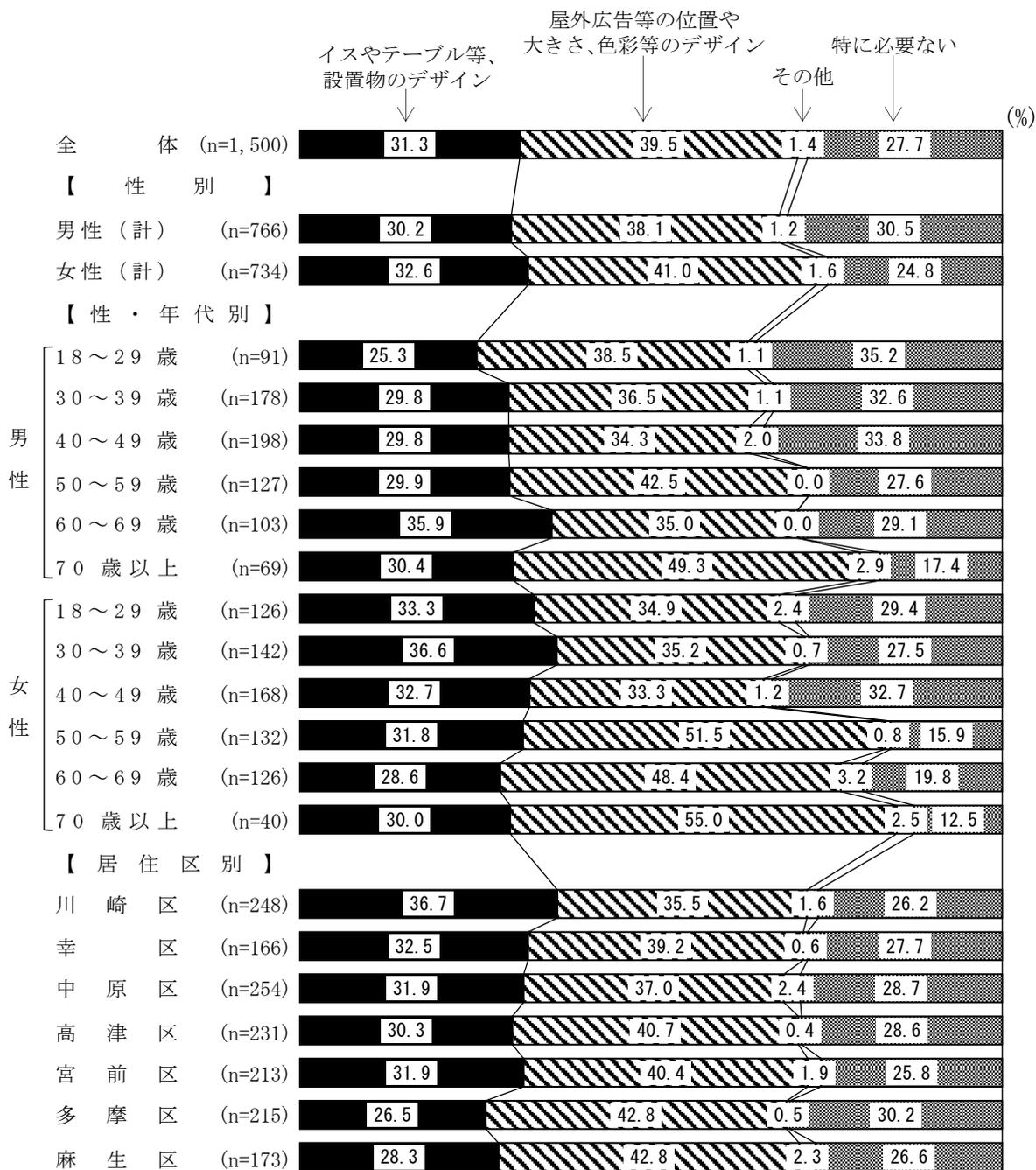
B9. 「公共空間の利活用」について、景観上どのような点について配慮をおこなうべきだと思いますか。

図表2-15 公共空間の利活用について景観上配慮すべき点



公共空間の利活用について景観上配慮すべき点としては、「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」が39.5%で、次いで「イスやテーブル等、設置物のデザイン」が31.3%となっている。また、「特に必要ない」が27.7%となっている。

図表2-16 公共空間の利活用について景観上配慮すべき点（性/年齢別・居住区別）



性/年齢別では、男性の60~69歳と女性の49歳以下の年代では、「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」と「イスやテーブル等、設置物のデザイン」が同程度となっているが、他の年代では、「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」が最も高い。

居住区別では、川崎区では「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」と「イスやテーブル等、設置物のデザイン」が同程度となっているが、他の区では、「屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン」が最も高い。

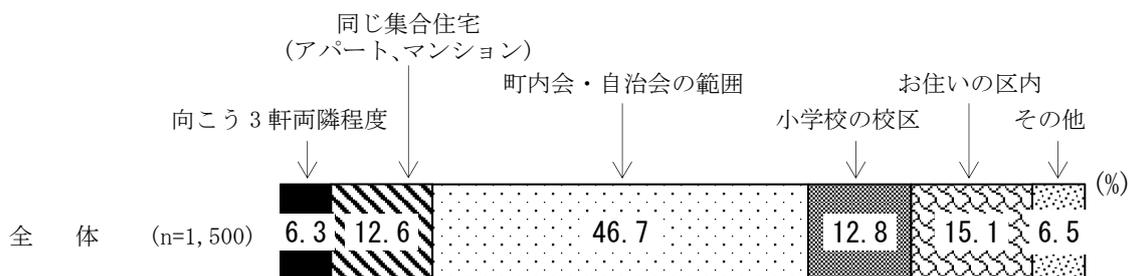
### 3 市民自治の実態等について

#### 3-1 地域の範囲

◎「町内会・自治会の範囲」が46.7%

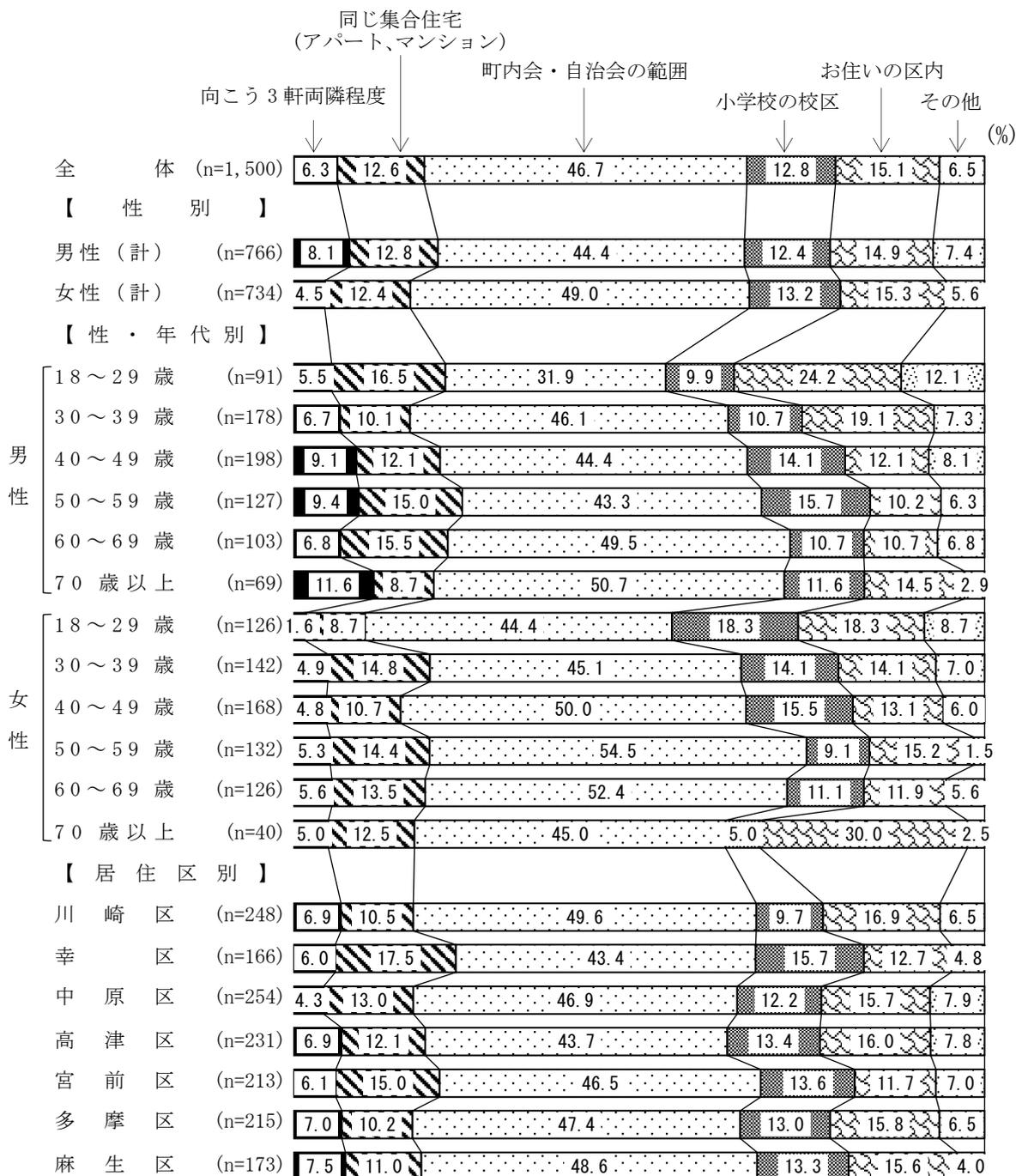
Q1. あなたにとって、「地域」とは、次のうちどの範囲をさすものですか。

図表3-1 地域の範囲



自身にとっての「地域」の範囲について、半数近く(46.7%)の方が「町内会・自治会の範囲」と回答している。2番目に高いのは「お住いの区内」で15.1%、以下、「小学校の校区」(12.8%)、「同じ集合住宅(アパート、マンション)」(12.6%)、「向こう3軒両隣程度」(6.3%)の順となっている。

図表3-2 地域の範囲(性/年齢別・居住区別)

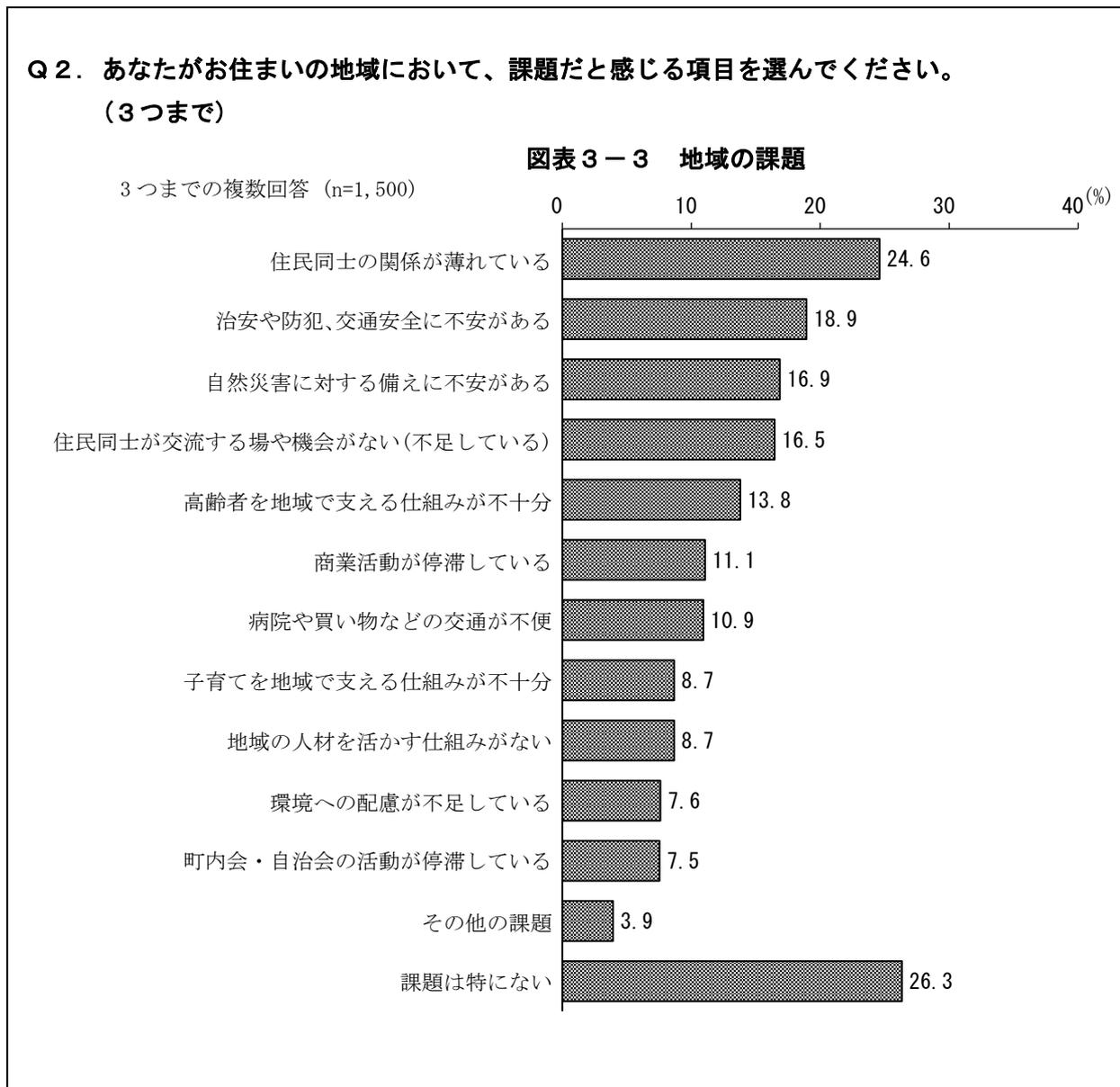


性/年齢別では、男性の18~29歳(31.9%)を除いて、すべての年代で半数前後が「町内会・自治会の範囲」と回答している。男女ともに18~29歳は、他の年代に比べ、より広い範囲を回答する方の割合が高い(「小学校の校区」と「お住まいの区内」を合わせた割合は、男性の18~29歳で34.1%、女性の18~29歳で36.5%)。

居住区別では、最も高い川崎区(49.6%)をはじめ、すべての区で「町内会・自治会の範囲」が4割を超えている。

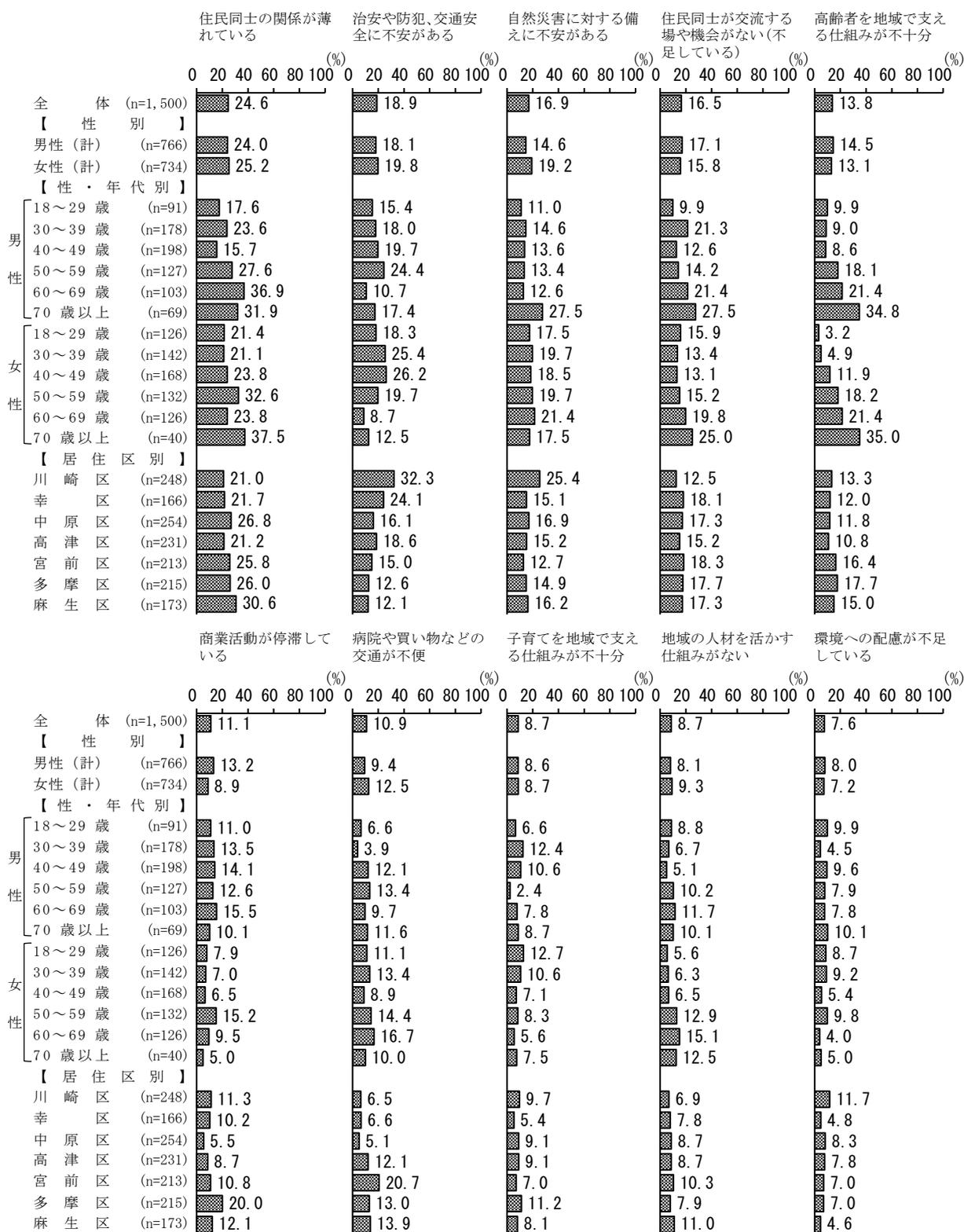
### 3-2 地域の課題

◎「住民同士の関係が薄れている」が24.6%



お住まいの地域の課題について、「住民同士の関係が薄れている」(24.6%)が最も高く、次いで、「治安や防犯、交通安全に不安がある」(18.9%)、「自然災害に対する備えに不安がある」(16.9%)、「住民同士が交流する場や機会がない(不足している)」(16.5%)の順となっている。

図表3-4 地域の課題(性/年齢別・居住区別 上位10項目)



性/年齢別では、ほとんどの年代で、「住民同士の関係が薄れている」が最も回答割合が高い地域の課題となっている中で、男性の40~49歳、女性の30~39歳と40~49歳では「治安や防犯、交通安全に不安がある」が最も高く、男性の70歳以上では「高齢者を地域で支える仕組みが不十分」が最も高い。

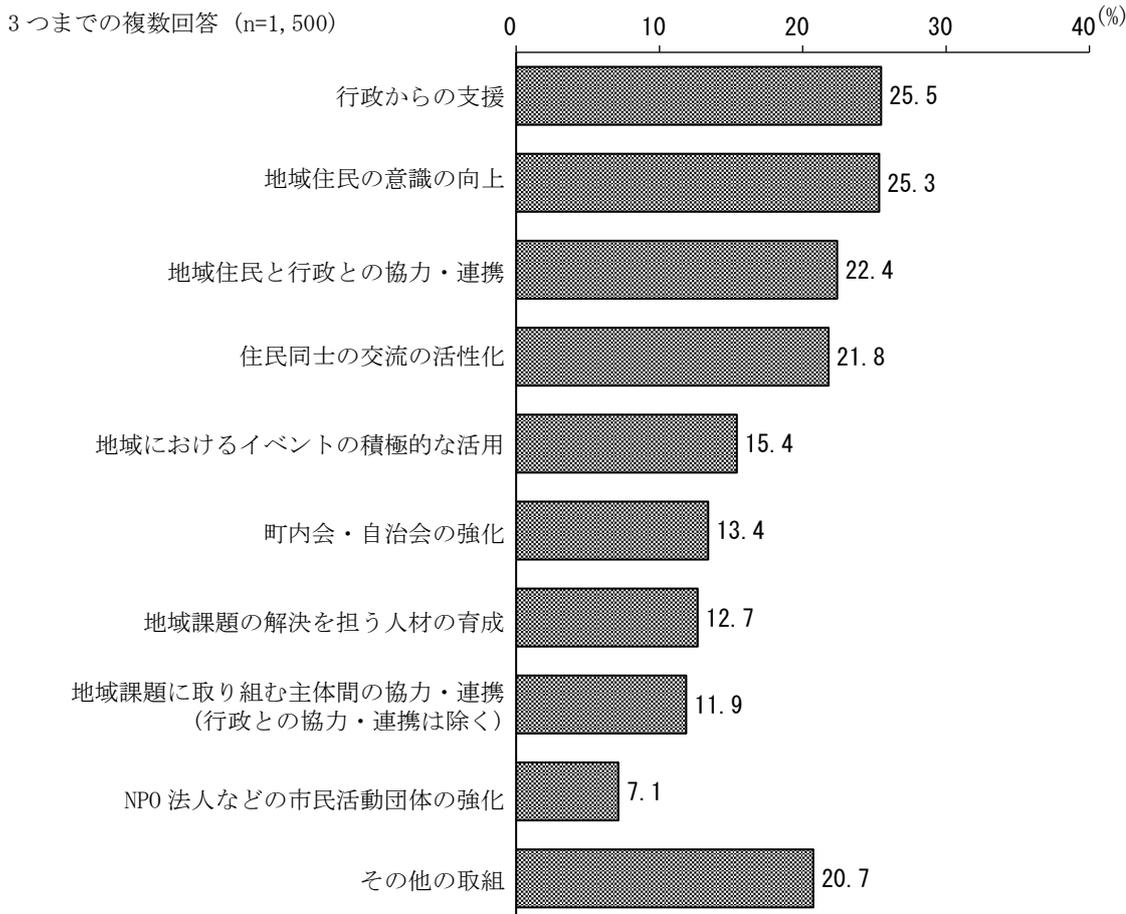
居住区別では、川崎区と幸区では「治安や防犯、交通安全に不安がある」が最も高い。

### 3-3 地域の課題解決に有効な取り組み

◎「行政からの支援」が25.5%、「地域住民の意識の向上」が25.3%

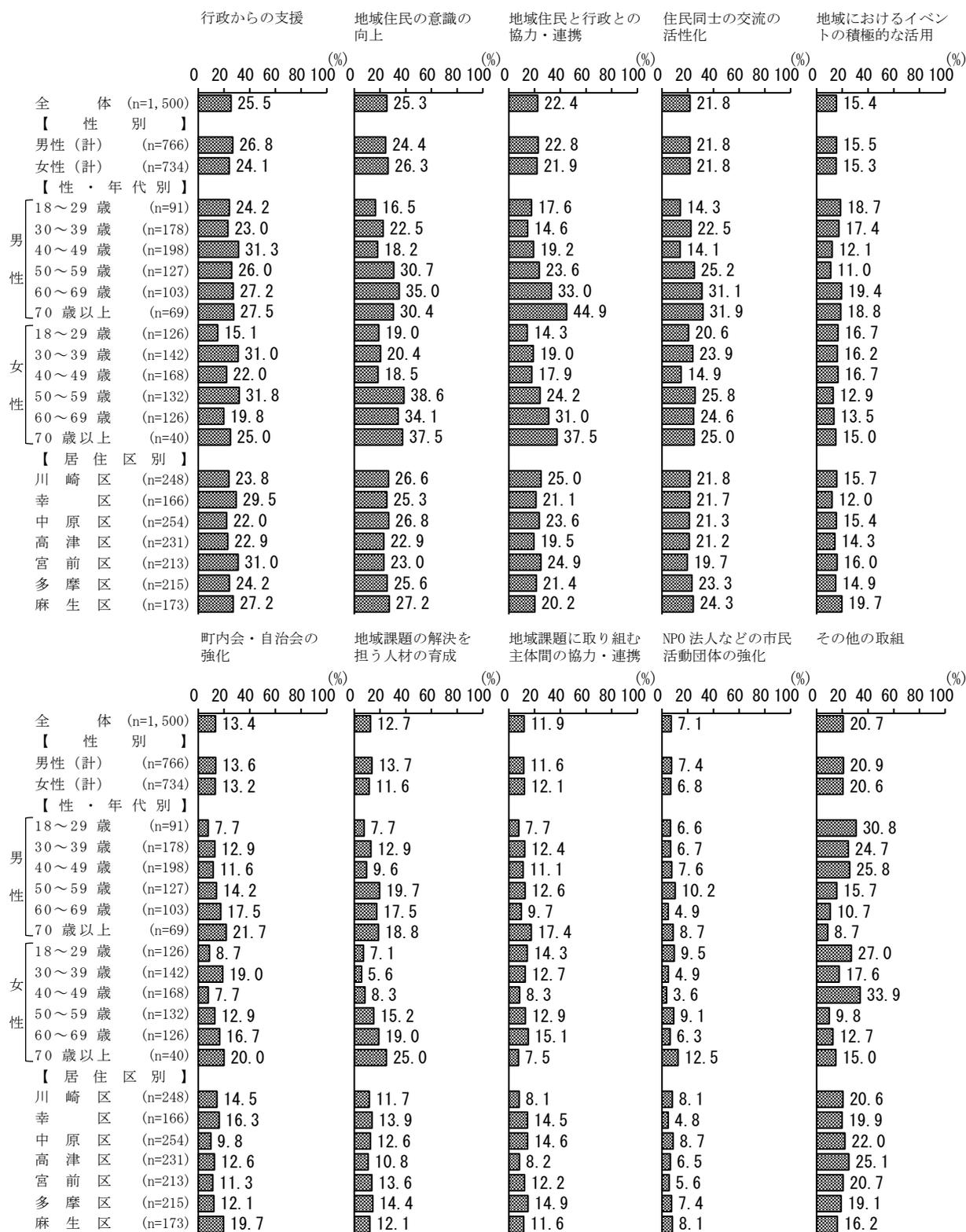
Q3. あなたがお住まいの地域における課題を解決するための取組として、何が有効だと思いますか。(3つまで)

図表3-5 地域の課題解決のために有効な取り組み



お住まいの地域において感じている課題解決に有効な取り組みとしては、回答割合が高いものから順に、「行政からの支援」(25.5%)、「地域住民の意識の向上」(25.3%)、「地域住民と行政との協力・連携」(22.4%)、「住民同士の交流の活性化」(21.8%)となっている。

図表3-6 地域の課題解決に有効な取り組み（性／年齢別・居住区別）



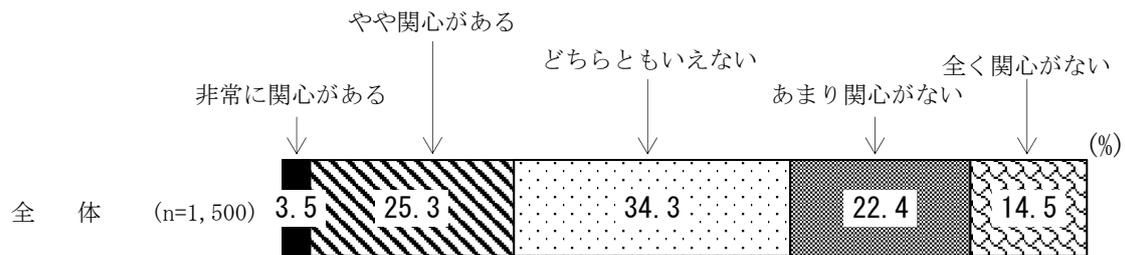
「地域住民の意識の向上」については、男女ともに50歳以上の年代で高くなる傾向となっている。また、「地域住民と行政との協力・連携」は、男女ともに70歳以上で最も高い。

### 3-4 社会活動・地域活動への関心度

◎「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合計した＜関心がある＞が28.8%

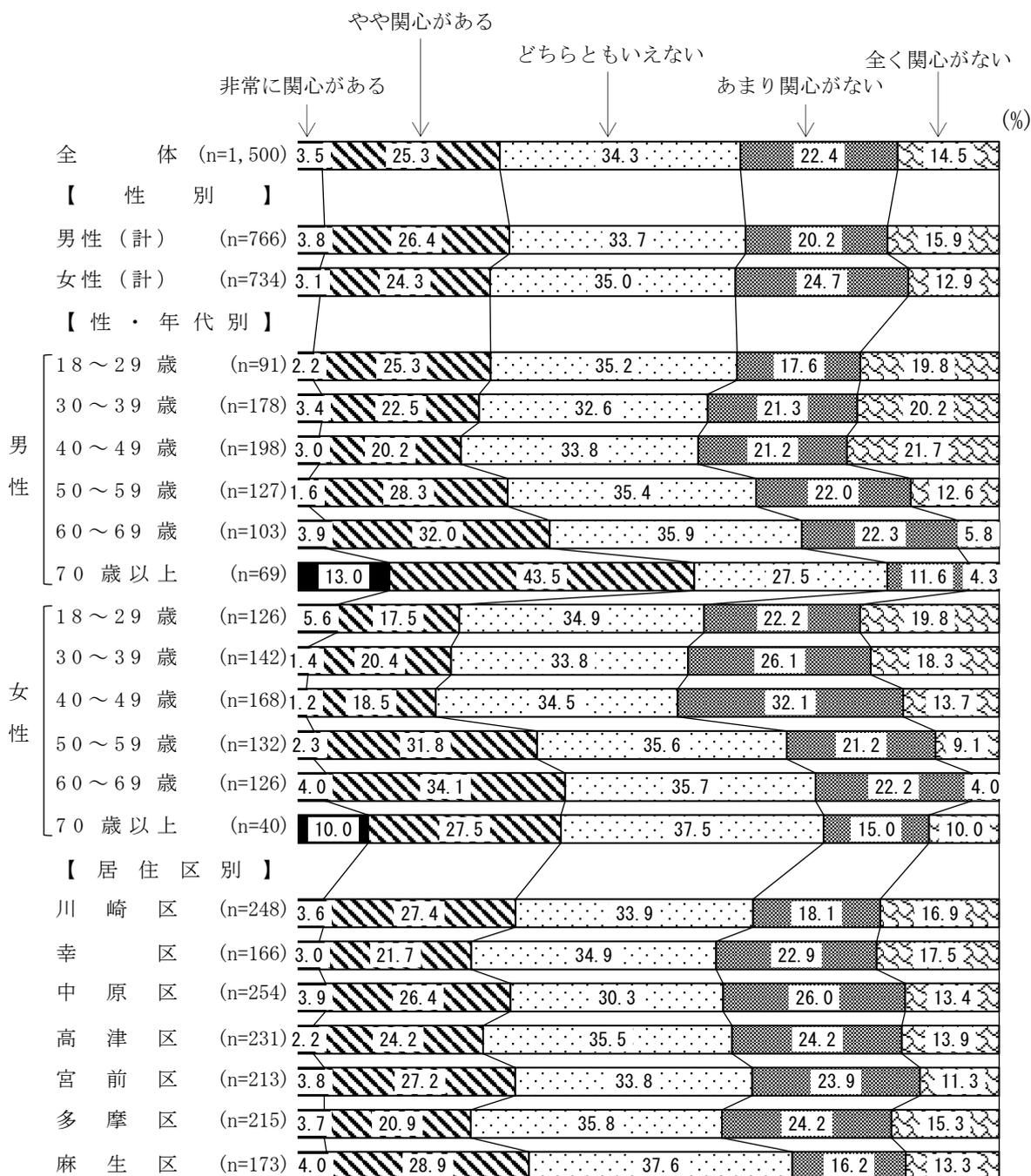
Q4. あなたは、社会活動、地域活動にどの程度関心を持っていますか。

図表3-7 社会活動・地域活動の関心度



社会活動・地域活動に対して、28.8%の方が＜関心がある＞（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）と回答している。

図表3-8 社会活動・地域活動の関心度（性／年齢別・居住区別）

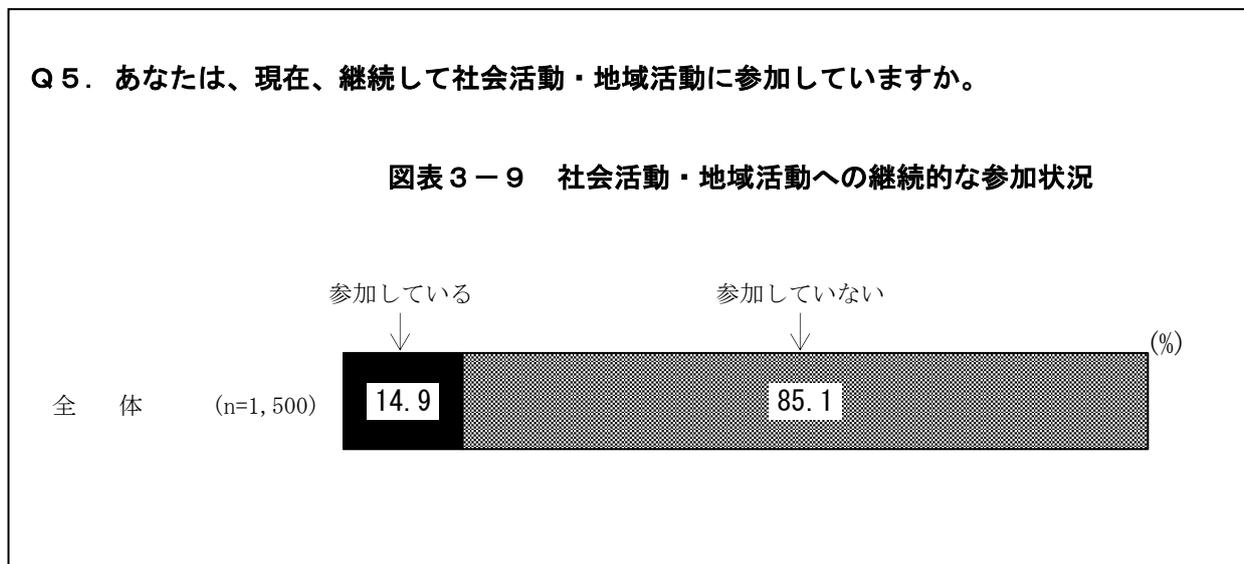


性／年齢別では、男性の60～69歳と70歳以上、女性の50歳以上の年代では、社会活動・地域活動に＜関心がある＞（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が3割を超え、特に男性の70歳以上では＜関心がある＞が56.5%と最も高くなっている。

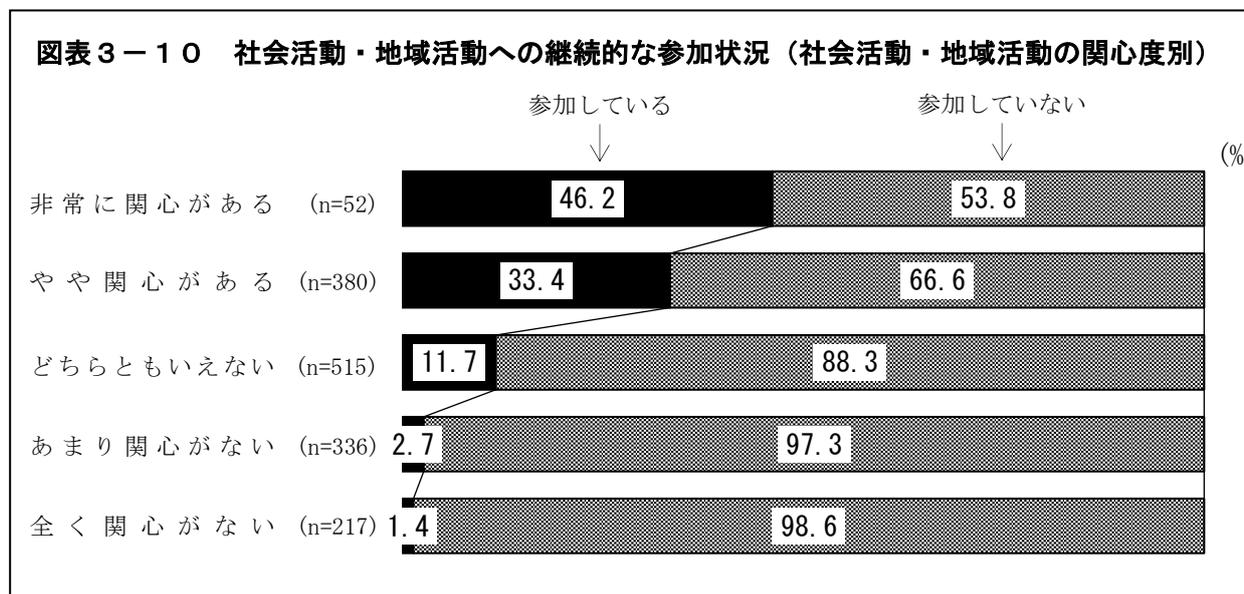
居住区別では、麻生区(32.9%)で最も＜関心がある＞が高く、宮前区、川崎区、中原区においても＜関心がある＞が3割を超えている。

### 3-5 社会活動・地域活動への継続的な参加状況

◎「参加していない」が85.1%

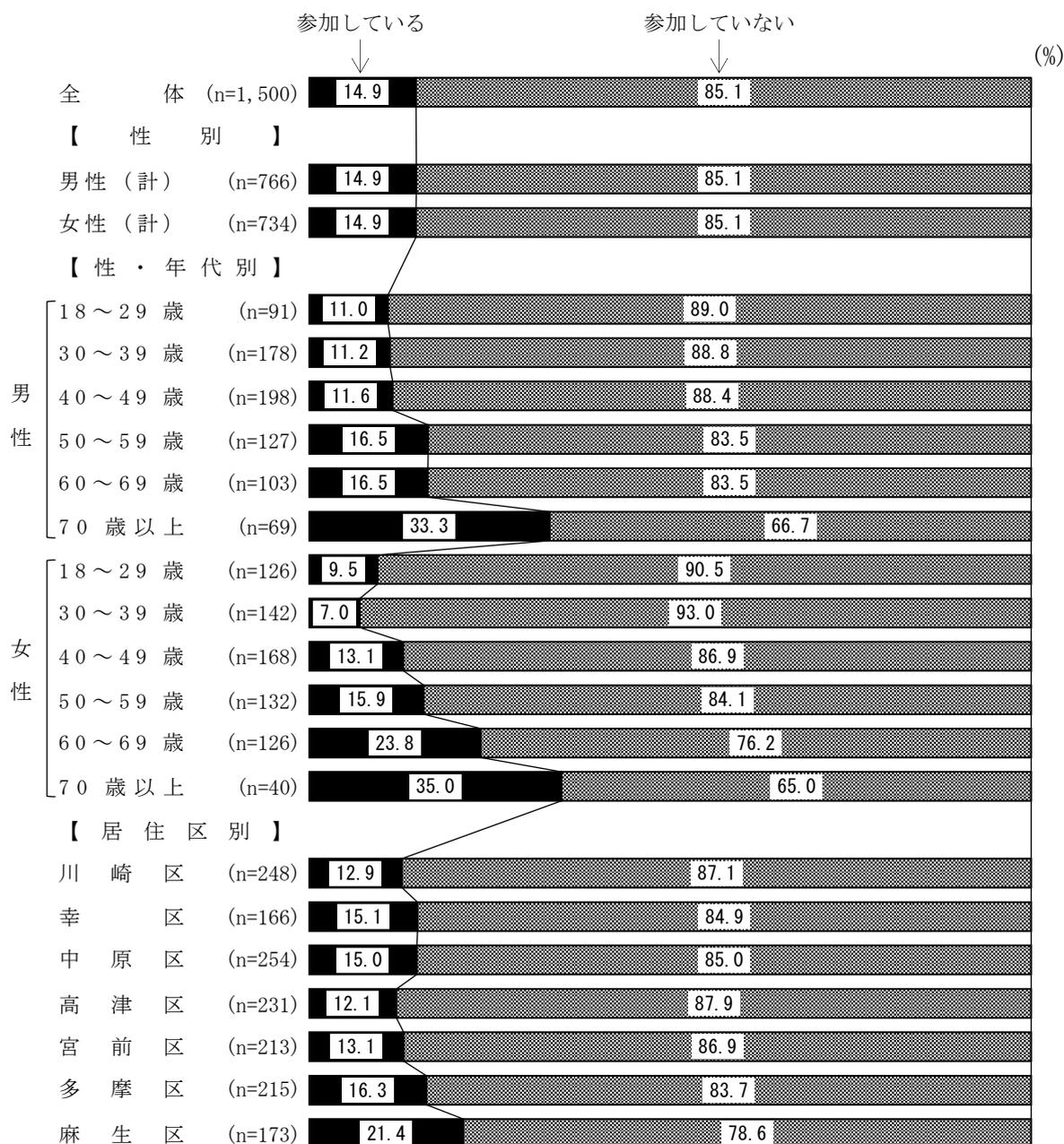


現在、継続的に社会活動・地域活動に「参加している」と回答した人の割合は14.9%となっている。



社会活動・地域活動に「非常に興味がある」人では46.2%、「やや興味がある」人では33.4%が、現在、社会活動・地域活動に「参加している」と回答している。

図表3-11 社会活動・地域活動への継続的な参加状況(性/年齢別・居住区別)

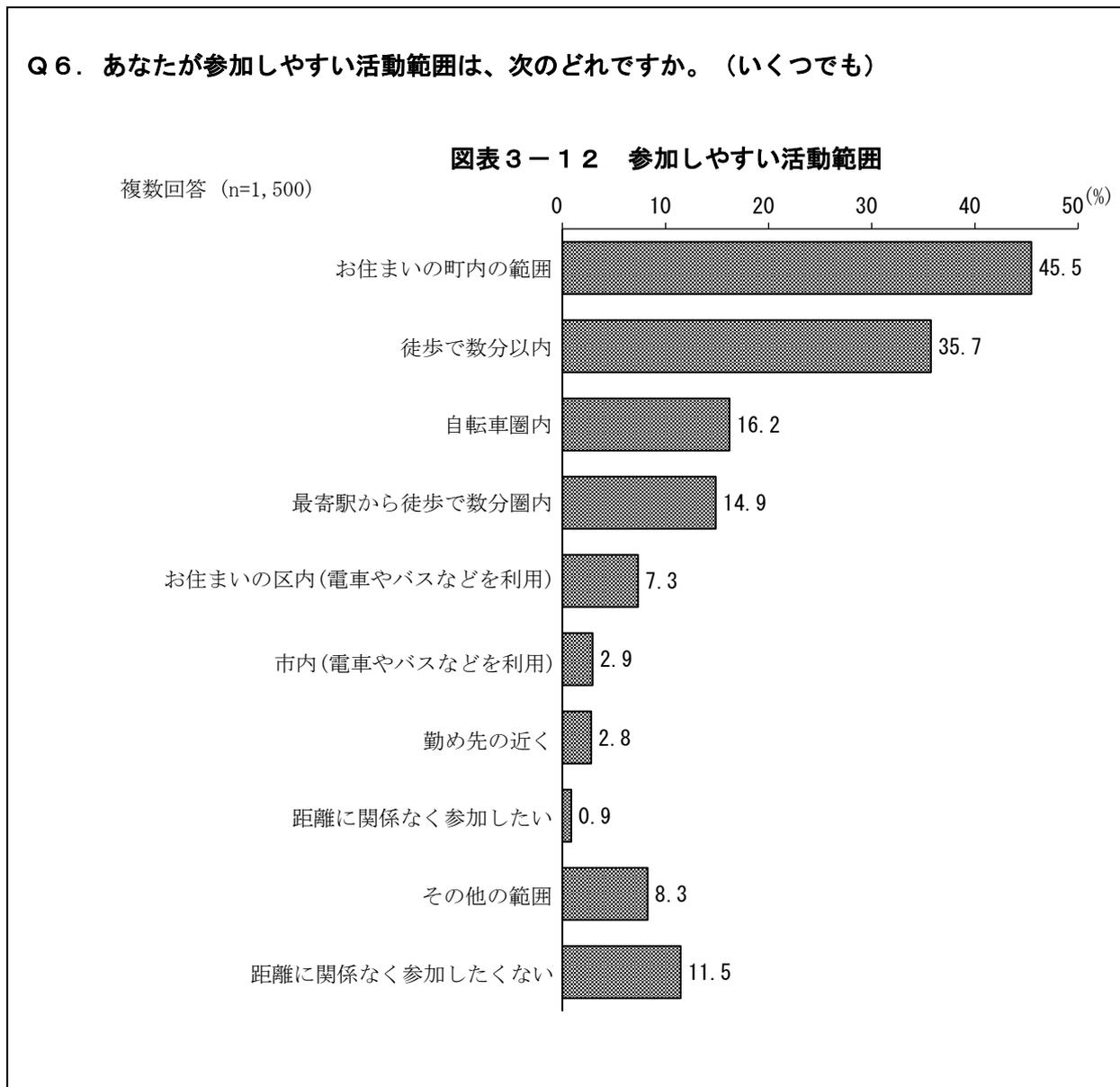


性/年齢別では、男女ともに年代が上がるにつれ、社会活動・地域活動への継続的な参加率が高くなる傾向となっており、70歳以上では3割を超えている。

居住区別では、麻生区(21.4%)で参加率が最も高く、他の区では参加率が1割台となっている。

### 3-6 参加しやすい活動範囲

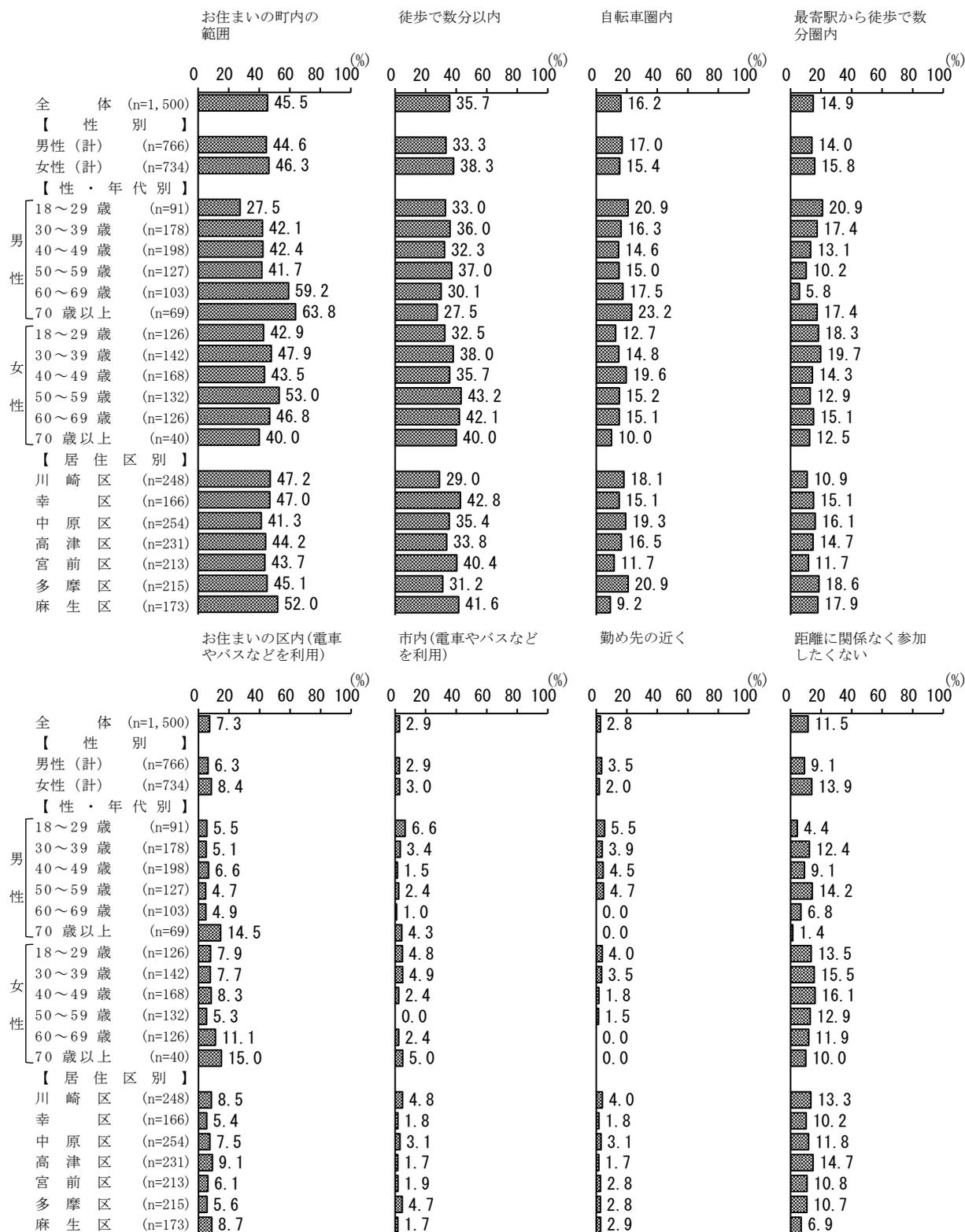
◎「お住まいの町内の範囲」が45.5%



参加しやすい活動範囲は、「お住まいの町内の範囲」(45.5%)が最も高く、次いで、「徒歩で数分以内」(35.7%)、「自転車圏内」(16.2%)、「最寄駅から徒歩で数分圏内」(14.9%)の順となっている。

なお、「距離に関係なく参加したくない」が11.5%となっている。

図表3-13 参加しやすい活動範囲(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、男性の60~69歳と70歳以上で「お住まいの町内の範囲」が6割前後と最も高い。

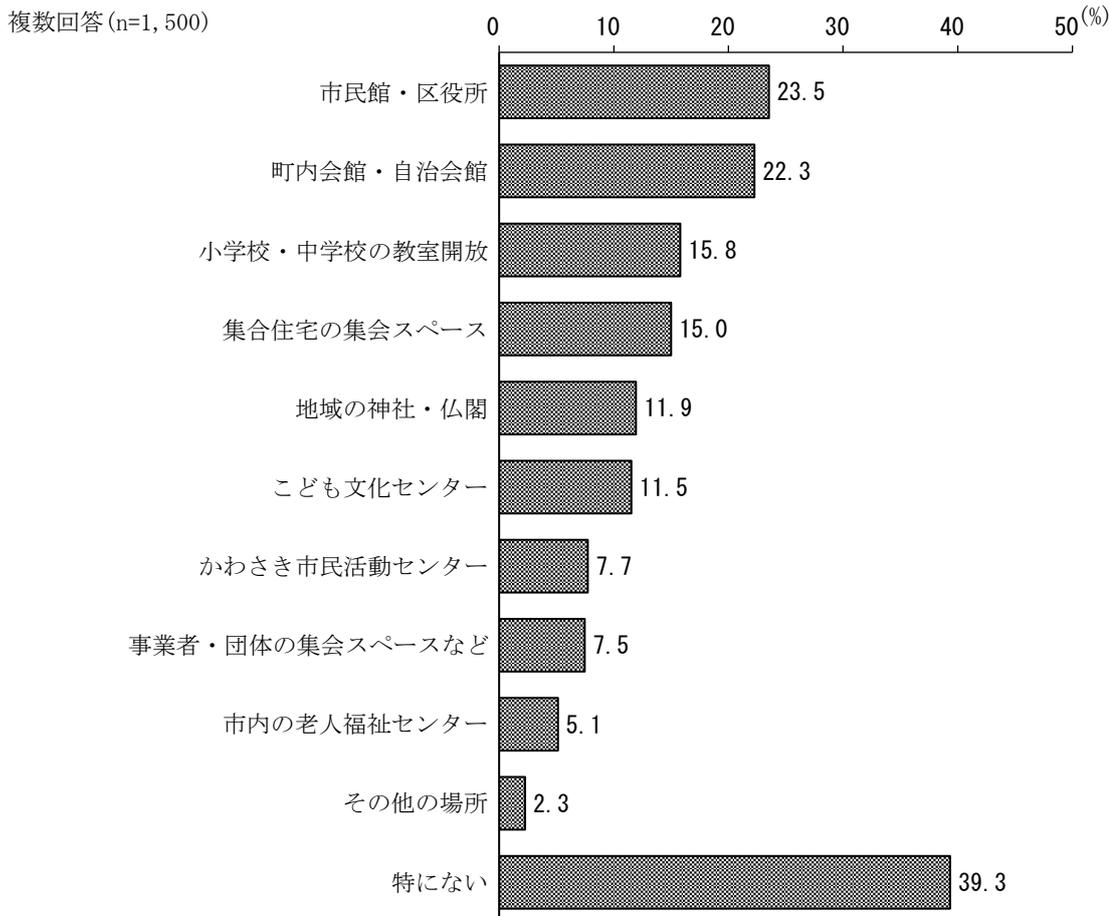
居住区別では、「お住まいの町内の範囲」は麻生区(52.0%)で最も高く、他の区でも4割を超えている。

### 3-7 地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所

◎「市民館・区役所」が23.5%、「町内会館・自治会館」が22.3%

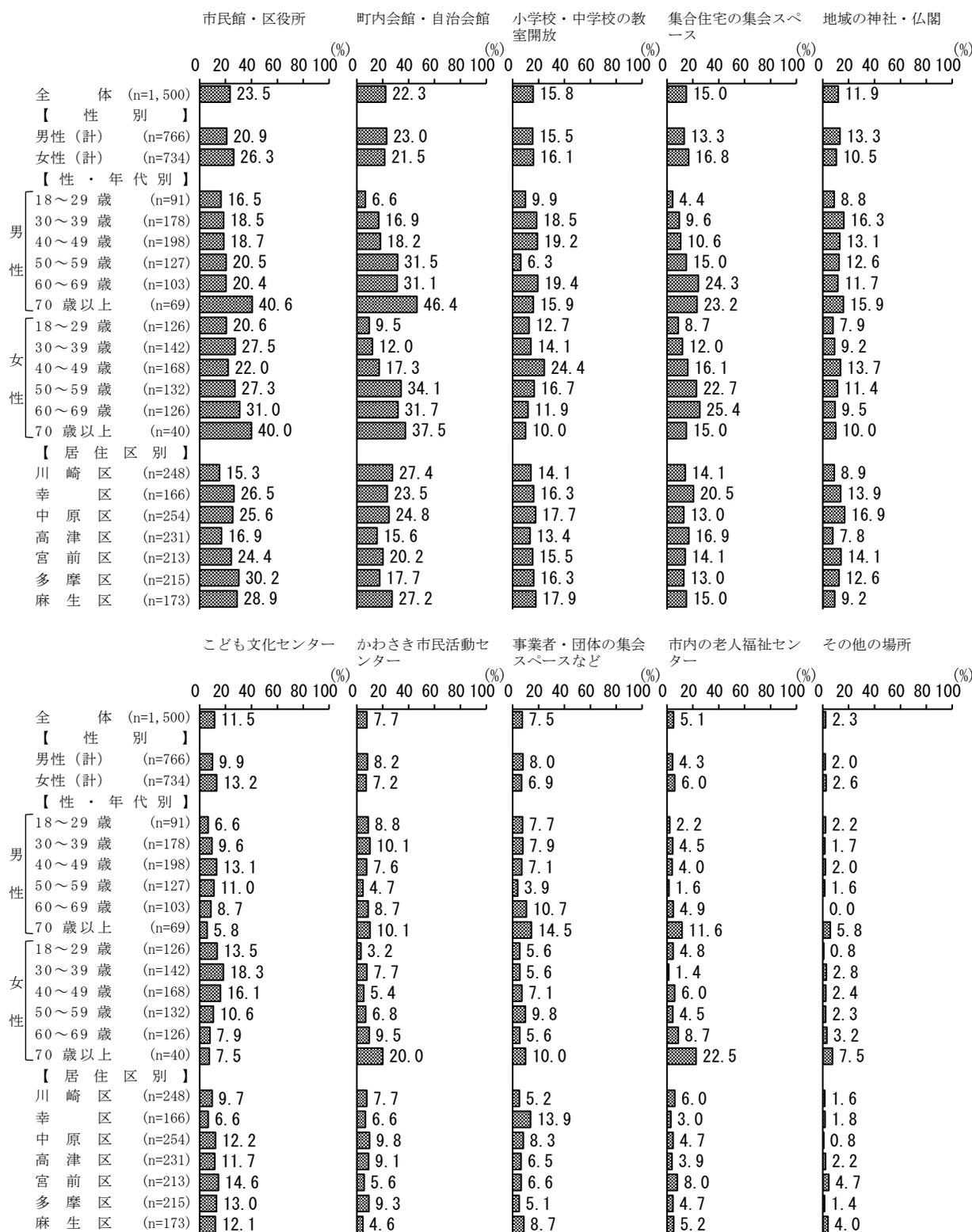
Q7. あなたが、地域で活動を行う場合に、気軽に使える場所は次のどれですか。  
(いくつでも)

図表3-14 地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所



地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所としては、「市民館・区役所」(23.5%)が最も高く、次いで、「町内会館・自治会館」(22.3%)、「小学校・中学校の教室開放」(15.8%)、「集合住宅の集会スペース」(15.0%)の順となっている。

図表3-15 地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所  
(性/年齢別・居住区別 上位10項目)



性/年齢別では、男性の50歳以上の年代では「町内会館・自治会館」が最も回答割合が高い場所となっている中で、女性の50歳以上の年代では、「市民館・市役所」と「町内会館・自治会館」が同程度となっている。また、女性の40~49歳では「小学校・中学校の教室開放」が最も高い。

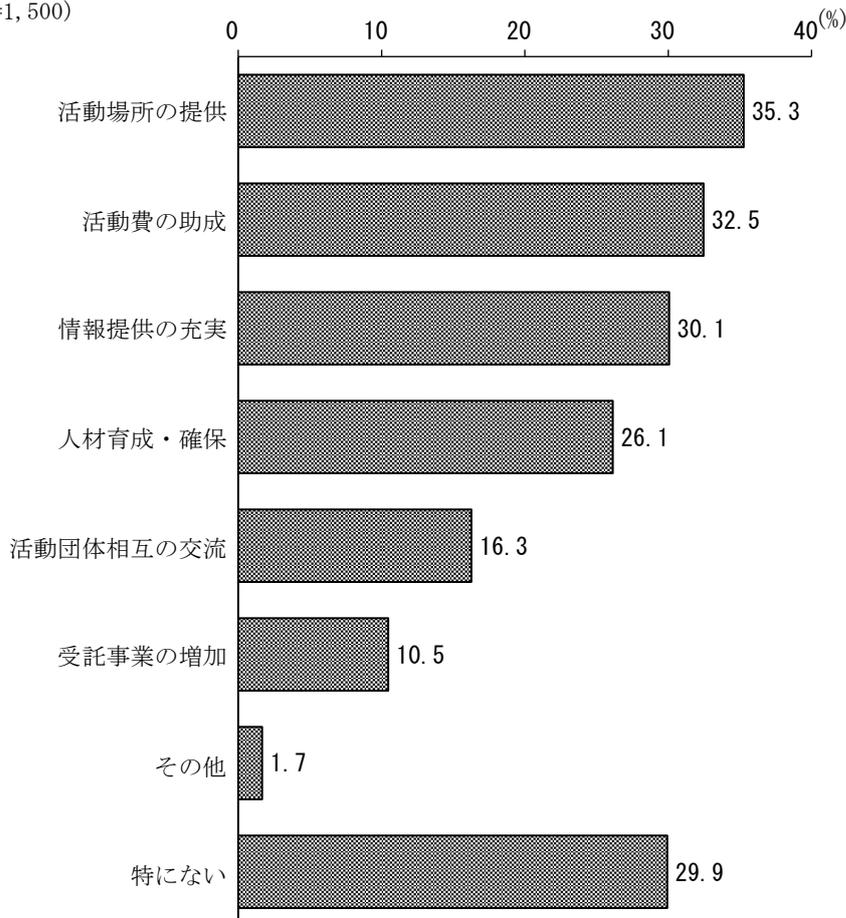
### 3-8 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目

◎「活動場所の提供」が35.3%

Q8. 不特定の第三者の役に立つような公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目はどれですか。(いくつでも)

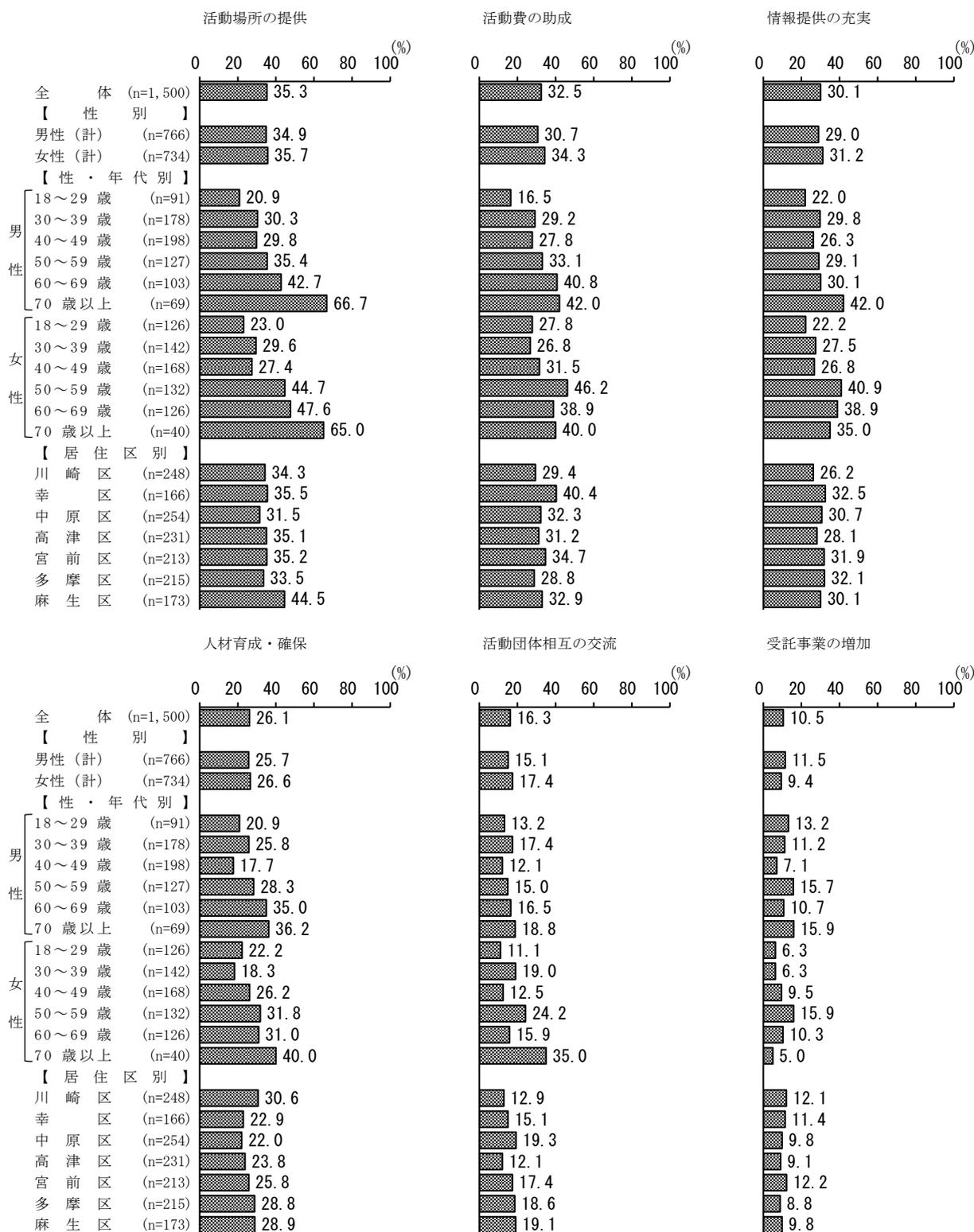
図表3-16 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目

複数回答(n=1,500)



不特定の第三者の役に立つような公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目を聞いたところ、回答割合が高いものから順に、「活動場所の提供」(35.3%)、「活動費の助成」(32.5%)、「情報提供の充実」(30.1%)、「人材育成・確保」(26.1%)となっている。

図表3-17 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目  
(性/年齢別・居住区別 上位6項目)



性/年齢別では、男女ともに70歳以上で「活動場所の提供」が7割近くと最も回答割合が高い支援項目となっている。

居住区別では、麻生区では「活動場所の提供」が、幸区では「活動費の助成」がともに最も高く、他の区では、それら2つに加えて、「情報提供の充実」や「人材育成・確保」がほぼ同程度となっている。



## ② 第2回アンケート調査の結果



# 1 定住状況について

## 1-1 居住年数

◎<長期居住者>が38.1%、<中期居住者>が39.2%

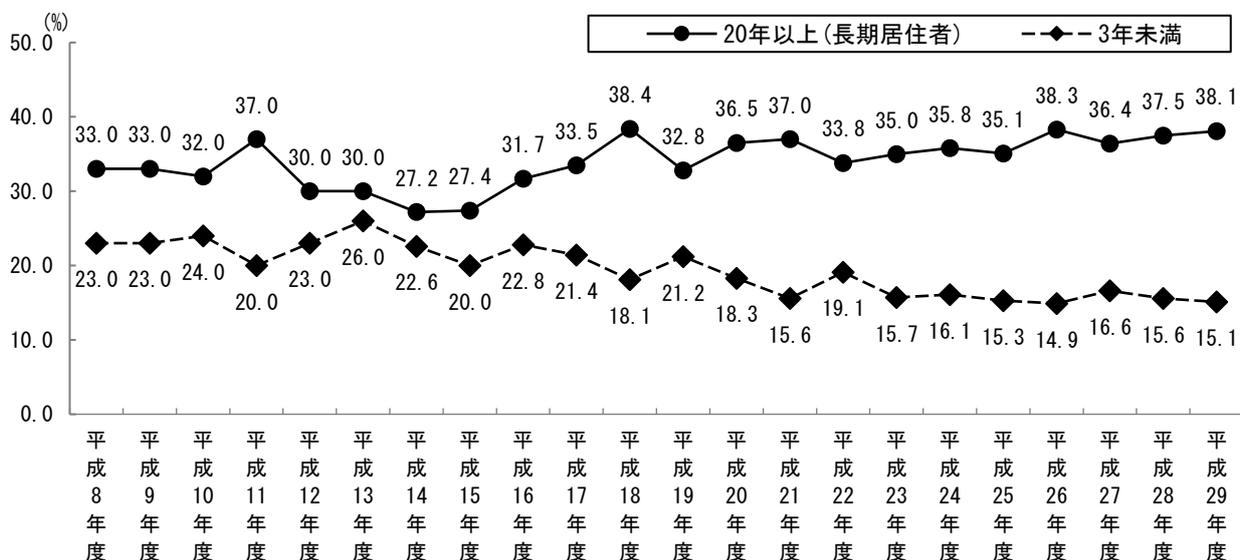
問1. あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(〇は1つ)

図表1-1 居住年数



居住年数「20年以上」の<長期居住者>は38.1%、「5~20年未満」の<中期居住者>は39.2%となっており、5年以上の居住者が8割弱を占めている。

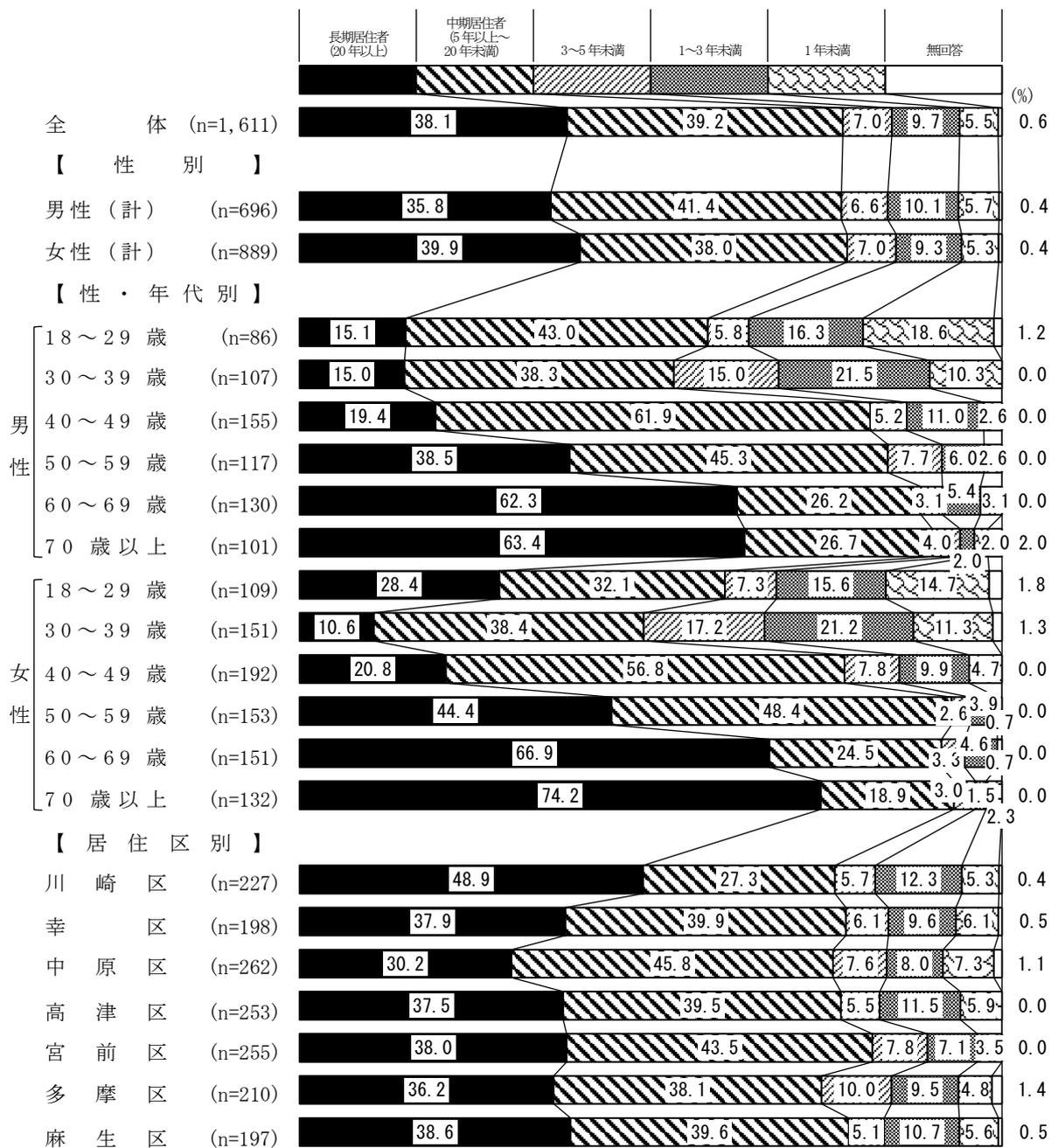
図表1-2 居住年数 (経年比較)



過去の推移では、10年前(平成19年度)と比較すると、<長期居住者>は32.8%から38.1%に増加している。「3年未満」は、21.2%から15.1%に減少している。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は、10年前の11.6ポイントに対し、23ポイントと倍増している。

また、平成14年から続く、長期居住者の占める割合が増加している傾向に変わりはない。

図表1-3 居住年数(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、5年未満の短期居住者は、男女共に18~29歳、30~39歳で高い。

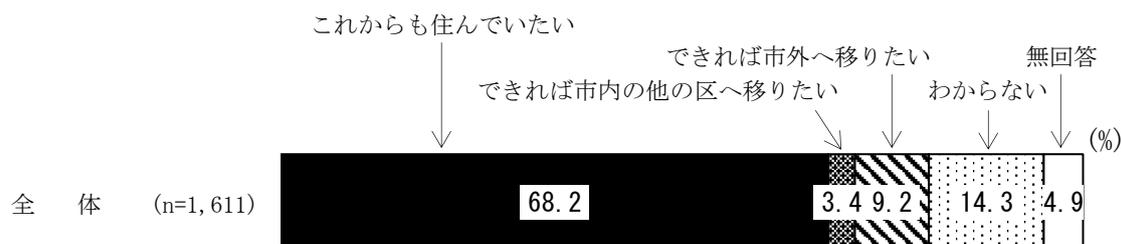
居住区別では、＜長期居住者＞は、川崎区(48.9%)が最も高く、麻生区(38.6%)、宮前区(38.0%)と続き、最も低いのは中原区(30.2%)となっている。一方、＜中期居住者＞は、中原区(45.8%)が最も高く、次いで宮前区(43.5%)、幸区(39.9%)の順となっている。なお、「3年未満」は、宮前区(10.6%)で最も低い。

## 1-2 定住意向

◎「これからも住んでいたい」が68.2%

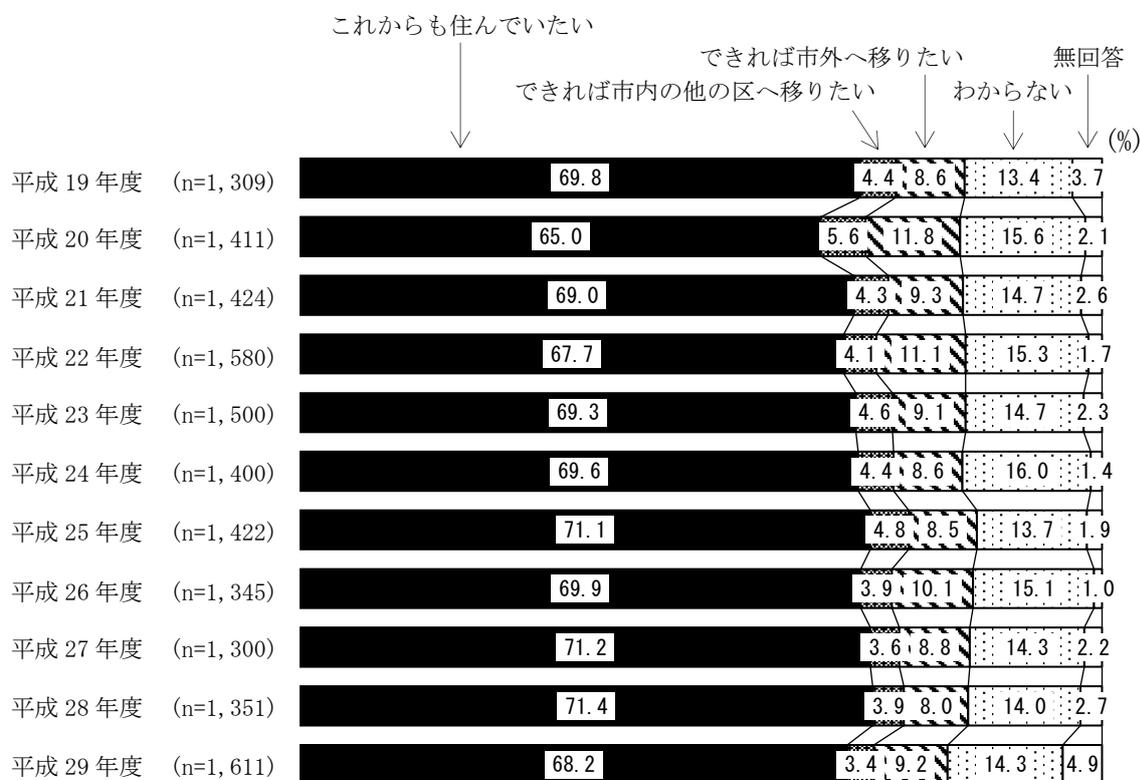
問2. あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(〇は1つ)

図表1-4 定住意向



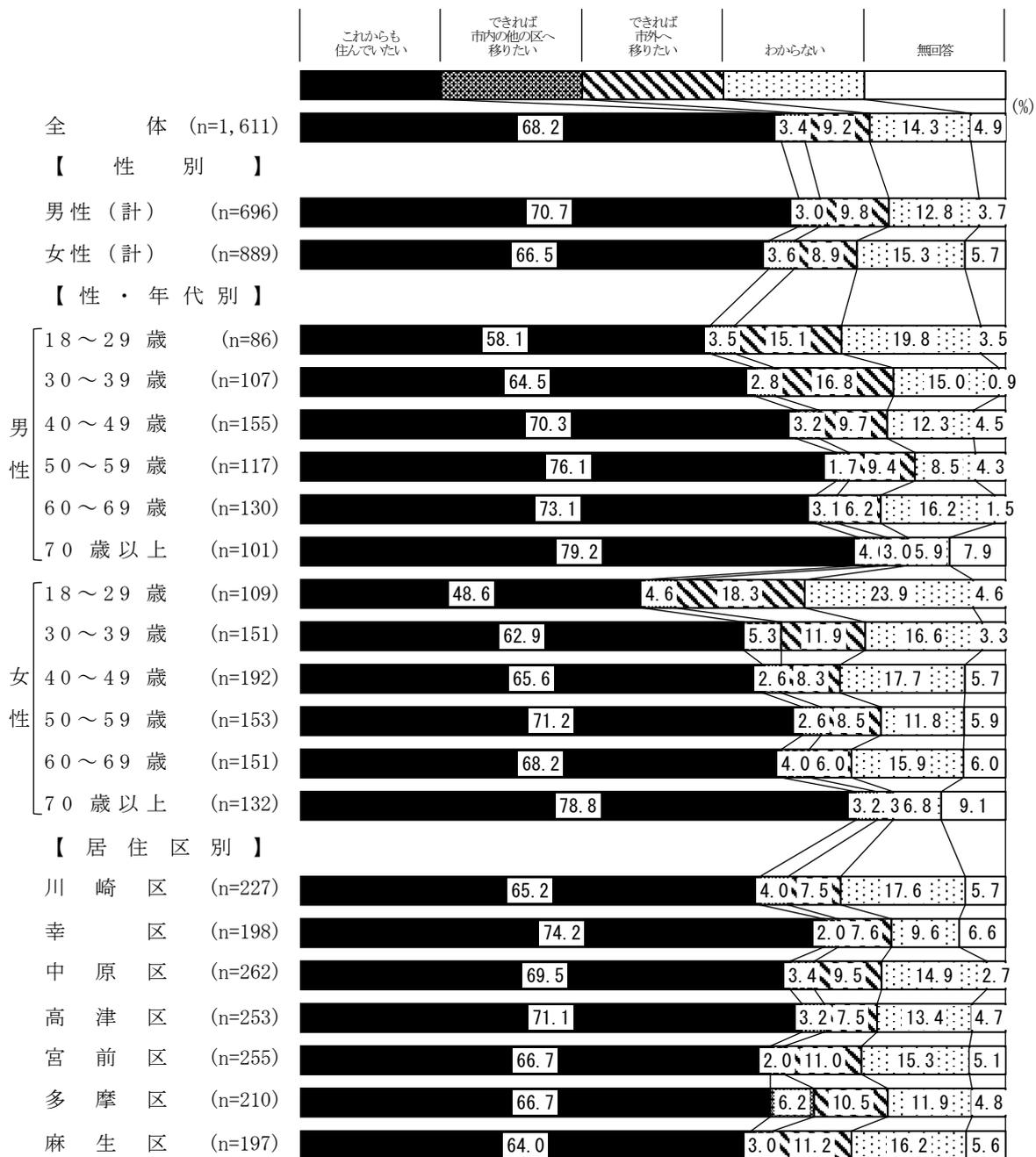
定住意向は、「これからも住んでいたい」(68.2%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」は3.4%、「できれば市外へ移りたい」は9.2%となっている。

図表1-5 定住意向(経年比較)



過去の推移では、「これからも住んでいたい」は、逡増傾向にあったが、今回は68.2%と昨年に比べ3.2ポイント減少している。

図表1-6 定住意向(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「これからも住んでいたい」は、男女ともにおおむね高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上(男性:79.2%、女性:78.8%)が最も高くなっている。

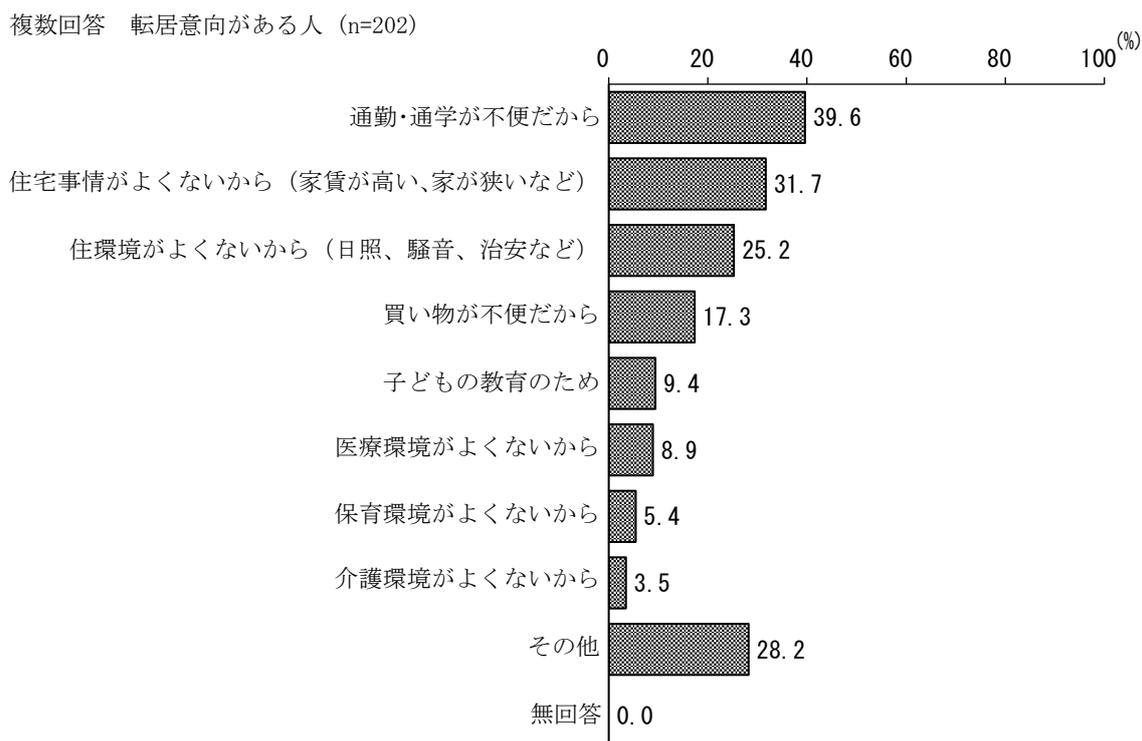
居住区別では、「これからも住んでいたい」は、幸区(74.2%)で最も高く、次いで、高津区(71.2%)、中原区(69.5%)の順となっている。

### 1-3 転居意向の理由

◎「通勤・通学が不便だから」が39.6%

問3. あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか（〇はいくつでも）

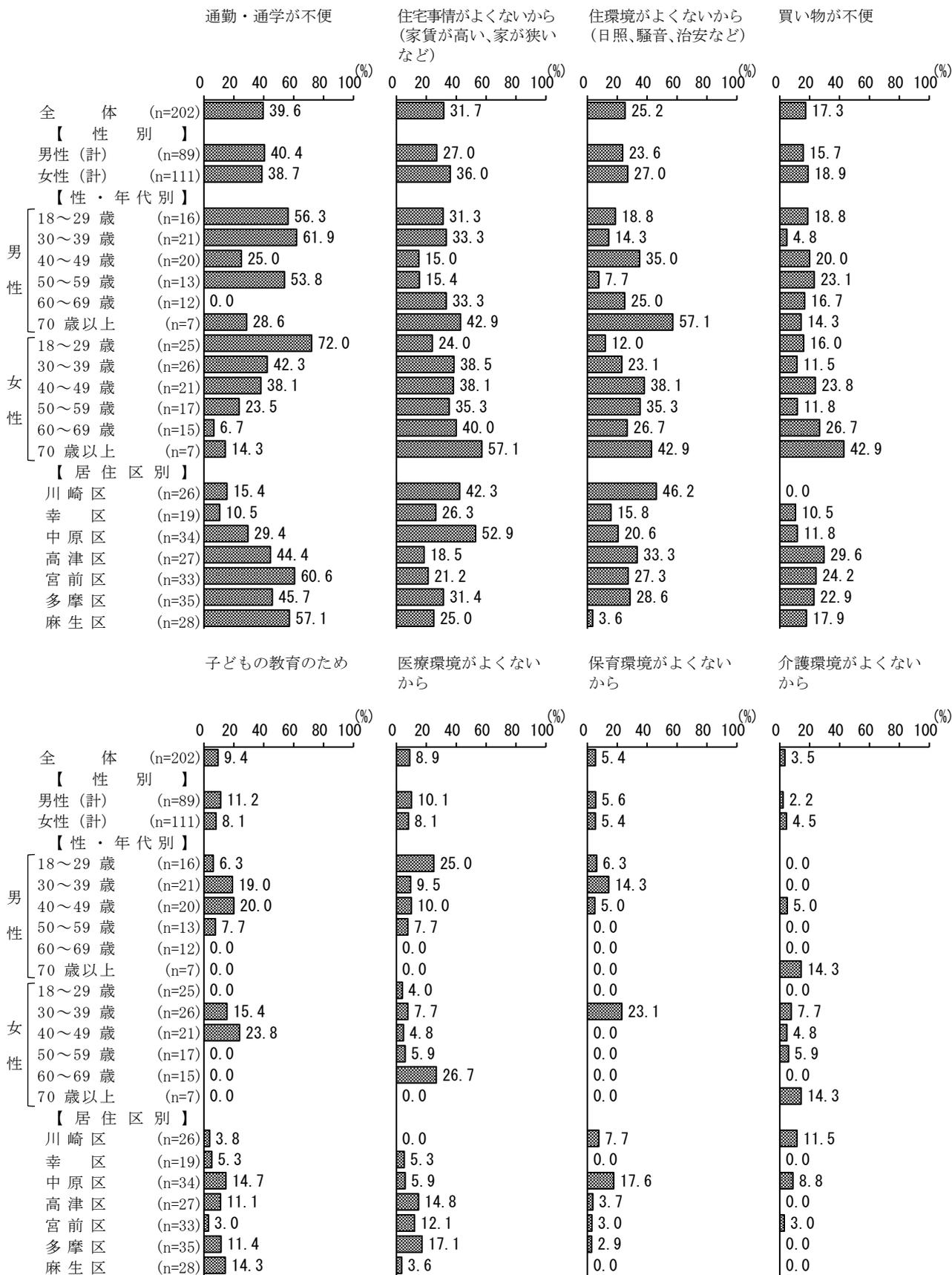
図表1-7 転居意向の理由



「できれば市内の他の区へ移りたい」と「できれば市外へ移りたい」を合計した<転居意向がある人>に転居意向の理由を聞いたところ、「通勤・通学が不便だから」(39.6%)が最も高く、次いで、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」(31.7%)、「住環境がよくないから(日照、騒音、治安など)」(25.2%)の順となっている。

また、「その他」が28.2%であり、18~29歳では「進学や結婚、独立」、30歳以上の年代では「実家に戻りたい」などが、具体的な理由として記述されている。

図表1-8 転居意向の理由(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



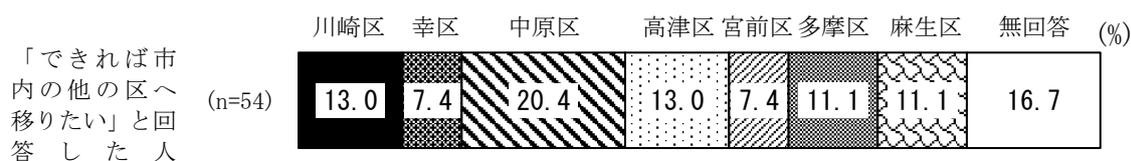
回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

### 1-4 転居先の希望

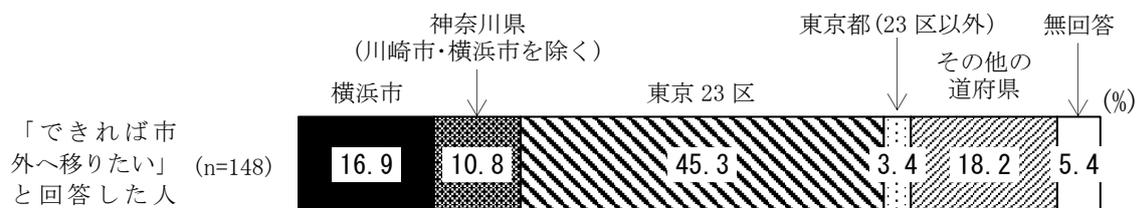
◎市内では「中原区」が20.4%、市外では「東京23区」が45.3%

問4. あなたは、どこに住みたいと思いますか。(○は1つ)

図表1-9 転居先の希望(市内)



図表1-10 転居先の希望(市外)

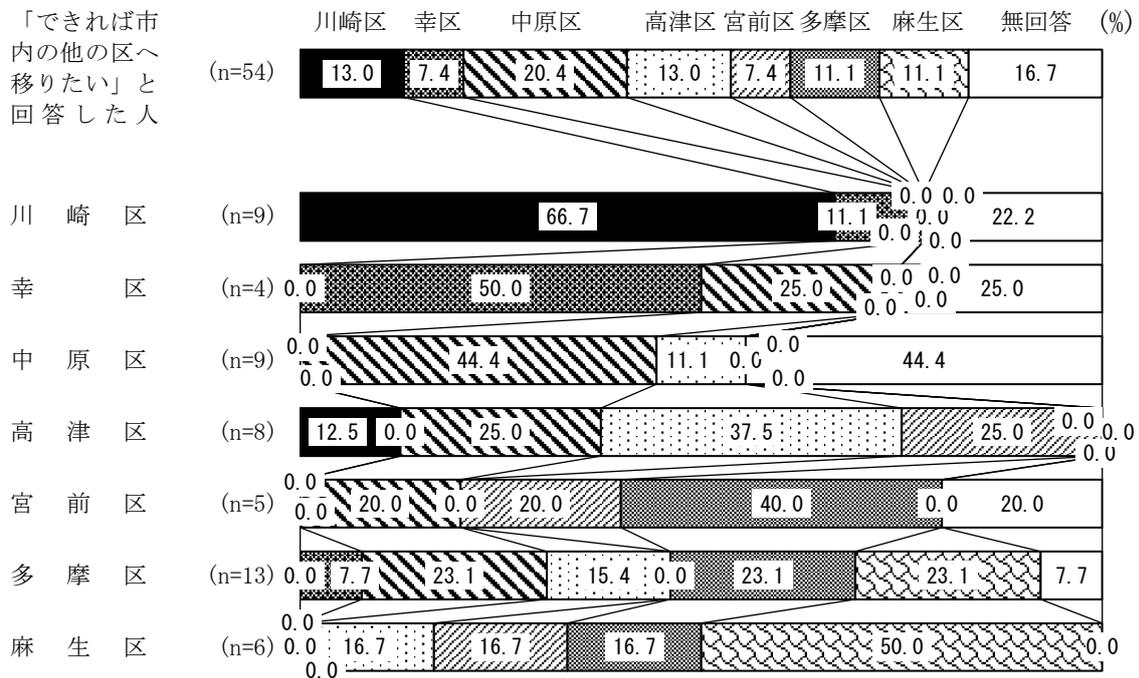


転居先の希望(市内)では、「中原区」(20.4%)が最も高く、次いで、「川崎区」及び「高津区」(13.0%)、「多摩区」及び「麻生区」(11.1%)の順となっている。

転居先の希望(市外)では、「東京23区」(45.3%)が最も高く、次いで、「その他の道府県」(18.2%)、「横浜市」(16.9%)の順となっている。

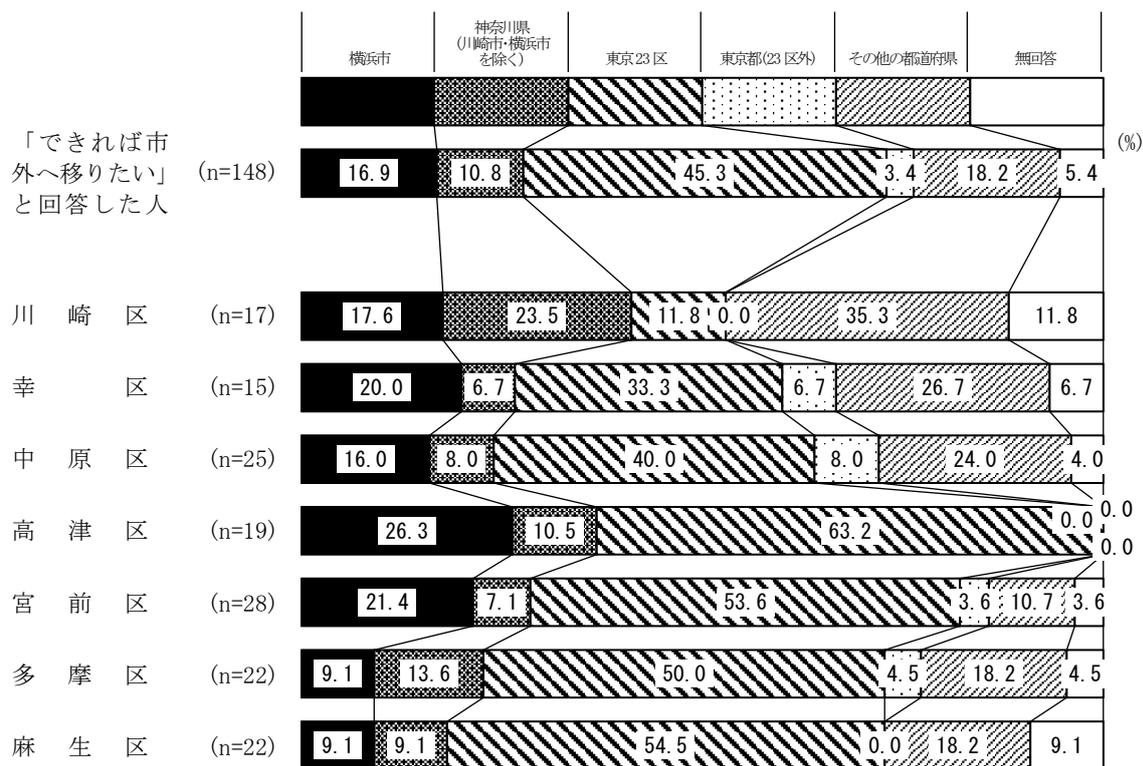
図表1-11 転居先の希望(市内、居住区別)

「できれば市内の他の区へ移りたい」と回答した人



回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表1-12 転居先の希望(市外、居住区別)



回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

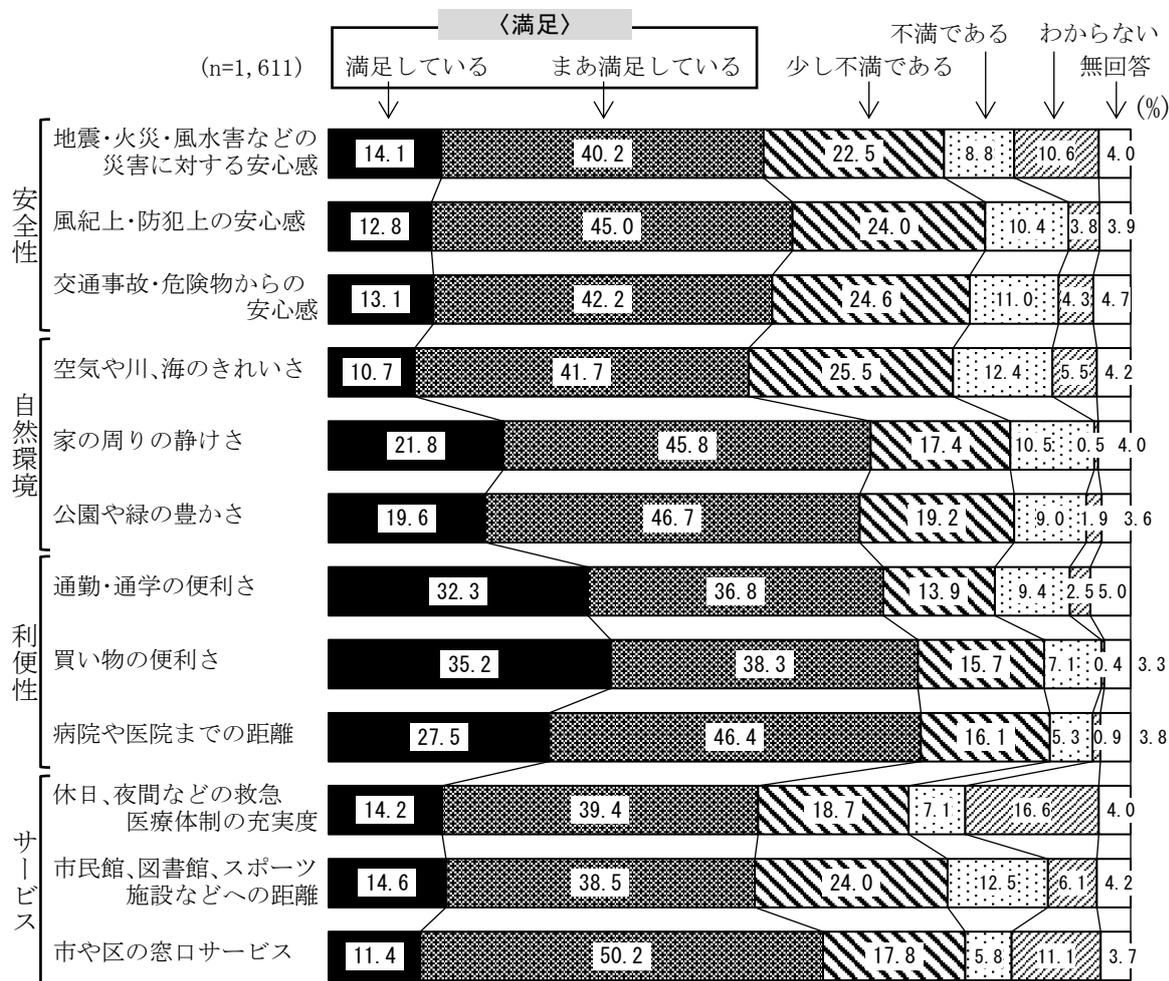
## 2 生活環境の評価について

### 2-1 生活環境の満足度

◎〈満足〉が多いのは、「病院や医院までの距離」、「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」の利便性

問5. お住まいの周りの生活環境についてうかがいます。あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表2-1 生活環境の満足度

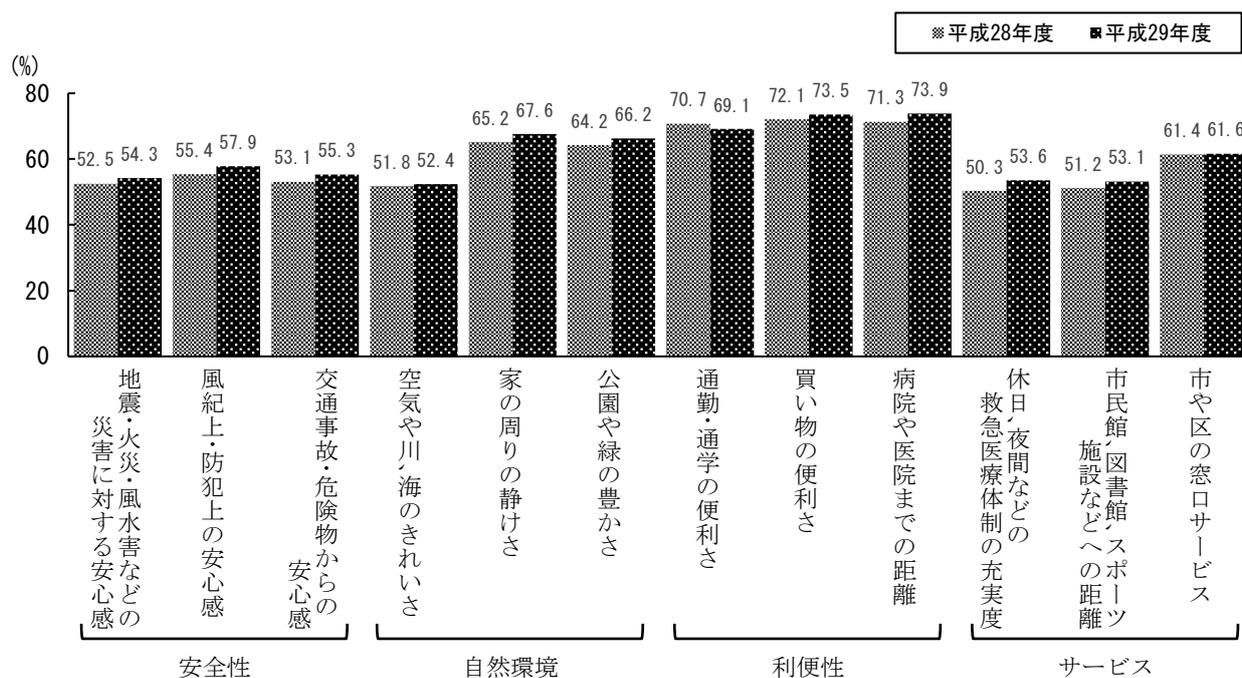


生活環境の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた〈満足〉は、『利便性』の項目が高く、「病院や医院までの距離」(73.9%)、「買い物の便利さ」(73.5%)で7割を超えている。一方、〈満足〉が最も低いのは、「空気や川、海のきれいさ」(52.4%)となっている。

図表2-2 生活環境の満足度（＜満足＞、経年比較）

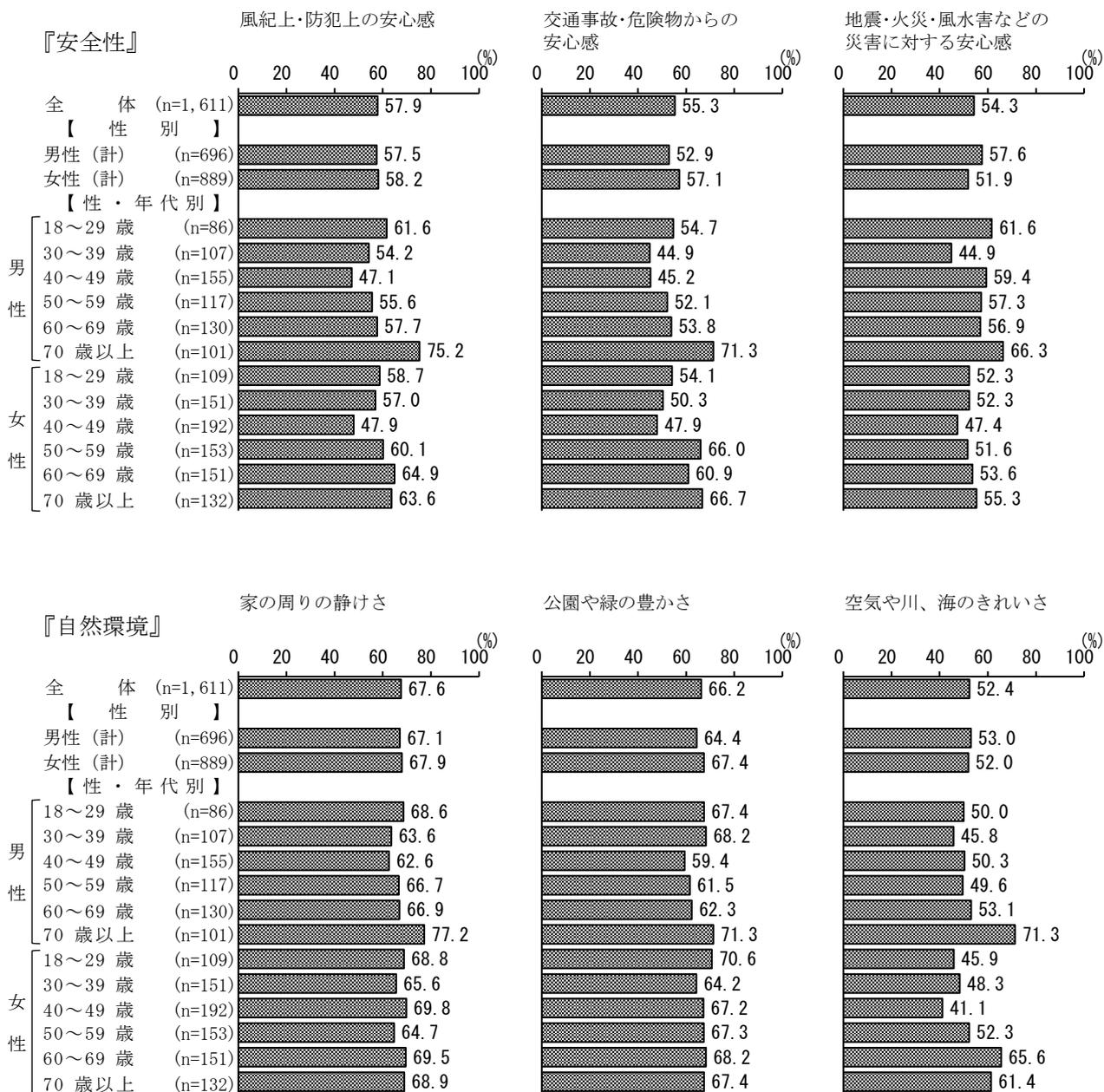
「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日・夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
平成28年度 (n=1,351)	52.5	55.4	53.1	51.8	65.2	64.2	70.7	72.1	71.3	50.3	51.2	61.4
平成29年度 (n=1,611)	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6



平成28年度調査と比較すると、目立った変化は見られない。

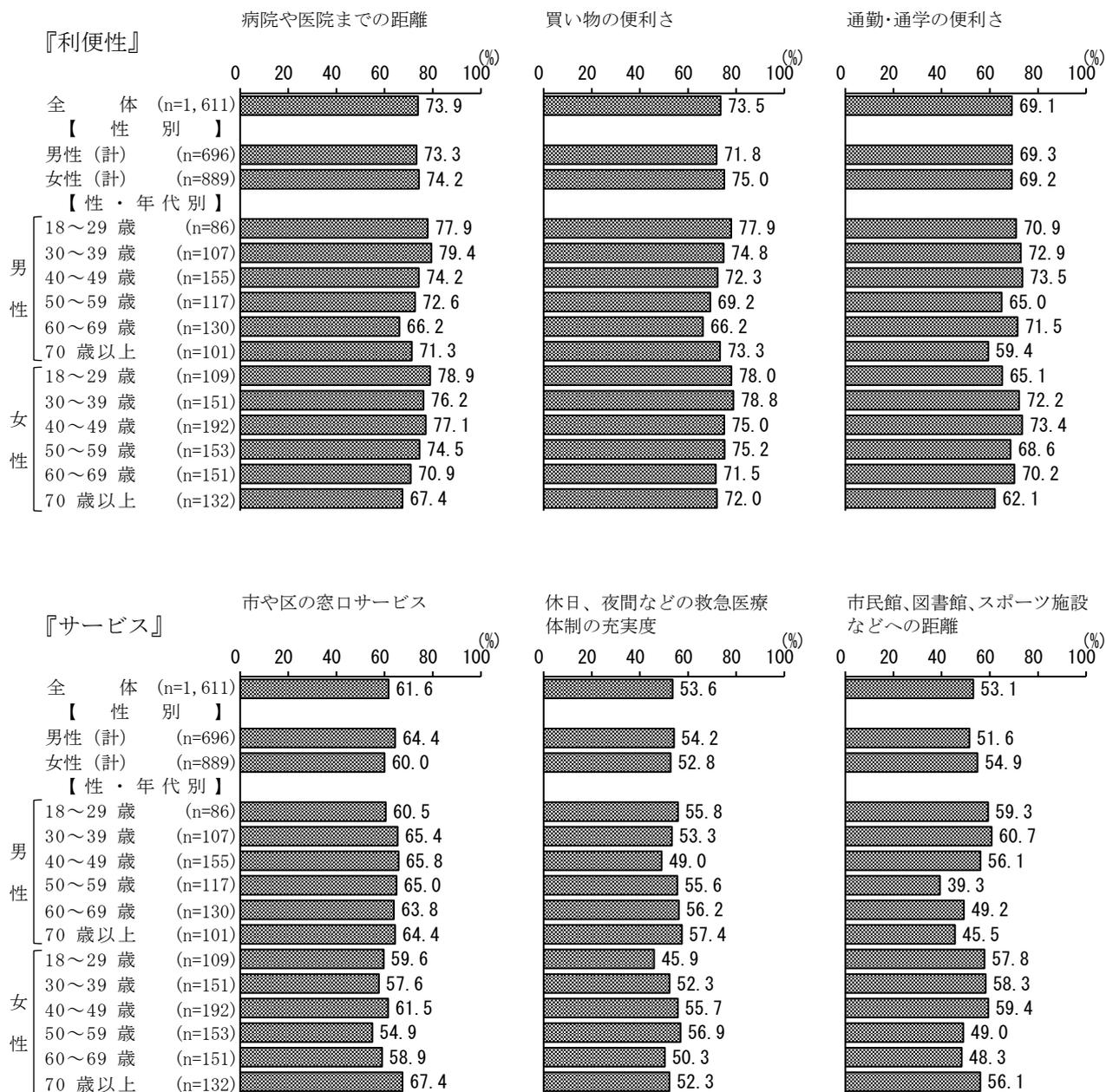
図表2-3 生活環境の満足度（〈満足〉、性／年齢別）



性／年齢別で『安全性』をみると、「風紀上・防犯上の安心感」は、男性の70歳以上（75.2%）が最も高く、女性の60～69歳（64.9%）、70歳以上（63.6%）も高い。「交通事故・危険物からの安心感」も男性の70歳以上（71.3%）が最も高く、女性の70歳以上（66.7%）、50～59歳（66.0%）も高い。

『自然環境』では、「家の周りの静けさ」は、男性の70歳以上（77.2%）が最も高い。

図表2-4 生活環境の満足度（〈満足〉）、性／年齢別

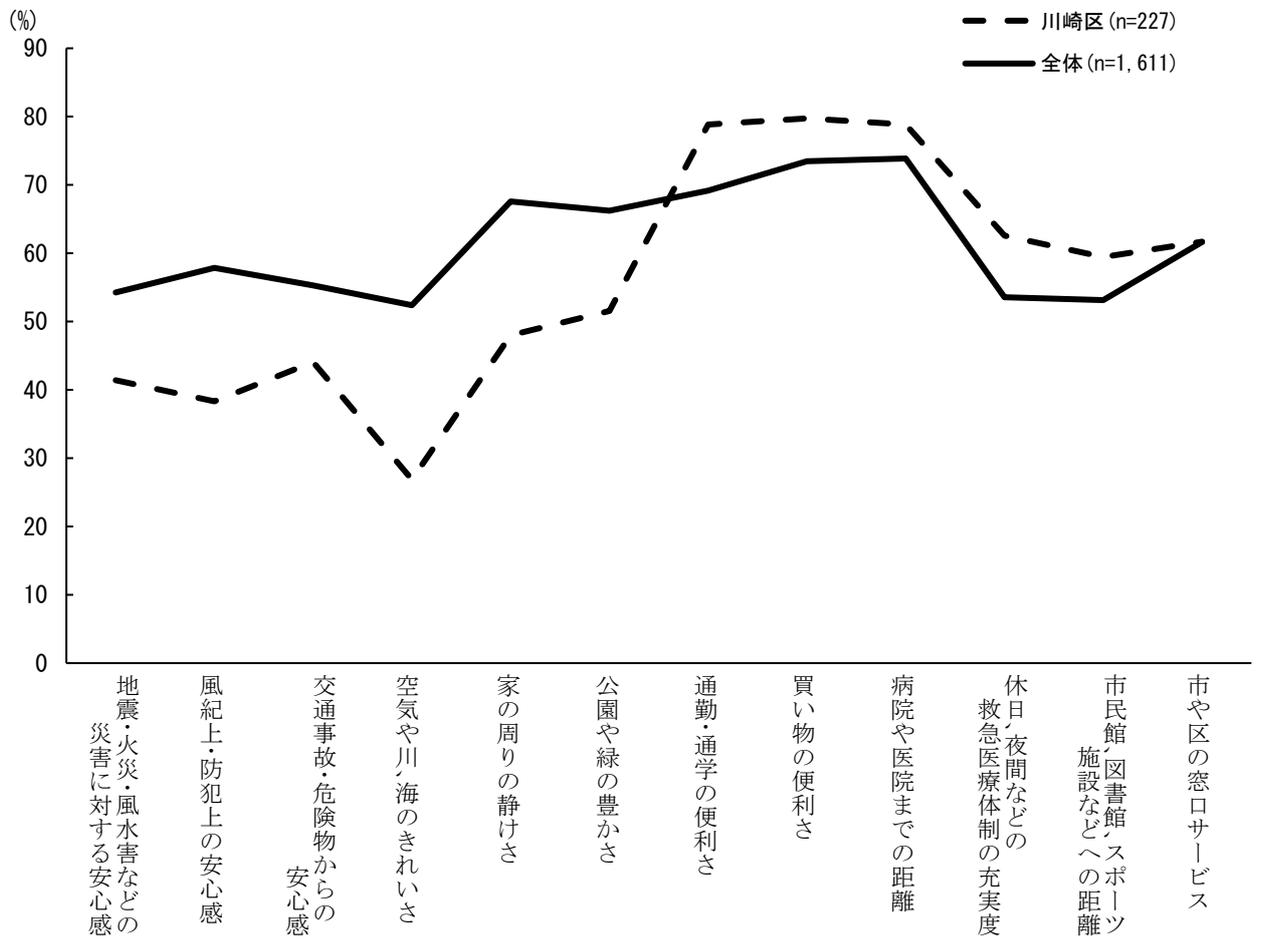


性／年齢別で『利便性』をみると、「病院や医院までの距離」は、男性の30～39歳（79.4%）や18～29歳（77.9%）、女性の18～29歳（78.9%）や40～49歳（77.1%）で高い。

『サービス』では、「市や区の窓口サービス」は、女性の50～59歳（54.9%）や30～39歳（57.6%）で低い。「休日、夜間などの救急医療体制の充実」は、女性の18～29歳（45.9%）で低い。「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は男性の50～59歳（39.3%）で特に低い。

図表2-5 生活環境の満足度（＜満足＞、川崎区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



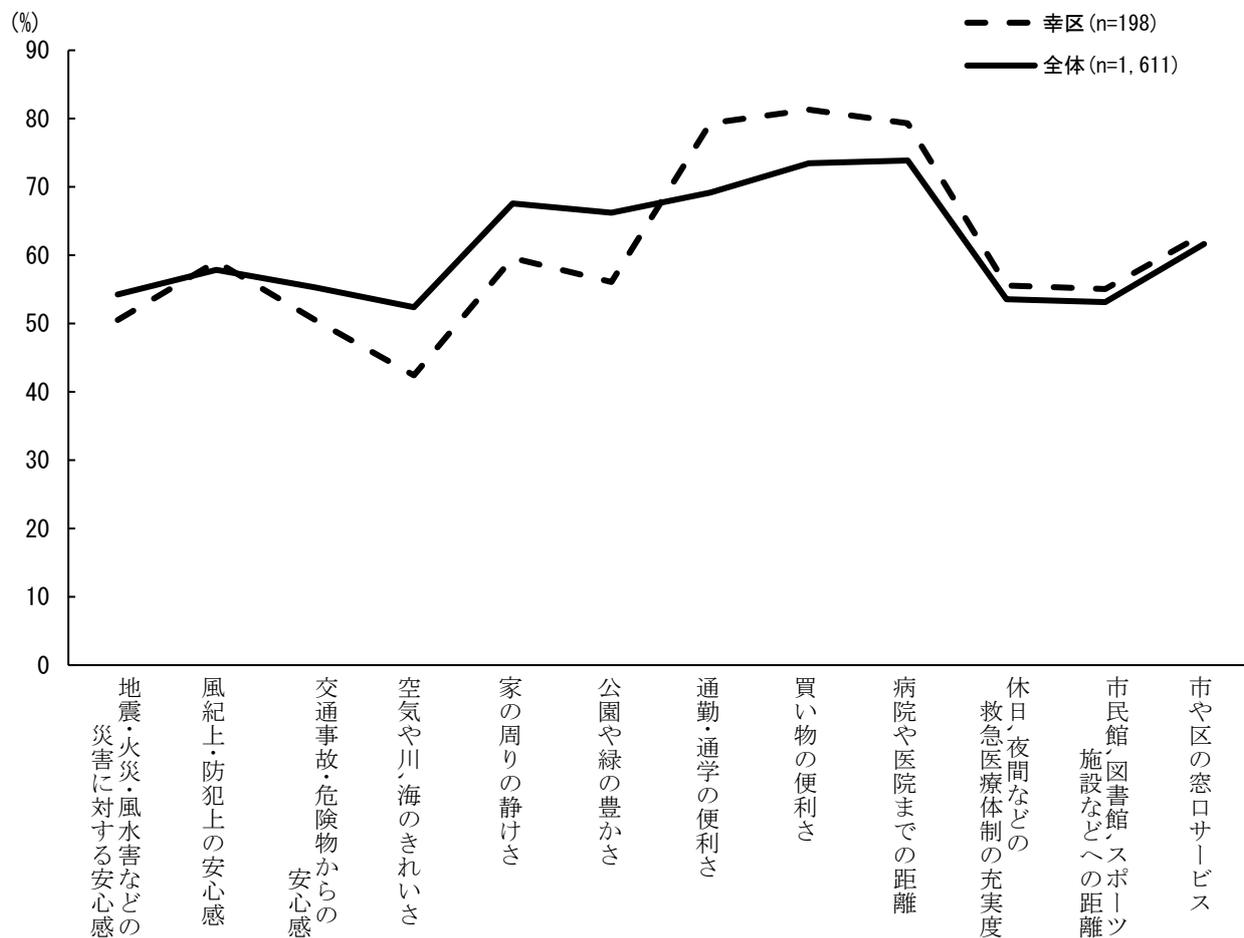
川崎区	41.4	38.3	44.1	26.9	48.0	51.5	78.9	79.7	78.9	62.6	59.5	61.7
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

川崎区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に「通勤・通学の便利さ」は9.7ポイント上回っている。

一方、『安全性』『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」は12.9ポイント、「風紀上・防犯上の安心感」は19.6ポイント、「交通事故・危険物からの安心感」は11.2ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は25.5ポイント、「家の周りの静けさ」は19.6ポイント、「公園や緑の豊かさ」は14.7ポイント下回っている。

図表 2-6 生活環境の満足度 (<満足>、幸区)

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



	地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日・夜間などの救急医療体制の充実度	市民館/図書館/スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
幸区	50.5	59.1	50.5	42.4	59.6	56.1	79.3	81.3	79.3	55.6	55.1	63.1
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

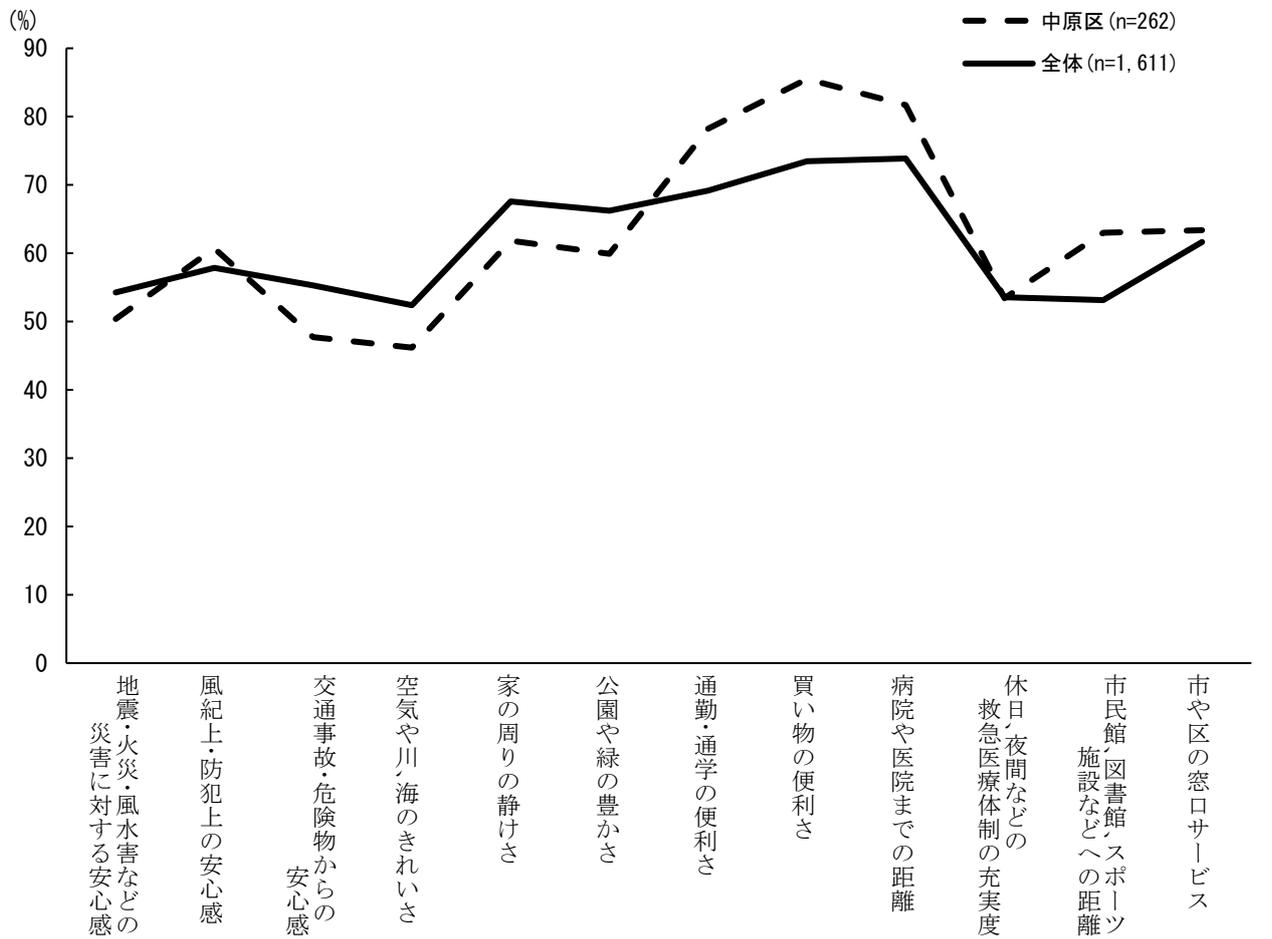
幸区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に「通勤・通学の便利さ」は10.1ポイント上回っている。

一方、『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を下回っており、特に「公園や緑の豊かさ」は10.1ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は10.0ポイント下回っている。

『安全性』『サービス』で特に目立った点は見られない。

図表2-7 生活環境の満足度（〈満足〉、中原区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



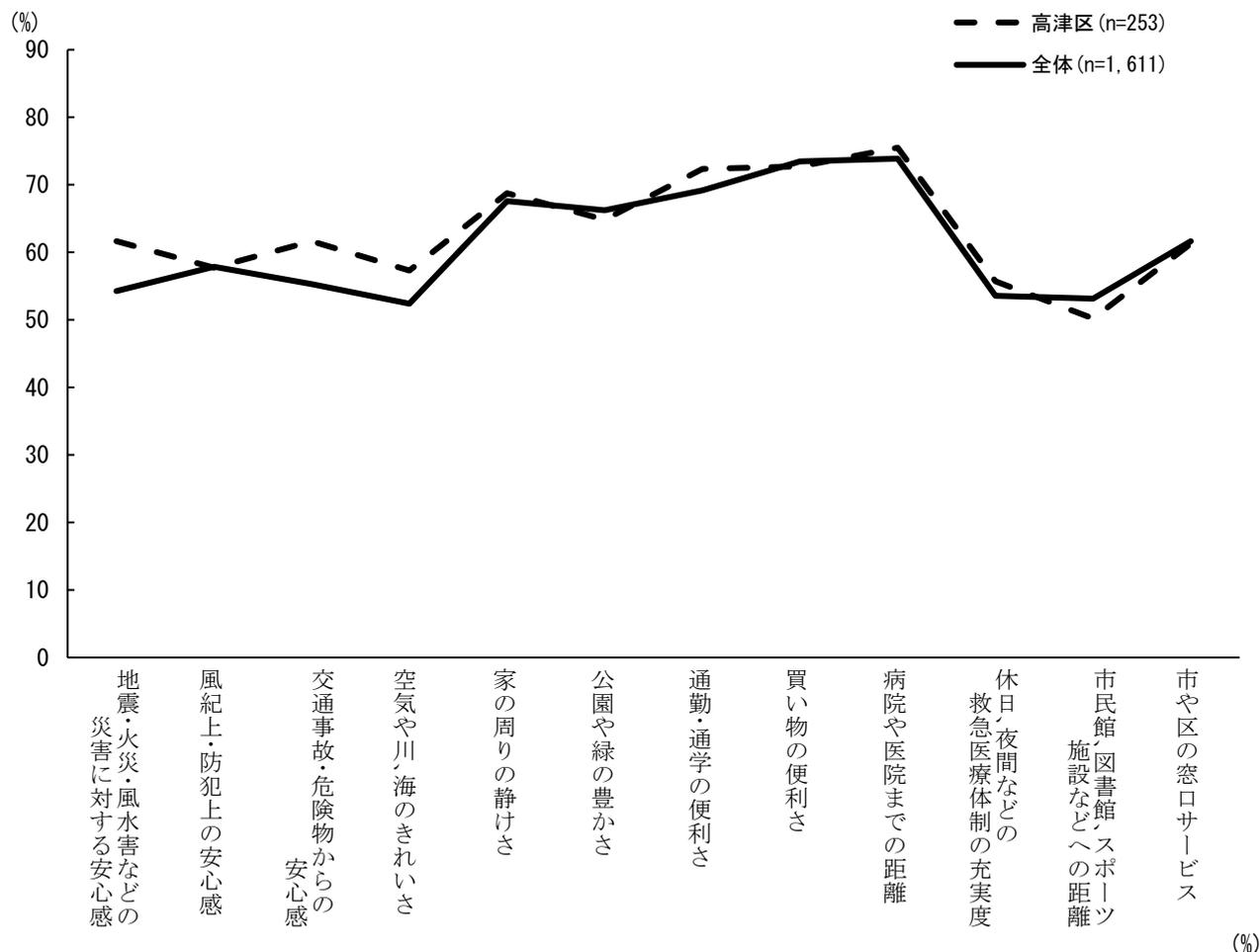
中原区	50.4	60.7	47.7	46.2	61.8	59.9	78.2	85.5	81.7	53.4	63.0	63.4
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

中原区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に「買い物の便利さ」は12.0ポイント上回っている。また、『サービス』でも「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は9.8ポイント上回っている。

一方、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、『安全性』でも「交通事故・危険物からの安心感」は7.6ポイント下回っている。

図表2-8 生活環境の満足度（＜満足＞、高津区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



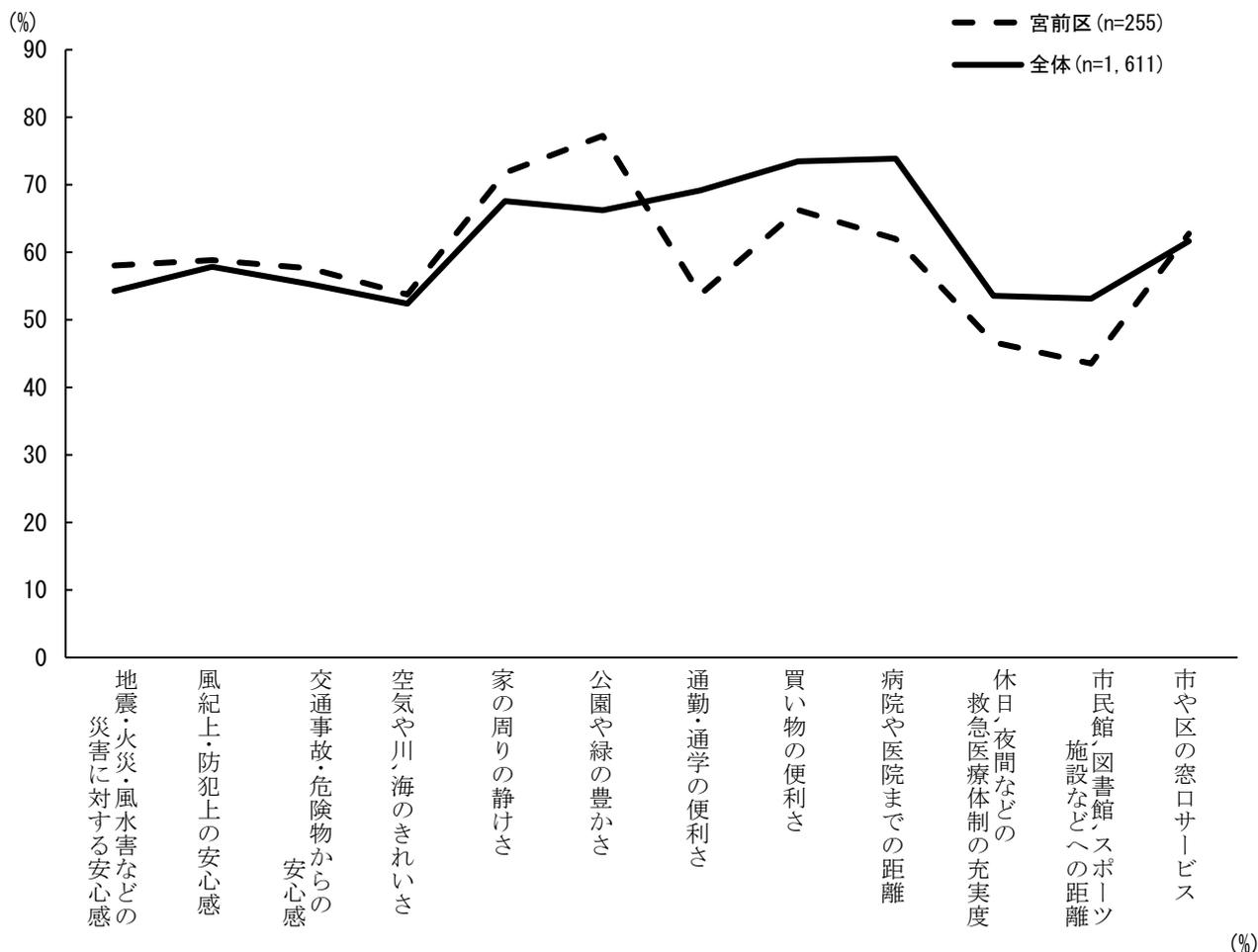
高津区	61.7	57.7	61.7	57.3	68.8	64.8	72.3	72.7	75.5	55.7	50.2	61.3
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

高津区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』では、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」が7.4ポイント、「交通事故・危険物からの安心感」が6.4ポイント上回っている。

『自然環境』『利便性』『サービス』では特に目立った点は見られない。

図表2-9 生活環境の満足度（＜満足＞、宮前区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



	地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川・海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日・夜間などの救急医療体制の充実度	市民館・図書館・スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
宮前区	58.0	58.8	57.6	53.7	71.8	77.3	53.7	66.3	62.0	46.7	43.5	62.7
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6

安全性
自然環境
利便性
サービス

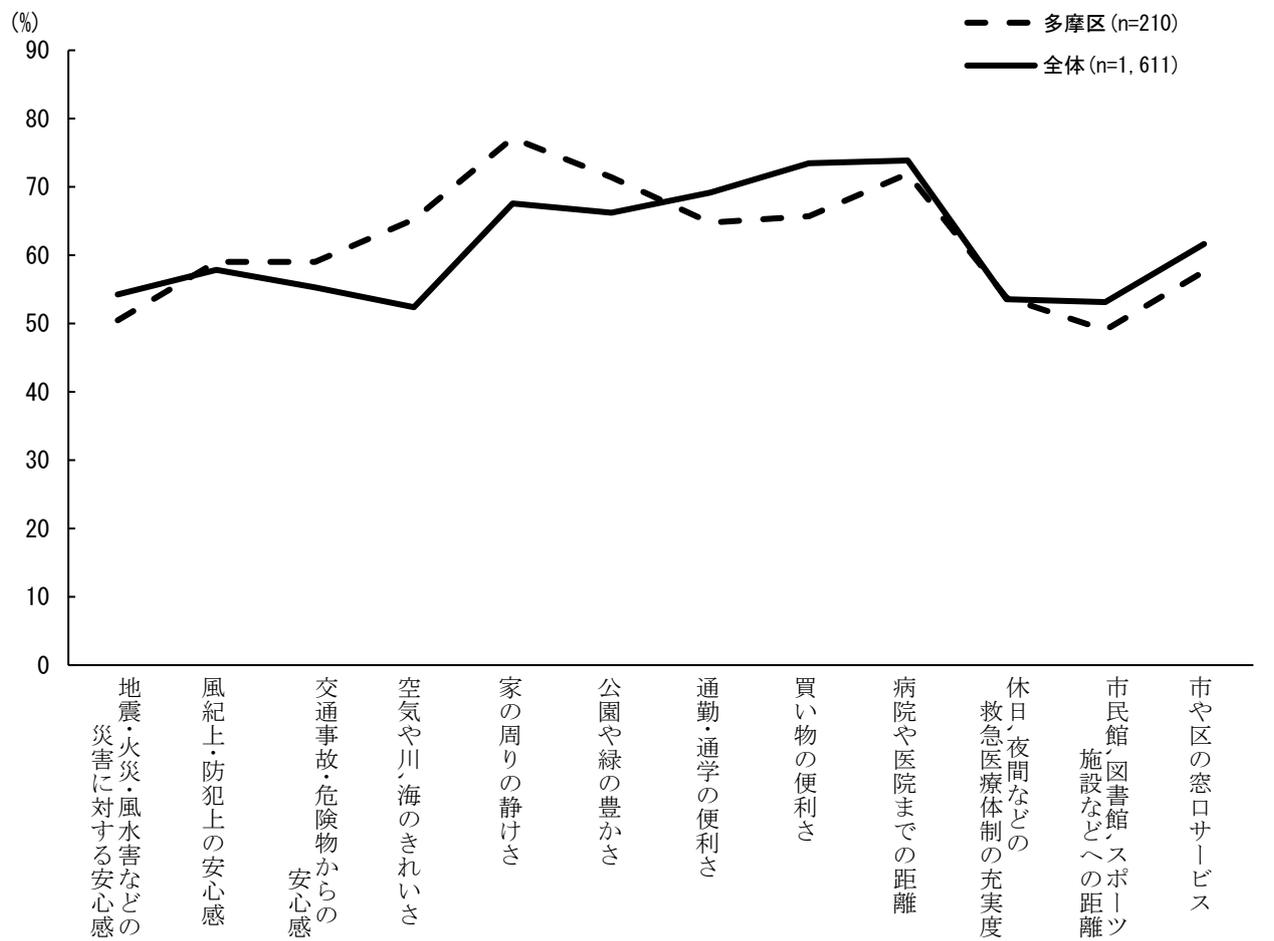
宮前区と市全体の満足度を比較すると、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に「公園や緑の豊かさ」は11.0ポイント上回っている。

一方、『利便性』ではどの項目も市全体の満足度を下回っており、特に「通勤・通学の便利さ」は15.4ポイント、「病院や医院までの距離」は11.9ポイント下回っている。『サービス』でも「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」は6.9ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は9.6ポイント下回っている。

『安全性』では特に目立った点は見られない。

図表2-10 生活環境の満足度（＜満足＞、多摩区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



多摩区	50.5	59.0	59.0	65.2	77.1	71.4	64.8	65.7	71.9	53.8	49.0	57.6
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

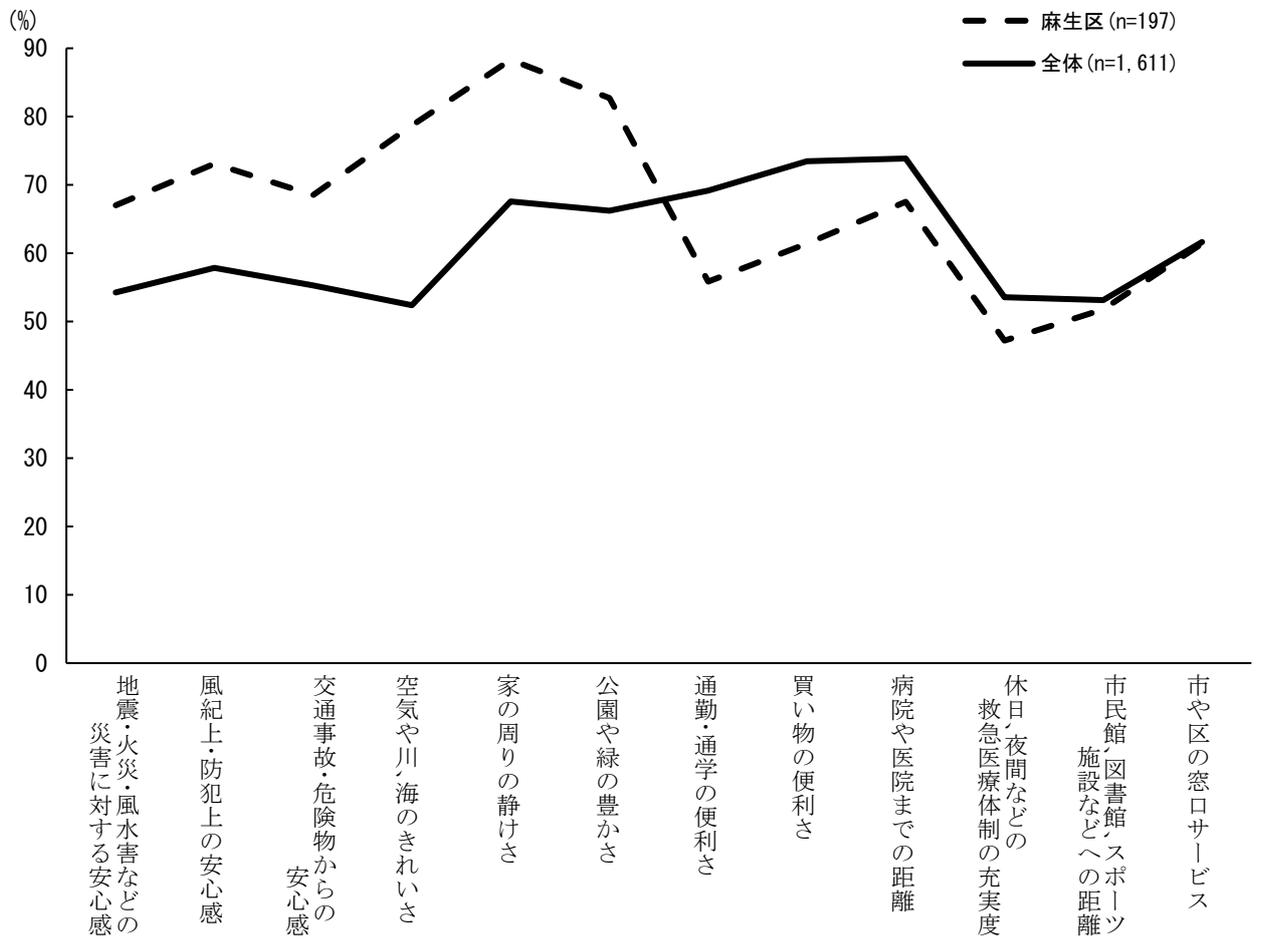
多摩区と市全体の満足度を比較すると、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、「空気や川、海のきれいさ」は12.8ポイント、「家の周りの静けさ」は9.5ポイント、「公園や緑の豊かさ」は5.2ポイント上回っている。

一方、『利便性』では、「買い物の便利さ」が7.8ポイント下回っている。

『安全性』『サービス』では特に目立った点は見られない。

図表2-11 生活環境の満足度（＜満足＞、麻生区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示



麻生区	67.0	73.1	68.5	78.7	88.3	82.7	55.8	61.4	67.5	47.2	51.8	61.4
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6
	安全性			自然環境			利便性			サービス		

麻生区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」は12.8ポイント、「風紀上・防犯上の安心感」は15.2ポイント、「交通事故・危険物からの安心感」は13.2ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は26.3ポイント、「家の周りの静けさ」は20.7ポイント、「公園や緑の豊かさ」は16.5ポイント上回っている

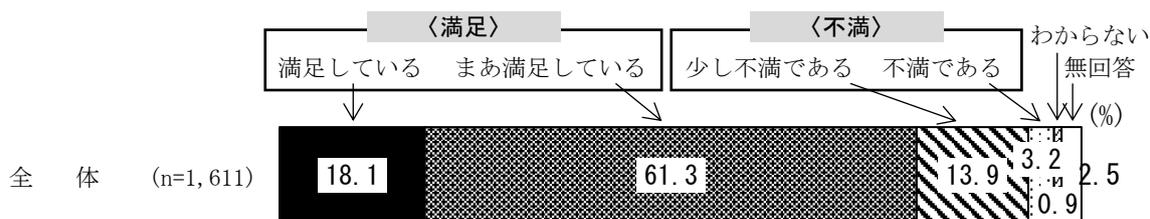
一方、『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、『サービス』でも「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」は6.4ポイント下回っている。

## 2-2 総合的な生活環境の満足度

◎<満足>が79.4%

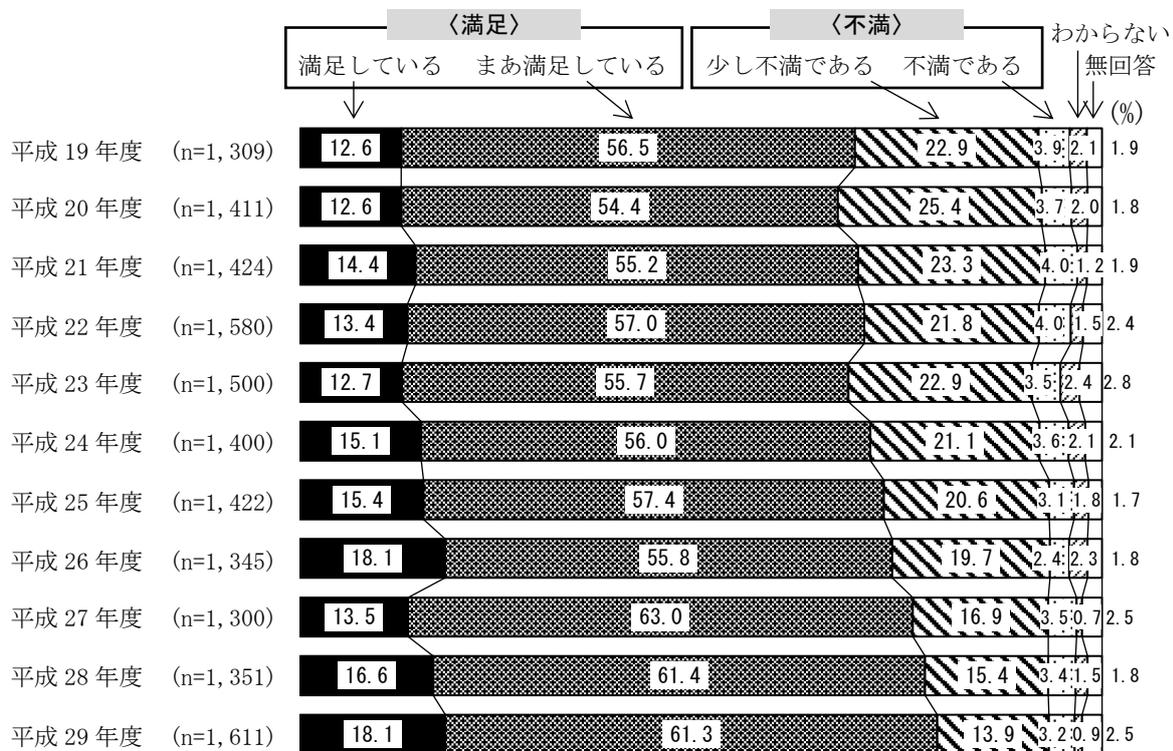
問6. あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

図表2-12 総合的な生活環境の満足度



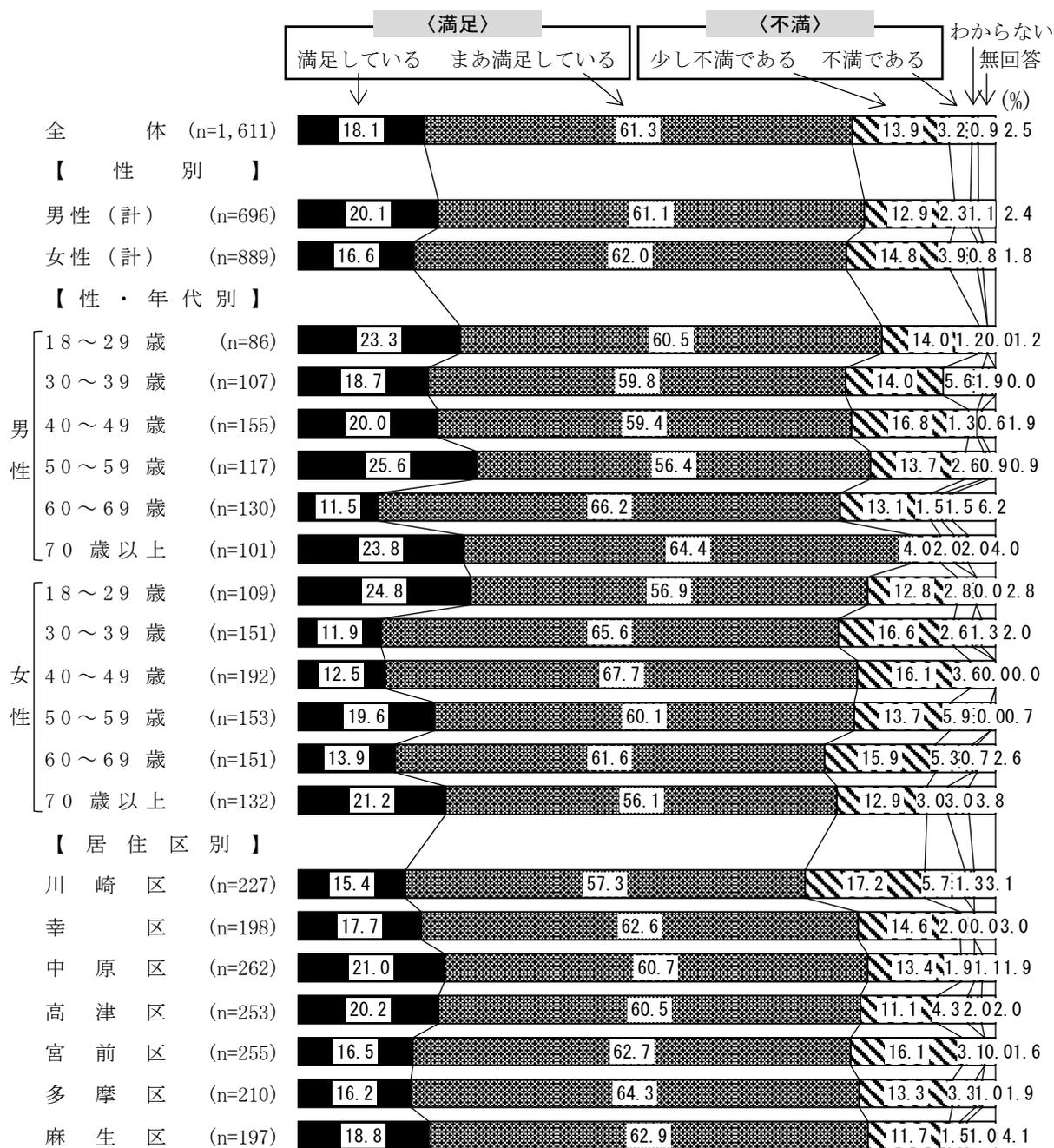
総合的な生活環境の満足度は、「まあ満足している」(61.3%)が最も多く、これに「満足している」(18.1%)を合わせた<満足>は79.4%となっている。「少し不満である」(13.9%)と「不満である」(3.2%)を合わせた<不満>は17.1%となっている。

図表2-13 総合的な生活環境の満足度（経年比較）



過去の推移では、〈満足〉は、平成19年度調査以降おおむね増加傾向にあり、5年前（平成24年度）と比較して8.3ポイント、10年前（平成19年度）と比較して10.3ポイント増加している。

図表2-14 総合的な生活環境の満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜満足＞の割合が男性で高く、特に男性の18～29歳、50～59歳、70歳以上で高い。女性では、18～29歳で＜満足＞の割合、「満足している」の割合が高い。

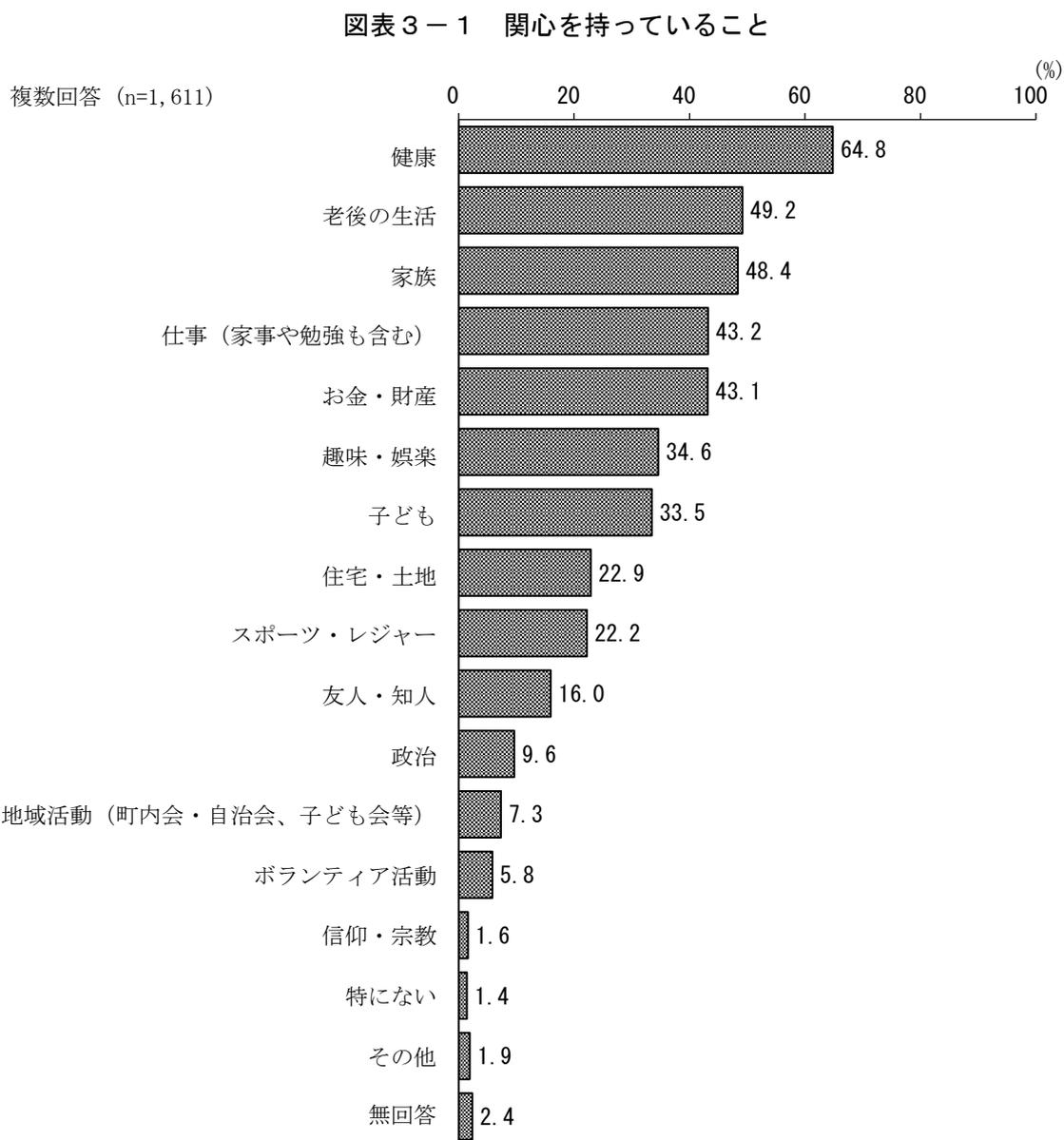
居住区別では、＜満足＞の割合、「満足している」の割合ともに、中原区、高津区、麻生区が高く、川崎区が低い。

### 3 関心ごとと行動範囲について

#### 3-1 関心を持っていること

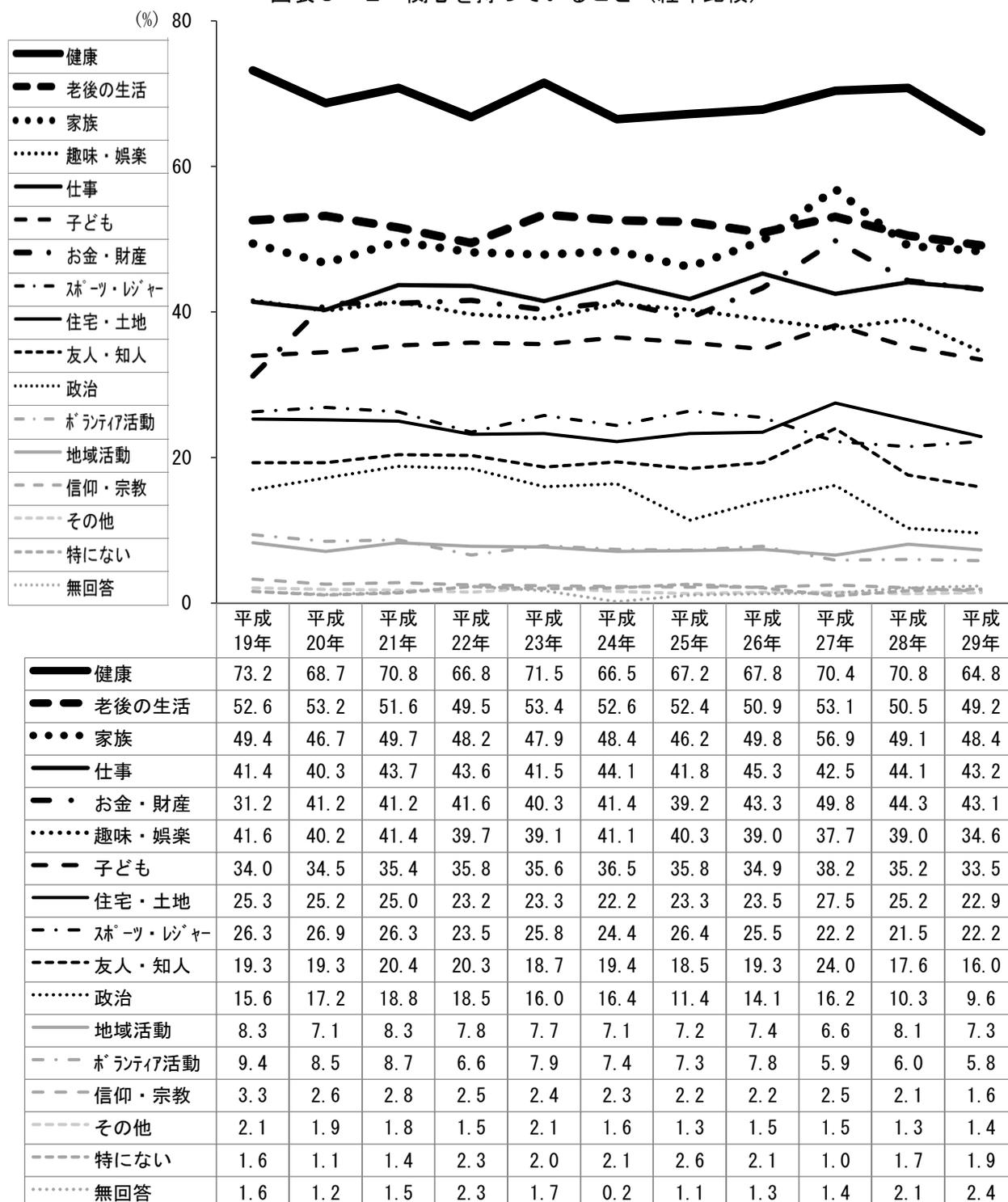
◎「健康」が64.8%

問7. あなたは、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(〇はいくつでも)



関心を持っていることは、「健康」(64.8%)が最も高く、次いで、「老後の生活」(49.2%)、「家族」(48.4%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(43.2%)、「お金・財産」(43.1%)の順となっている。

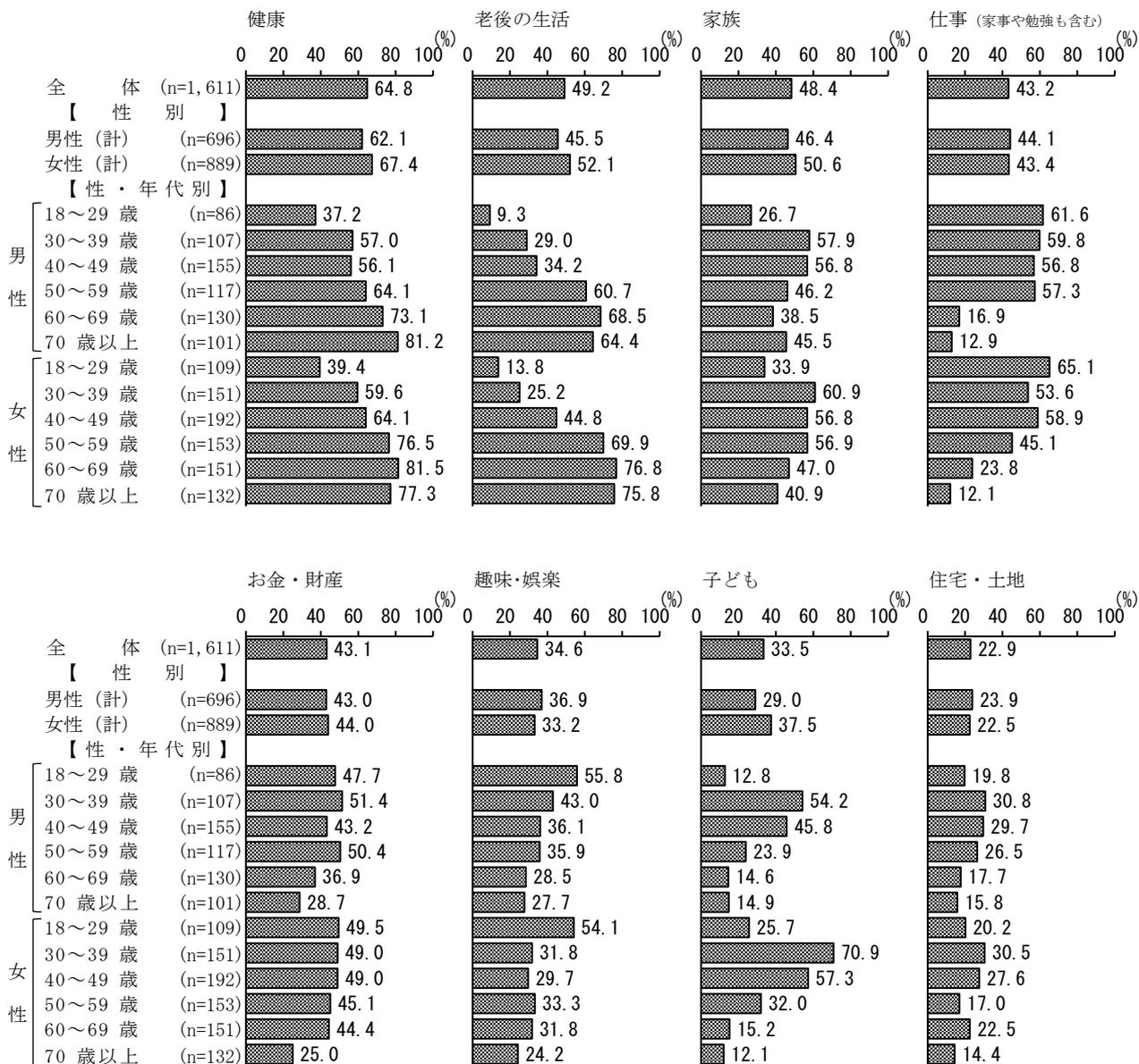
図表3-2 関心を持っていること（経年比較）



平成19年度からの推移をみると、「健康」が最も高く、これに「老後の生活」と「家族」を加えた3項目が、常に関心度上位3項目となっている。

その他の項目については、「お金・財産」は漸増傾向、「趣味・娯楽」、「スポーツ・レジャー」、「ボランティア活動」は漸減傾向となっている。

図表3-3 関心を持っていること(性/年齢別、上位8項目)



性/年齢別では、「健康」は、男性は60~69歳と70歳以上、女性は50歳以上の年代で特に高い。

「老後の生活」は、男性は60~69歳(68.5%)が最も高い。女性は50歳以上の年代で高く、60~69歳(76.8%)で最も高い。

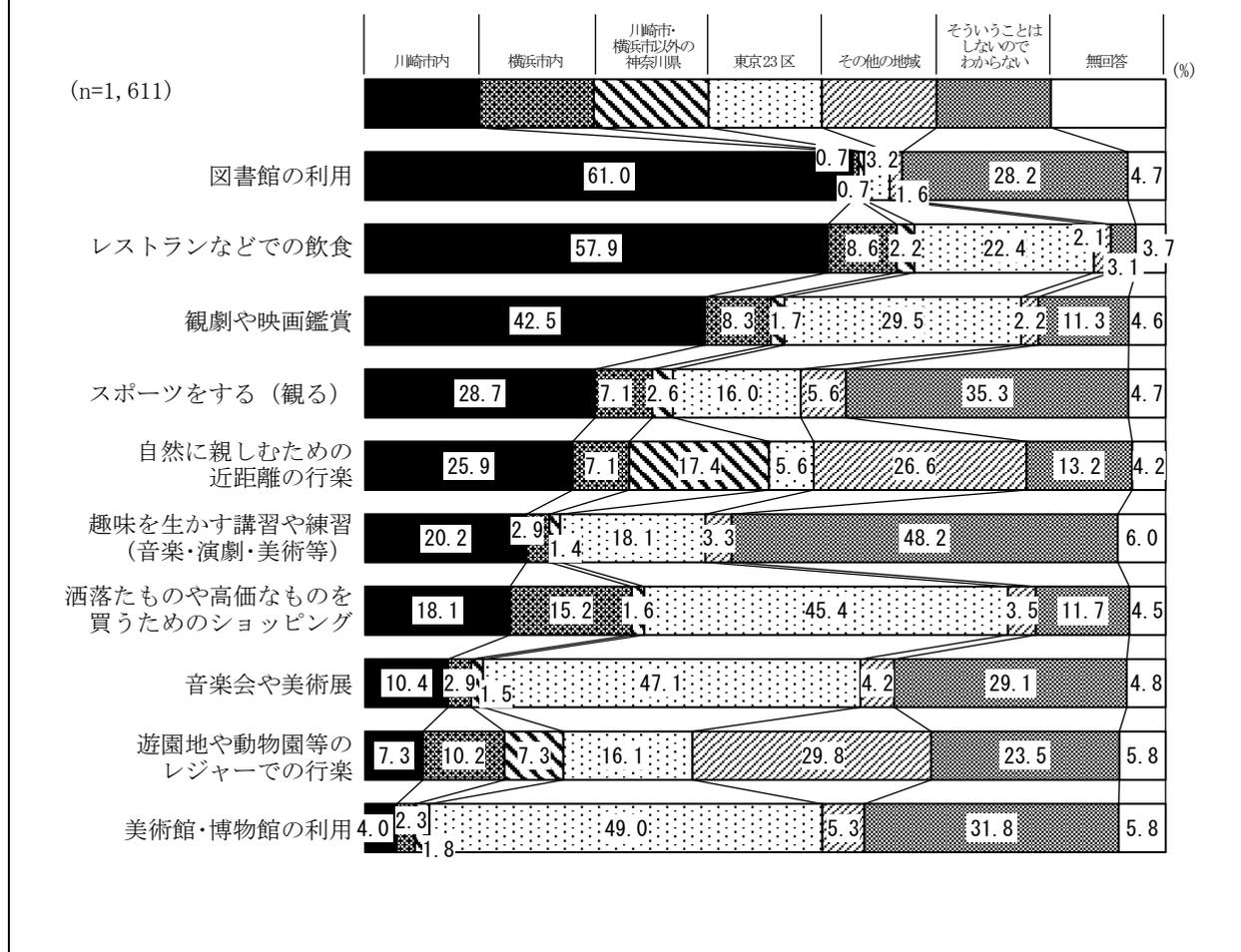
「家族」は、男性は30~39歳と40~49歳で、女性は30~39歳、40~49歳、そして50~59歳で高い。

### 3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」で61.0%

問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれ項目ごとにお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

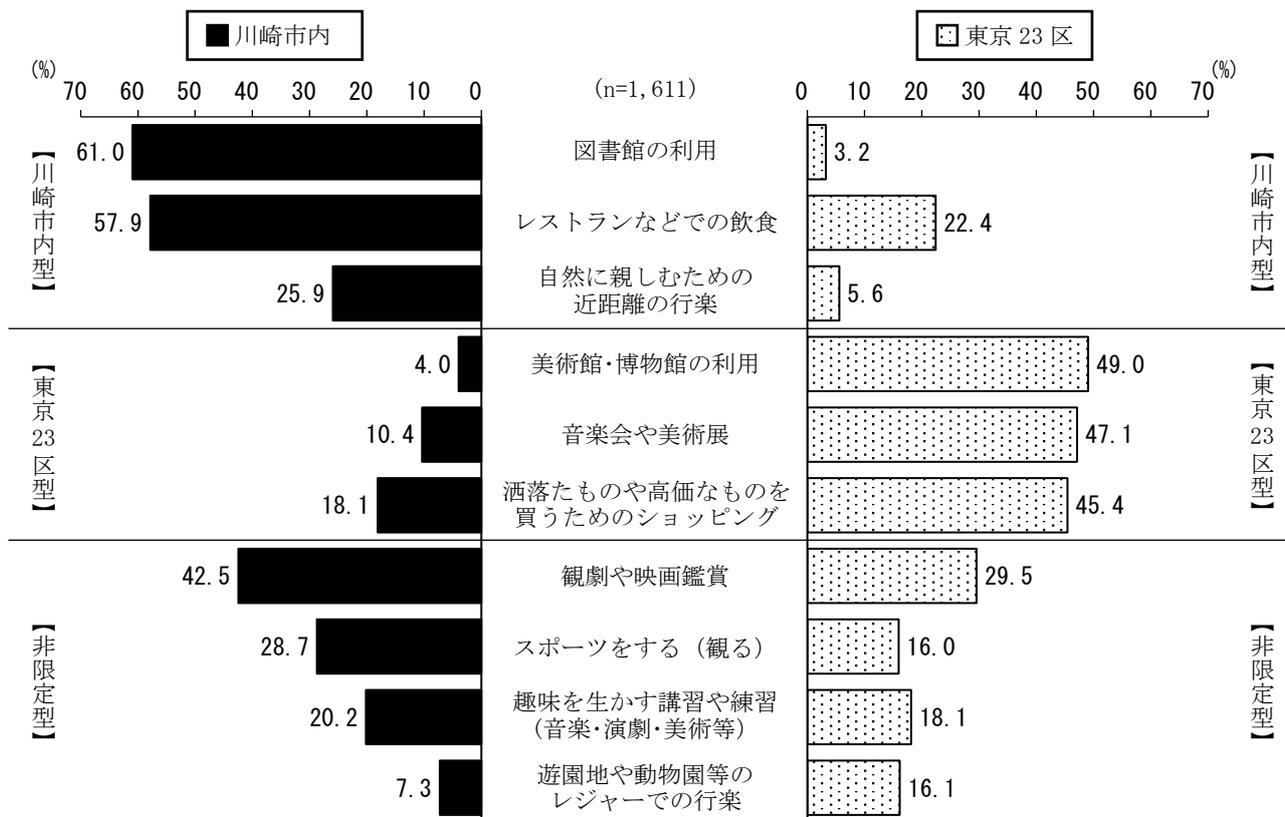
図表3-4 行動範囲



川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」(61.0%)で、次いで、「レストランなどでの飲食」(57.9%)、「観劇や映画鑑賞」(42.5%)の順となっている。一方、『東京23区』が最も高いのは、「美術館・博物館の利用」(49.0%)で、次いで、「音楽会や美術展」(47.1%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(45.4%)の順となっている。

上記以外について、「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」と「自然に親しむための近距離の行楽」では『その他の地域』が、それぞれ29.8%、26.6%で最も高く、「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術)」と「スポーツをする(観る)」では『そういふことはしないのでわからない』が、それぞれ48.2%、35.3%で最も高くなっている。

図表3-5 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較）



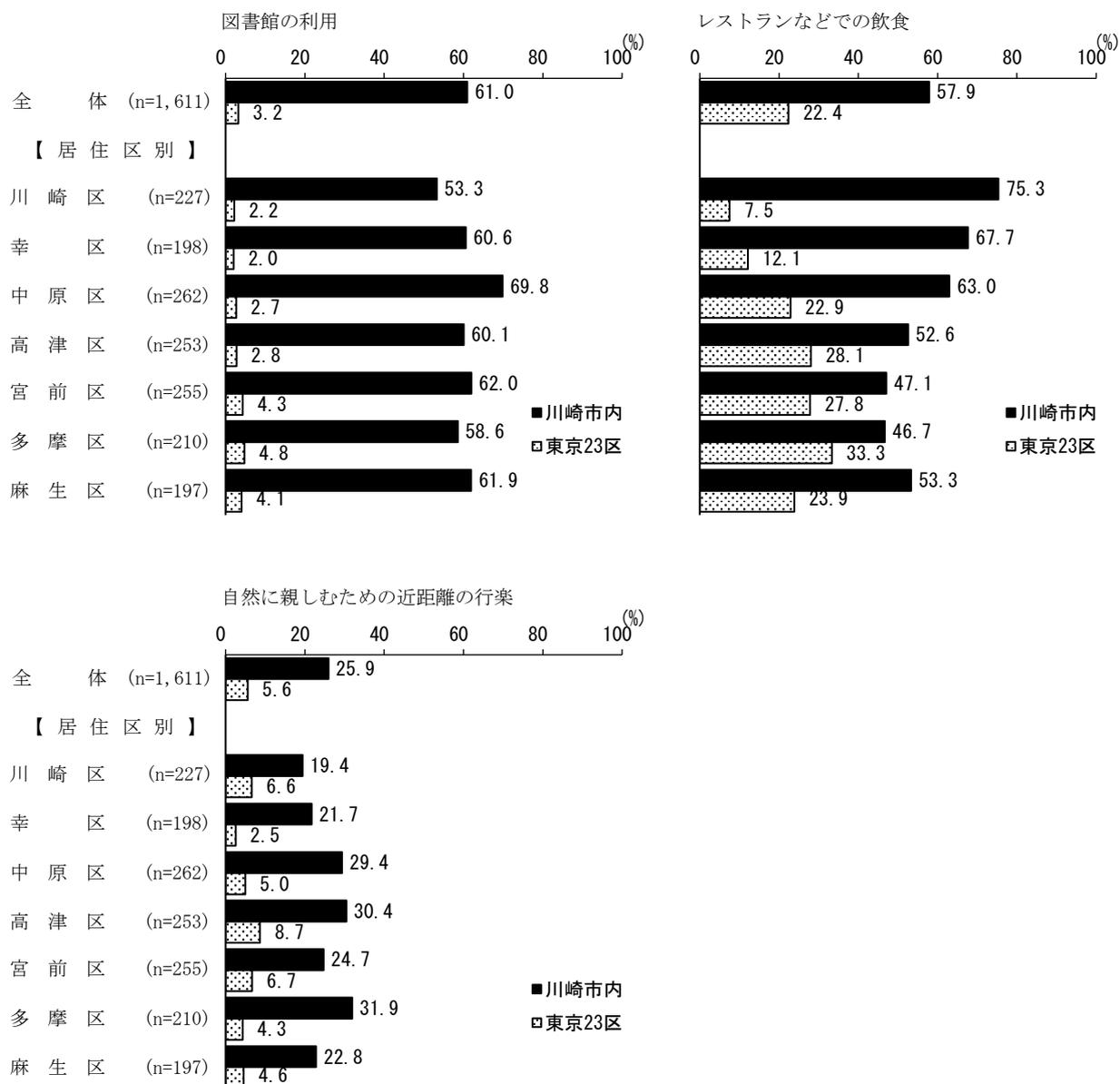
各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下ようになる。

【川崎市内型】 ..... 図書館の利用  
 レストランなどでの飲食  
 自然に親しむための近距離の行楽

【東京23区内型】 ..... 美術館・博物館の利用  
 音楽会や美術展  
 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング

【非限定型】 ..... 観劇や映画鑑賞  
 スポーツをする（観る）  
 趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）  
 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

図表3-6 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【川崎市内型】

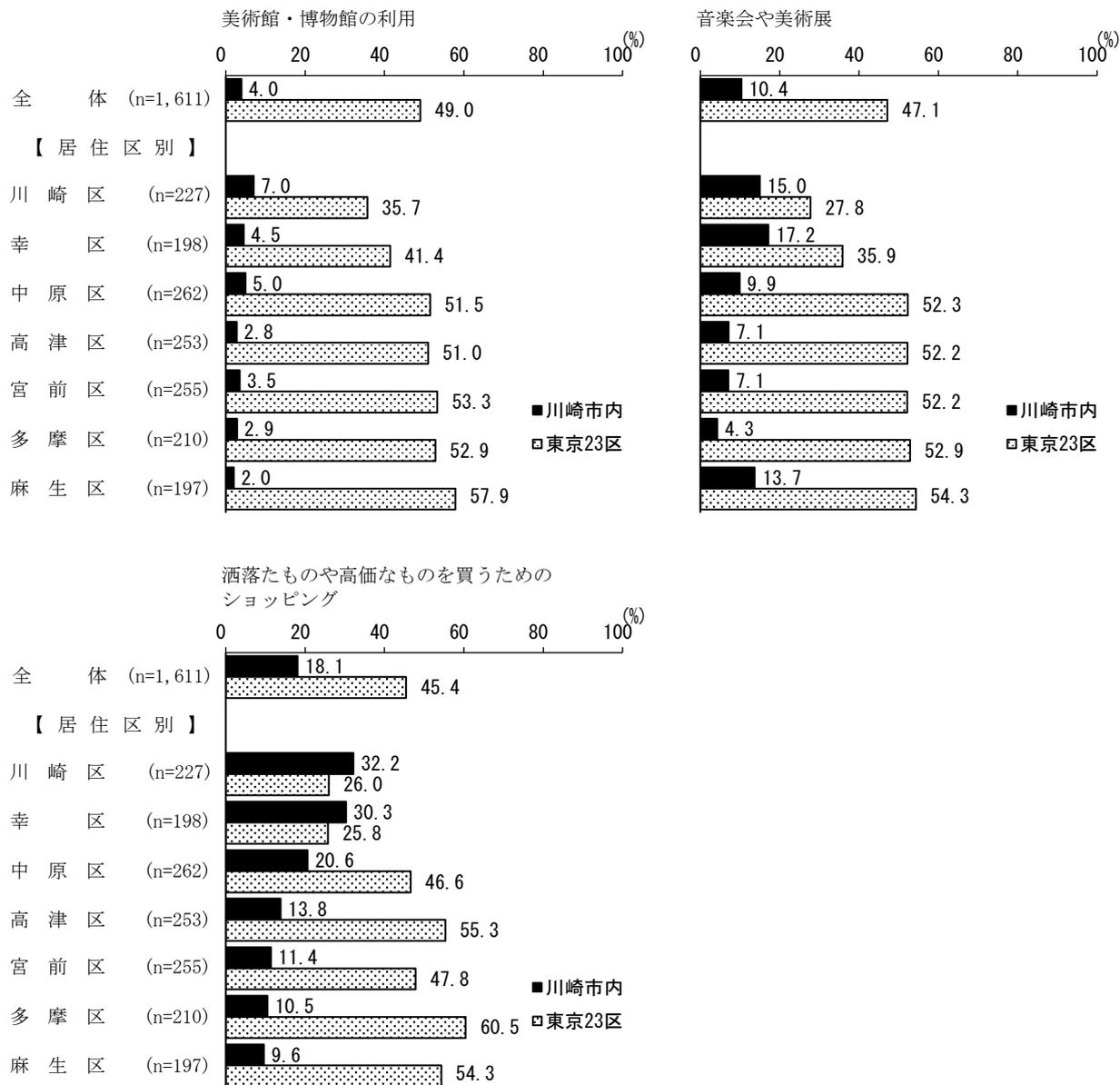


【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区（69.8%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの居住区においても5%未満と低い。

「レストランなどでの飲食」は、川崎区（75.3%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区（33.3%）が最も高い。

「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区（31.9%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの区においても1割未満となっている。

図表3-7 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【東京23区内型】

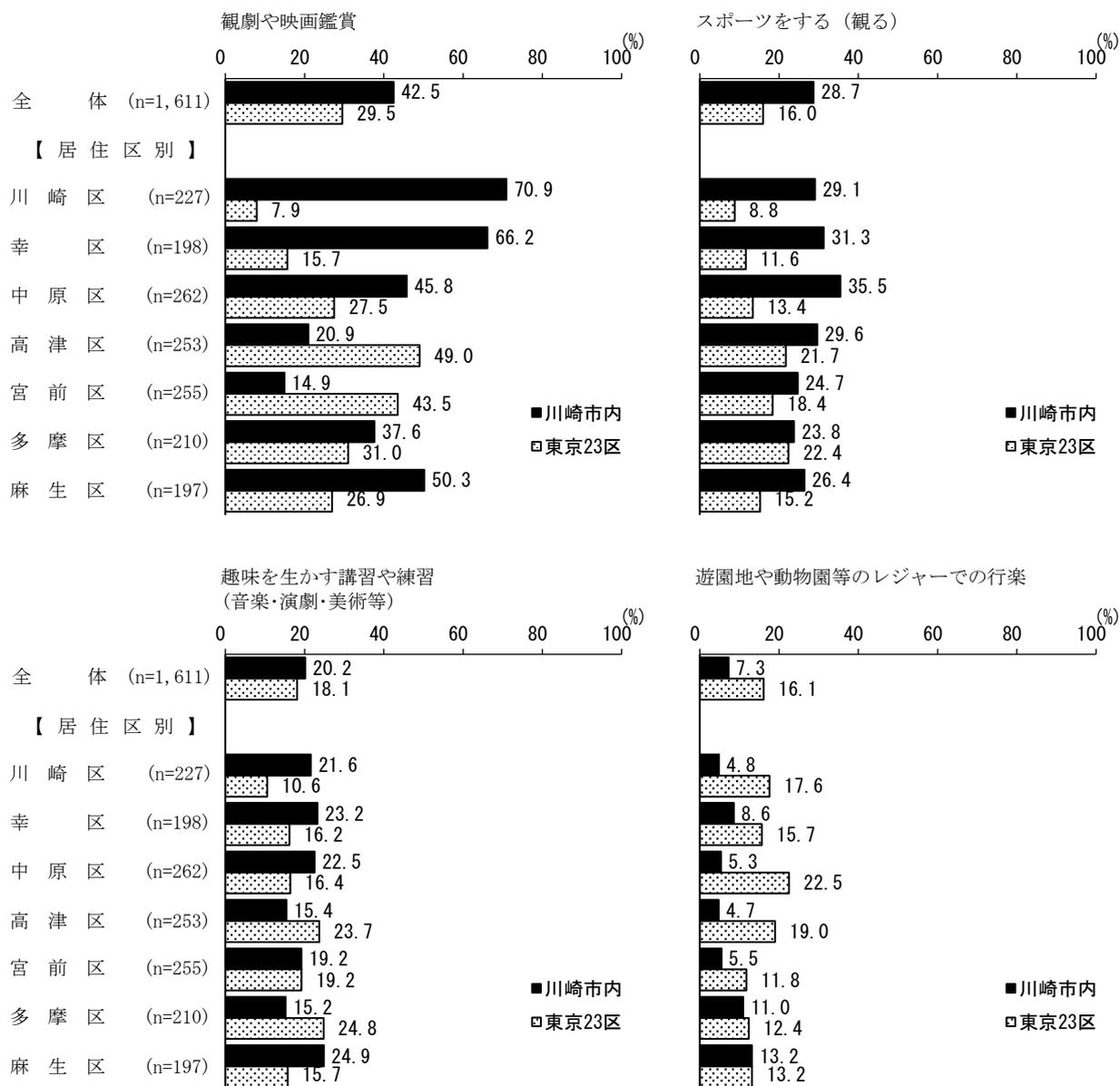


【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、麻生区（57.9%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。

「音楽会や美術展」も麻生区（54.3%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、幸区（17.2%）が最も高い。

「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は、多摩区（60.5%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区（32.2%）が最も高い。

図表3-8 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【非限定型】



『川崎市内』と『東京23区』に限らず平均的な利用があると思われる【非限定型】4項目を居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」について、『川崎市内』での利用率は、川崎区(70.9%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(49.0%)が最も高い。

「スポーツをする(観る)」について、『川崎市内』での利用率は、中原区(35.5%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区(22.4%)が最も高い。

「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区(24.9%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区(24.8%)が最も高い。

「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区(13.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、中原区(22.5%)が最も高い。

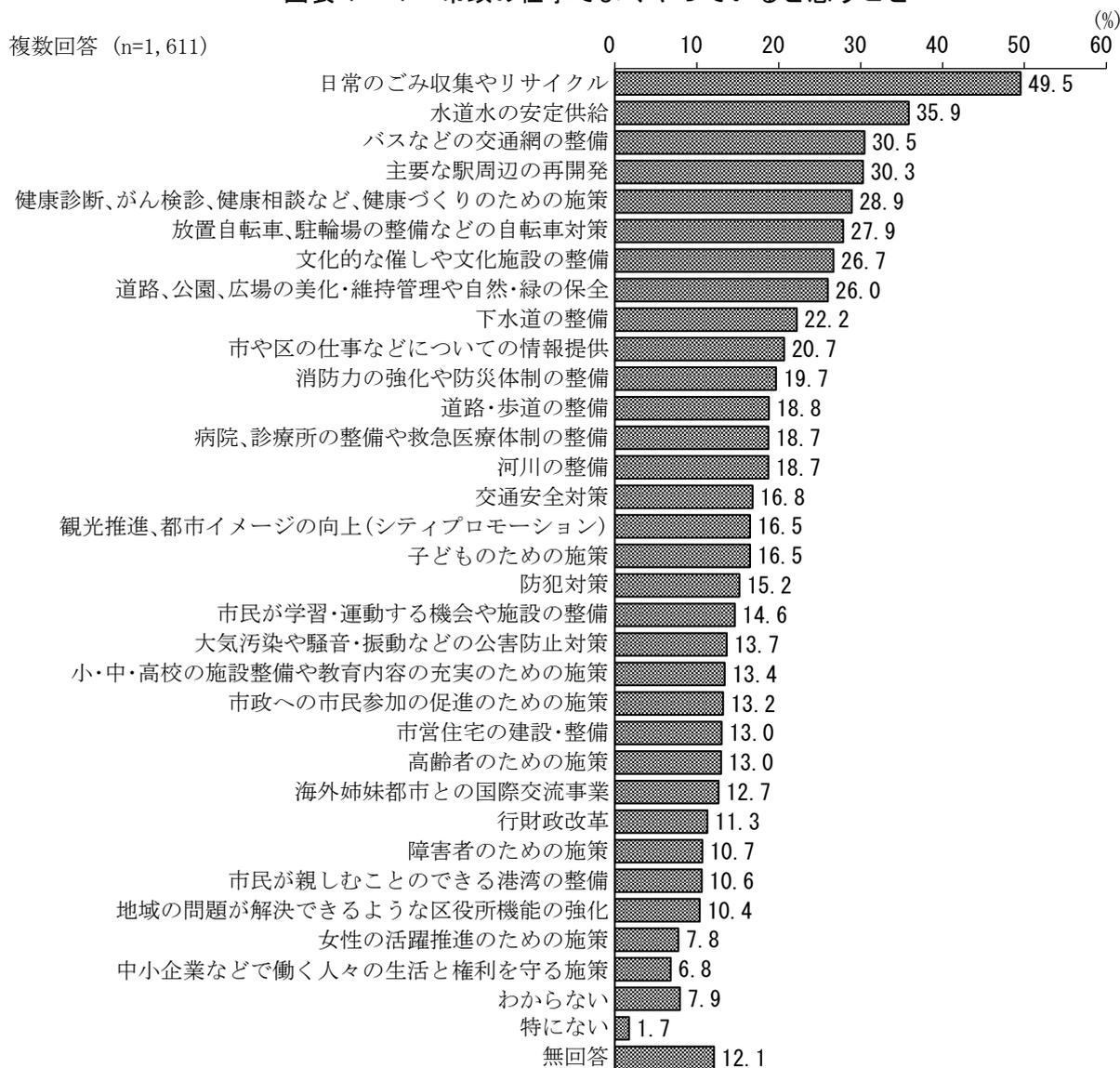
## 4 市政に対する評価と要望について

### 4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が49.5%

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(49.5%)が最も高く、次いで、「水道水の安定供給」(35.9%)、「バスなどの交通網の整備」(30.5%)、「主要な駅周辺の再開発」(30.3%)の順となっている。

図表4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと（経年比較）

	平成 29 年度 (n=1,611)	平成 24 年度 (n=1,400)	平成 19 年度 (n=1,309)
日常のごみ収集やリサイクル	49.5%	50.6%	44.9%
水道水の安定供給	35.9%	35.2%	26.3%
バスなどの交通網の整備	30.5%	27.4%	27.0%
主要な駅周辺の再開発	30.3%	25.1%	27.3%
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	28.9%	26.4%	20.6%
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	27.9%	24.1%	22.1%
文化的な催しや文化施設の整備	26.7%	19.9%	23.1%
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	26.0%	23.9%	21.7%
下水道の整備	22.2%	21.5%	24.7%
市や区の仕事などについての情報提供	20.7%	18.5%	19.4%
消防力の強化や防災体制の整備	19.7%	16.6%	16.2%
道路・歩道の整備	18.8%	16.3%	17.8%
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	18.7%	18.3%	12.8%
河川の整備	18.7%	16.9%	16.1%
交通安全対策	16.8%	15.2%	14.2%
観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)	16.5%	11.9%	9.2%
子どものための施策	16.5%	11.2%	10.3%
防犯対策	15.2%	12.3%	10.5%
市民が学習・運動する機会や施設の整備	14.6%	13.4%	13.2%
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	13.7%	9.7%	8.9%
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	13.4%	9.1%	9.4%
市政への市民参加の促進のための施策	13.2%	12.3%	12.5%
市営住宅の建設・整備	13.0%	12.1%	12.4%
高齢者のための施策	13.0%	10.1%	8.9%
海外姉妹都市との国際交流事業	12.7%	13.5%	16.0%
行財政改革	11.3%	7.6%	9.1%
障害者のための施策	10.7%	9.1%	7.6%
市民が親しむことのできる港湾の整備	10.6%	10.6%	9.4%
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	10.4%	6.4%	7.0%
女性の活躍推進のための施策	7.8%	6.3%	6.1%
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	6.8%	5.5%	5.4%
わからない	7.9%	6.9%	5.4%
特にない	1.7%	3.0%	2.9%
無回答	12.1%	11.8%	13.9%

※「水道水の安定供給」：平成 19 年度では「飲料水の安定供給」で実施

※「文化的な催しや文化施設の整備」：平成 19 年度及び 24 年度では「映画祭、国際会議などの催しや活動」と「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」で実施しており、両年の数値は 2 項目の平均値

※「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保存」：平成 19 年度及び 24 年度では「道路、公園、広場の美化・清掃」「公園の整備や維持管理」「自然や緑の保全」で実施しており、両年の数値は 3 項目の平均値

※「観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)」：平成 19 年度では「観光推進、シティセールス」、平成 24 年度では「観光推進、シティセールス(都市イメージの向上)」で実施

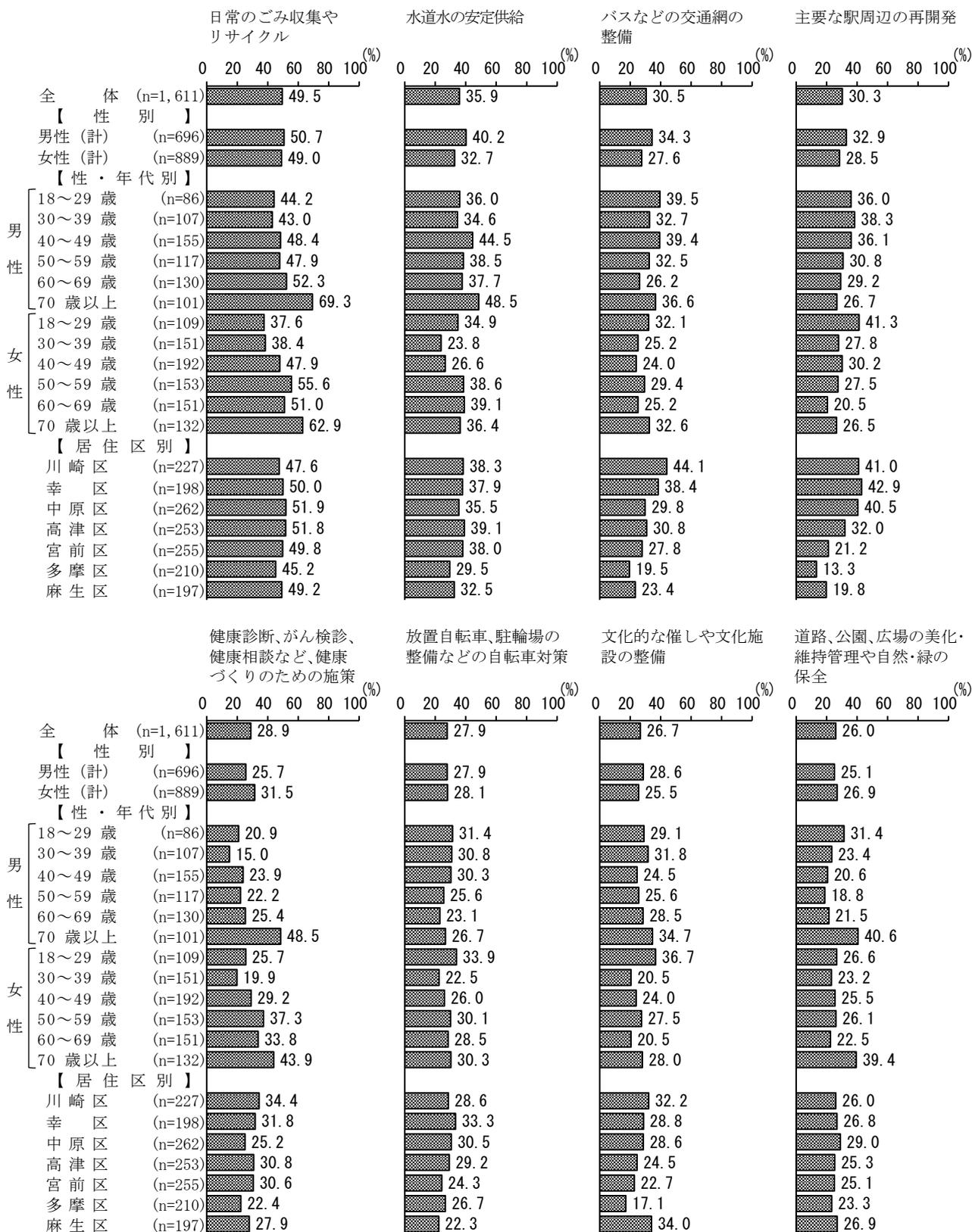
※「市民が学習・運動する機会や施設の整備」：平成 19 年度及び 24 年度では「市民が学習する機会や施設の整備」と「スポーツ・レクリエーションの施設整備」で実施しており、両年の数値は 2 項目の平均値

※「女性の活躍推進のための施策」：平成 19 年度及び 24 年度では「女性の地位向上のための施策」で実施

5 年前(平成 24 年度)と比較すると、上位 3 項目について順位に変動はなかった。

また、「日常のごみ収集やリサイクル」は 10 年前(平成 19 年度)から一貫して最上位である。

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



性/年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」は、男女とも70歳以上で最も高い。「主要な駅周辺の再開発」は女性の18~29歳で最も高い。

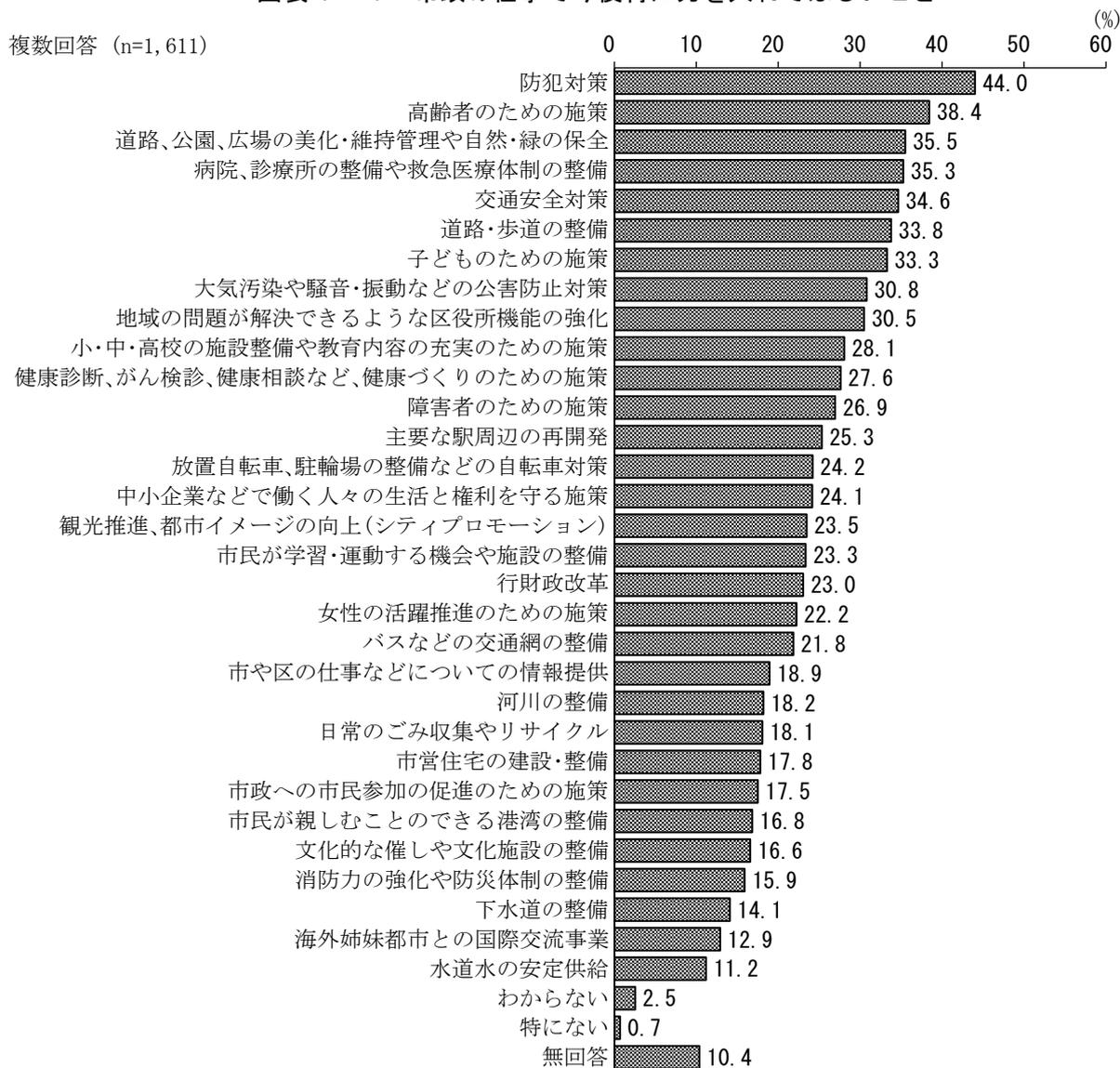
## 4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

◎「防犯対策」が44.0%、「高齢者のための施策」が38.4%

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。

(○はいくつでも)

図表4-4 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと



市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「防犯対策」(44.0%)が最も高く、次いで、「高齢者のための施策」(38.4%)、「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」(35.5%)、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」(35.3%)、「交通安全対策」(34.6%)の順となっている。

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（経年比較）

	平成 29 年度 (n=1,611)	平成 24 年度 (n=1,400)	平成 19 年度 (n=1,309)
防犯対策	44.0%	45.3%	53.5%
高齢者のための施策	38.4%	38.6%	44.5%
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	35.5%	29.7%	38.3%
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	35.3%	38.0%	49.7%
交通安全対策	34.6%	34.8%	39.6%
道路・歩道の整備	33.8%	32.4%	33.9%
子どものための施策	33.3%	35.7%	36.4%
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	30.8%	31.9%	43.6%
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	30.5%	29.6%	36.1%
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	28.1%	27.6%	30.4%
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	27.6%	28.9%	36.9%
障害者のための施策	26.9%	29.2%	33.2%
主要な駅周辺の再開発	25.3%	19.9%	23.5%
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	24.2%	30.4%	41.8%
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	24.1%	24.9%	27.6%
観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)	23.5%	17.1%	16.4%
市民が学習・運動する機会や施設の整備	23.3%	19.3%	23.2%
行財政改革	23.0%	30.6%	32.0%
女性の活躍推進のための施策	22.2%	20.0%	23.2%
バスなどの交通網の整備	21.8%	19.8%	21.8%
市や区の仕事などについての情報提供	18.9%	21.9%	24.8%
河川の整備	18.2%	15.6%	19.6%
日常のごみ収集やリサイクル	18.1%	20.3%	29.3%
市営住宅の建設・整備	17.8%	15.2%	19.8%
市政への市民参加の促進のための施策	17.5%	15.8%	19.9%
市民が親しむことのできる港湾の整備	16.8%	13.3%	18.6%
文化的な催しや文化施設の整備	16.6%	14.6%	15.7%
消防力の強化や防災体制の整備	15.9%	16.4%	18.4%
下水道の整備	14.1%	11.9%	13.0%
海外姉妹都市との国際交流事業	12.9%	13.9%	10.9%
水道水の安定供給	11.2%	13.3%	19.6%
わからない	2.5%	2.7%	1.8%
特にない	0.7%	1.8%	1.4%
無回答	10.4%	7.4%	4.9%

※「水道水の安定供給」：平成 19 年度では「飲料水の安定供給」で実施

※「文化的な催しや文化施設の整備」：平成 19 年度及び 24 年度では「映画祭、国際会議などの催しや活動」と「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」で実施しており、両年の数値は 2 項目の平均値

※「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保存」：平成 19 年度及び 24 年度では「道路、公園、広場の美化・清掃」「公園の整備や維持管理」「自然や緑の保全」で実施しており、両年の数値は 3 項目の平均値

※「観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)」：平成 19 年度では「観光推進、シティセールス」、平成 24 年度では「観光推進、シティセールス(都市イメージの向上)」で実施

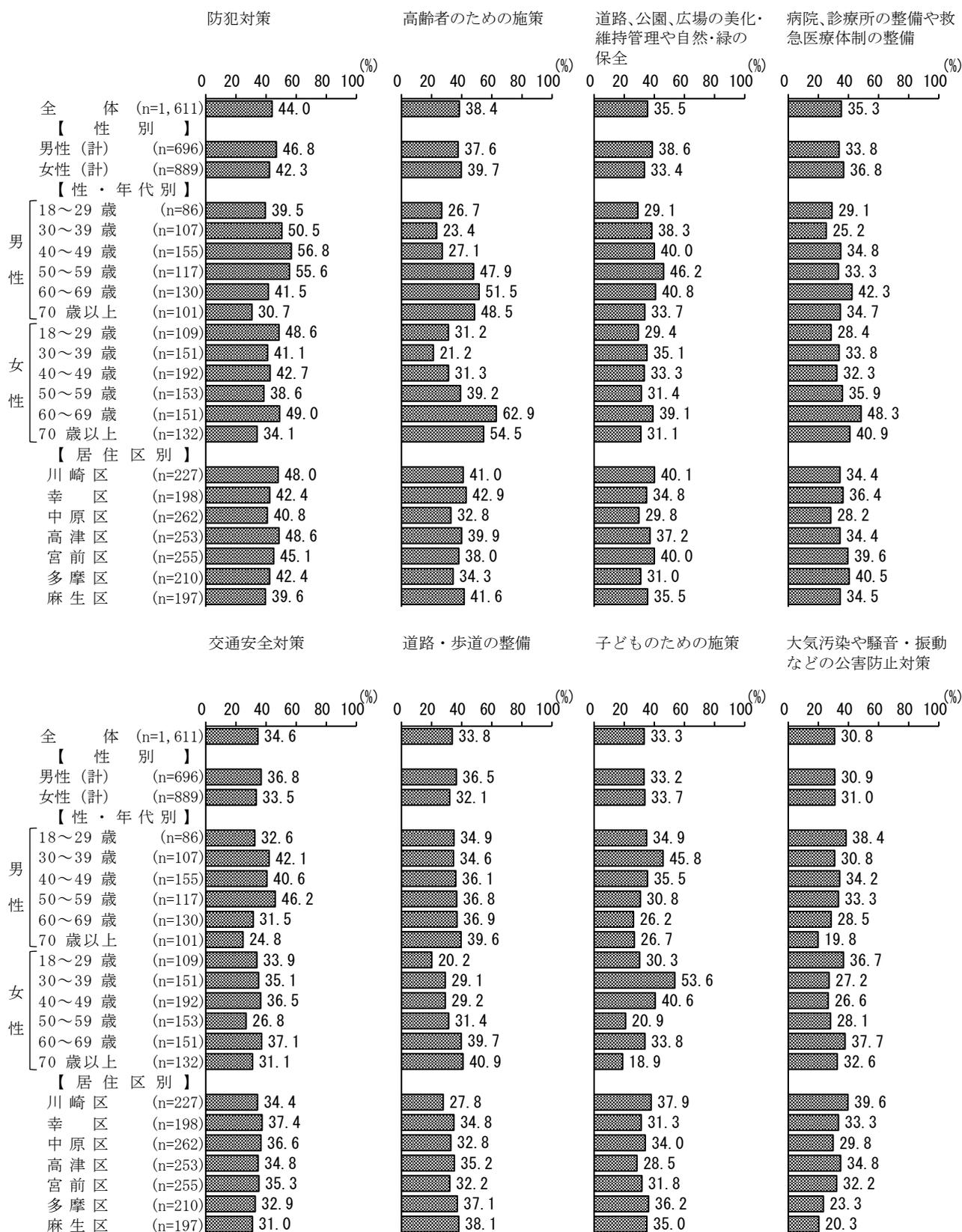
※「市民が学習・運動する機会や施設の整備」：平成 19 年度及び 24 年度では「市民が学習する機会や施設の整備」と「スポーツ・レクリエーションの施設整備」で実施しており、両年の数値は 2 項目の平均値

※「女性の活躍推進のための施策」：平成 19 年度及び 24 年度では「女性の地位向上のための施策」で実施

5 年前(平成 24 年度)と比較すると、上位 2 項目については順位に変動はなく、5 年前は「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」が第 3 位で、第 4 位が「子どものための施策」、第 5 位が「交通安全対策」であった。

また、10 年前(平成 19 年度)は「防犯対策」が最も高く、次いで、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」「高齢者のための施策」の順であった。

図表4-6 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと (性/年齢別・居住区別、上位8項目)



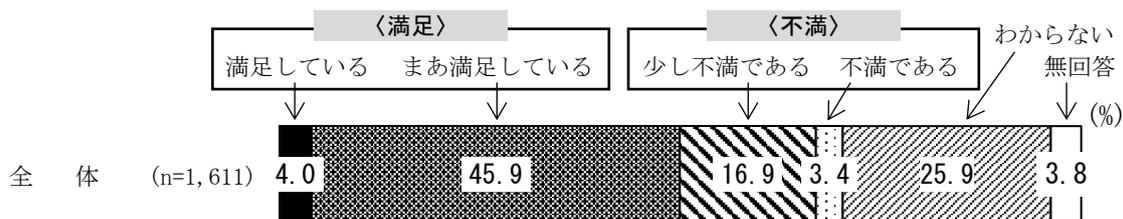
性/年齢別では、「防犯対策」は男性の40~59歳、「高齢者のための施策」は男女とも60~69歳、「子どものための施策」は男女とも30~39歳で特に高い。

### 4-3 施策や事業の総合的な満足度

◎〈満足〉が50.0%

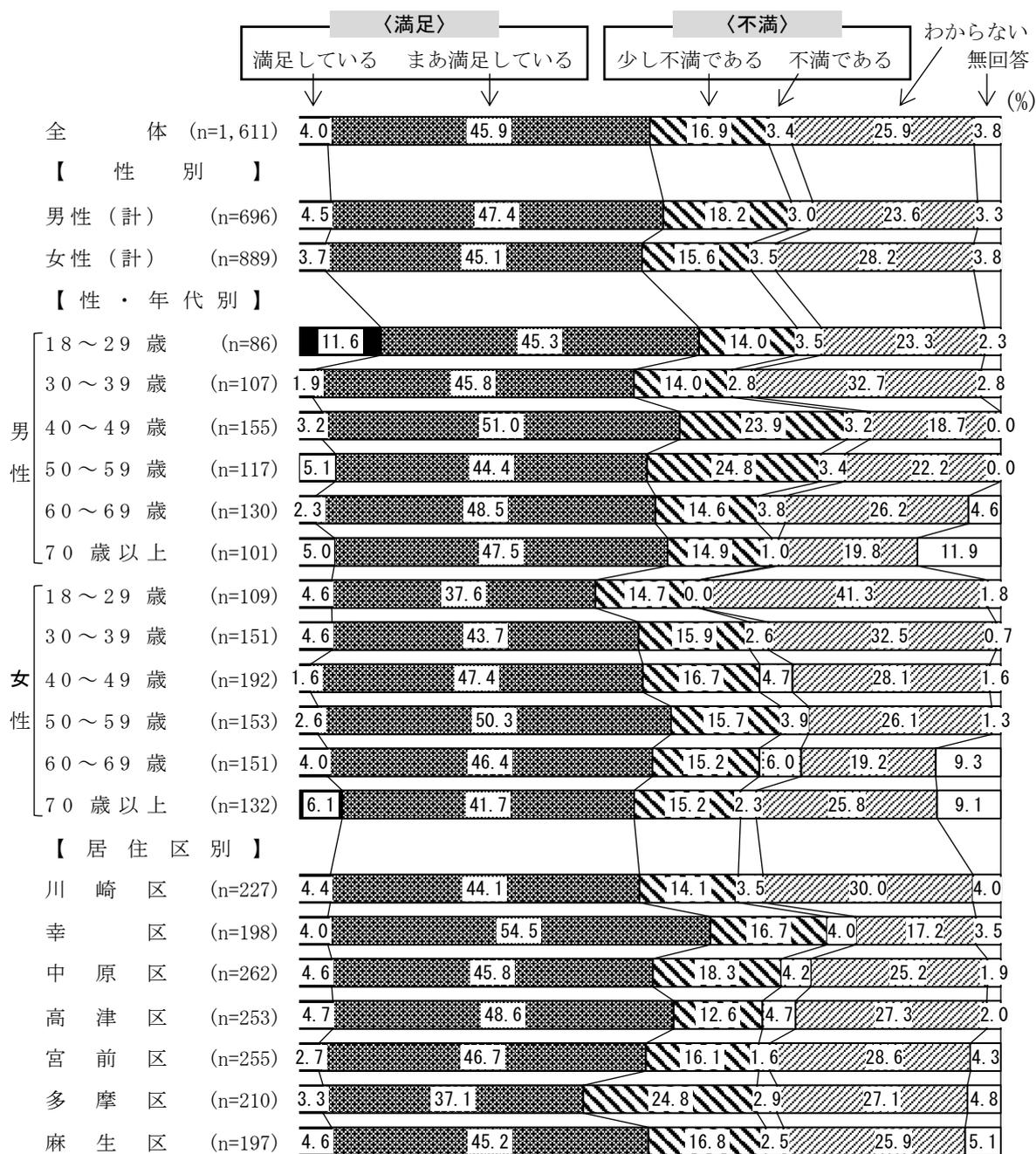
問10. あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

図表4-7 施策や事業の総合的な満足度



施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(4.0%)と「まあ満足している」(45.9%)を合わせた〈満足〉が50.0%となっている。一方、「少し不満である」(16.9%)と「不満である」(3.4%)を合わせた〈不満〉は20.3%となっている。

図表4-8 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、〈満足〉は男性の18～29歳（57.0%）、40～49歳（54.2%）の順で高い。一方、〈不満〉は、男性の50～59歳（28.2%）、40～49歳（27.1%）の順で高い。

居住区別では、〈満足〉は、幸区（58.6%）、高津区（53.4%）、中原区（50.4%）の順で高い。一方、〈不満〉は、多摩区（27.6%）、中原区（22.5%）の順で高い。

## 5 川崎市の職員について

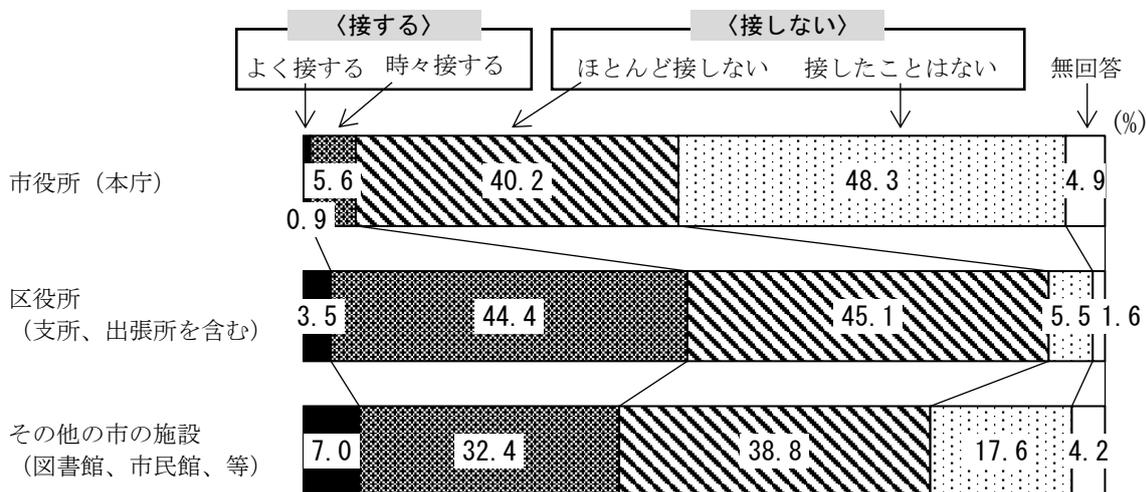
### 5-1 市職員と接する頻度

◎「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と〈接する〉は47.9%、その他の市の施設（図書館、市民館、等）の市職員と〈接する〉は39.4%、「市役所（本庁）」の市職員と〈接する〉は6.6%

問11. あなたは、日ごろ、市役所や区役所、市の施設等の利用などを通じて、どのくらいの頻度で川崎市の職員と接していますか。（〇はそれぞれ1つつ）

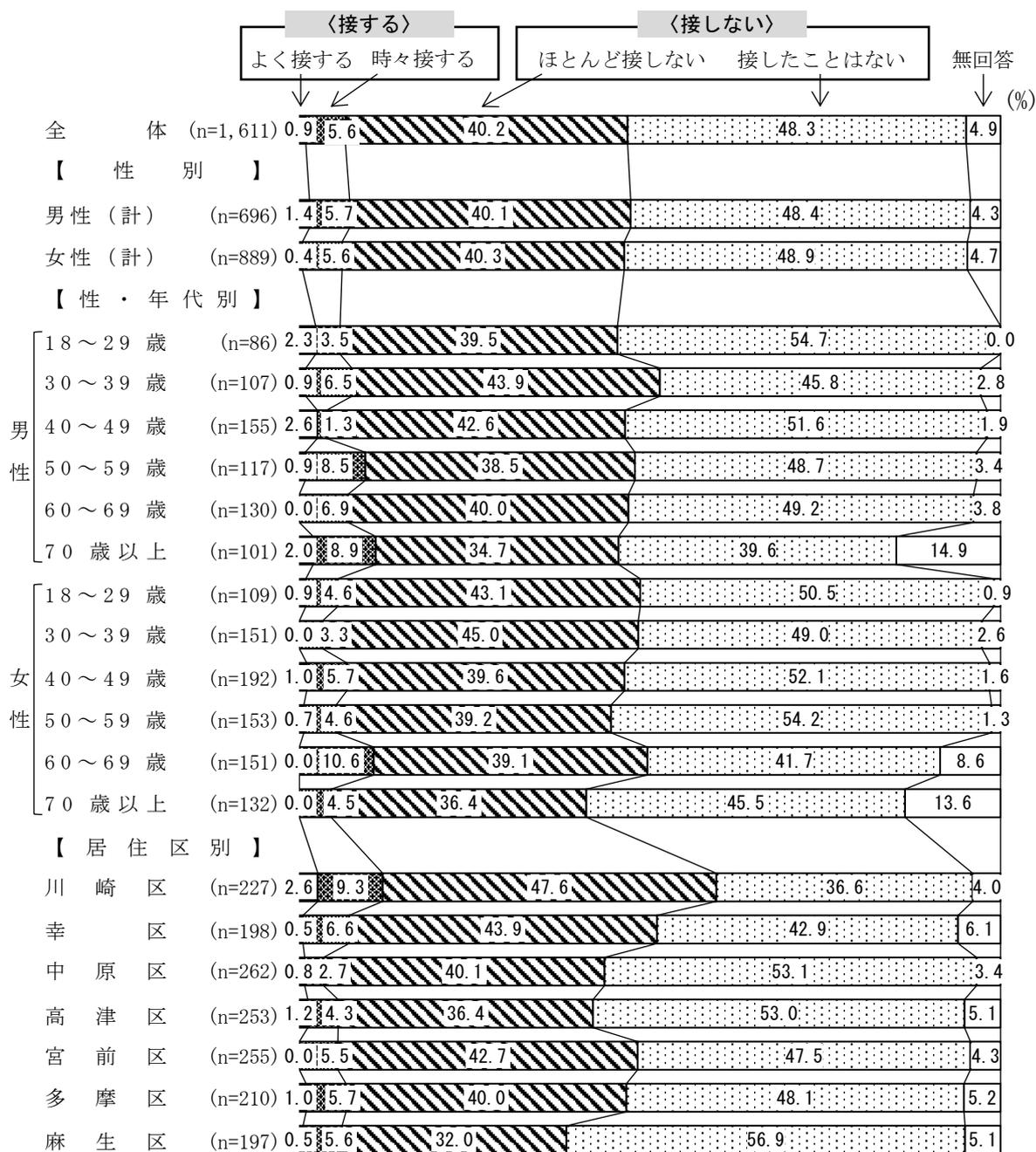
図表5-1 市職員と接する頻度

全 体 (n=1,611)



「よく接する」と「時々接する」を合計した市職員と〈接する〉割合は、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員で47.9%、「その他の市の施設（図書館、市民館、等）」の市職員で39.4%、「市役所（本庁）」の市職員では6.6%となっている。

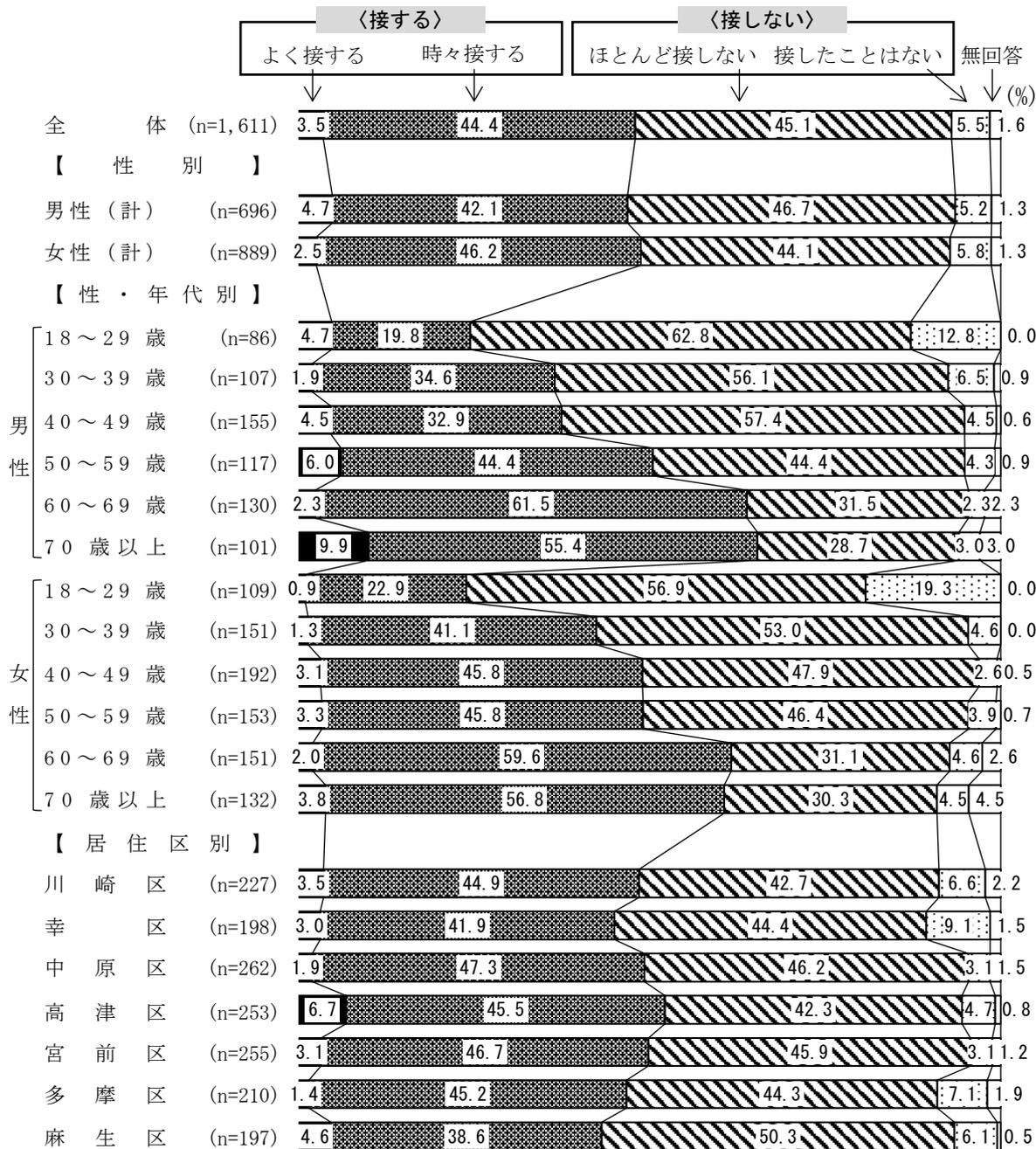
図表5-2 市職員と接する頻度【市役所（本庁）】（性／年齢別・居住区別）



「市役所（本庁）」の市職員と＜接する＞頻度について、性／年齢別では、男性の70歳以上と女性の69～69歳で1割を超えているが、他の年代は1割未満となっている。

居住区別では、川崎区が11.9%で最も高く、他の区は1割未満となっている。

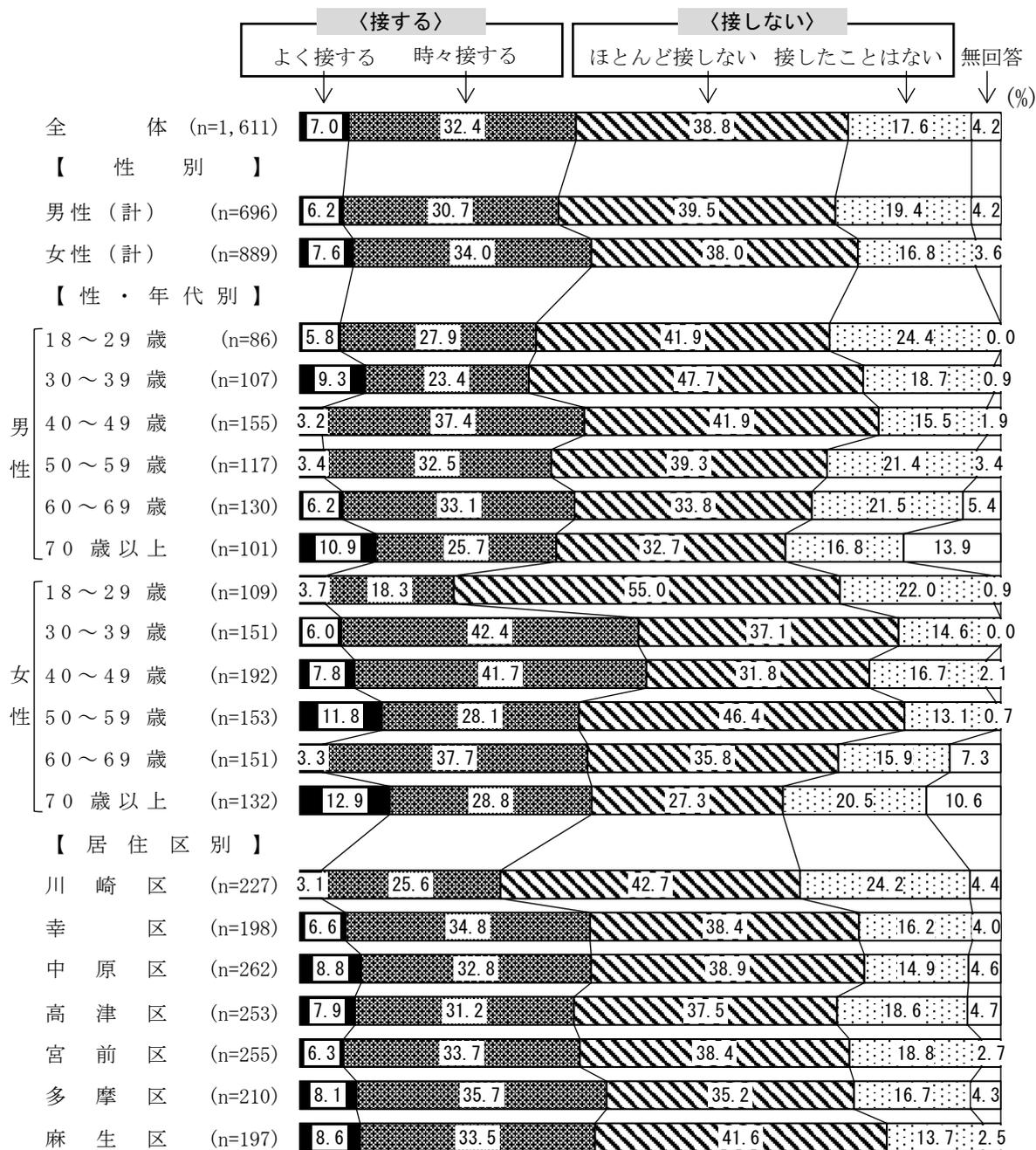
図表5-3 市職員と接する頻度【区役所（支所、出張所を含む）】（性／年齢別・居住区別）



「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と＜接する＞頻度について、性／年齢別では、男女ともに、年代が高くなるほど接触率が高くなる傾向があり、男女ともに60歳以上の年代では＜接する＞が6割を超えている。

居住区別では、高津区が52.2%で最も高く、次いで、宮前区(49.8%)、中原区(49.2%)の順となっている。一方で、＜接する＞割合が最も低いのは麻生区で43.1%となっている。

図表5-4 市職員と接する頻度【その他の市の施設（図書館、市民館、等）】  
（性／年齢別・居住区別）



「その他の市の施設（図書館、市民館、等）」の市職員と〈接する〉頻度について、性／年齢別では、女性の30～39歳と40～49歳で〈接する〉が5割近くと最も高い一方で、女性の18～29歳では22.0%と最も低い。

居住区別では、他の区が4割前後であるのに対して、川崎区は28.6%となっている。

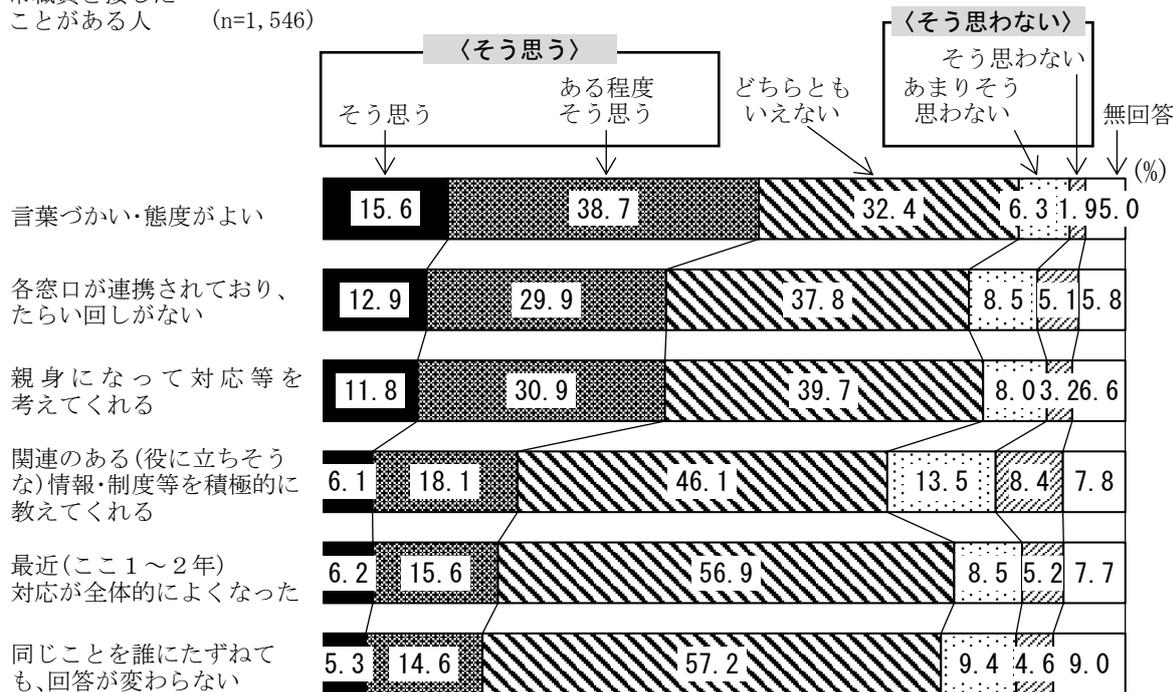
## 5-2 市職員の市民対応等について

◎<そう思う>は「言葉づかい・態度がよい」が54.3%、「各窓口が連携されており、たらい回しがない」が42.8%

問12. あなたは、川崎市の職員による市民対応等について、どのように感じていますか。  
(○はそれぞれ1つつ)

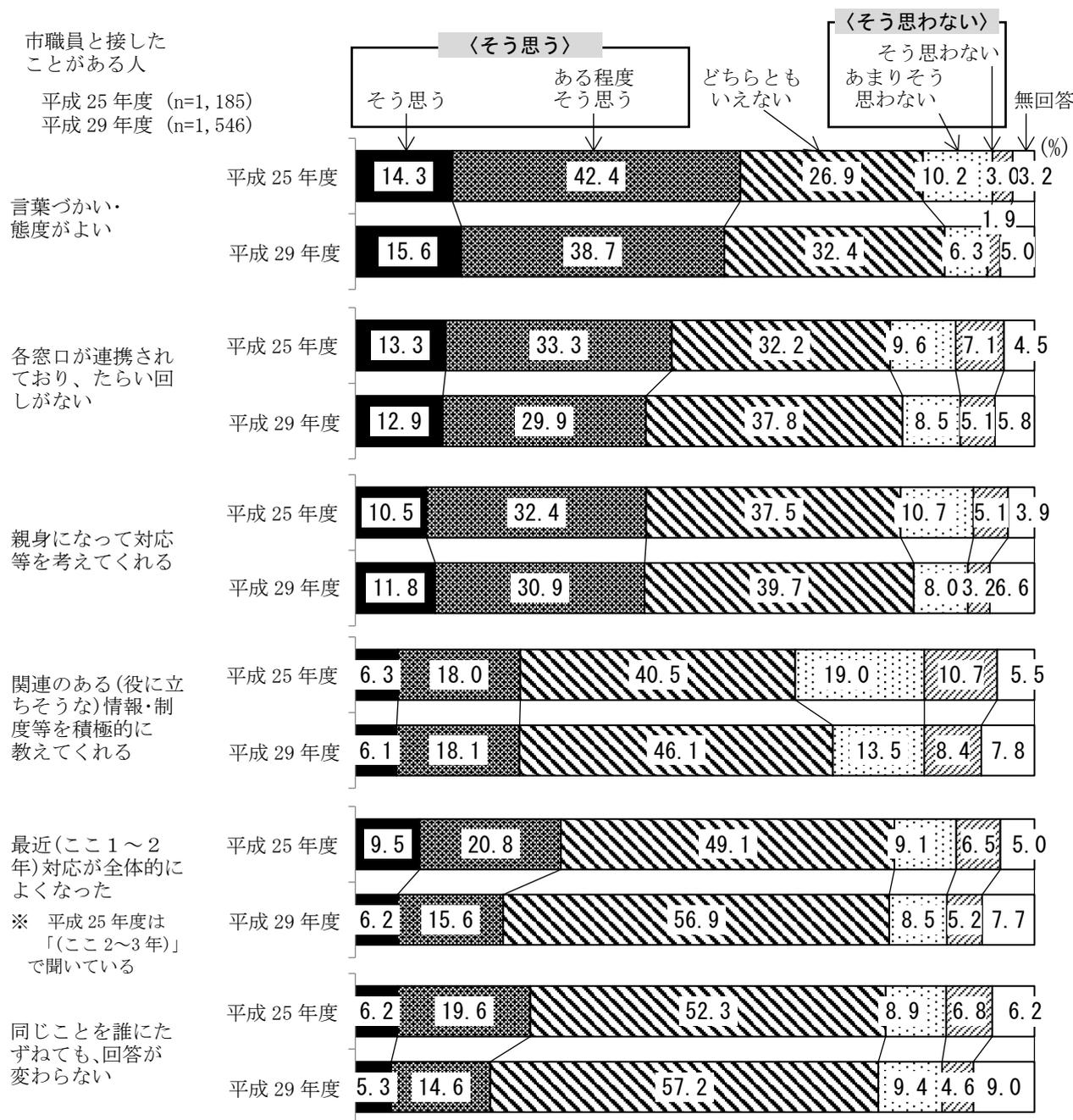
図表5-5 市職員の市民対応等について

市職員と接したことがある人 (n=1,546)



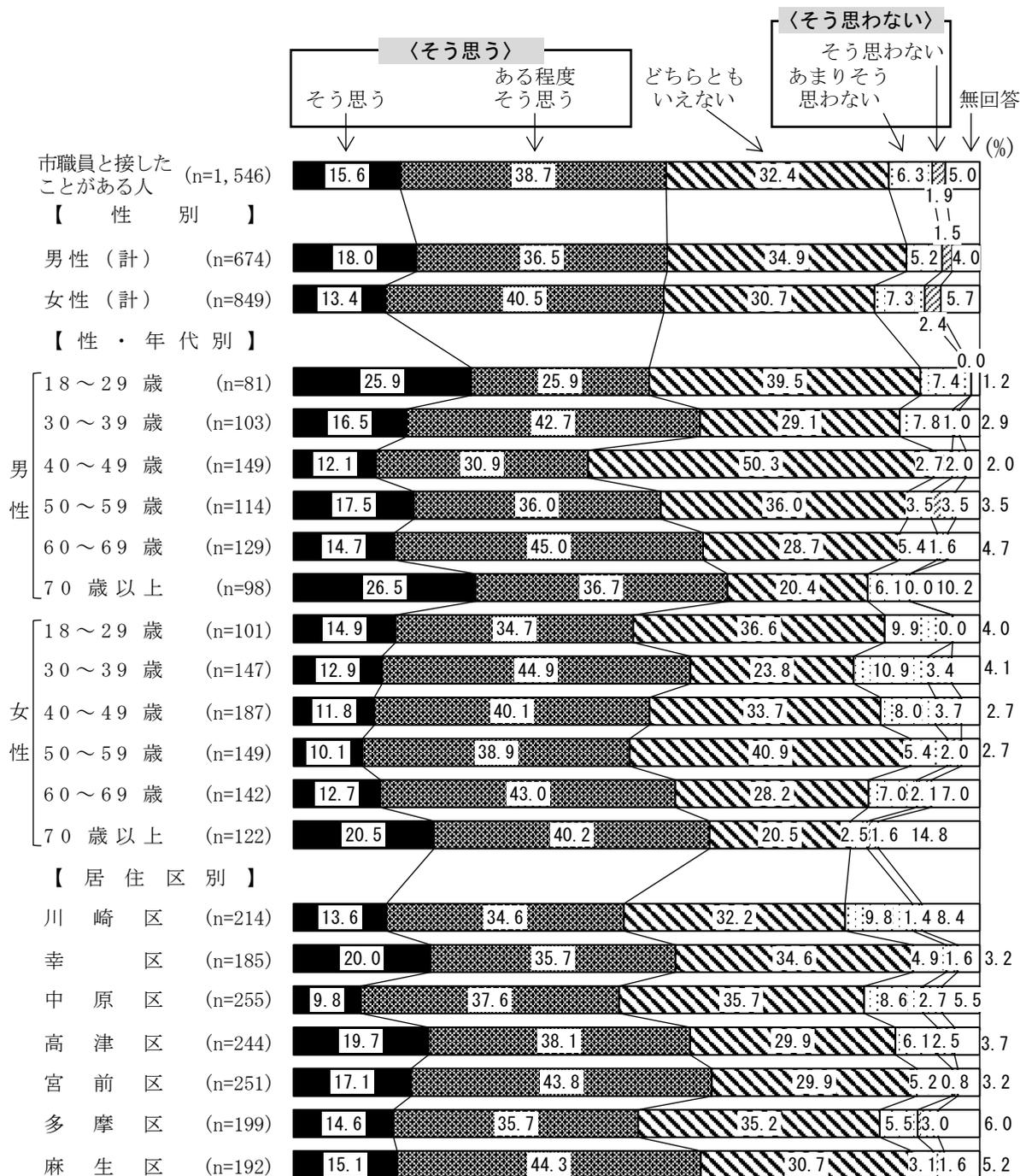
「よく接する」、「時々接する」に「ほとんど接しない」を合計した市職員とく接したことがある>と回答した人(n=1,546人)の中で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた<そう思う>の割合が最も高いのは「言葉づかい・態度がよい」(54.3%)で、次いで、「各窓口が連携されており、たらい回しがない」(42.8%)、「親身になって対応等を考えてくれる」(42.6%)の順となっている。

図表5-6 市職員の市民対応等について(4年前との比較)



4年前(平成25年度)と比較すると、「言葉づかい・態度がよい」「親身になって対応等を考えてくれる」「関連のある(役に立ちそうな)情報・制度等を積極的に教えてくれる」の各項目については、大きな評価の変化はない。

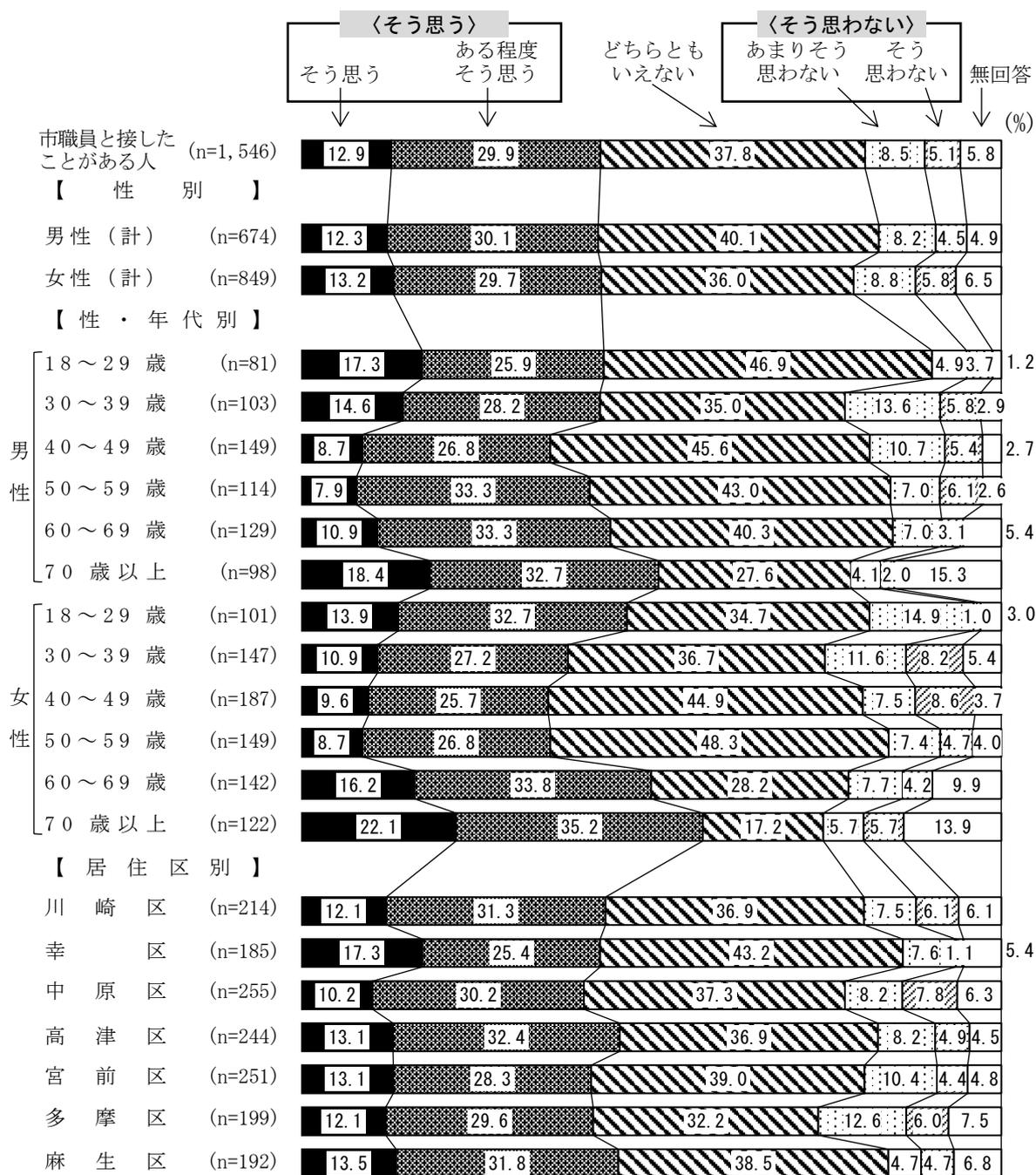
図表5-7 市職員の市民対応等について(性/年齢別・居住区別)  
【言葉づかい・態度がよい】



性/年齢別では、男性の30歳~39歳、60~69歳と70歳以上、女性の70歳以上で<そう思う>の割合が6割前後と高い一方で、男性の40~49歳では43.0%と、他の年代に比べ低い。

居住区別では、宮前区(61.0%)が最も高く、次いで、麻生区(59.4%)、高津区(57.8%)の順となっている。

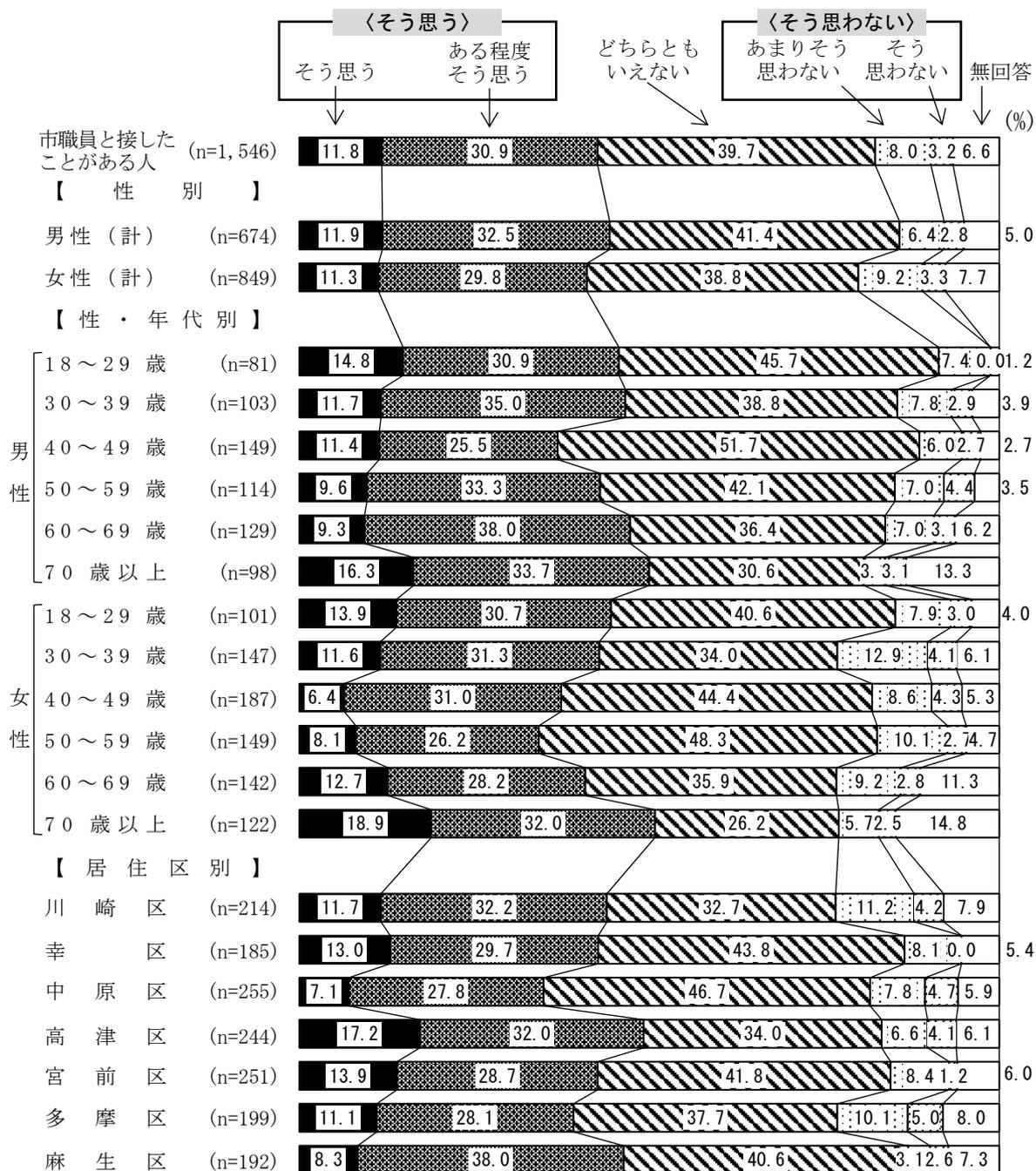
図表5-8 市職員の市民対応等について(性/年齢別・居住区別)  
【各窓口が連携されており、たらい回しが無い】



性/年齢別では、男性の70歳以上、女性の60~69歳と70歳以上では<そう思う>の割合が5割~6割程度と高い一方で、男性の40~49歳、女性の30歳以上59歳以下の年代では35%程度と低い。

居住区別では、高津区(45.5%)が最も高く、次いで、麻生区(45.3%)の順となっている。

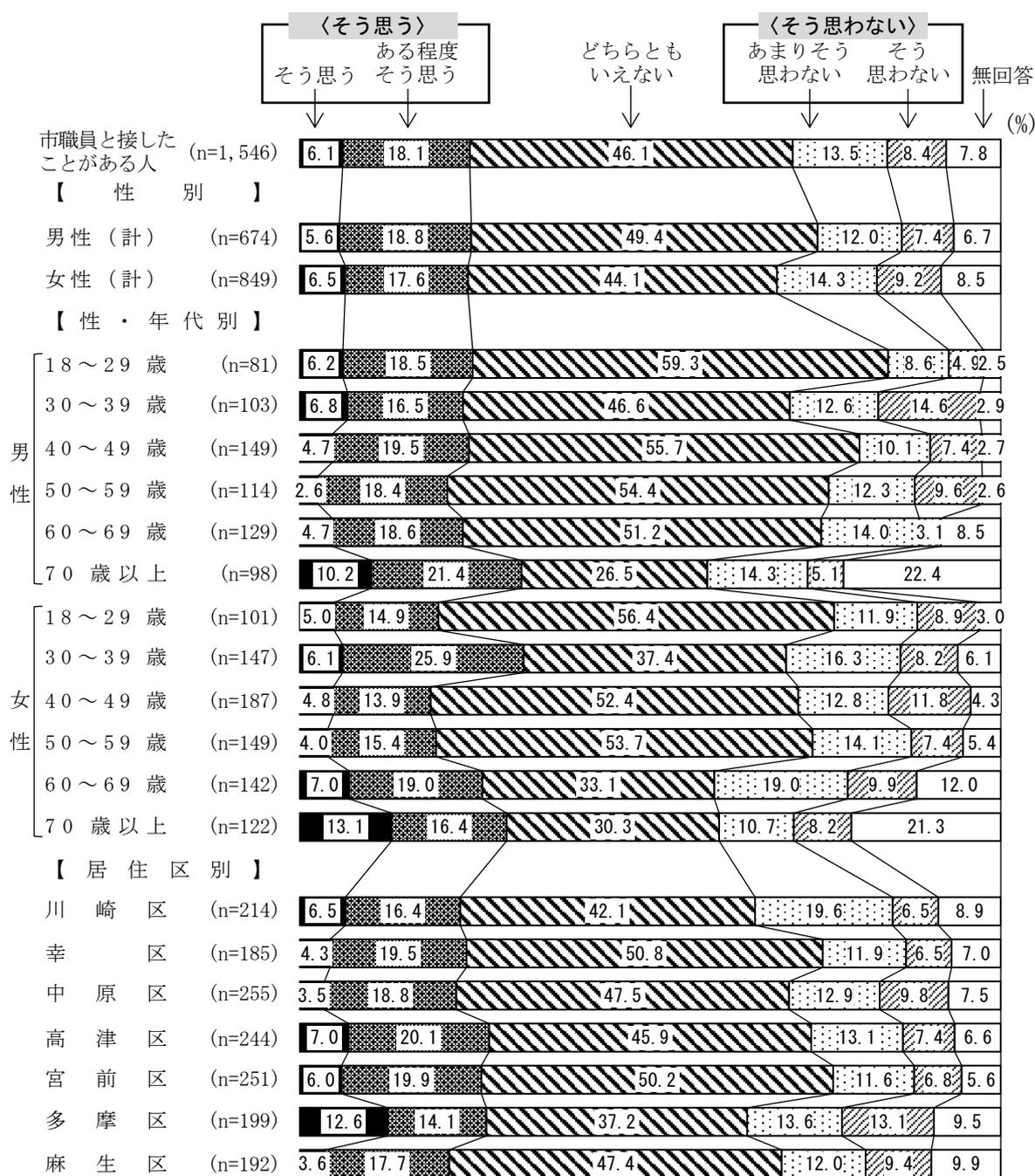
図表5-9 市職員の市民対応等について(性/年齢別・居住区別)  
【親身になって対応等を考えてくれる】



性/年齢別では、男女ともに70歳以上で<そう思う>の割合が5割を超え、他の年代よりも高い。一方で、男性の40~49歳、女性の40~49歳と50~59歳では4割を下回っている。

居住区別では、高津区(49.2%)が最も高く、次いで、麻生区(46.4%)の順となっている。

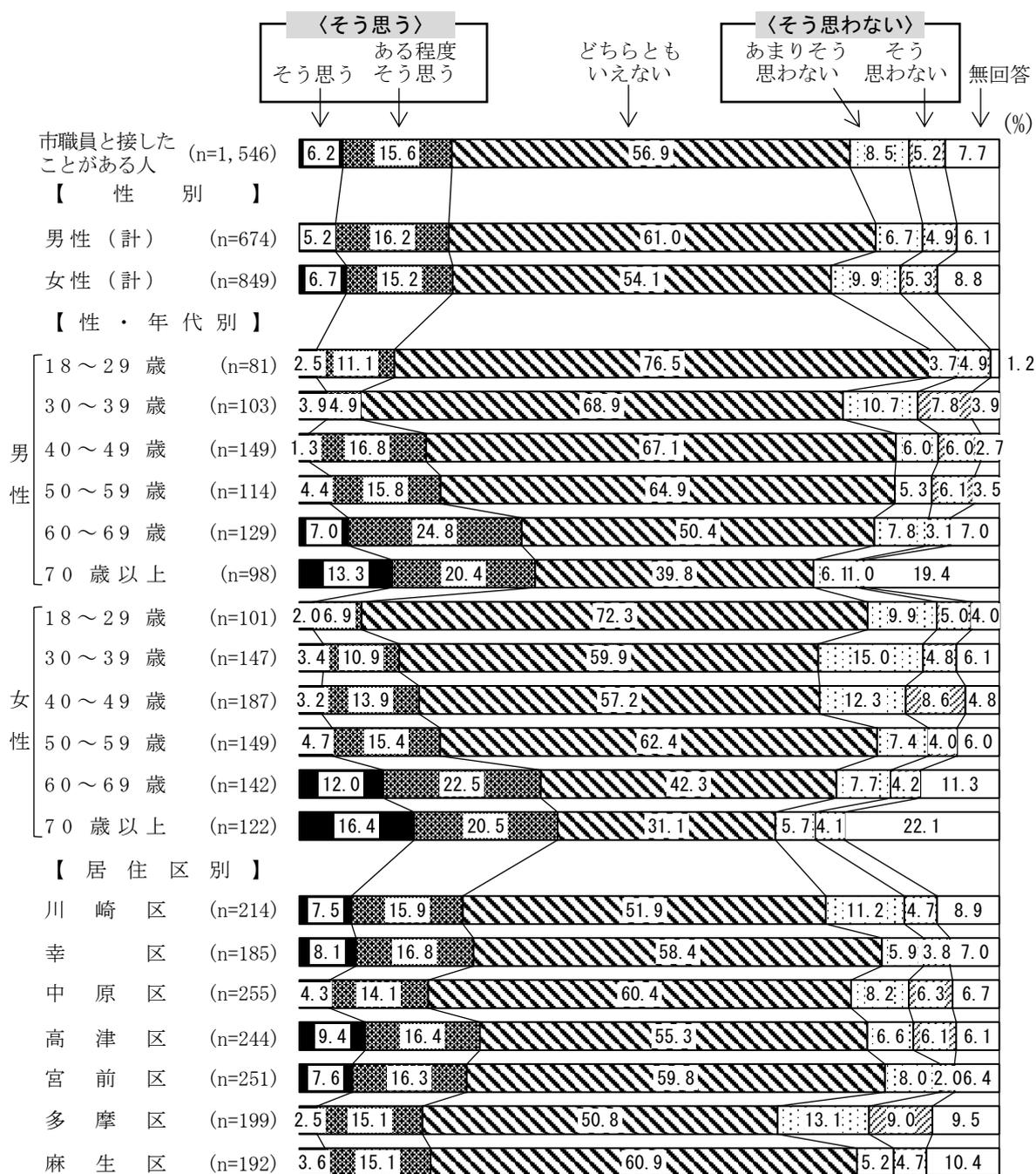
図表5-10 市職員の市民対応等について(性/年齢別・居住区別)  
【関連のある(役に立ちそうな)情報・制度等を積極的に教えてくれる】



性/年齢別では、男性の70歳以上、女性の30~39歳と70歳以上で「<そう思う>」の割合が3割前後と、他の年代よりも高い。

居住区別では、高津区(27.0%)が最も高く、次いで、多摩区(26.6%)、宮前区(25.9%)の順となっている。

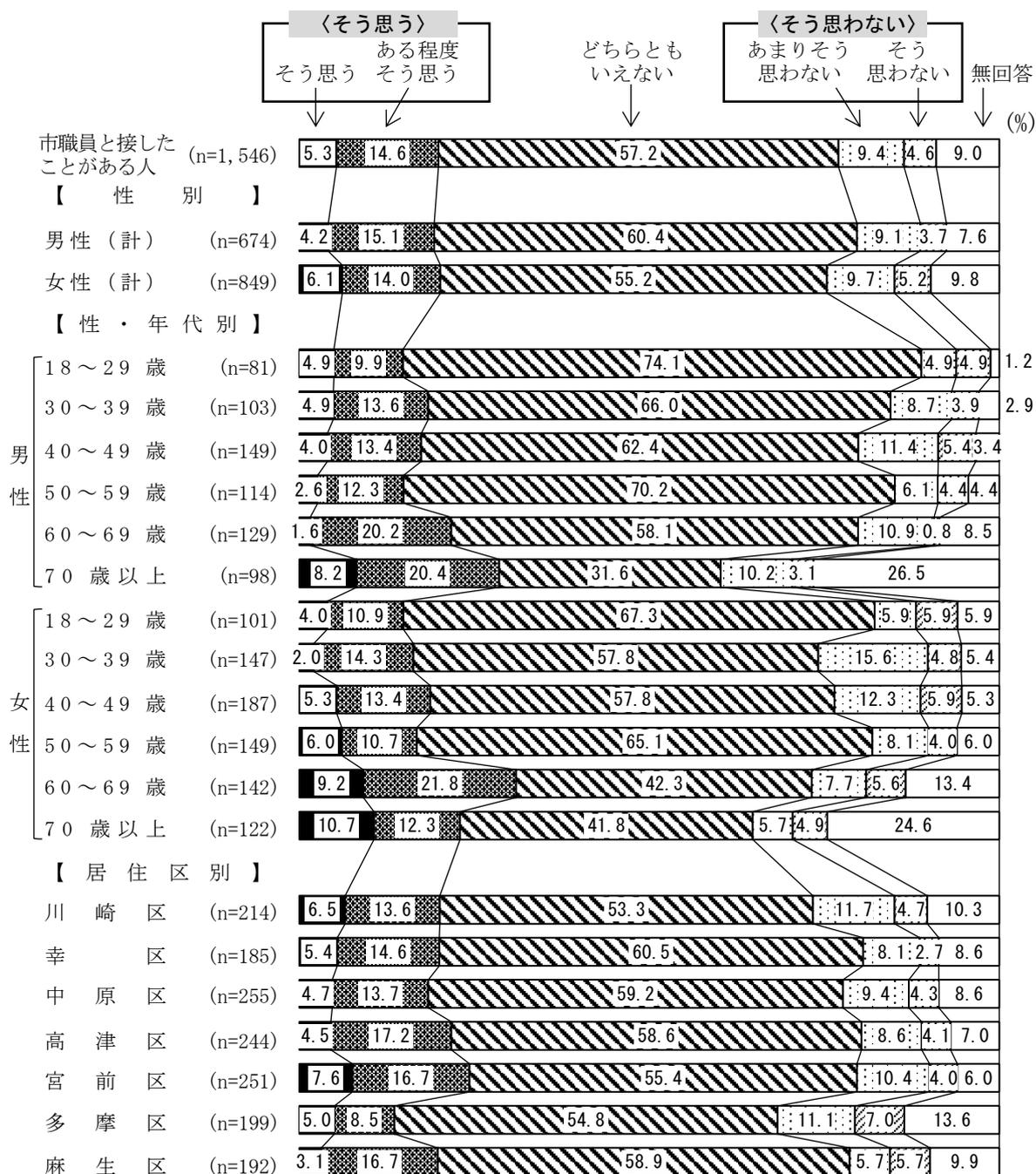
図表5-11 市職員の市民対応等について(性/年齢別・居住区別)  
【最近(ここ1~2年)、対応が全体的によくなった】



性/年齢別では、男女ともに60~69歳と70歳以上で＜そう思う＞の割合が3割を超えている。

居住区別では、高津区(25.8%)が最も高く、次いで、幸区(24.9%)、宮前区(23.9%)、川崎区(23.4%)の順となっている。

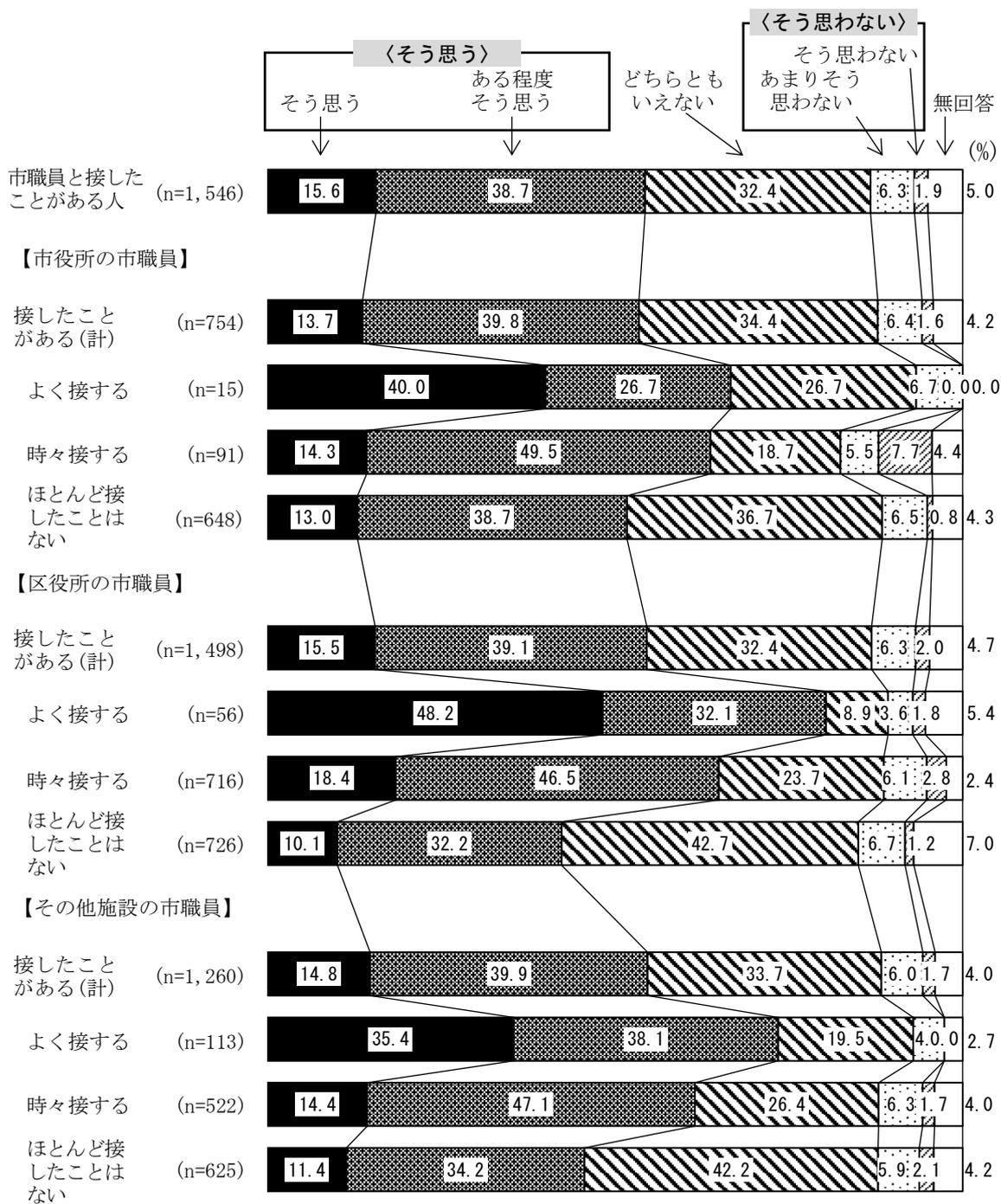
図表5-12 市職員の市民対応等について（性／年齢別・居住区別）  
【同じことを誰にたずねても、回答が変わらない】



性／年齢別では、男性の70歳以上と、女性の60~69歳で「<そう思う>」の割合が3割前後と、他の年代よりも高い。

居住区別では、宮前区が24.3%で最も高い。

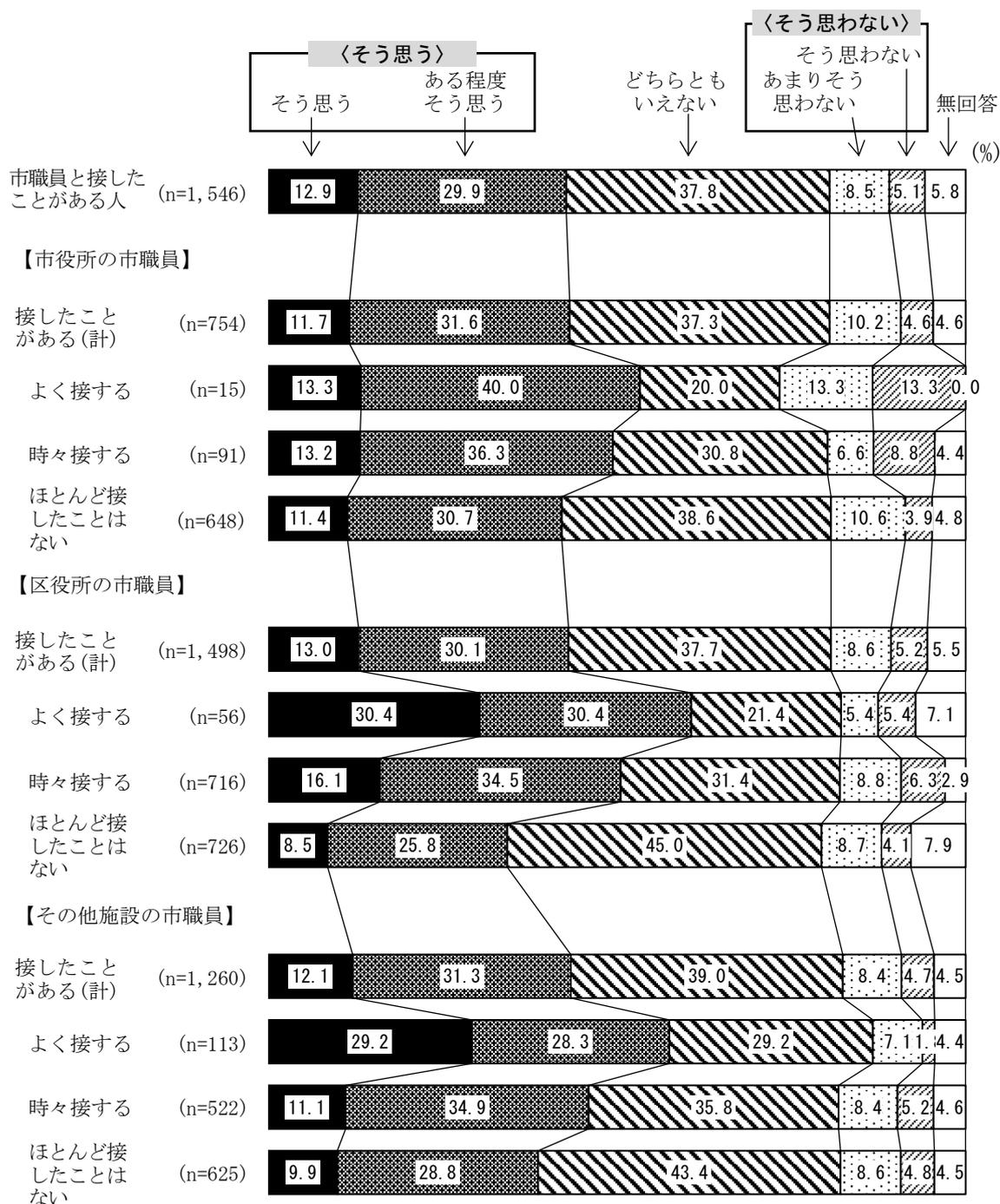
図表5-13 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
【言葉づかい・態度がよい】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」人で＜そう思う＞割合が80.4%と最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

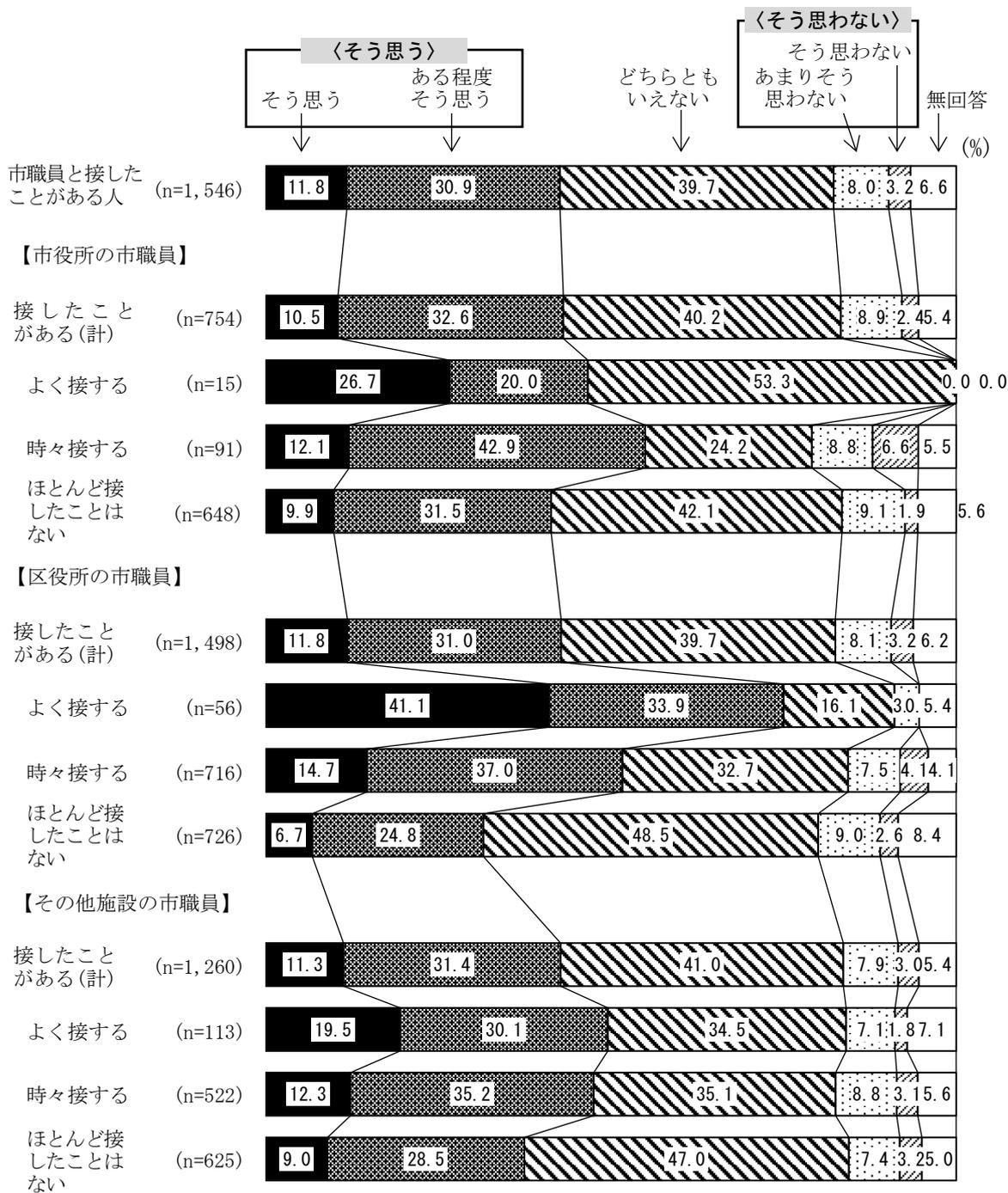
図表5-14 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
【各窓口が連携されており、たらい回しが無い】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が60.7%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

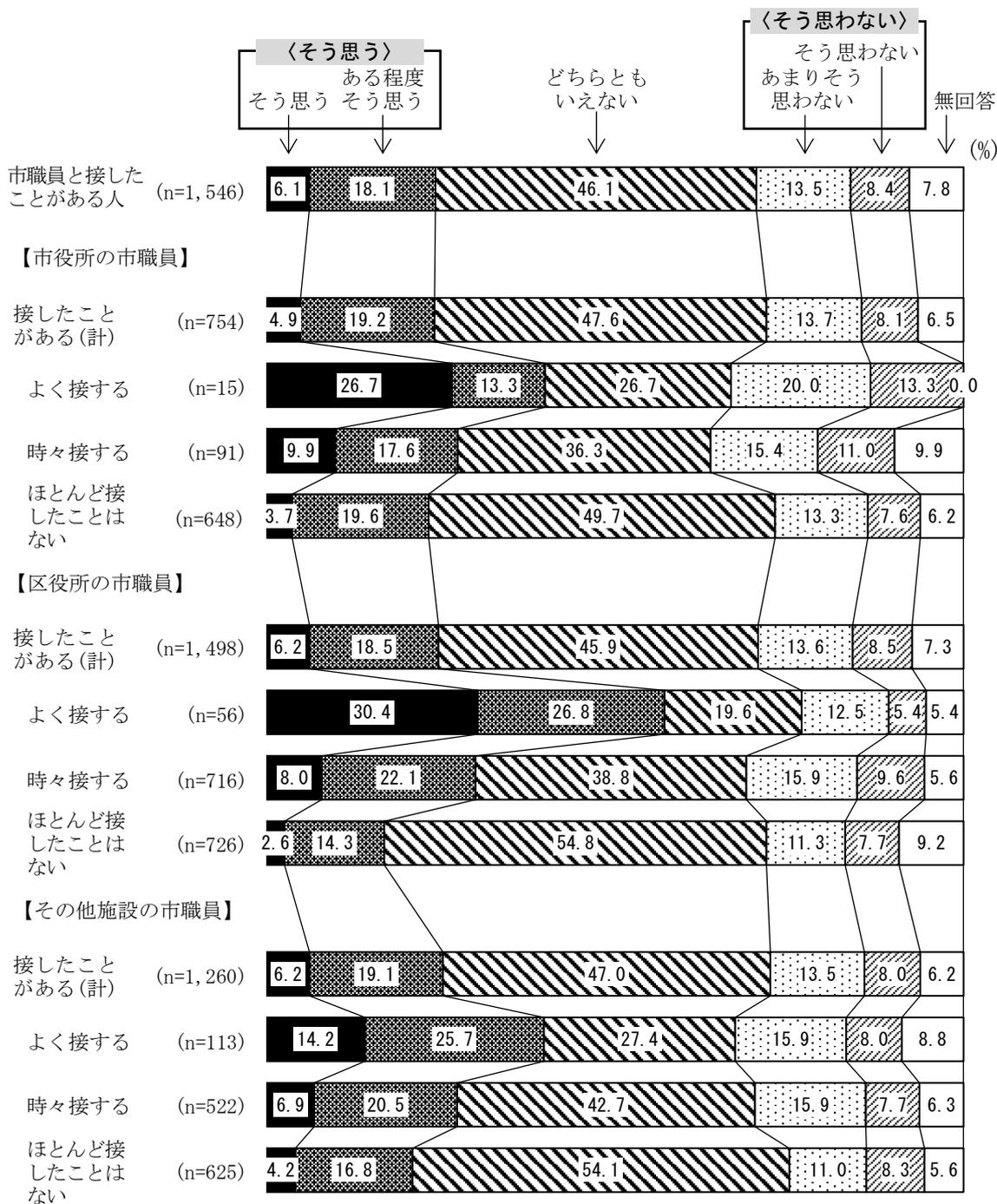
図表5-15 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
【親身になって対応等を考えてくれる】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が75.0%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

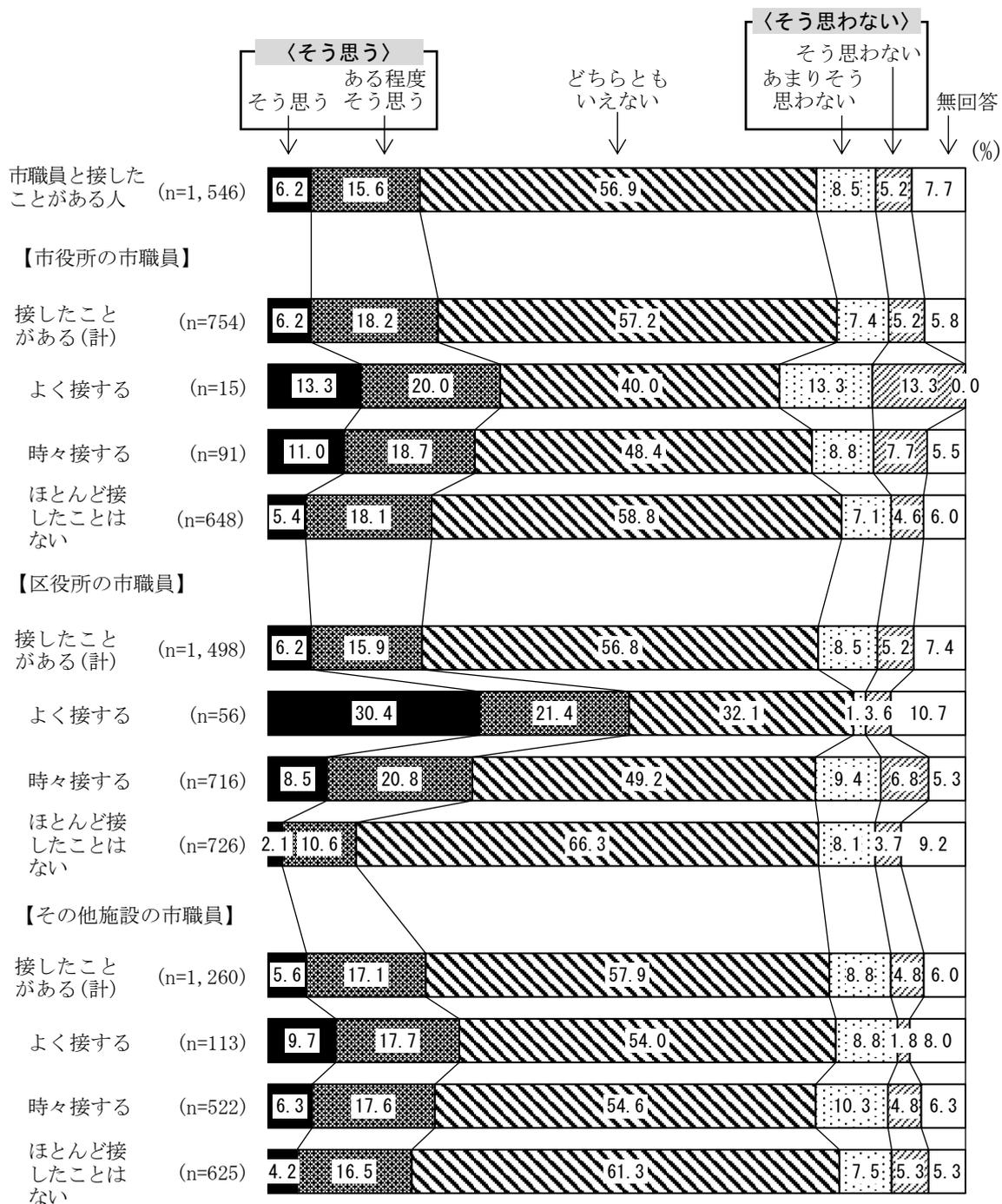
図表5-16 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
 【関連のある（役に立ちそうな）情報・制度等を積極的に教えてくれる】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で<そう思う>が57.1%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

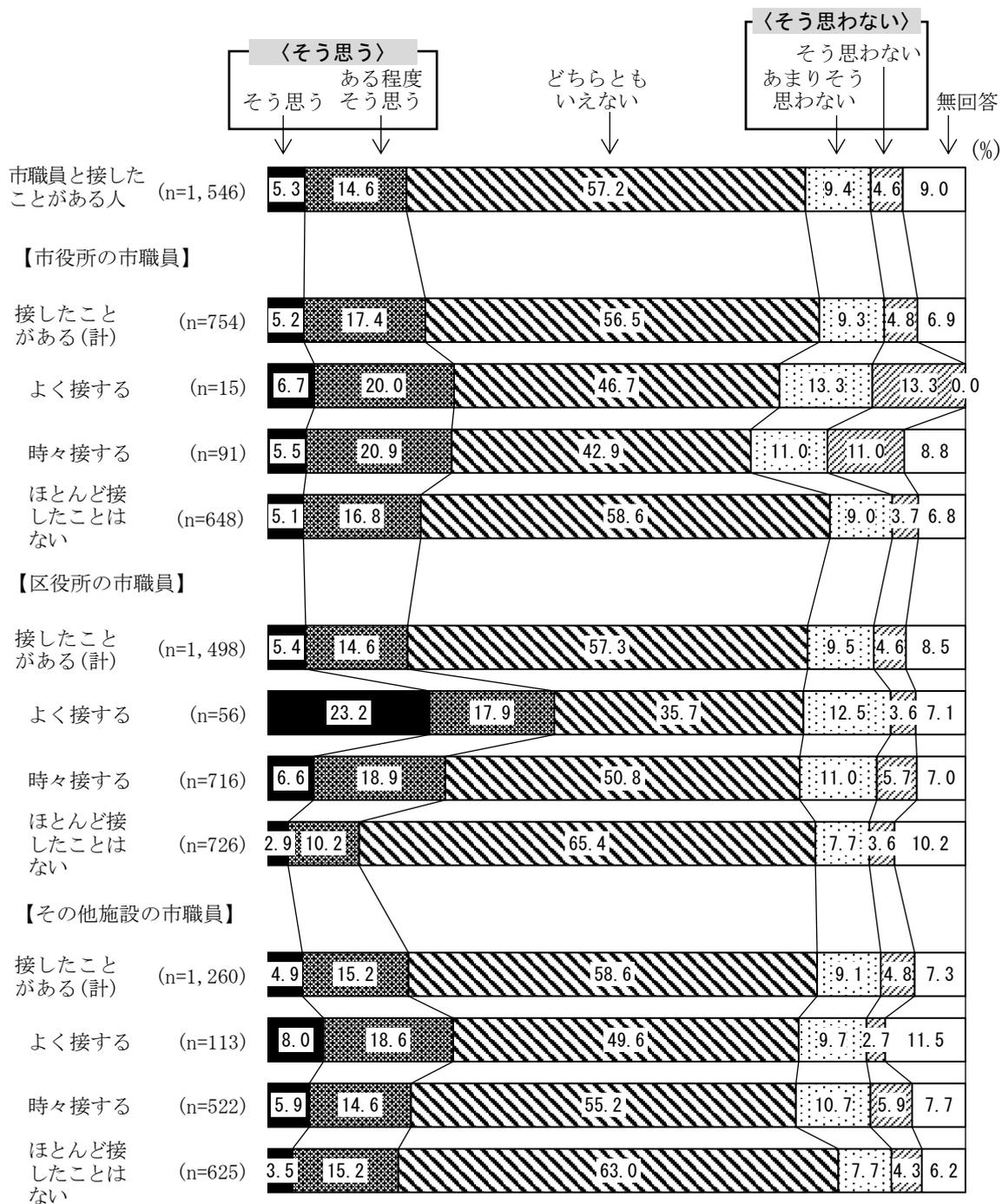
図表5-17 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
【最近(ここ1~2年)、対応が全体的によくなった】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で<そう思う>が51.8%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

図表5-18 市職員の市民対応等について（接触頻度×市職員の種別）  
【同じことを誰にたずねても、回答が変わらない】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で<そう思う>が41.1%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

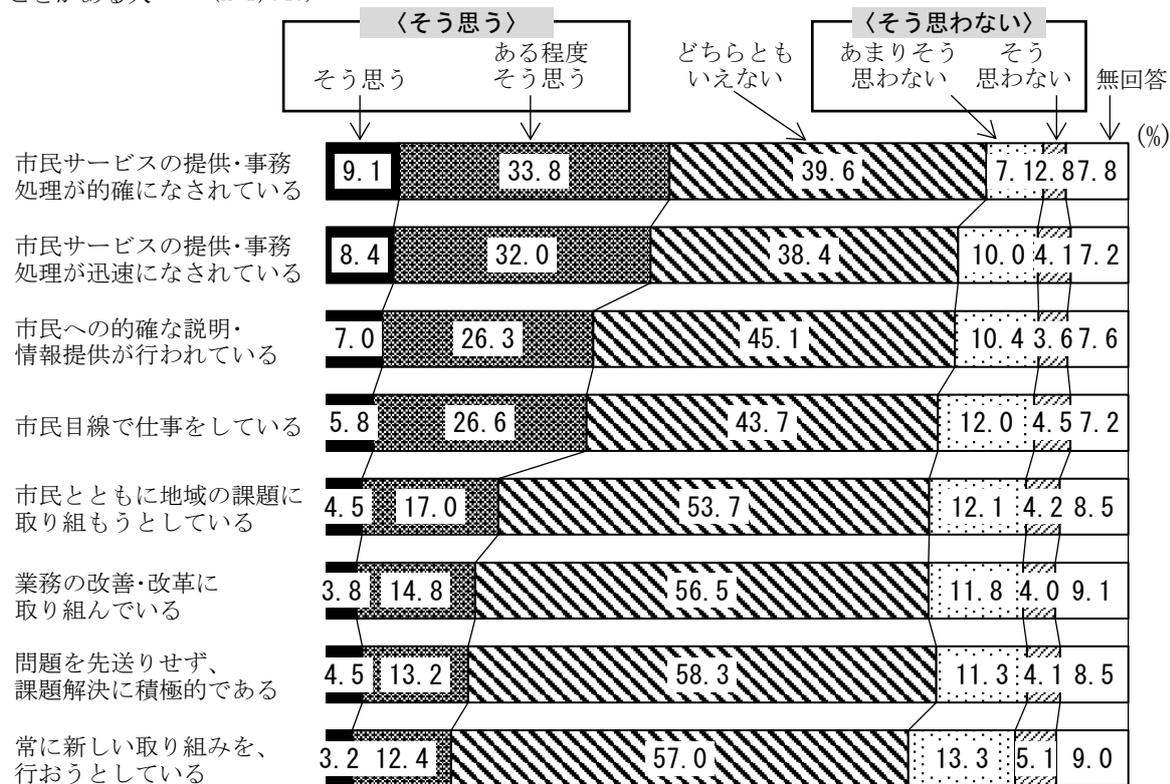
### 5-3 市職員の仕事ぶり

◎<そう思う>は「市民サービスの提供・事務処理が的確になされている」が42.8%、  
「市民サービスの提供・事務処理が迅速になされている」が40.4%

問13. あなたは、川崎市の職員の仕事ぶりについて、どのような印象を持っていますか。  
(○はそれぞれ1つつ)

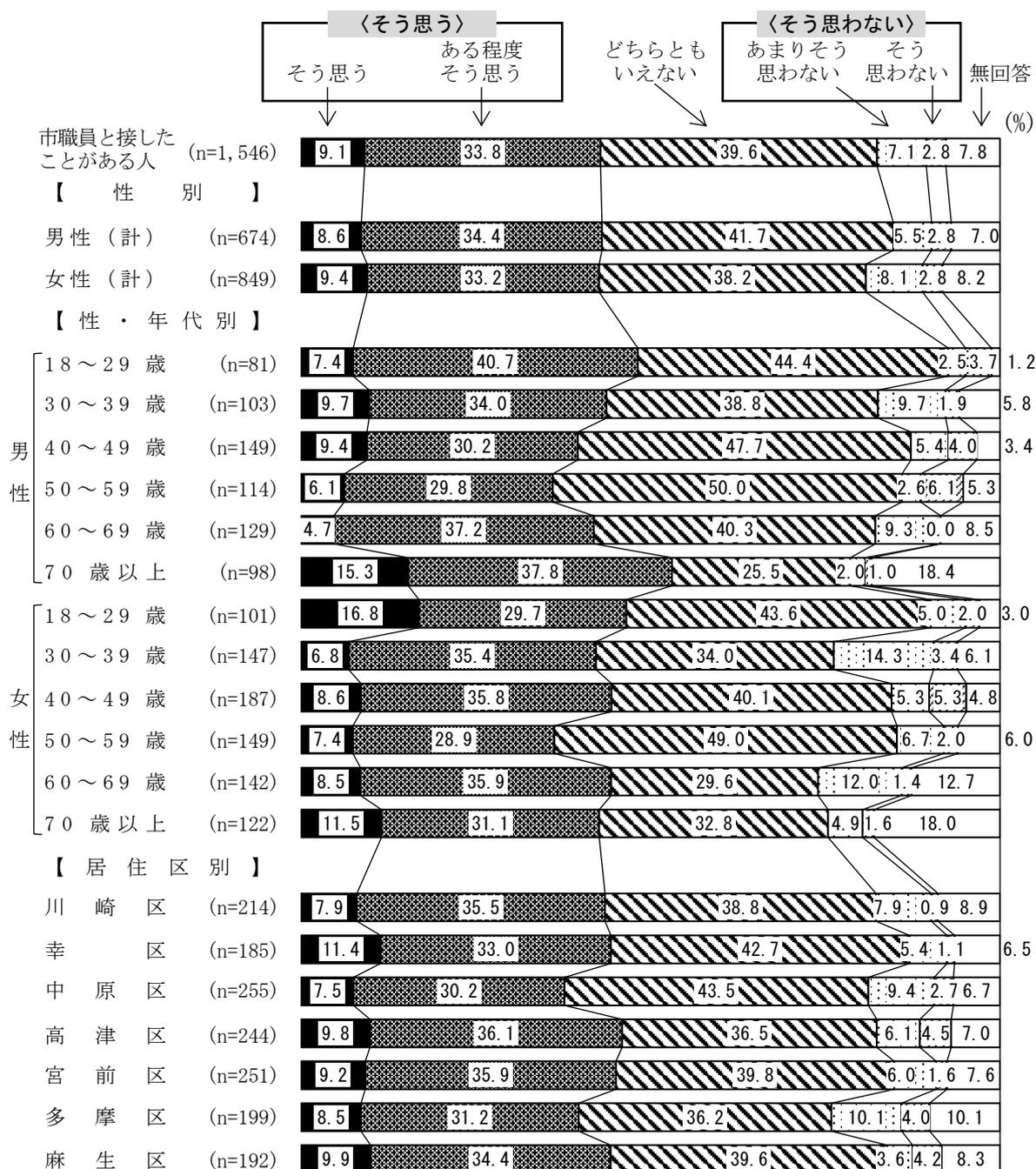
図表5-19 市職員の仕事ぶり

市職員と接した  
ことがある人 (n=1,546)



「よく接する」、「時々接する」と「ほとんど接しない」を合計した市職員とく接したことがある人について、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた＜そう思う＞の割合が最も高いのは「市民サービスの提供・事務処理が的確になされている」(42.8%)で、次いで、「市民サービスの提供・事務処理が迅速になされている」(40.4%)、「市民への的確な説明・情報提供が行われている」(33.3%)、「市民目線で仕事をしている」(32.5%)の順となっている。

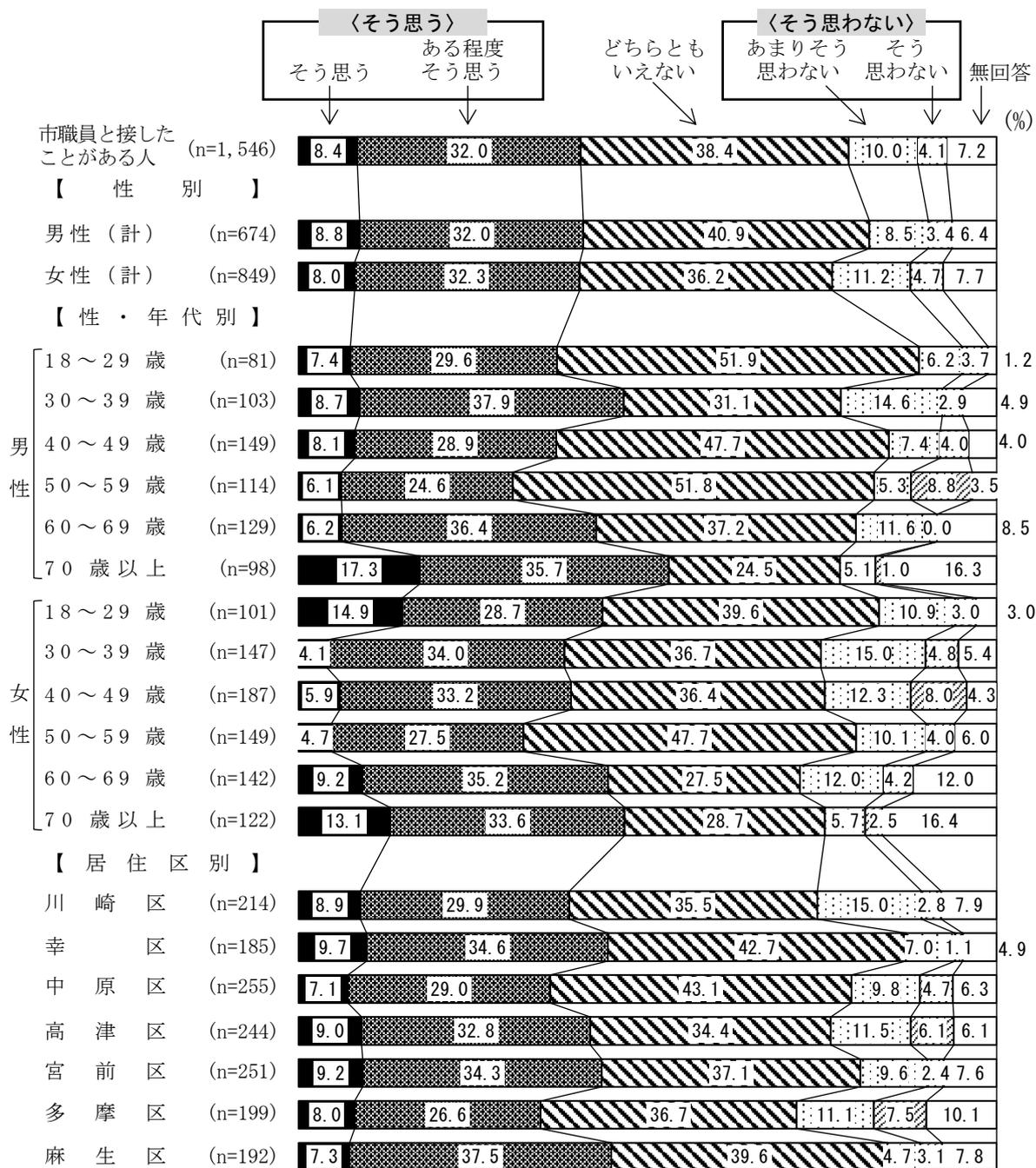
図表5-20 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【市民サービスの提供・事務処理が的確になされている】



性/年齢別では、男性の70歳以上で＜そう思う＞が53.1%と最も高く、次いで、男性の18～29歳(48.1%)、女性の18～29歳(46.5%)の順となっている。

居住区別では、高津区(45.9%)が最も高く、次いで、宮前区(45.0%)、幸区(44.3%)、麻生区(44.3%)の順となっている。

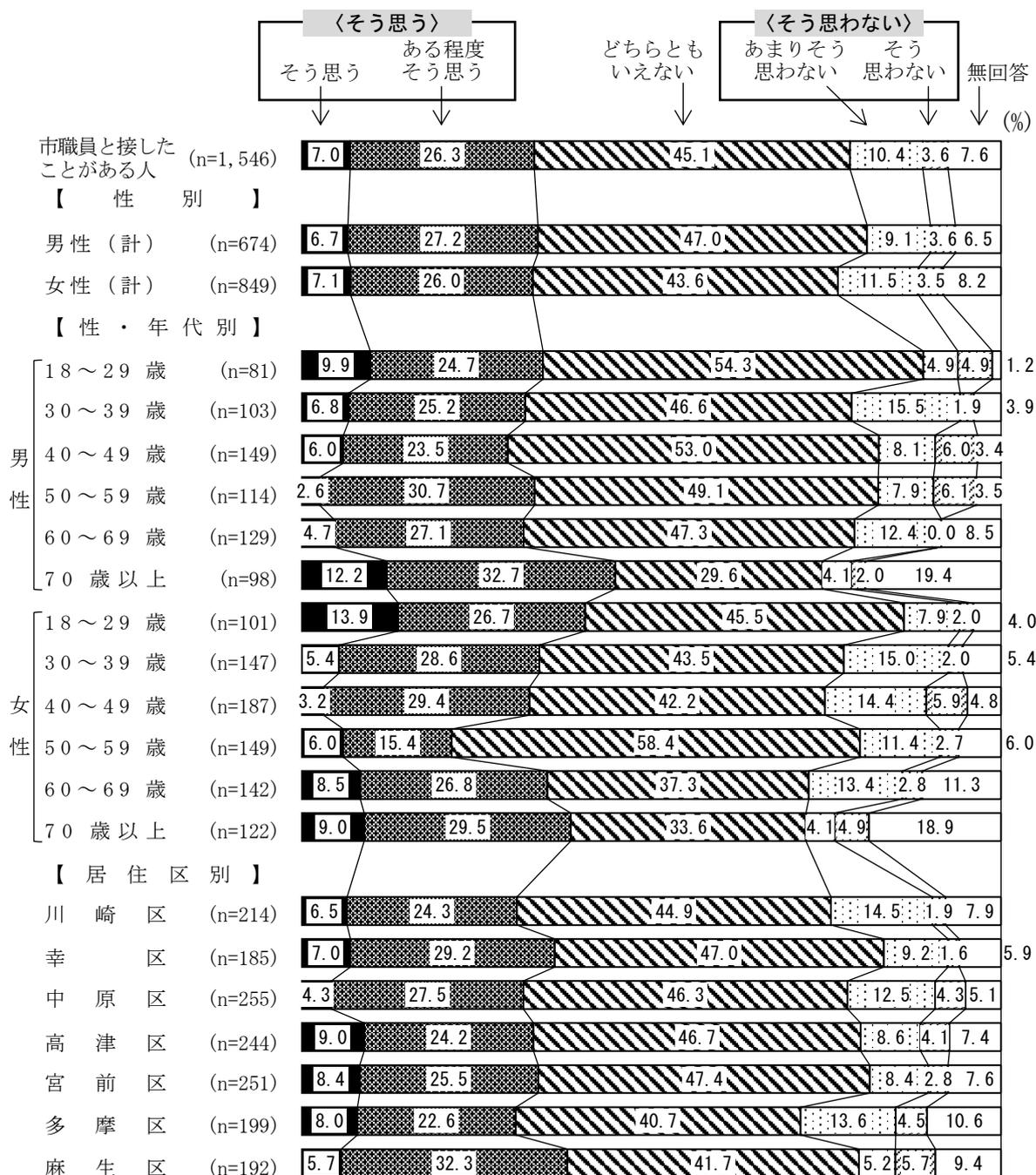
図表5-21 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【市民サービスの提供・事務処理が迅速になされている】



性/年齢別では、男性の70歳以上で＜そう思う＞が53.1%と最も高く、男性の30～39歳と女性の70歳以上で45%を超えている。

居住区別では、麻生区(44.8%)が最も高く、次いで、幸区(44.3%)、宮前区(43.4%)、高津区(41.8%)の順となっている。

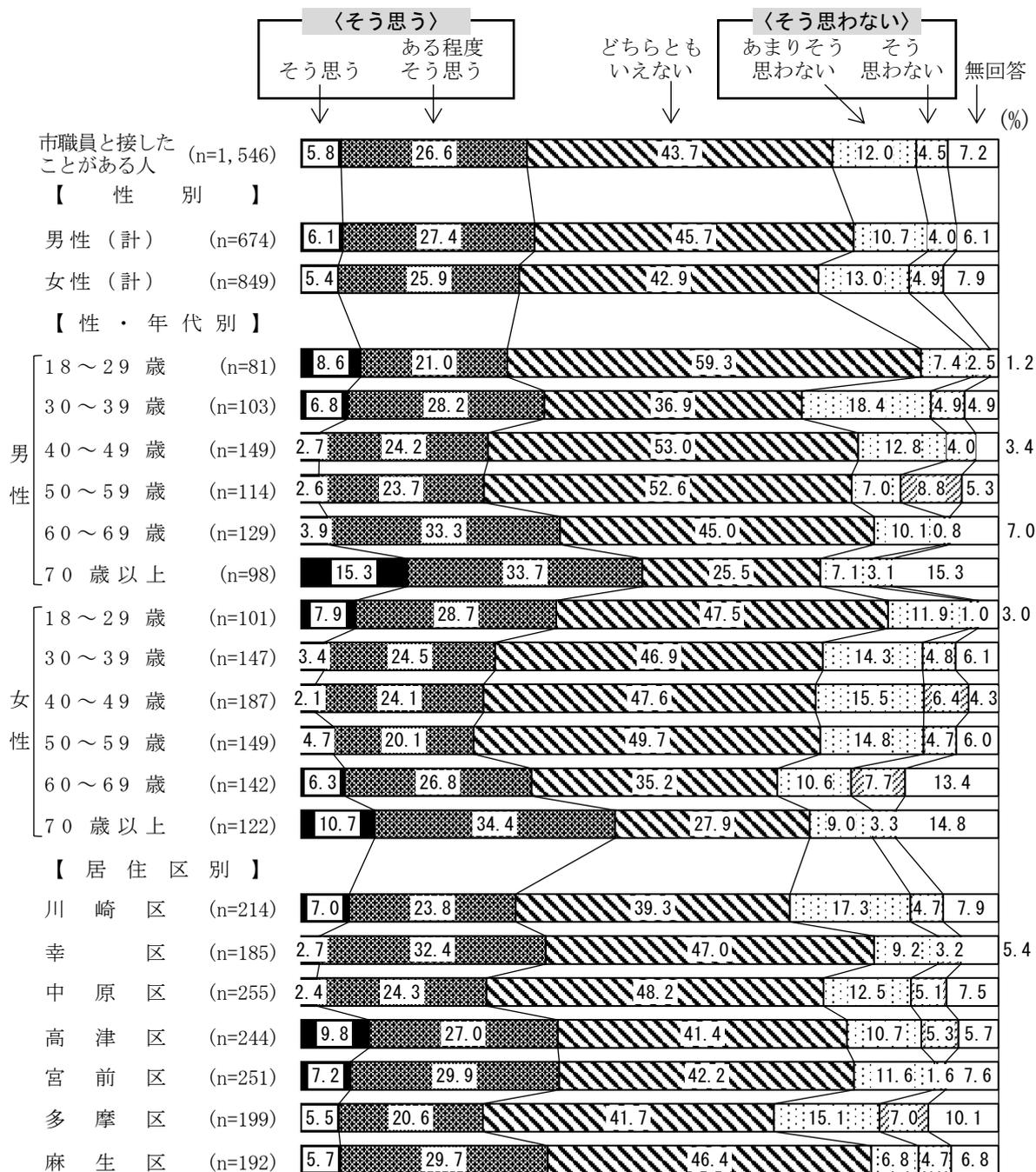
図表5-22 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【市民への的確な説明・情報提供が行われている】



性/年齢別では、男性の70歳以上で＜そう思う＞の割合が44.9%で最も高く、次いで、女性の18～29歳(40.6%)、女性の70歳以上(38.5%)の順となっている。

居住区別では、麻生区(38.0%)が最も高く、次いで、幸区(36.2%)となっている。

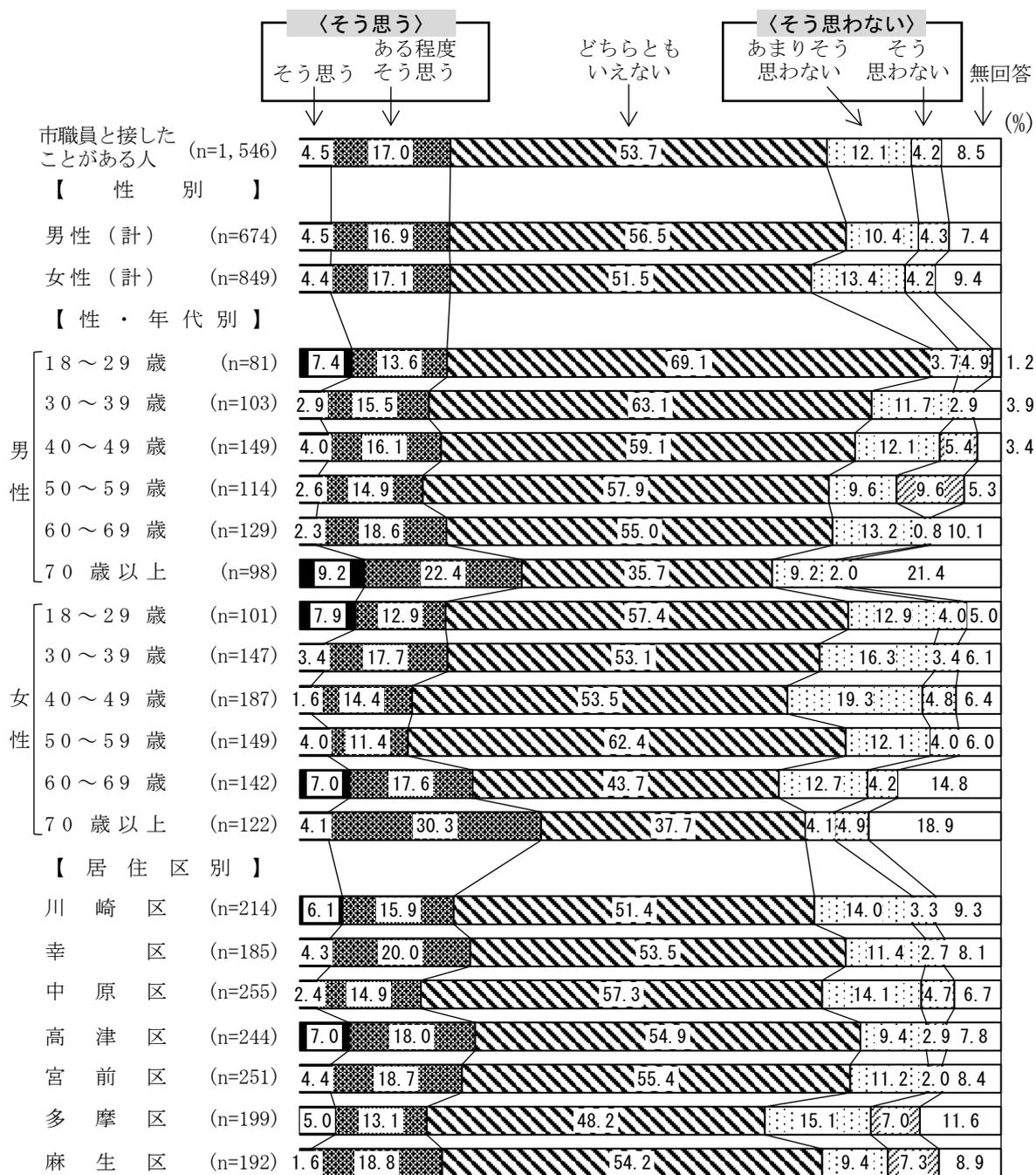
図表5-23 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【市民目線で仕事をしている】



性/年齢別では、男性の70歳以上で＜そう思う＞の割合が49.0%で最も高く、次いで、女性の70歳以上(45.1%)となっている。

居住区別では、宮前区(37.1%)が最も高く、次いで、高津区(36.9%)、麻生区(35.4%)、幸区(35.1%)の順となっている。

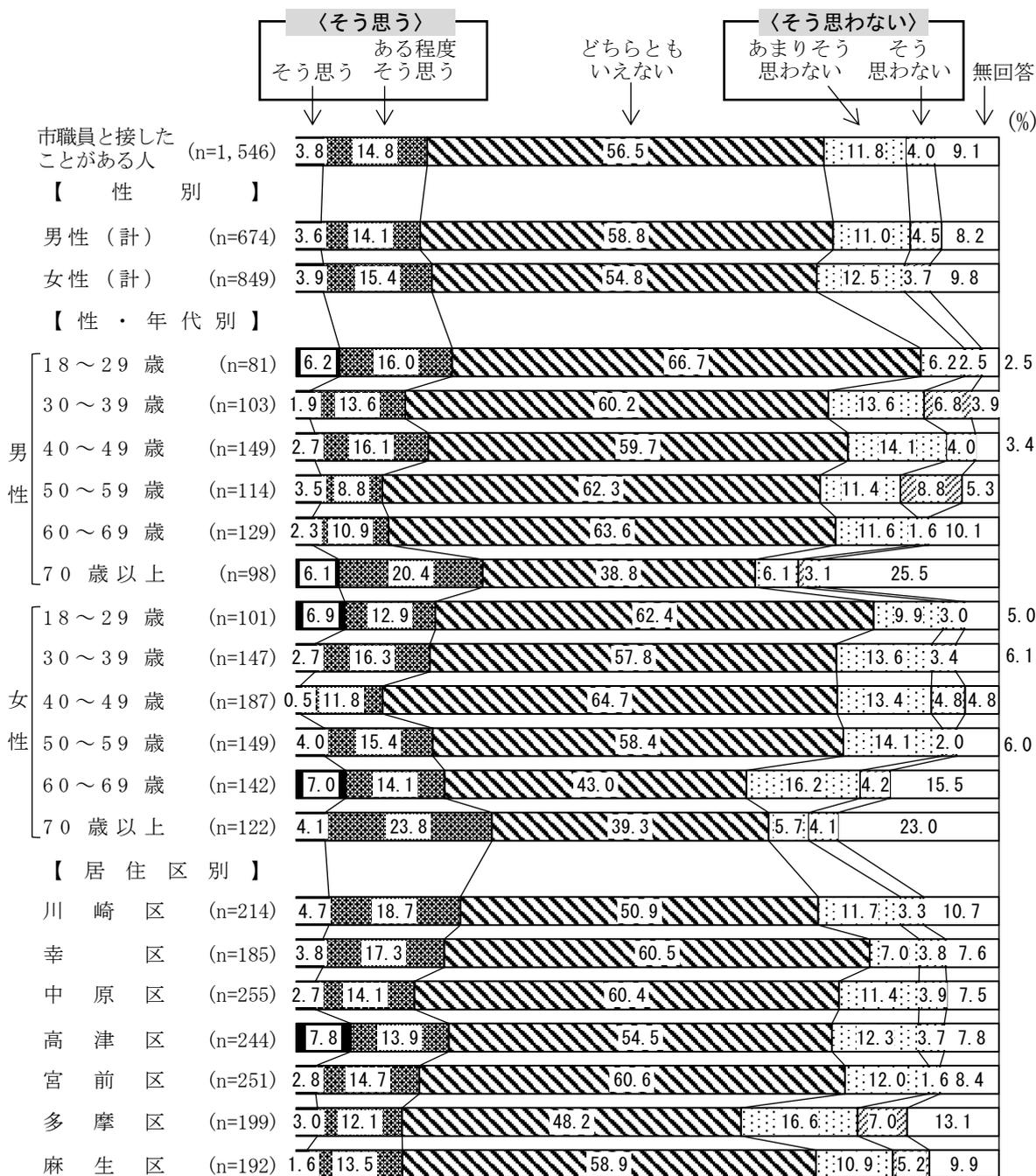
図表5-24 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【市民とともに地域の課題に取り組もうとしている】



性/年齢別では、男女ともに70歳以上で「くそう思う」の割合が、他の年代に比べ高い。

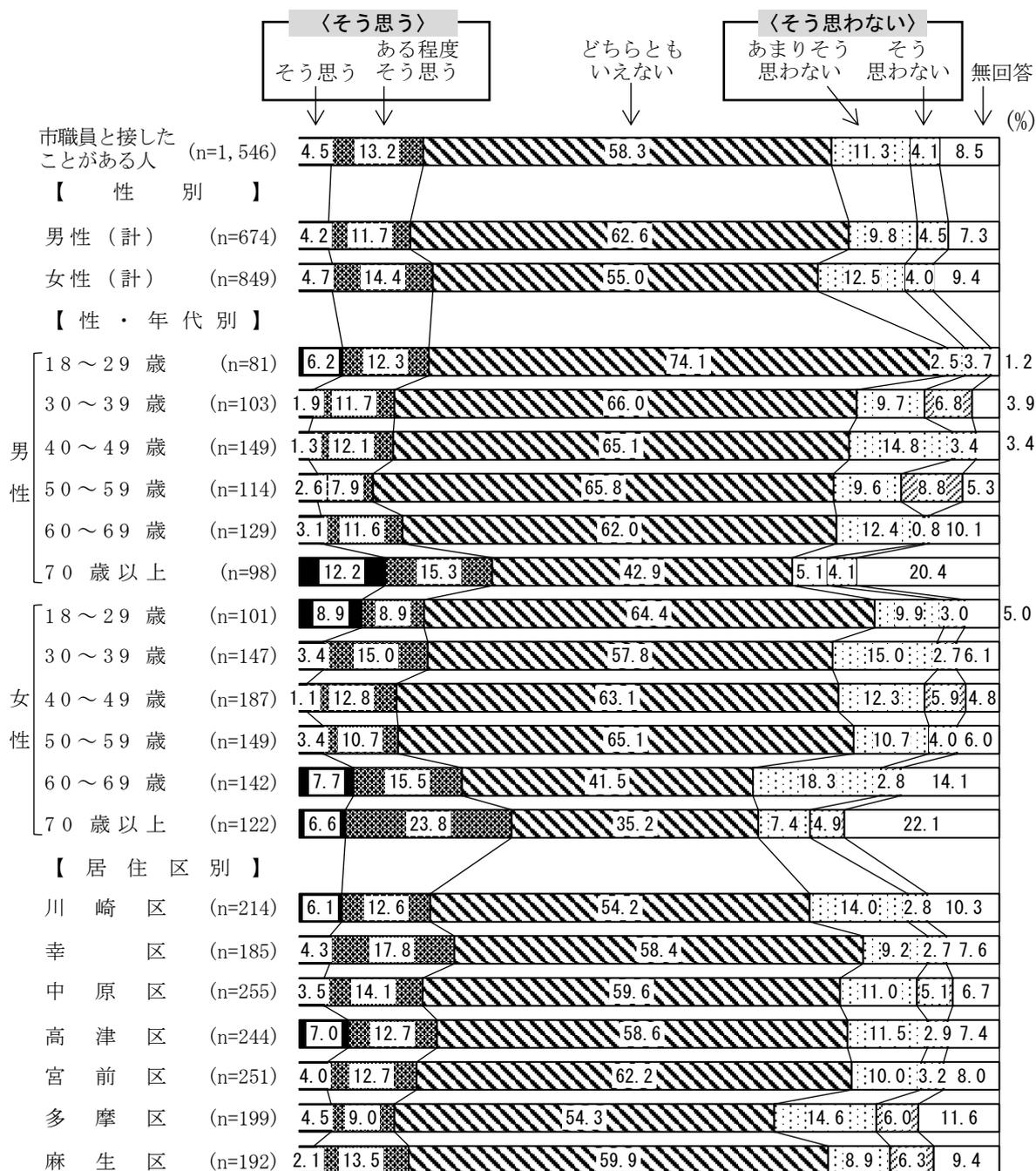
居住区別では、高津区(25.0%)が最も高く、次いで、幸区(24.3%)、宮前区(23.1%)の順となっている。

図表5-25 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【業務の改善・改革に取り組んでいる】



性/年齢別では、男女ともに70歳以上で〈そう思う〉の割合が他の年代に比べ高い。  
居住区別では、川崎区が23.4%で最も高い。

図表5-26 市職員の仕事ぶり (性/年齢別・居住区別)  
【問題を先送りせず、課題解決に積極的である】



性/年齢別では、男女ともに70歳以上で＜そう思う＞の割合が他の年代に比べ高い。  
居住区別では、幸区が22.2%で最も高い。

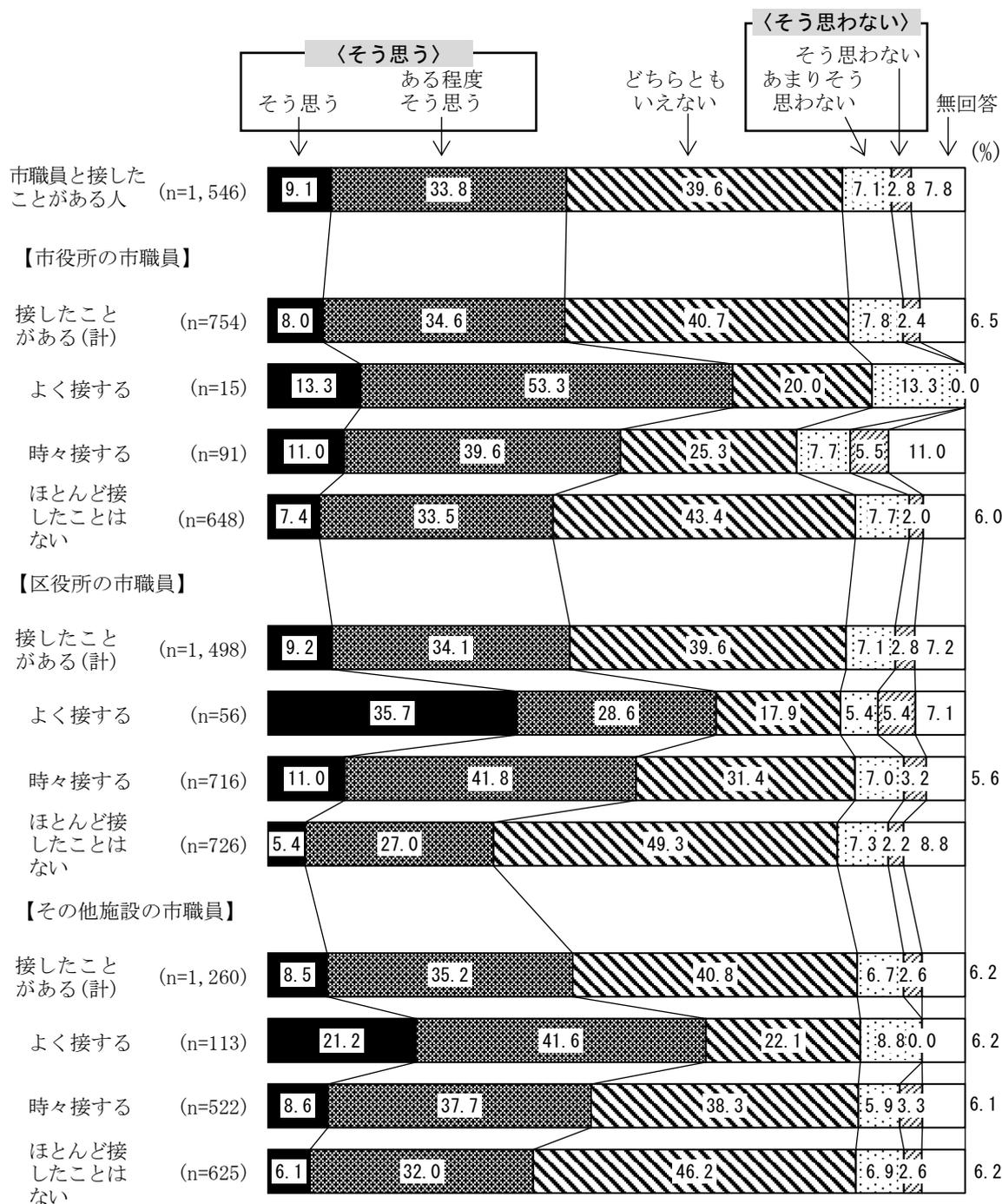
図表5-27 市職員の仕事ぶり(性/年齢別・居住区別)  
【常に新しい取り組みを行おうとしている】



性/年齢別では、男性の70歳以上、女性の18~29歳と70歳以上で〈そう思う〉の割合が他の年代に比べ高い。

居住区別では、幸区が20.0%で最も高い。

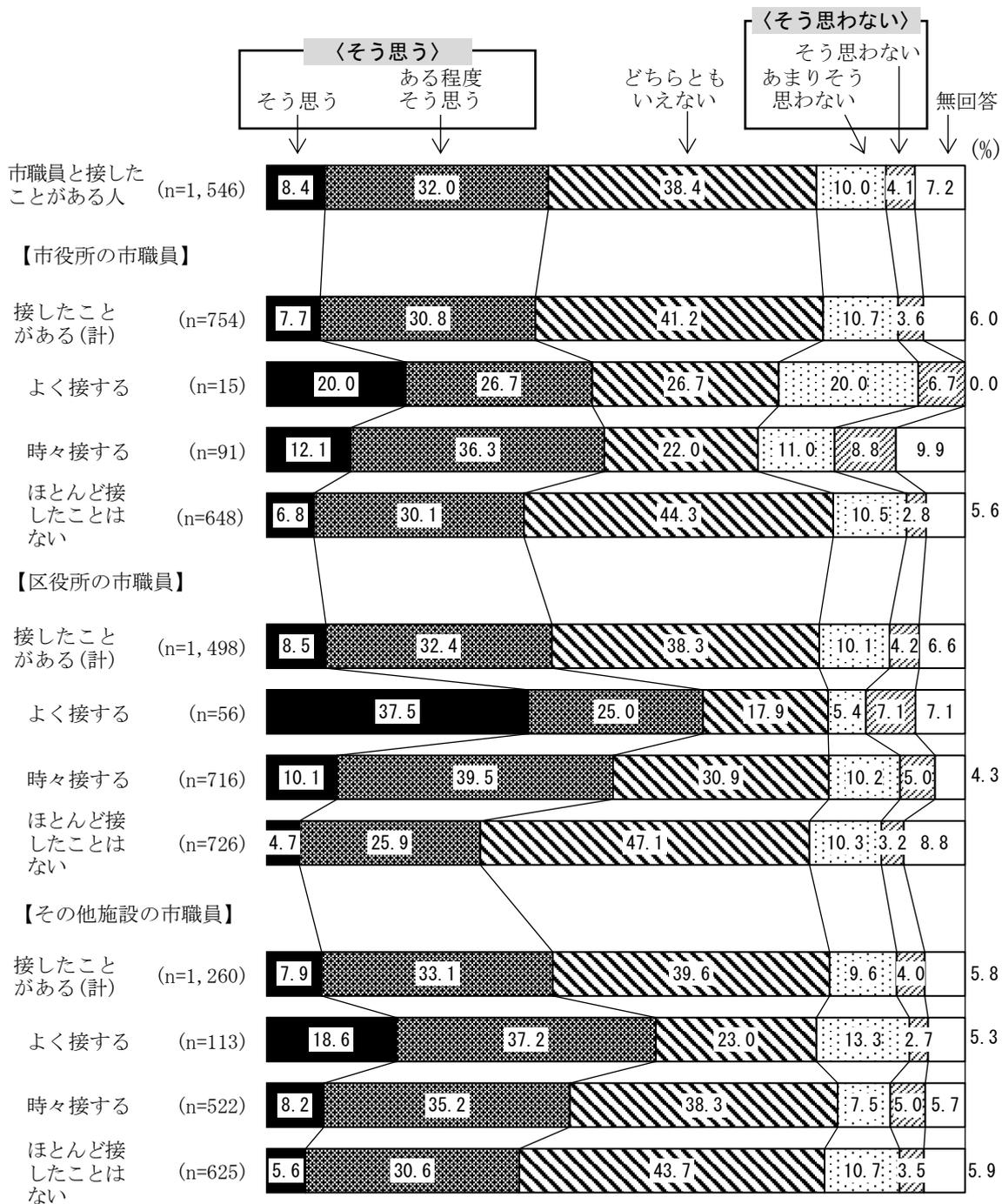
図表5-28 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【市民サービスの提供・事務処理が的確になされている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が64.3%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

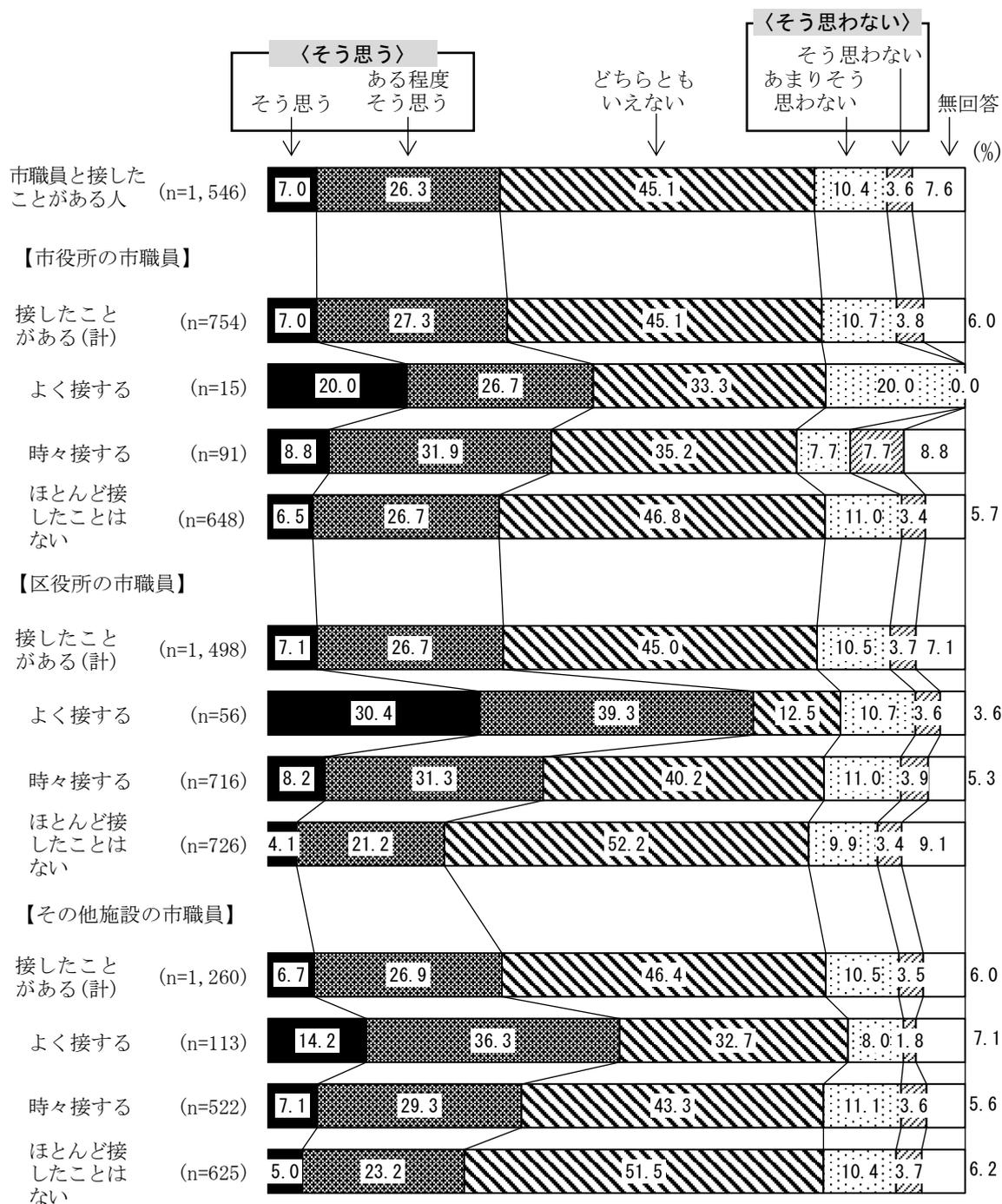
図表5-29 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【市民サービスの提供・事務処理が迅速になされている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が62.5%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

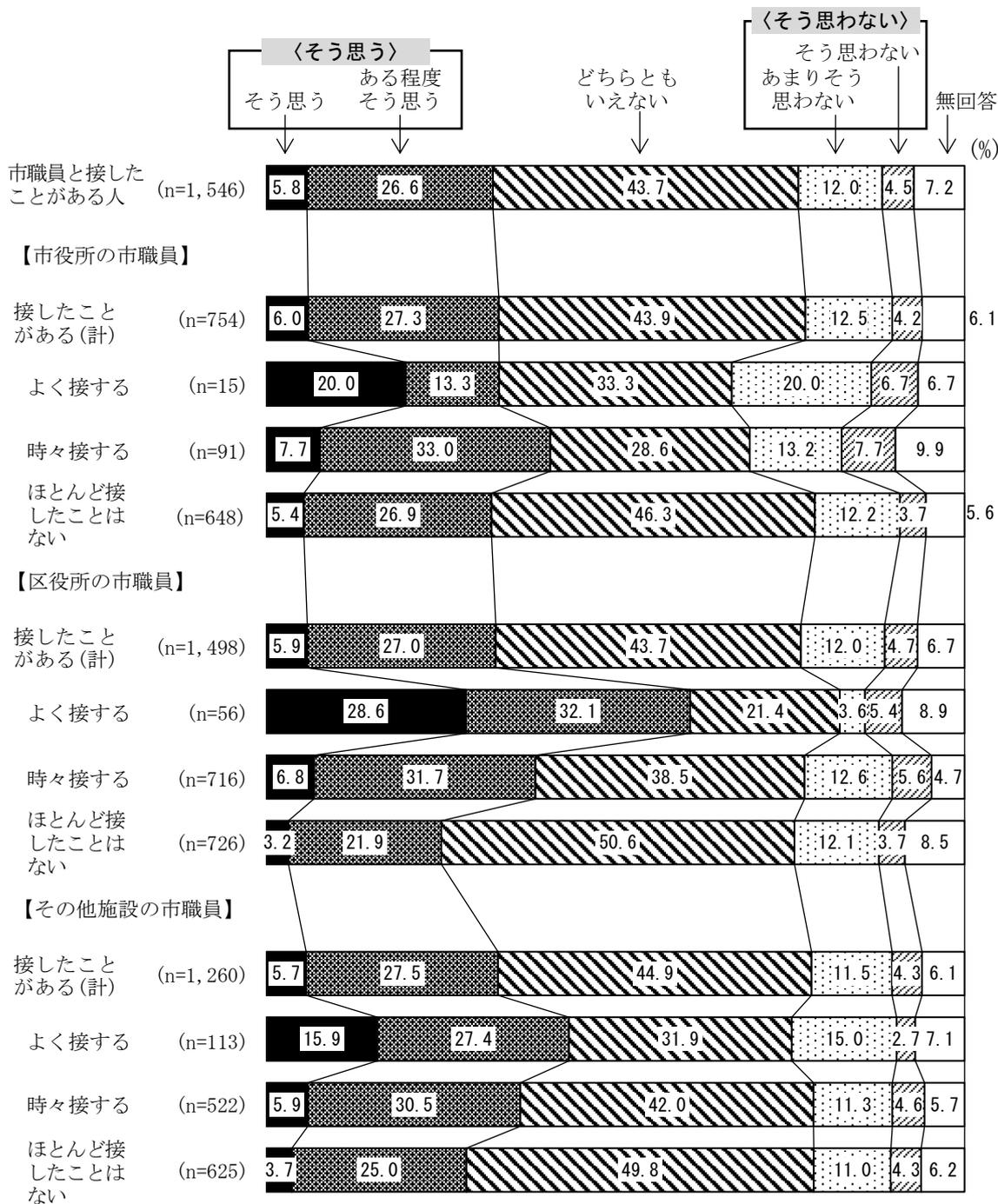
図表5-30 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【市民への的確な説明・情報提供が行われている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で<そう思う>が69.6%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

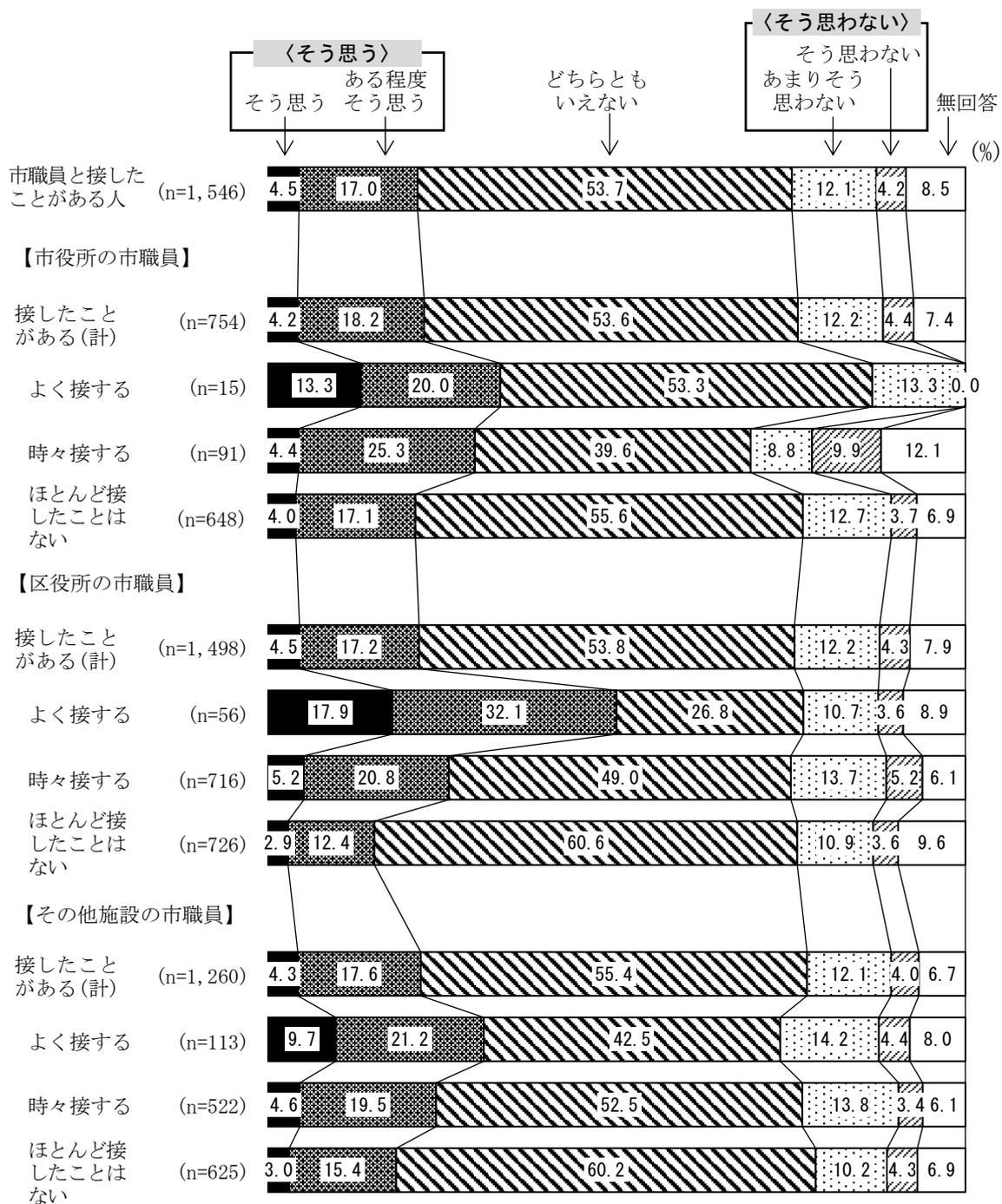
図表5-31 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【市民目線で仕事をしている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が60.7%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

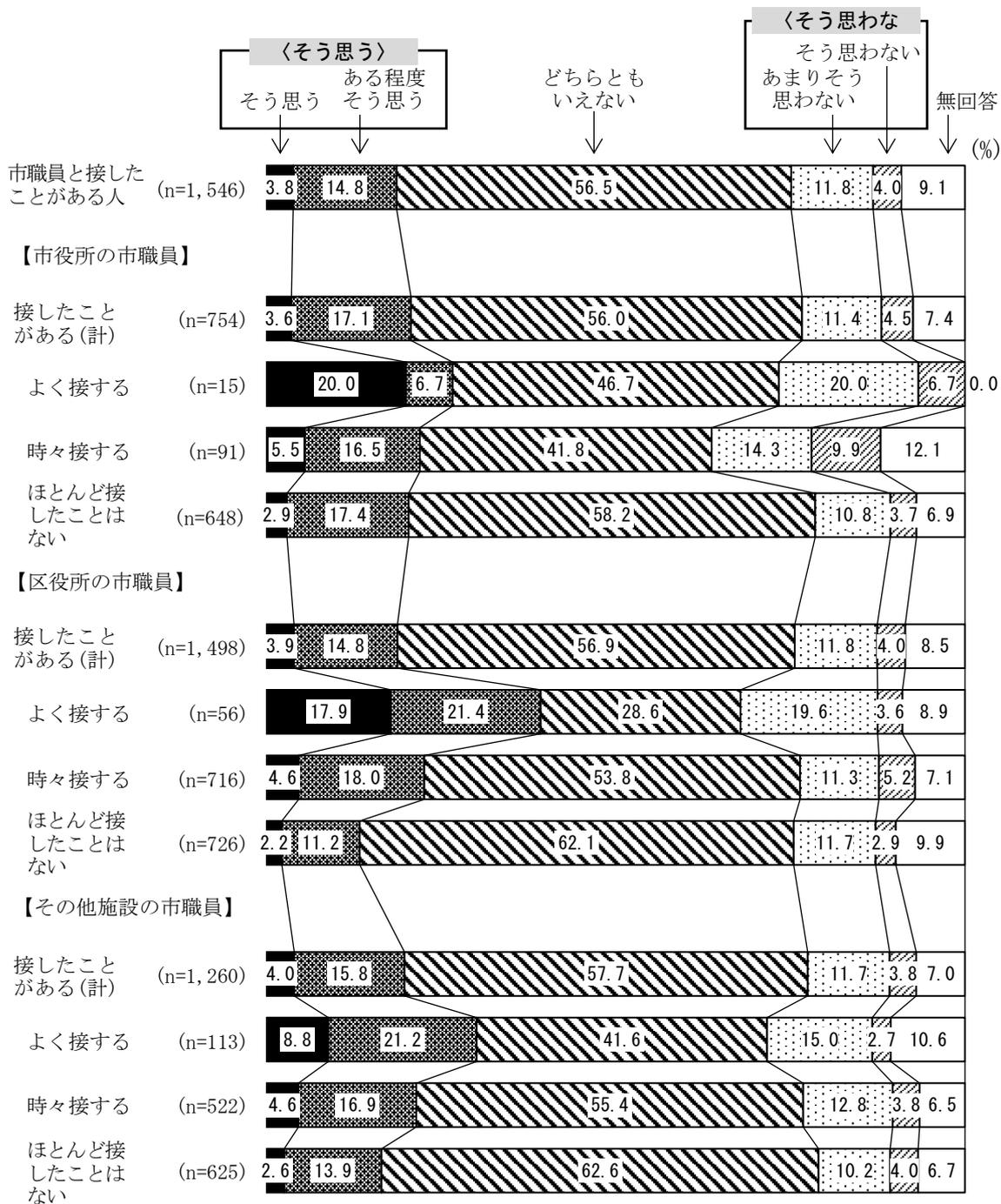
図表5-32 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【市民とともに地域の課題に取り組もうとしている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が50.0%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

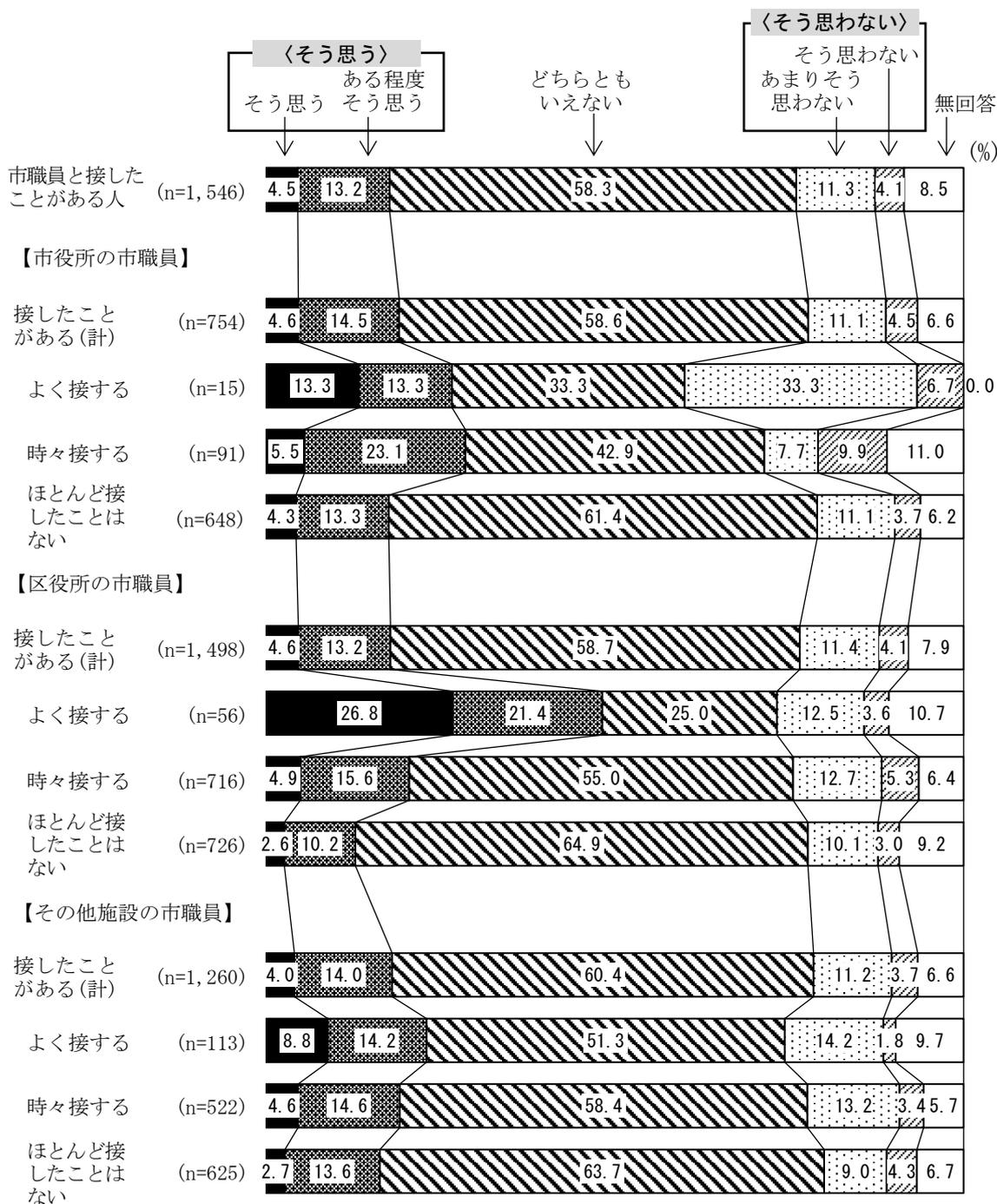
図表5-33 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【業務の改善・改革に取り組んでいる】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で＜そう思う＞が39.3%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

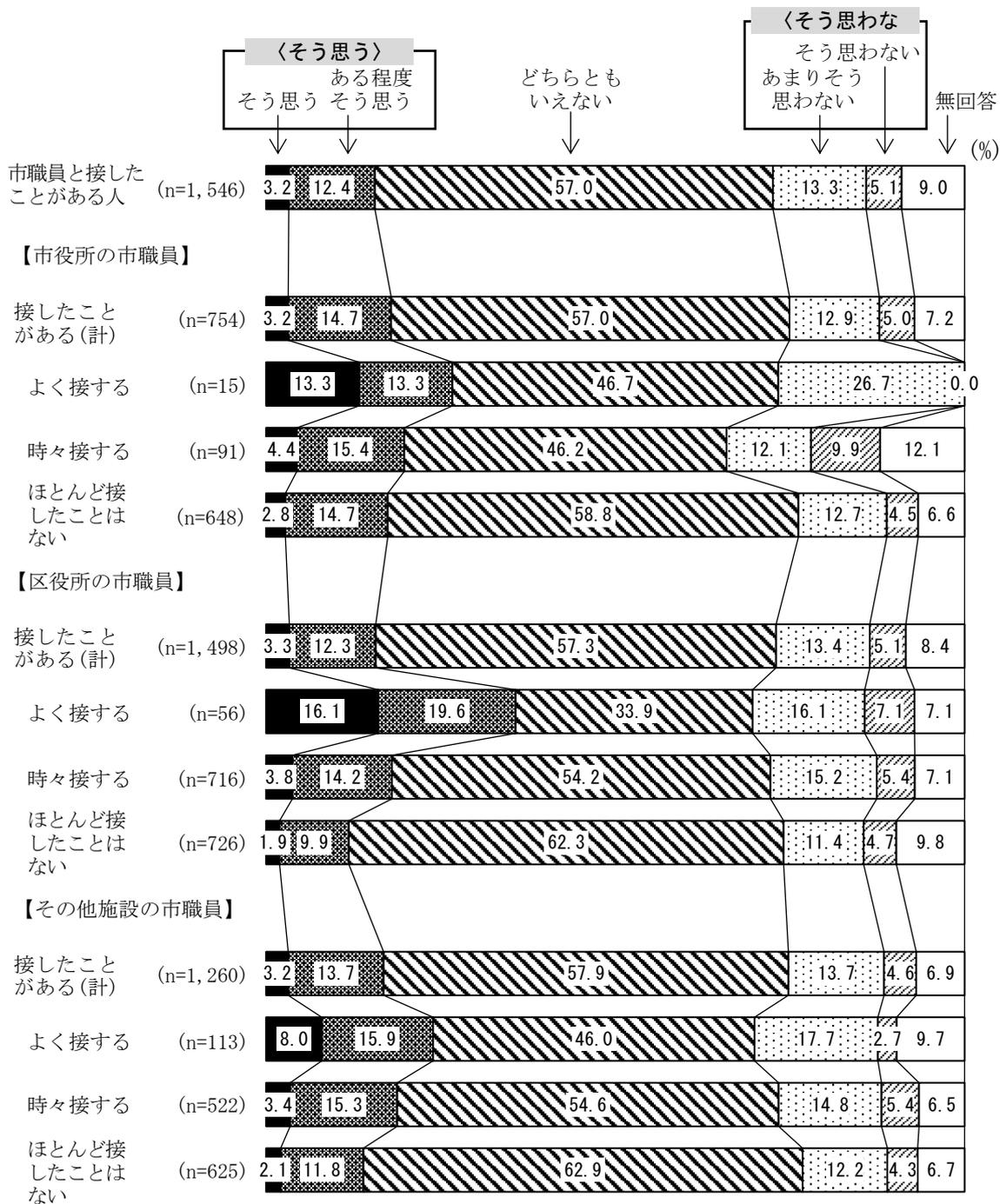
図表5-34 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【問題を先送りせず、課題解決に積極的である】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で「くそう思う」が48.2%で最も高い。

※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

図表5-35 市職員の仕事ぶり（接触頻度×市職員の種別）  
【常に新しい取り組みを行おうとしている】



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、「区役所（支所、出張所を含む）」の市職員と「よく接する」で<そう思う>が35.7%で最も高い。

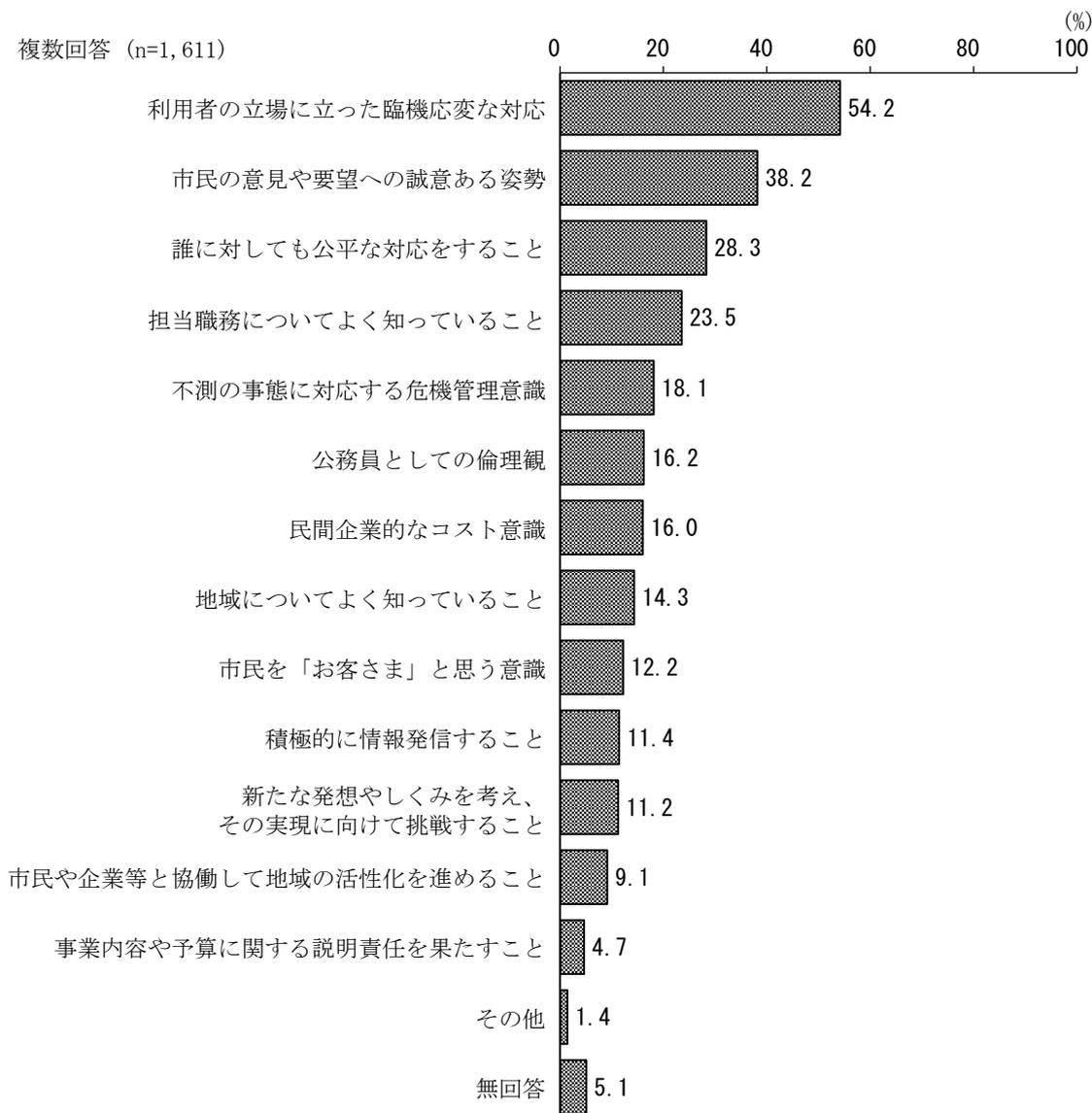
※「市役所（本庁）」の市職員と「よく接する」は回答者数が少ない。

## 5-4 市職員に求めるもの

◎「利用者の立場に立った臨機応変な対応」が54.2%

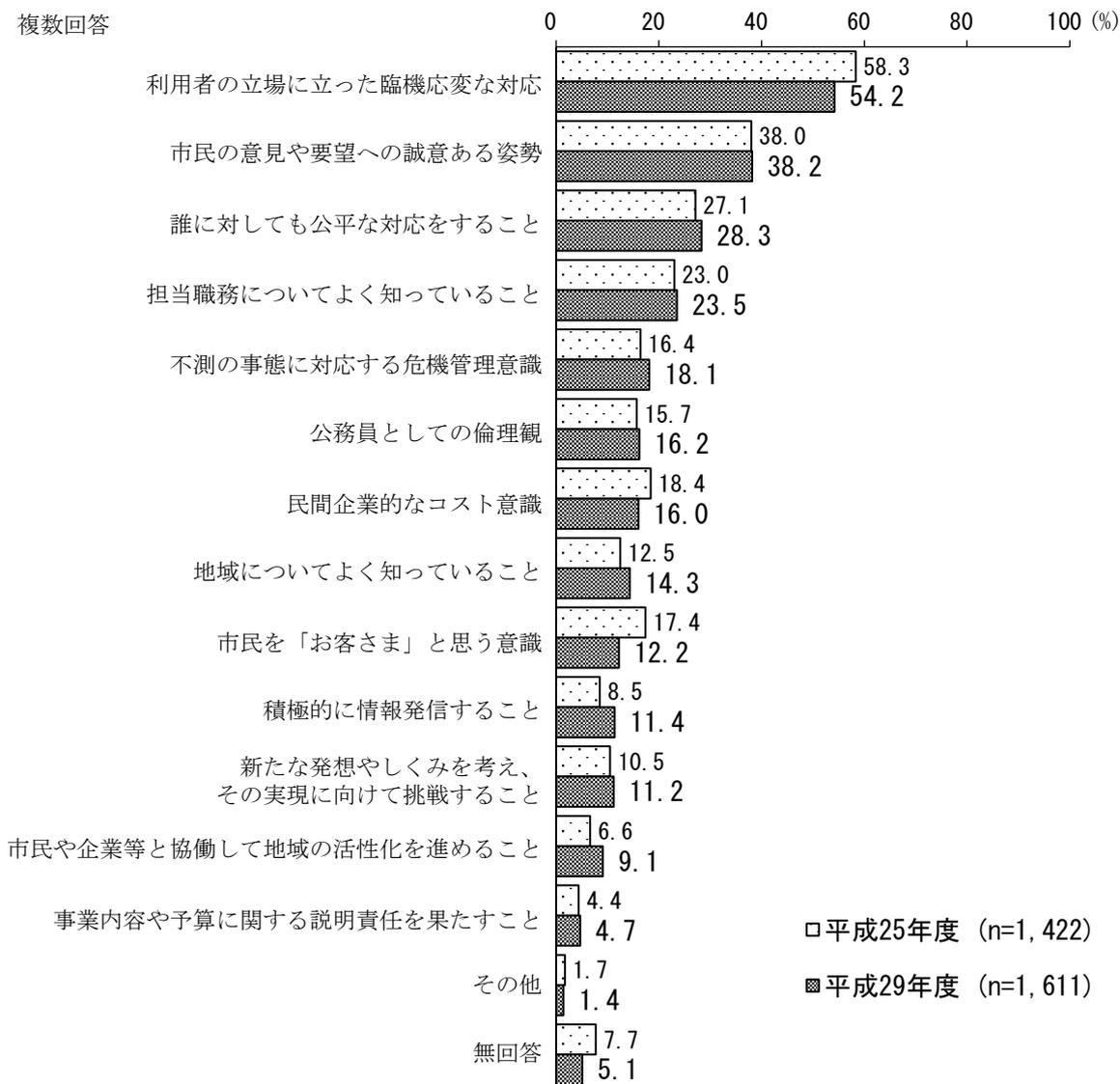
問14. あなたが、川崎市の職員に求めるものとして、特に重要であると思うものは何ですか。(〇は3つまで)

図表5-36 市職員に求めるもの



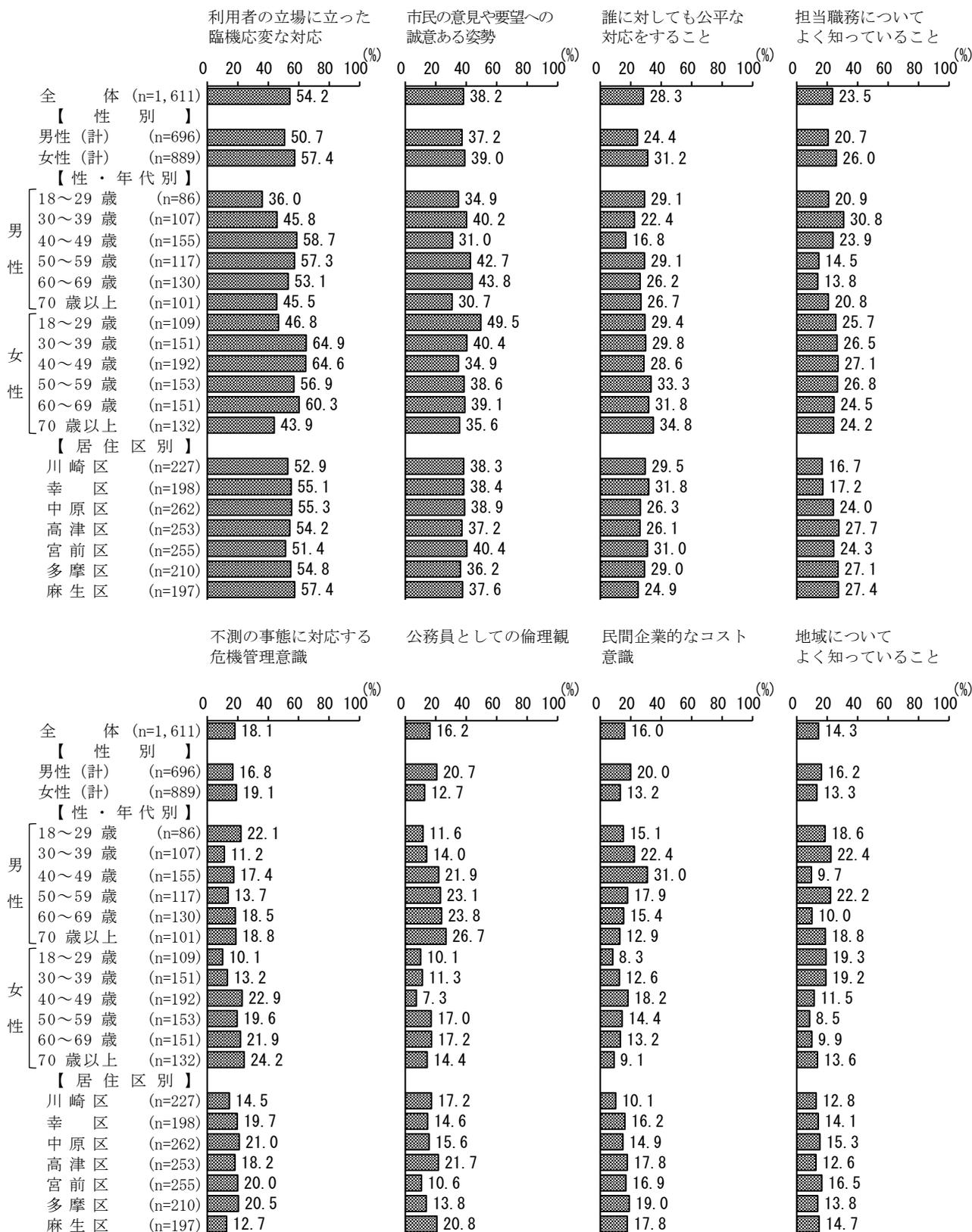
市職員と「接したことがない」人も含め、全体市職員に求めるものとして、特に重要であると思うものを最大3つまで回答してもらったところ、「利用者の立場に立った臨機応変な対応」(54.2%)が最も多く挙げられており、次いで、「市民の意見や要望への誠意ある姿勢」(38.2%)、「誰に対しても公平な対応をすること」(28.3%)、「担当職務についてよく知っていること」(23.5%)の順となっている。

図表5-37 市職員に求めるもの



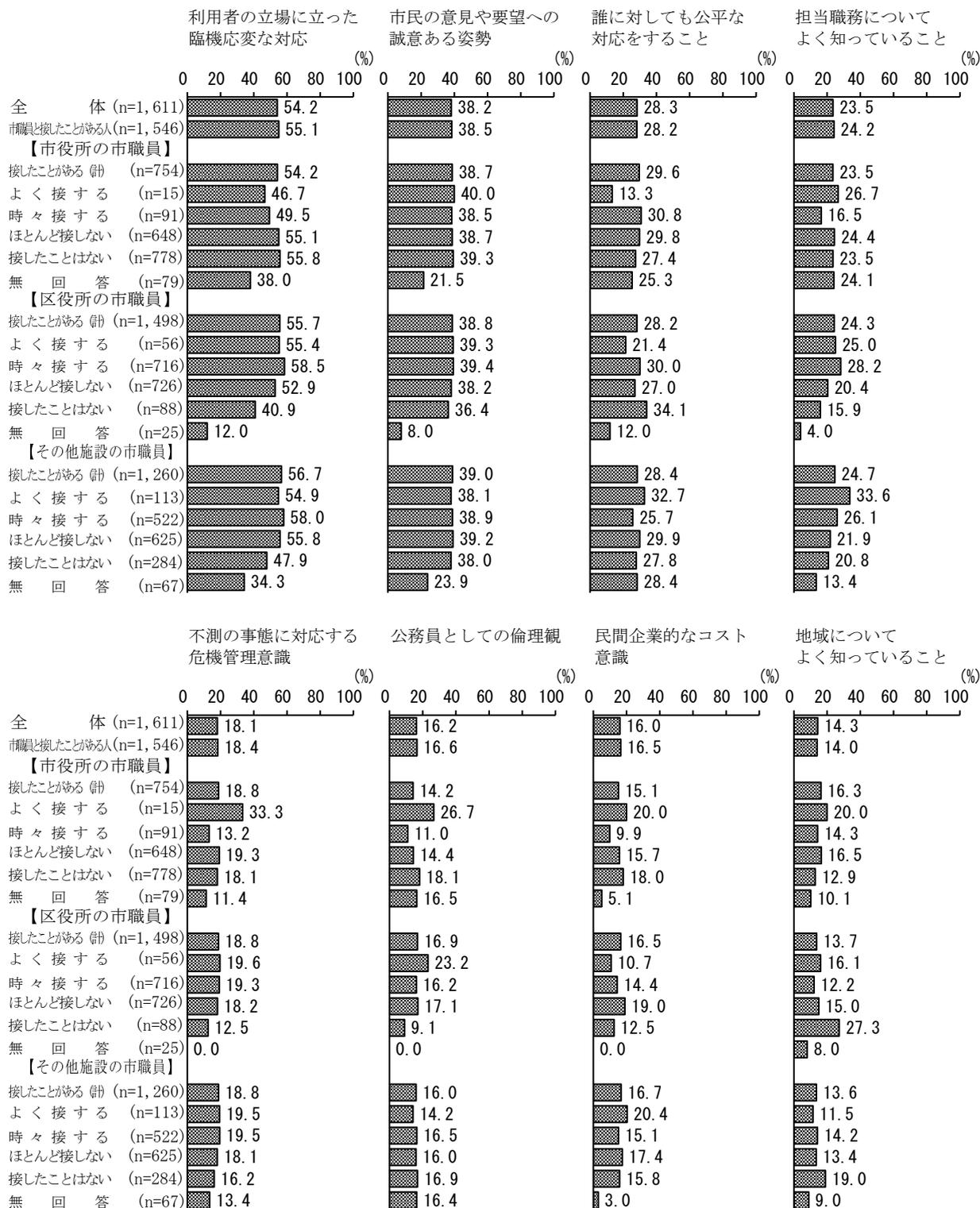
4年前（平成25年度）と比較すると、上位4項目は同じ順番となっている。

図表5-38 市職員に求めるもの(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



性/年齢別では、女性の18~29歳を除くすべての年代で、「利用者の立場に立った臨機応変な対応」が最も回答割合が高い項目となっている。女性の18~29歳では「市民の意見や要望への誠意ある姿勢」が最も高い。

図表5-39 市職員に求めるもの（接触頻度×市職員の種別、上位8項目）



接触したことがある職員の種別と接触頻度について見ると、全般的に「利用者の立場に立った臨機応変な対応」が最も回答割合が高い項目で、次いで、「市民の意見や要望への誠意ある姿勢」の順となっている。

## 6 がん検診について

### 6-1 がん検診の受診状況

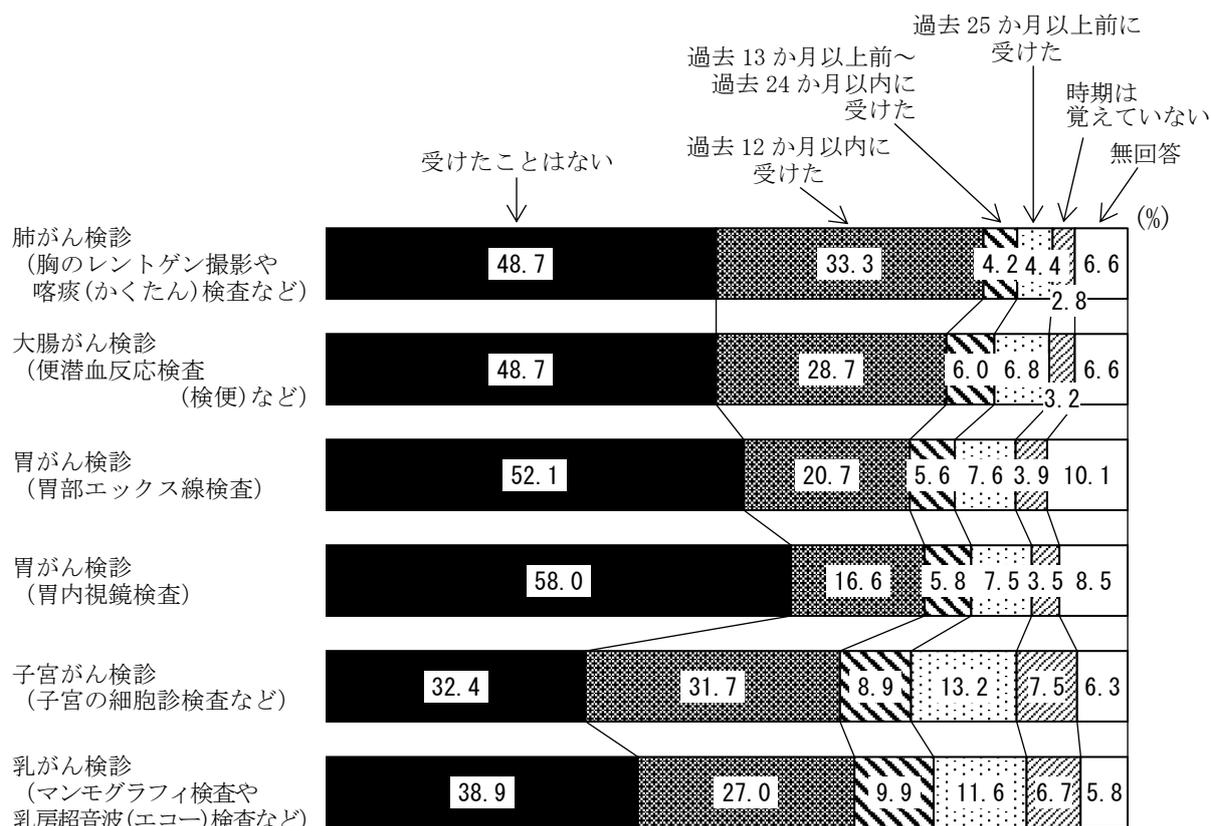
◎「肺がん検診」を<過去1年以内に受けた>が 33.3%、女性対象のがん検診を<過去2年以内に受けた>のは、「子宮がん検診」が 40.6%で、「乳がん検診」が 36.9%

問15. あなたは、これまでにがん検診またはがんの検査を含む健康診断や人間ドック等を受けたことがありますか。受けたことがある場合には、一番最近受けた時期と機会を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表6-1 がん検診の受診状況

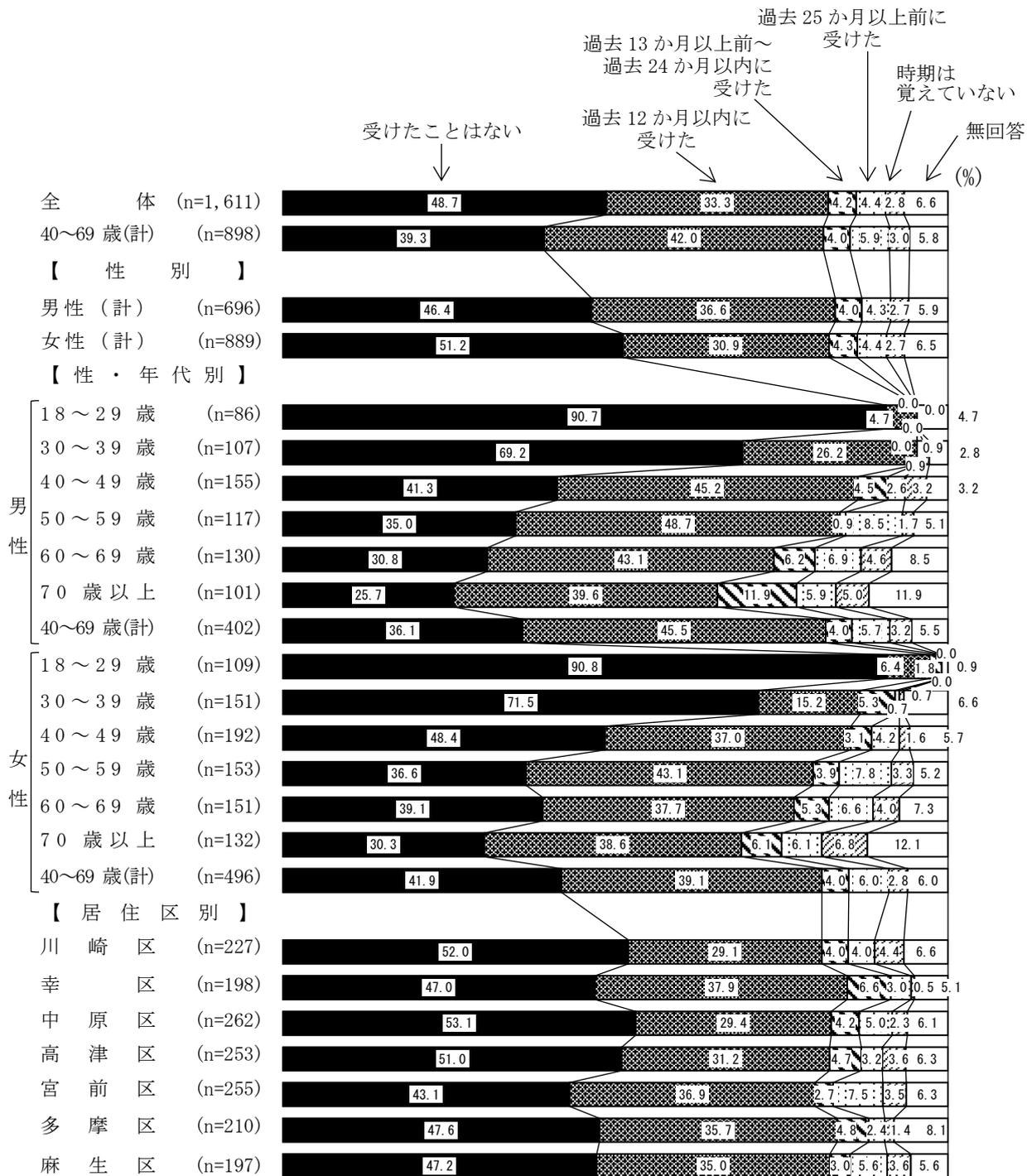
複数回答 (n=1,611)

※ただし、「子宮がん検診」と「乳がん検診」は女性に占める割合を示す (n=889)



過去1年以内にがん検診を受診した人の割合は「肺がん検診」(33.3%)、「大腸がん検診」(28.7%)、「胃がん検診(胃部エックス線検査)」(20.7%)、「胃がん検診(胃内視鏡検査)」(16.6%)となっている。また、過去2年以内に女性対象のがん検診を受診した人の割合は「子宮がん検診」が 40.6%で、「乳がん検診」が 36.9%となっている。

図表6-2 肺がん検診(胸のレントゲン撮影や喀痰(かくたん)検査など)の受診状況  
(性/年齢別・居住区別)

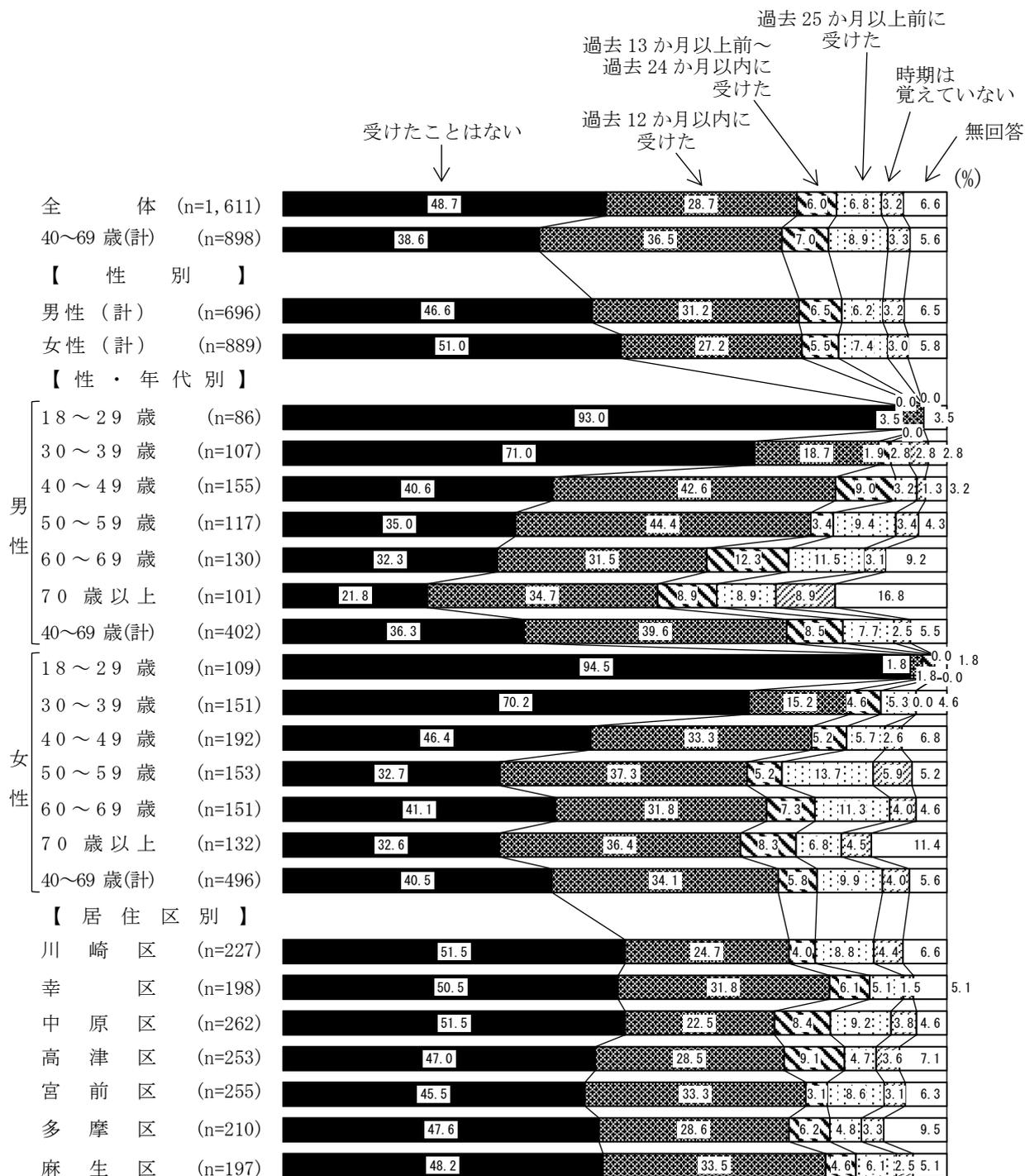


過去1年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、男性の50～59歳が48.7%で最も高く、次いで、男性の40～49歳(45.2%)、男性の60～69歳(43.1%)、女性の50～59歳(43.1%)までが4割を超えている。

居住区別では、幸区が37.9%で最も高く、次いで宮前区(36.9%)、多摩区(35.7%)、麻生区(35.0%)の順となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における肺がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では、42.0%となっている。

図表6-3 大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)の受診状況(性/年齢別・居住区別)

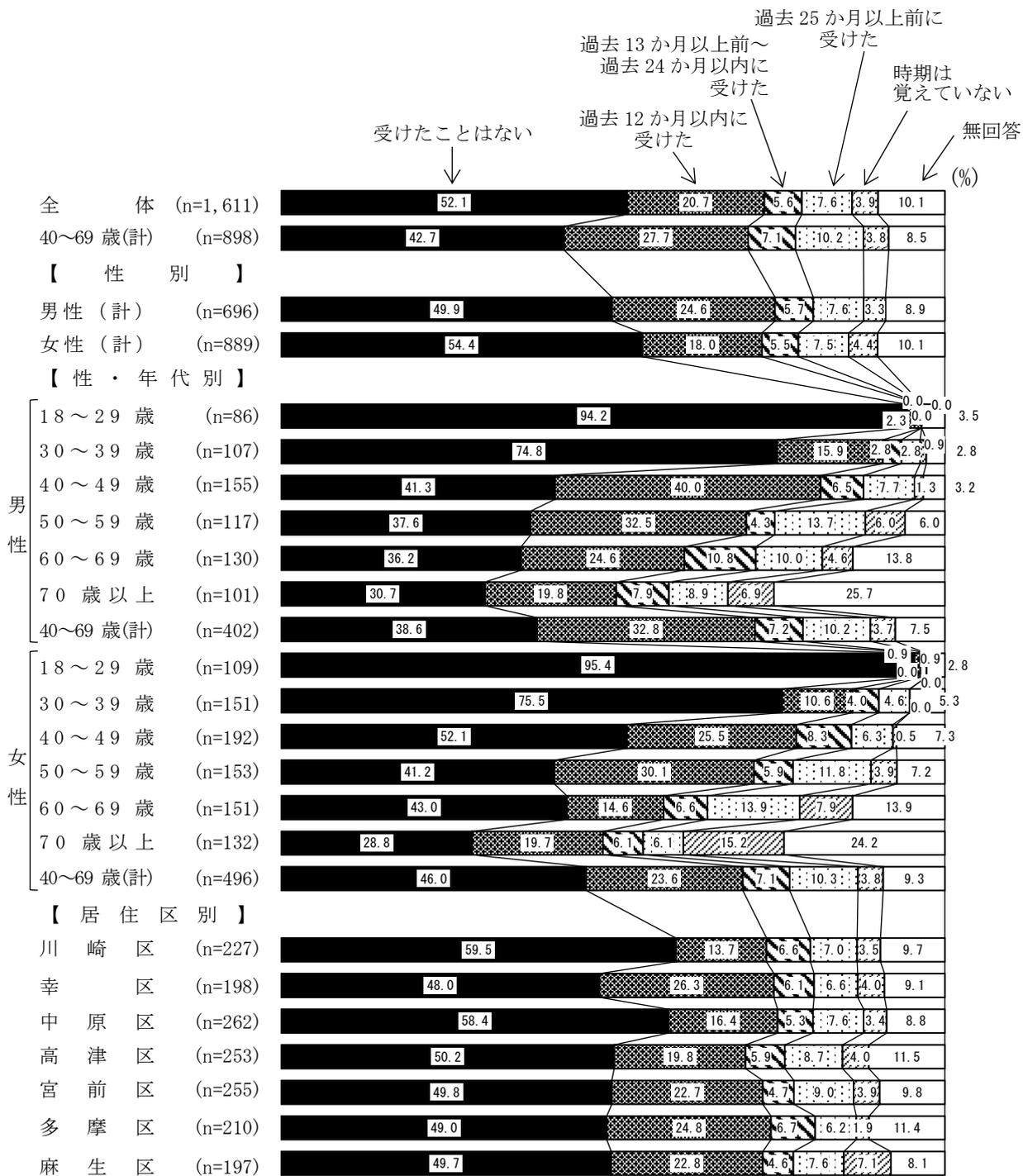


過去1年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、男性の50～59歳が44.4%で最も高く、次いで、男性の40～49歳(42.6%)、女性の50～59歳(37.3%)の順となっている。

居住区別では、麻生区(33.5%)、宮前区(33.3%)、幸区(31.8%)で3割を超えている。最も低いのは、対象者中の39歳以下の割合が他の区に比べ高い中原区で、22.5%となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における大腸がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では、36.5%となっている。

図表6-4 胃がん検診(胃部エックス線検査)の受診状況(性/年齢別・居住区別)

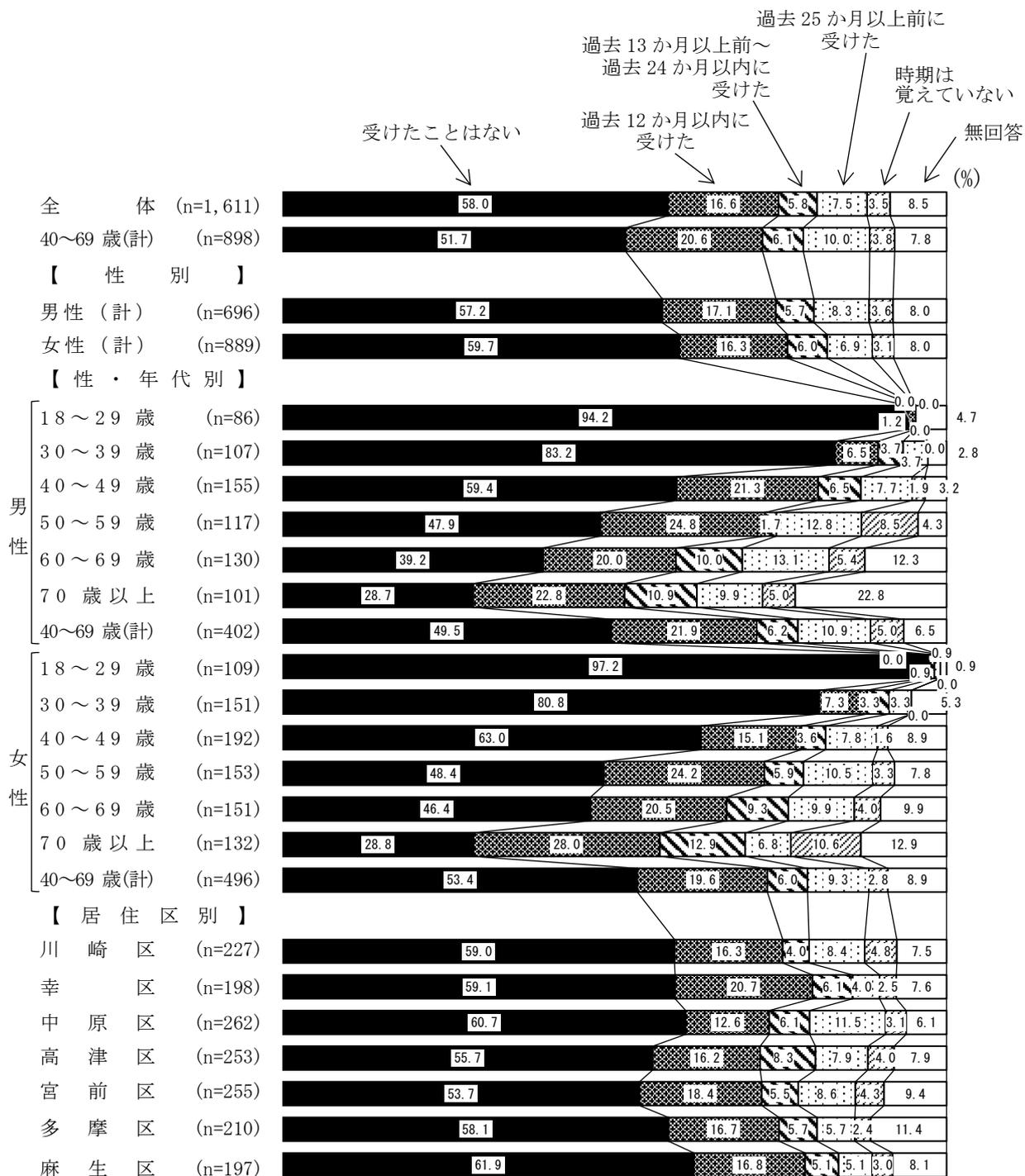


過去1年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、男性の40～49歳が40.0%で最も高く、次いで、男性の50～59歳(32.5%)、女性の50～59歳(30.1%)の順となっている。

居住区別では、幸区が26.3%で最も高く、次いで多摩区(24.8%)、麻生区(22.8%)、宮前区(22.7%)の順で、最も低いのは川崎区で13.7%となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における胃がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では、27.7%となっている。

図表6-5 胃がん検診(胃内視鏡検査)の受診状況(性/年齢別・居住区別)

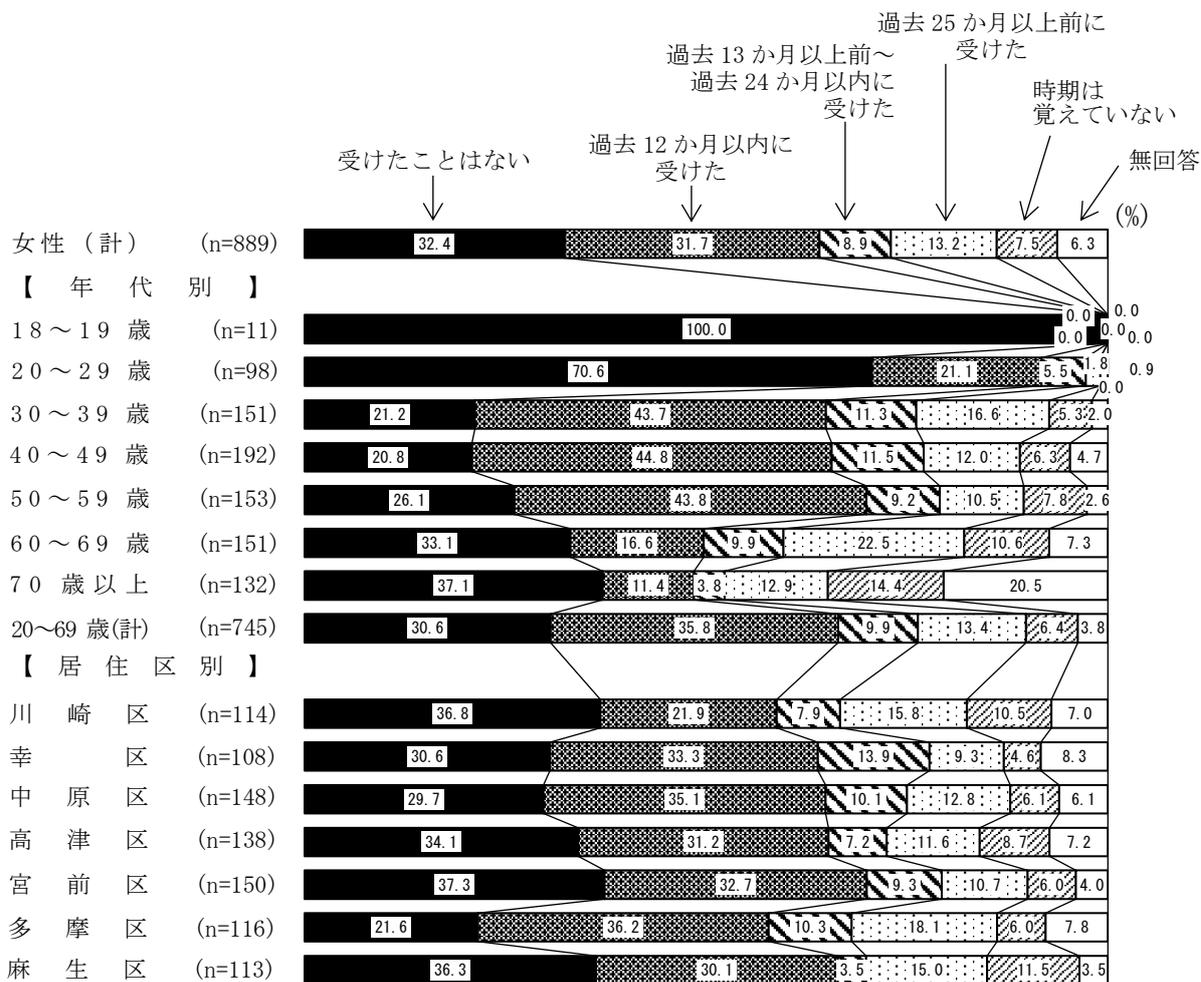


過去1年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、男性の40歳以上、女性の50歳以上の年代で2割を超えている。

居住区別では、幸区が20.7%で最も高く、次いで宮前区(18.4%)の順で、最も低いのは中原区で12.6%となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における胃がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では、20.6%となっている。

図表6-6 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など)の受診状況(年齢別・居住区別)

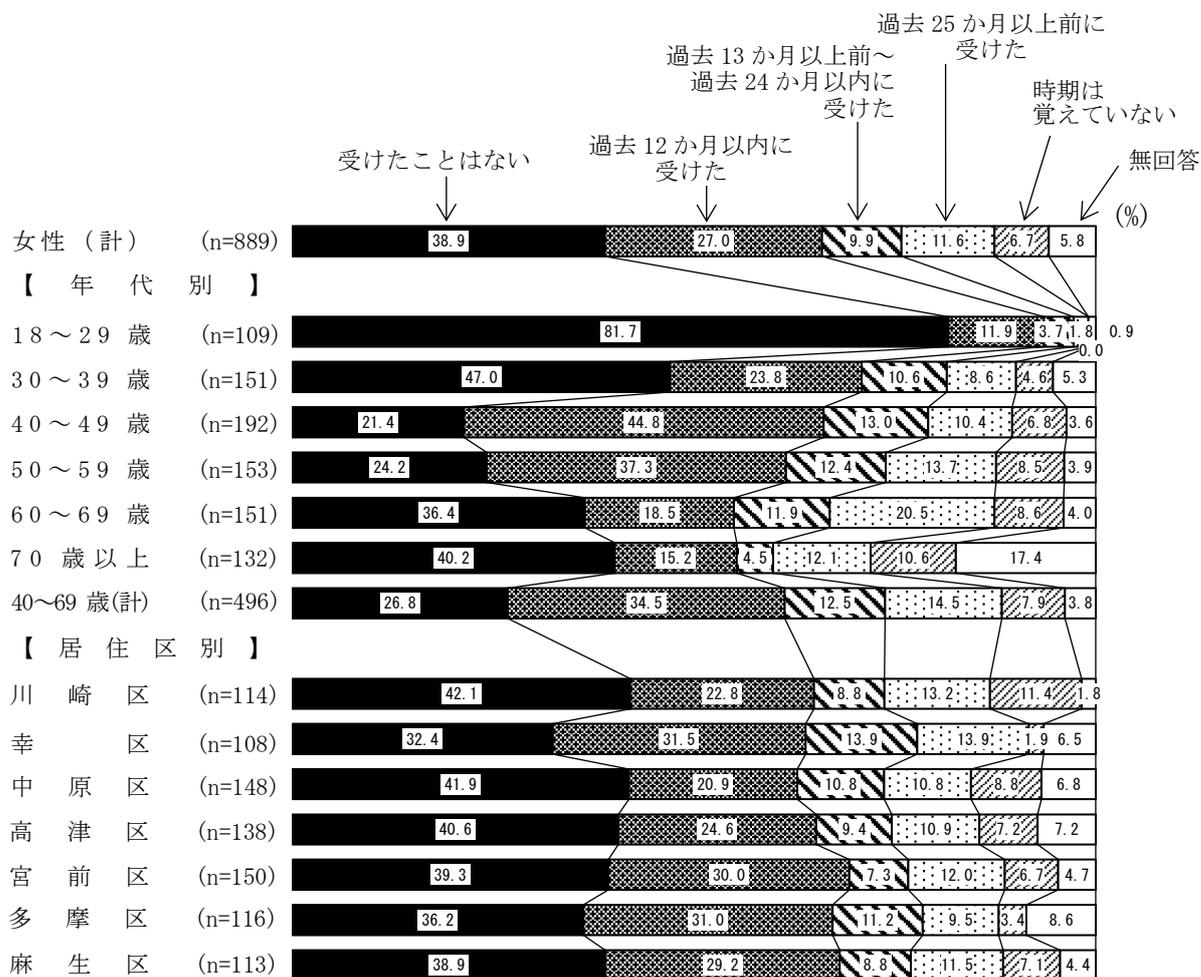


過去2年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、30歳以上59歳以下の年代で5割を超え、その前後の20～29歳と60～69歳では25%程度と受診率が約半分のレベルになっている。

居住区別では、幸区が47.2%で最も高く、次いで多摩区(46.6%)、中原区(45.3%)の順で、最も低いのは川崎区で29.8%となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における子宮がん検診受診率算出の対象年齢である20～69歳では、45.8%となっている。

図表6-7 乳がん検診(マンモグラフィ検査や乳房超音波(エコー)検査など)の受診状況  
(年齢別・居住区別)



過去2年以内に受診した人の割合は、性/年齢別では、40～49歳が57.8%で最も高く、次いで50～59歳(49.7%)、30～39歳(34.4%)、60～69歳(30.5%)の順となり、18～29歳と70歳以上では2割を下回っている。

居住区別では、幸区が45.4%で最も高く、次いで多摩区(42.2%)の順で、最も低いのは川崎区で31.6%となっている。

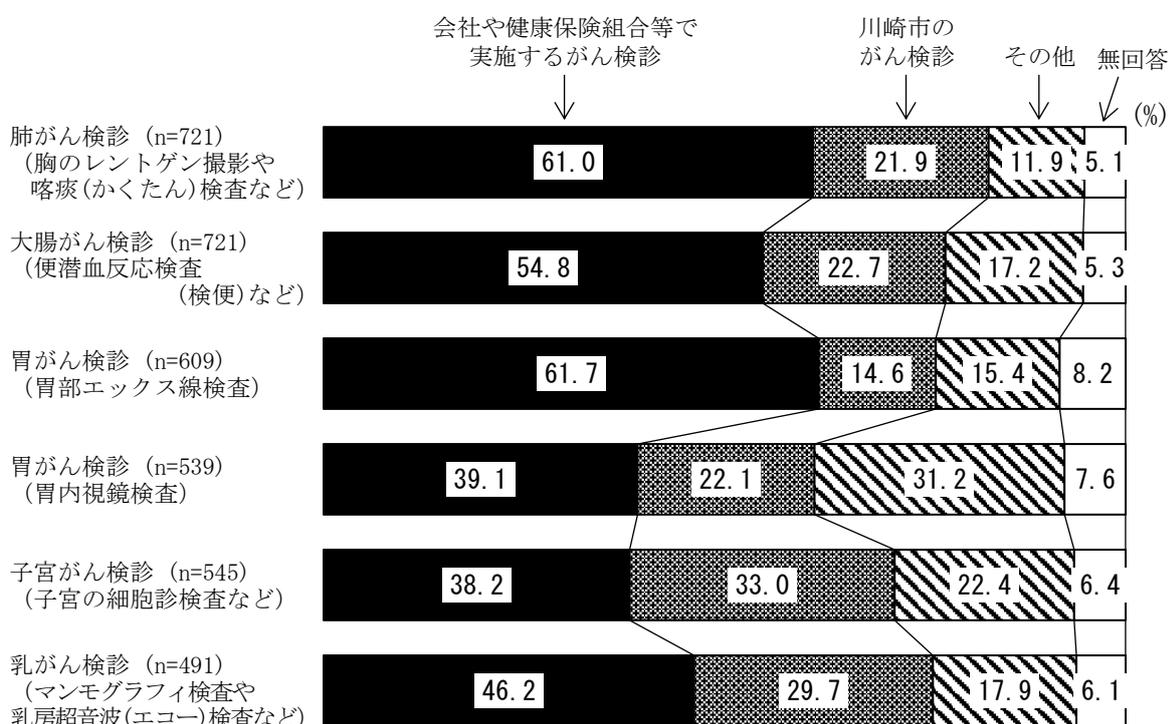
がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における乳がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では、47.0%となっている。

## 6-2 がん検診を受診した機会

◎「胃がん検診（胃部エックス線検査）」の受診機会は「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が61.7%

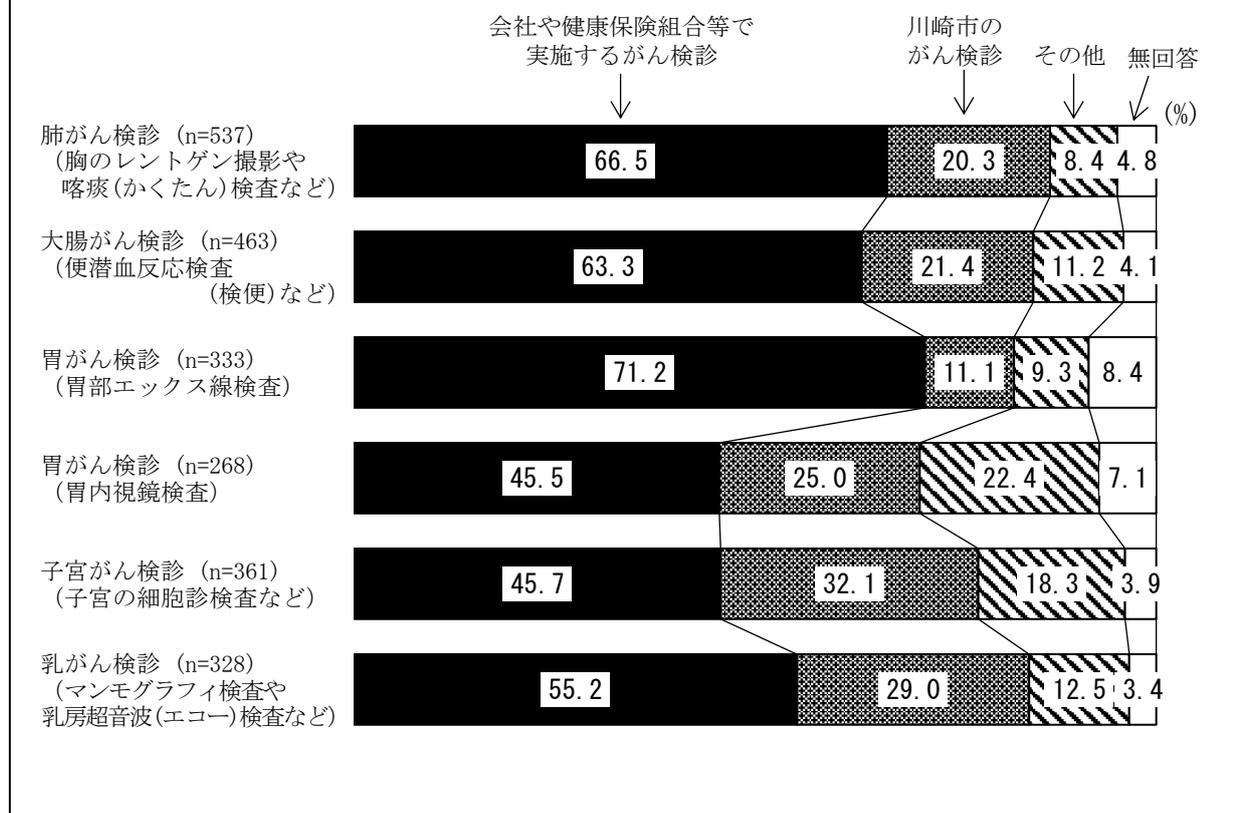
問15. あなたは、これまでにがん検診またはがんの検査を含む健康診断や人間ドック等を受けたことがありますか。受けたことがある場合には、一番最近受けた時期と機会を教えてください。（〇はそれぞれ1つずつ）

図表6-8 がん検診の受診機会



いずれの検診においても「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」を受診した人の割合が最も高く、中でも「胃がん検診(胃部エックス線検査)」「肺がん検診」「大腸がん検診」では、受診者の6割前後が「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」を受診している。なお、女性対象のがん検診では、他の検診に比べ「川崎市のがん検診」を受診した人の割合が高くなっている。

図表6-9 がん検診の受診機会  
 (肺がん検診・大腸がん検診・胃がん検診は過去1年以内、  
 子宮がん検診・乳がん検診は過去2年以内)



「肺がん検診」「大腸がん検診」「胃がん検診(胃部エックス線検査)」「胃がん検診(胃内視鏡検査)」は過去1年以内に受診した人について、「子宮がん検診」「乳がん検診」は過去2年以内に受診した人について見ると、いずれの検診においても「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」を受診した人の割合が最も高く、中でも「胃がん検診(胃部エックス線検査)」「肺がん検診」「大腸がん検診」では、過去1年以内受診者の6~7割が「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」を受診している。なお、女性対象のがん検診では、他の検診に比べ「川崎市のがん検診」を受診した人の割合が高くなっている。

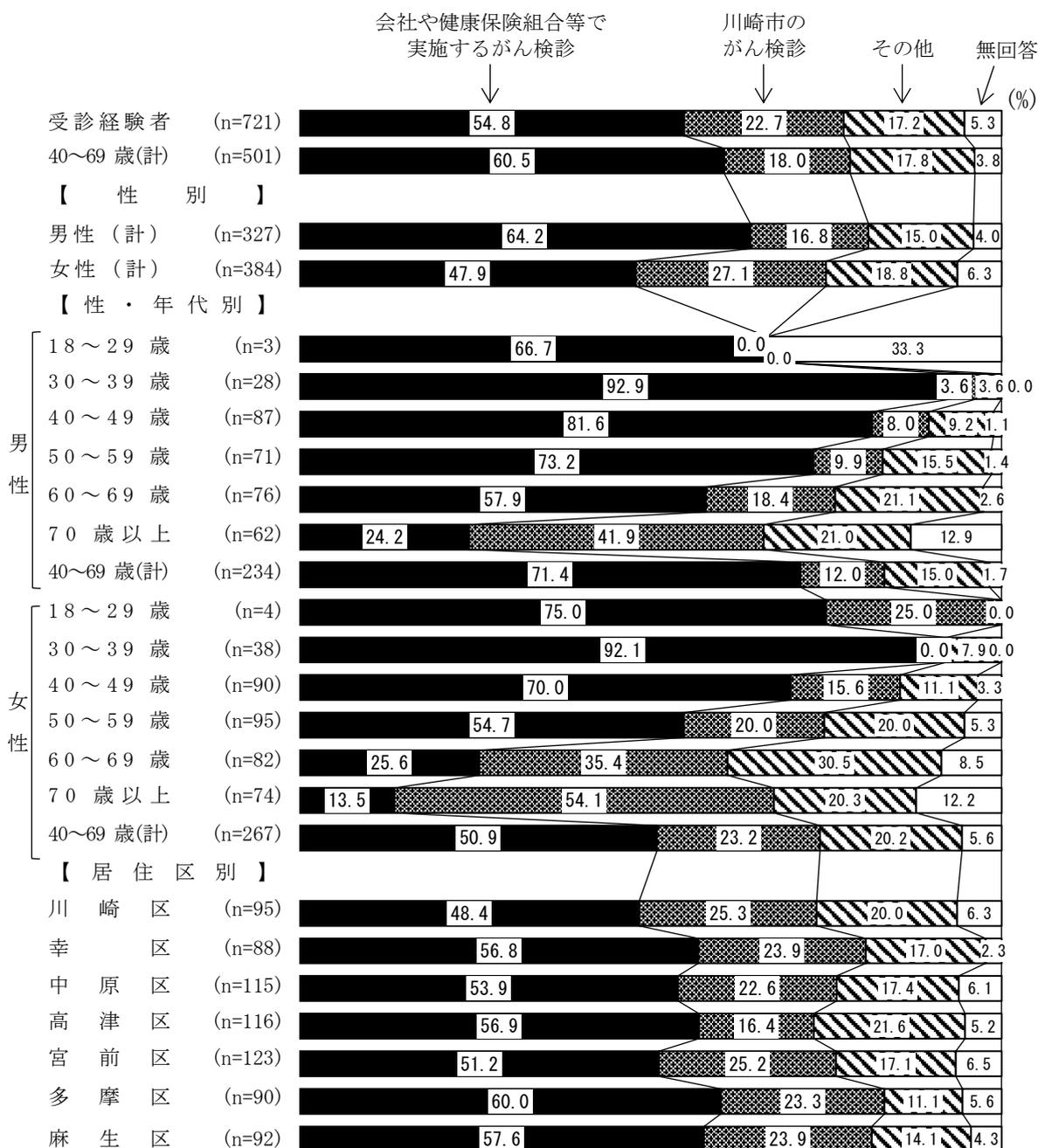
図表6-10 肺がん検診(胸のレントゲン撮影や喀痰(かくたん)検査など)の受診機会  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の40歳以上69歳以下の年代、女性の40~49歳と50~59歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高い。一方、男女ともに70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高い。なお、女性の60~69歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」と「川崎市のがん検診」がほぼ同程度となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における肺がん検診受診率算出の対象年齢である40~69歳では「川崎市のがん検診」が、15.0%となっている。

図表6-11 大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)の受診機会  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の40歳以上69歳以下の年代、女性の40~49歳と50~59歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高い。一方、男女ともに70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高い。なお、女性の60~69歳では、「川崎市のがん検診」と「その他」がほぼ同程度となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における大腸がん検診受診率算出の対象年齢である40~69歳では「川崎市のがん検診」が、18.0%となっている。

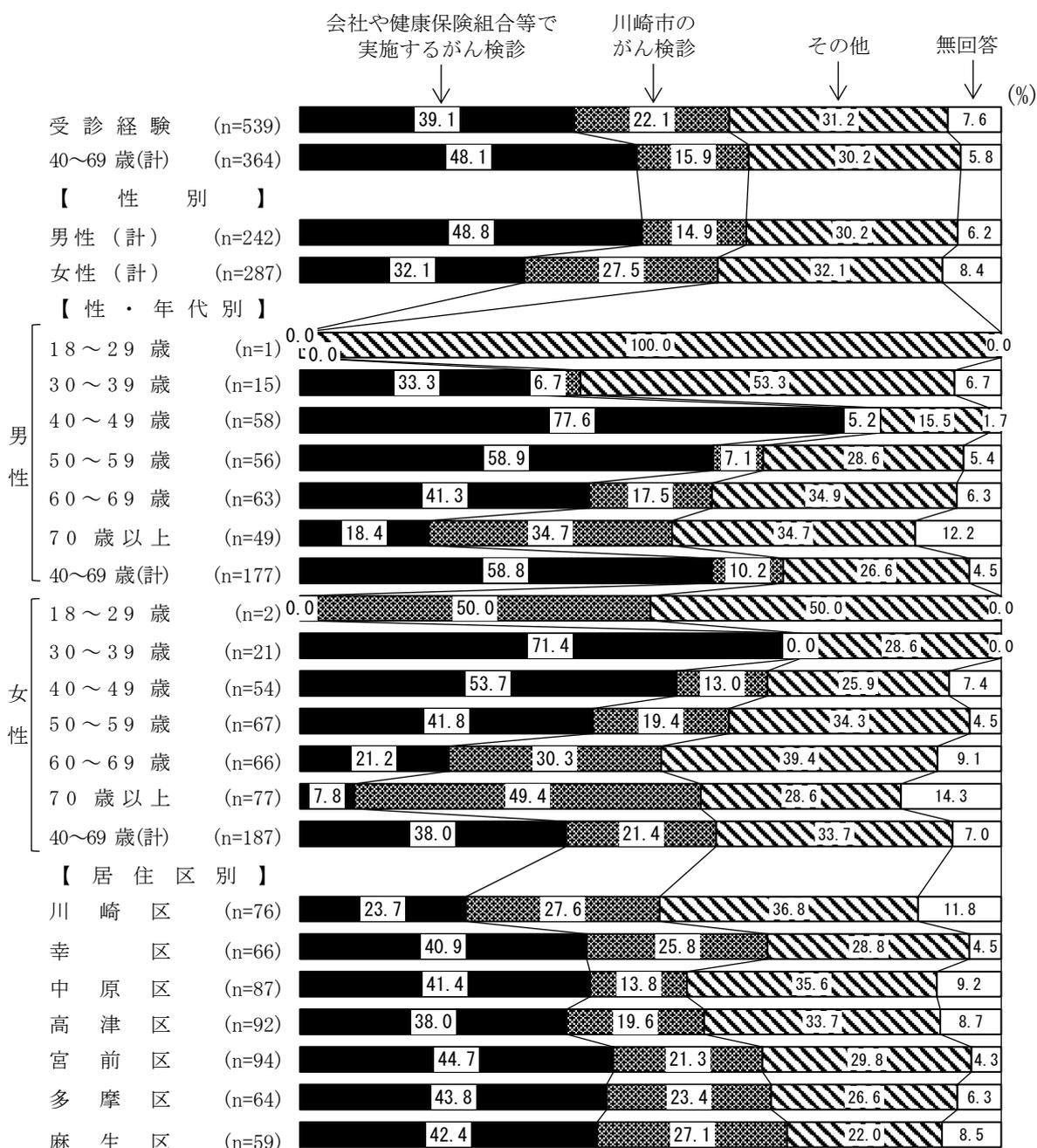
図表6-12 胃がん検診(胃部エックス線検査)の受診機会(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の40歳以上69歳以下の年代、女性の40~49歳と50~59歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高い。一方、男女ともに70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高い。なお、女性の60~69歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」と「その他」がほぼ同程度となっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における胃がん検診受診率算出の対象年齢である40~69歳では「川崎市のがん検診」が、10.3%となっている。

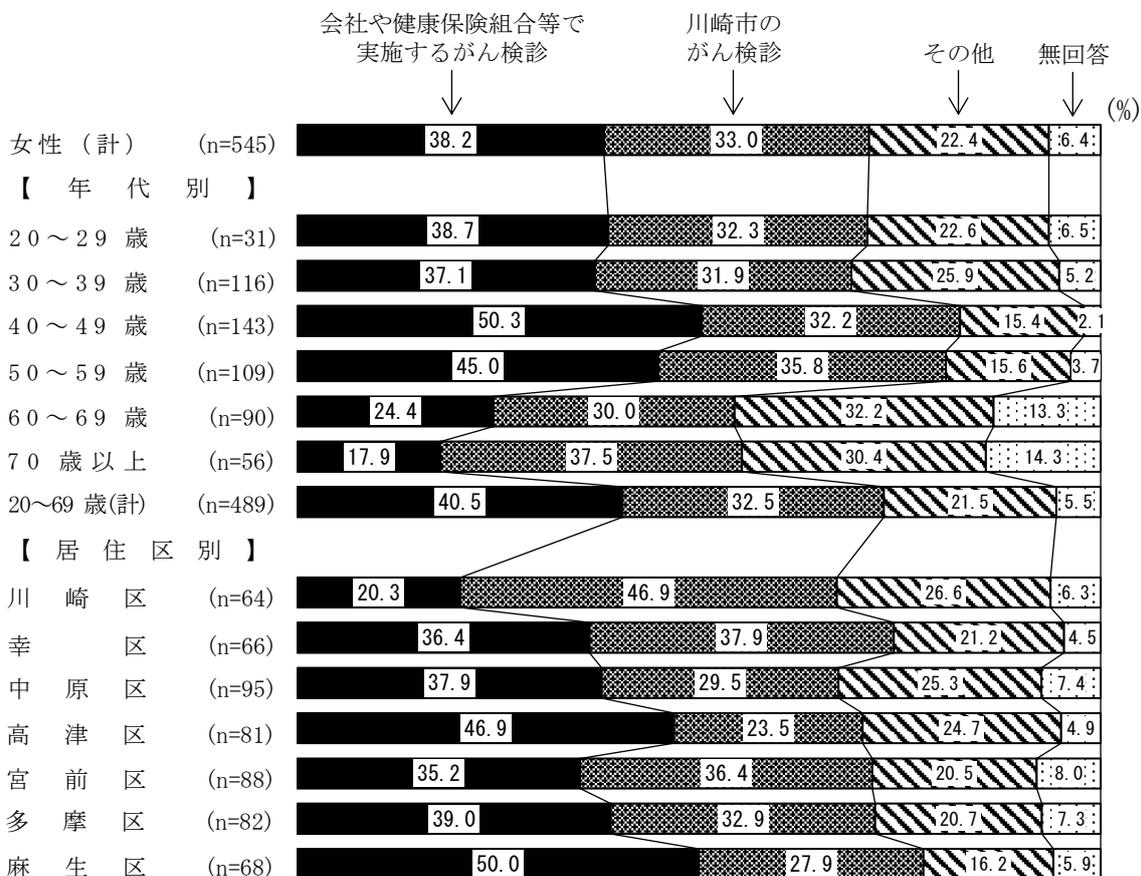
図表6-13 胃がん検診(胃内視鏡検査)の受診機会(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の40歳以上69歳以下の年代、女性の40~49歳と50~59歳では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高い。女性の70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高く、男性の70歳以上では「川崎市のがん検診」と「その他」が同程度、女性の60~69歳では「その他」が最も高くなっている。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における胃がん検診受診率算出の対象年齢である40~69歳では「川崎市のがん検診」が、15.9%となっている。

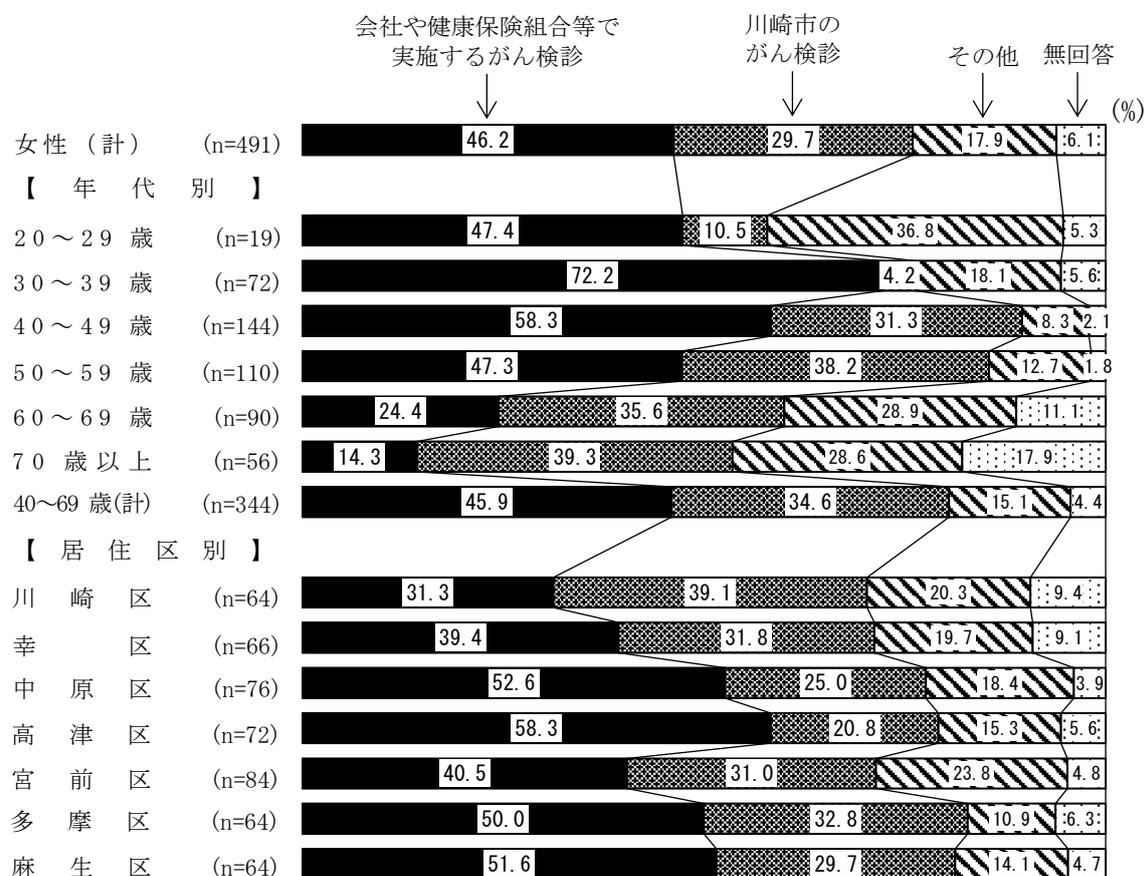
図表6-14 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など)の受診機会(年齢別・居住区別)



性／年齢別では、59歳以下の年代では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高く、60～69歳では「その他」と「川崎市のがん検診」や「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が同程度であり、70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高い。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における子宮がん検診受診率算出の対象年齢である20～69歳では「川崎市のがん検診」が、32.5%となっている。

図表6-15 乳がん検診(マンモグラフィ検査や乳房超音波(エコー)検査など)の受診機会(年齢別・居住区別)



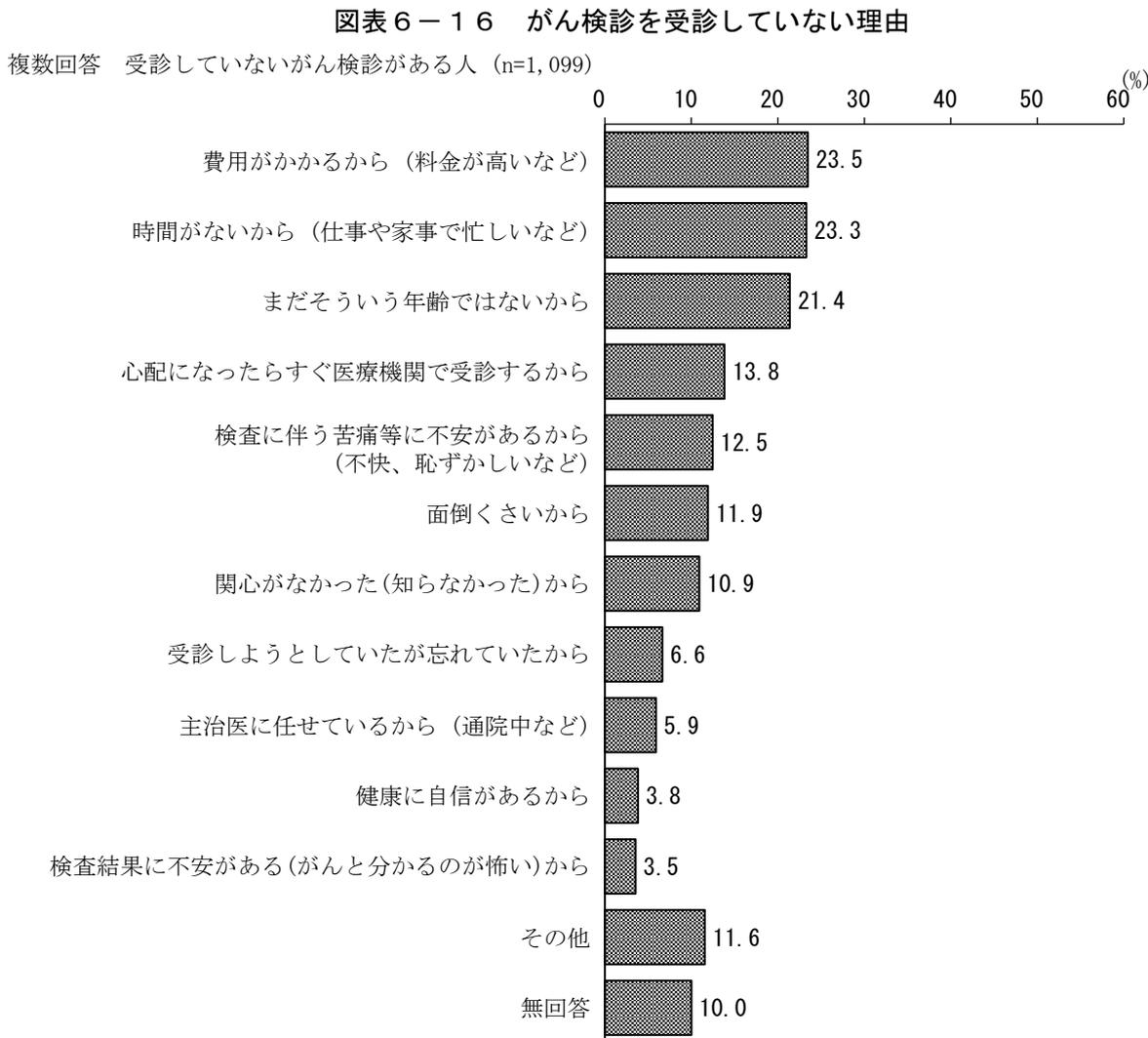
性／年齢別では、30歳以上59歳以下の年代では、「会社や健康保険組合等で実施するがん検診」が最も高く、60～69歳と70歳以上では「川崎市のがん検診」が最も高い。

がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における乳がん検診受診率算出の対象年齢である40～69歳では「川崎市のがん検診」が、34.6%となっている。

### 6-3 がん検診を受診していない理由

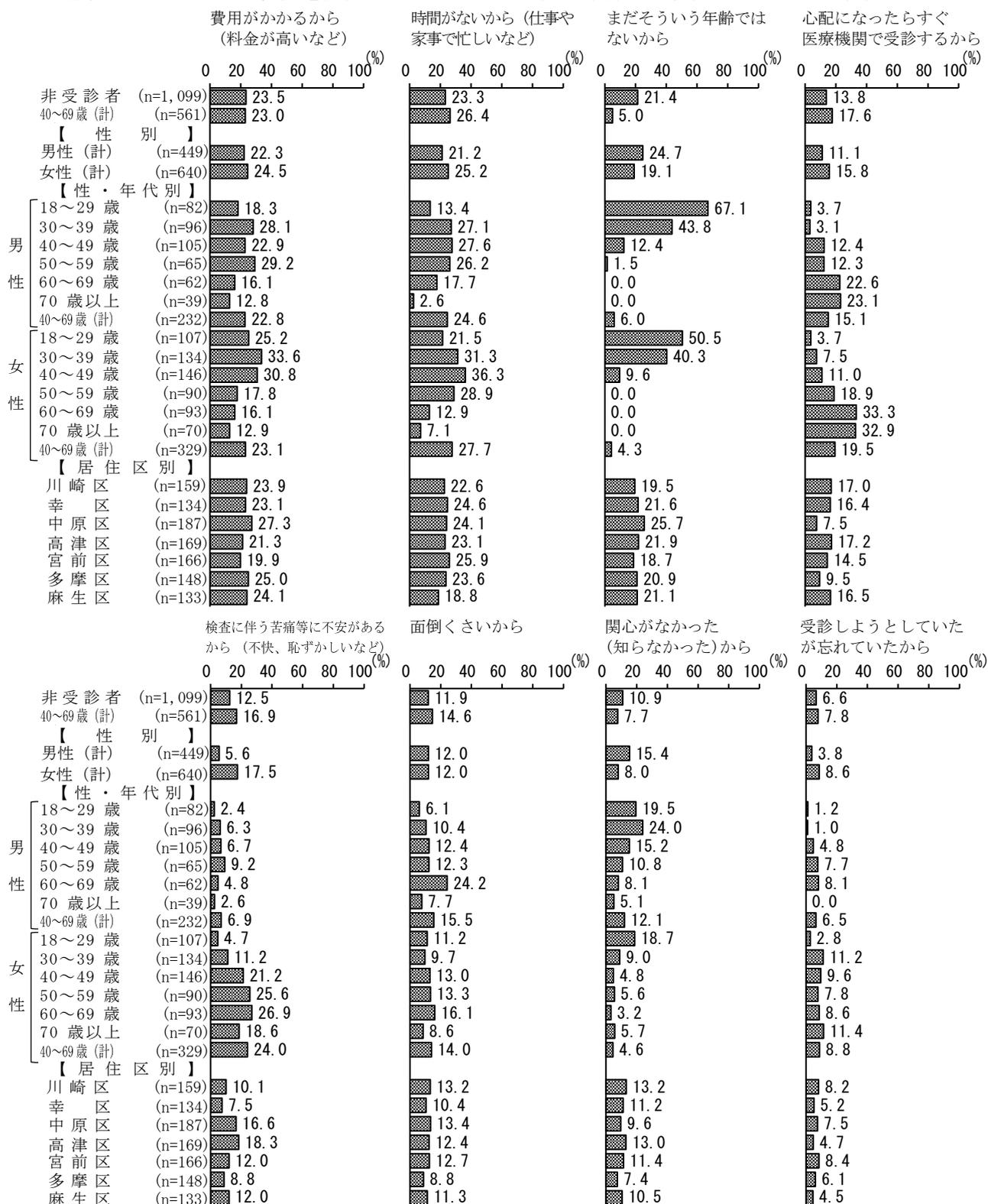
◎「費用がかかるから（料金が高等）」が23.5%

問16. あなたが、がん検診（検査）を受診していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



がん検診を受診していない主な理由は、「費用がかかるから（料金が高等）」（23.5%）、「時間がないから（仕事や家事で忙しいなど）」（23.3%）、「まだそういう年齢ではないから」（21.4%）などとなっている。

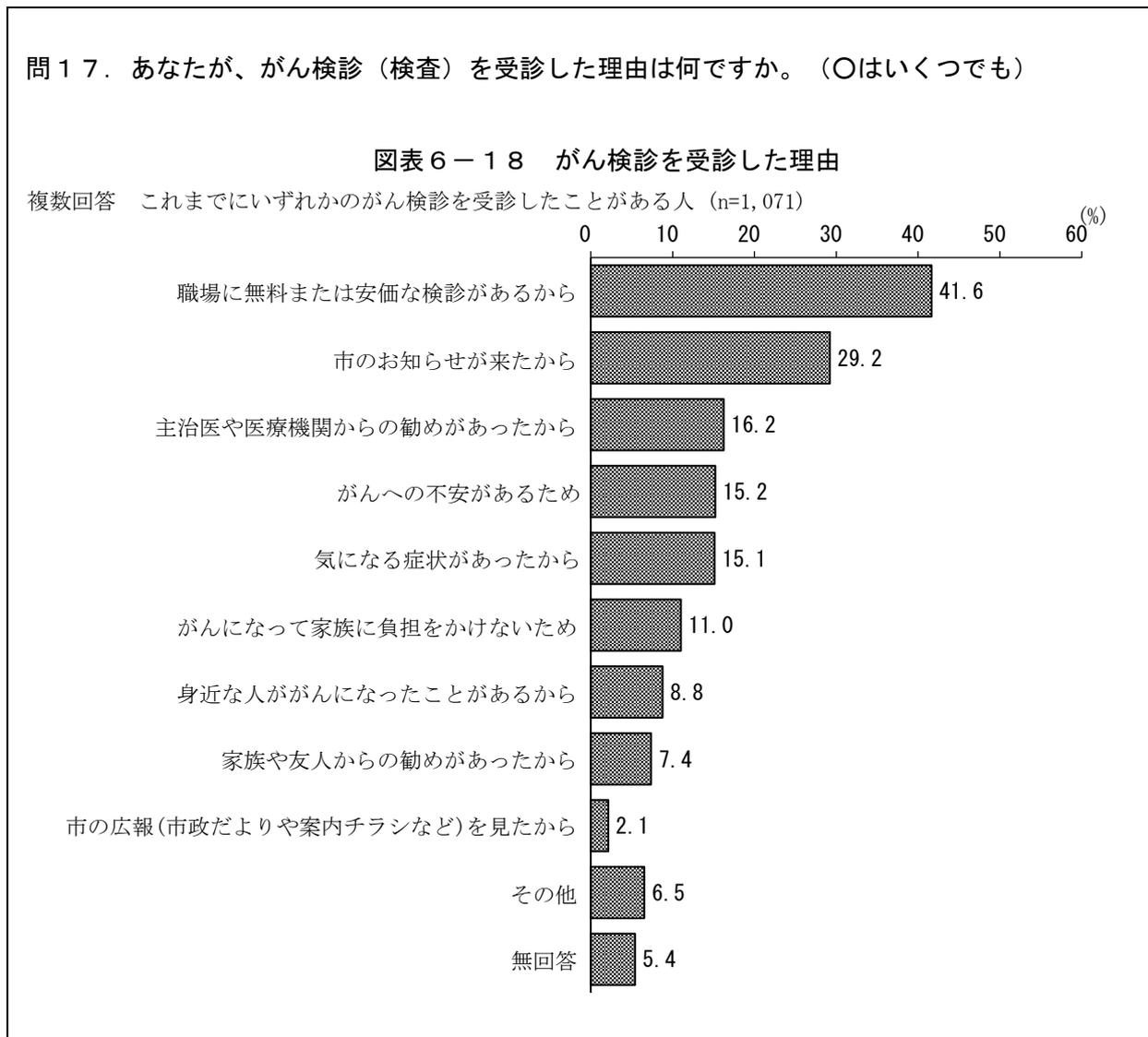
図表6-17 がん検診を受診していない理由(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



性/年齢別では「費用がかかるから(料金が高等)」「時間がないから(仕事や家事で忙しいなど)」は、男性の30歳以上59歳以下の年代と女性の49歳以下の年代で2~3割程度となっている。がん対策推進基本計画(平成29年10月24日閣議決定)における受診率算出の対象年齢では、女性の50~59歳と60~69歳で「心配になったらすぐ医療機関で受診するから」が3割を超え、男性の60~69歳で「面倒くさいから」が24.2%と高くなっている。

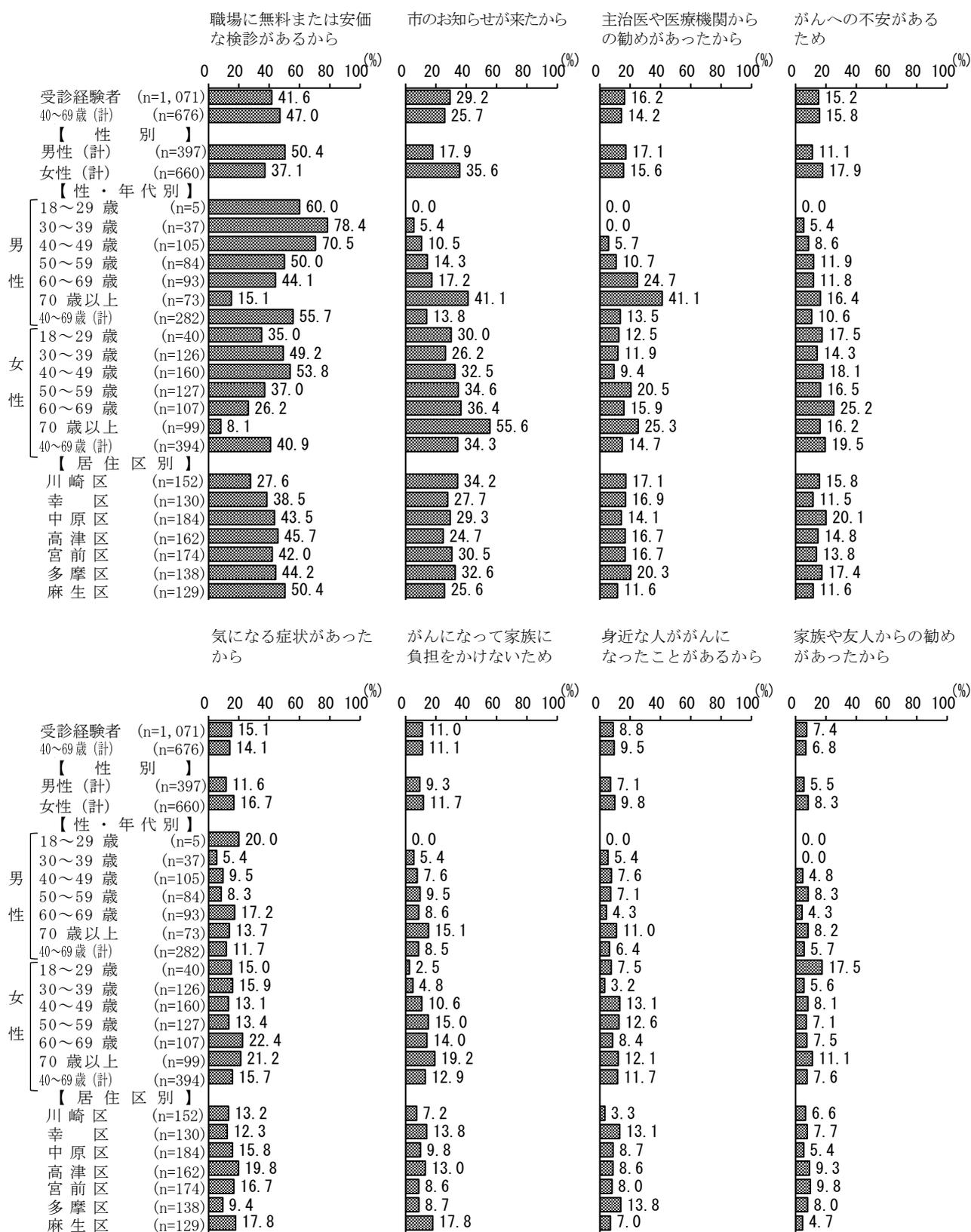
## 6-4 がん検診を受診した理由

◎「職場に無料または安価な検診があるから」が41.6%



がん検診を受診した理由は、「職場に無料または安価な検診があるから」(41.6%)が最も多く、次いで「市のお知らせが来たから」(29.2%)、「主治医や医療機関からの勧めがあったから」(16.2%)、「がんへの不安があるため」(15.2%)、「気になる症状があったから」(15.1%)の順となっている。

図表6-19 がん検診を受診した理由(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



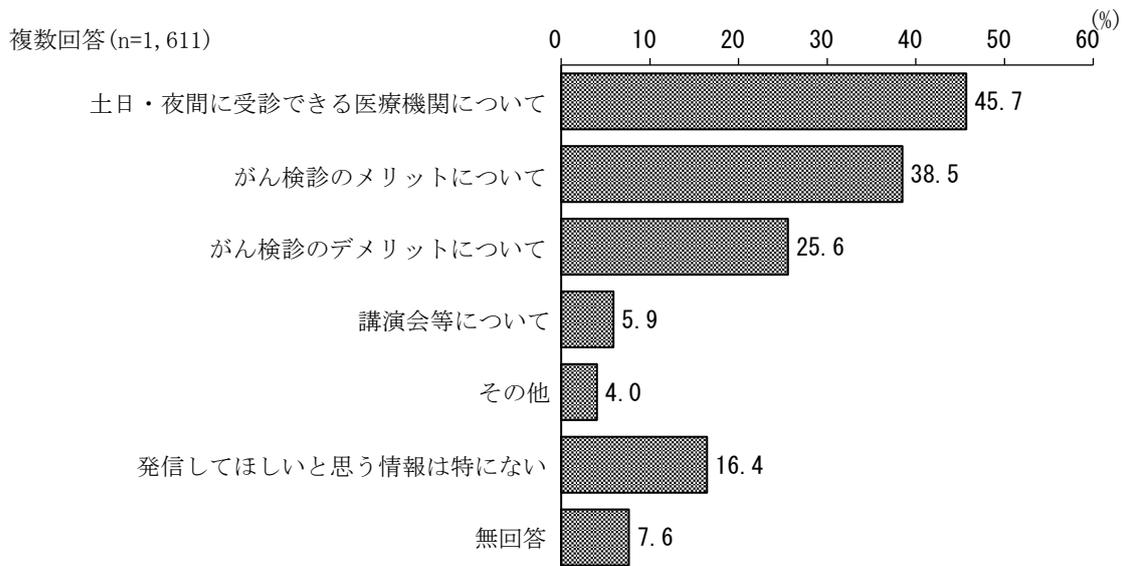
性/年齢別では、「職場に無料または安価な検診があるから」は、男女ともに年代が若い方が高い傾向となっている。「市のお知らせが来たから」は、女性の70歳以上(55.6%)、男性の70歳以上(41.1%)の順であるが、女性では69歳以下の年代でも3割前後となっている。

## 6-5 がん検診について、市から発信して欲しい情報

◎「土日・夜間に受診できる医療機関について」が45.7%

問18. あなたは、がん検診について、どのような情報を川崎市から発信してほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

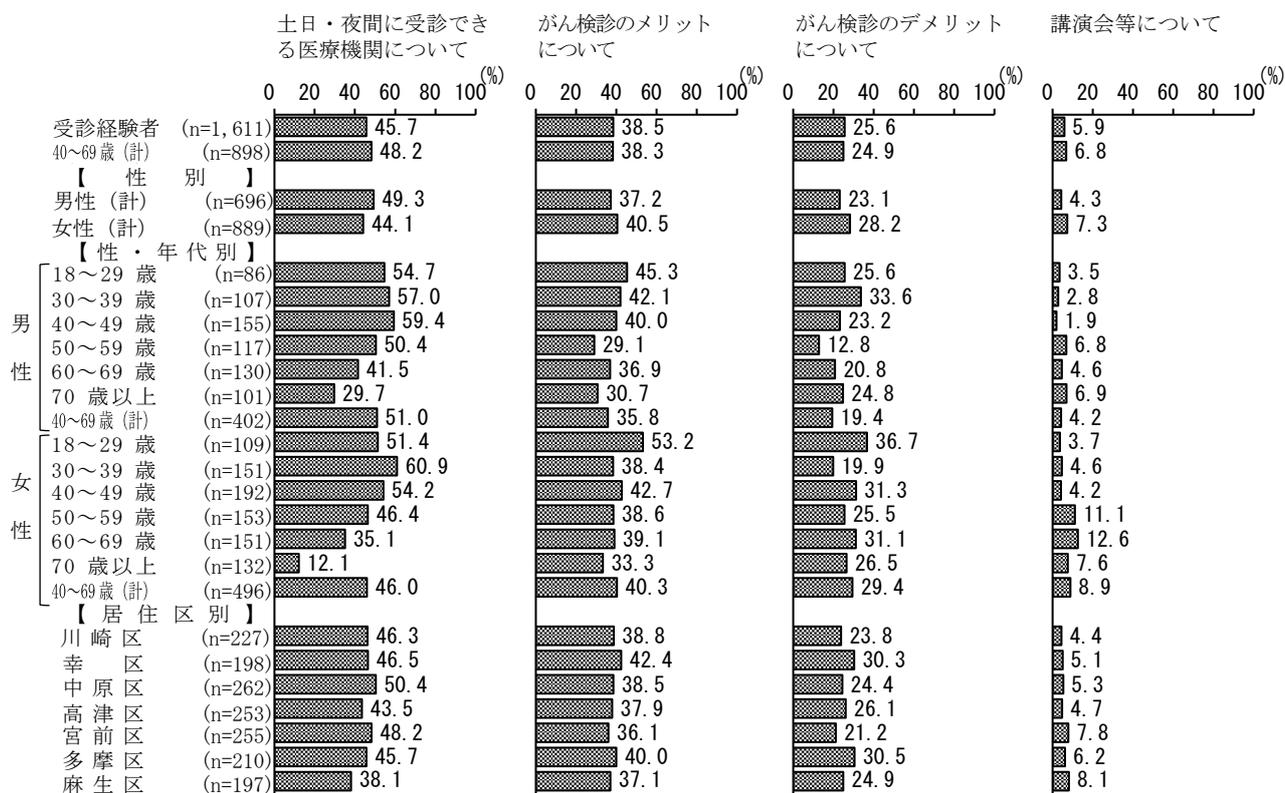
図表6-20 市から発信して欲しい情報



がん検診について、市から発信して欲しい情報は、「土日・夜間に受診できる医療機関について」が45.7%で最も高く。次いで、「がん検診のメリットについて」(38.5%)、「がん検診のデメリットについて」(25.6%)の順となっている。

一方で、「発信してほしいと思う情報は特にない」とする人も16.4%となっている。

図表6-21 市から発信して欲しい情報(性/年齢別・居住区別、上位4項目)



性/年齢別では、「土日・夜間に受診できる医療機関について」は、男性の59歳以下の年代と女性の49歳以下の年代で5割を超えている。「がん検診のメリットについて」は、女性の18~29歳で53.2%と最も高い。なお、女性の18~29歳では、「がん検診のデメリットについて」も36.7%となっている。



## IV 調査票

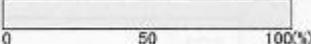


対象外条件	SC2_1 < 18 または SC2_1 > 70 (即時回答終了)
対象外条件	SC3 ≠ 「14. 神奈川県」 (即時回答終了)
対象外条件	SC4 = 「8. その他」 (即時回答終了)
対象外条件	SC3SQ = 「2. 横浜市」, 「3. その他」 (即時回答終了)

**アンケート画面開始**

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



0 50 100%

**SC1**    必須設定    回答必須

**SC1**  
あなたの性別をお知らせください。

1  男性

2  女性

次へ



0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

**SC2** 対象外条件 SC2\_1 < 18 または SC2\_1 > 79 (即時回答終了)  
- カテゴリ 1歳

必須設定 回答必須  
回答制限 回答範囲「0～99」に該当しない場合はアラートを表示

**SC2**  
あなたの年齢をお知らせください。

歳

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SC3

必須設定 回答必須

対象外条件 SC3 ≠ 「14. 神奈川県」(即時回答終了)

SC3  
あなたのお住まいの地域をお知らせください。

— ▼

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SC3SQ 必須設定 回答必須  
対象外条件 SC3SQ = 「2. 横浜市」, 「3. その他」(即時回答終了)

SC3SQ  
あなたのお住まいの市をお知らせください。

1  川崎市  
2  横浜市  
3  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SC4 必須設定 回答必須  
対象外条件 SC4 = 「8. その他」(即時回答終了)

SC4  
あなたのお住まいの区をお知らせください。

- 1  川崎区
- 2  幸区
- 3  中瀬区
- 4  高津区
- 5  多摩区
- 6  宮前区
- 7  麻生区
- 8  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SC5 必須設定 回答必須

SC5  
あなたの婚姻状況をお知らせください。

1  未婚

2  既婚(離別・死別含む)

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SC6 必須設定 回答必須

SC6  
あなたはお子様がいらっしゃいますか。

1  はい

2  いいえ

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

FS1 必須設定 回答必須

FS1  
あなたの職業をお答えください。

- 1  市内で自営業主
- 2  市外で自営業主
- 3  市内にお勤め(全日)
- 4  市外にお勤め(全日)
- 5  市内にお勤め(パートタイム)
- 6  市外にお勤め(パートタイム)
- 7  内職
- 8  主婦・主夫(家事専業)
- 9  市内の学校の学生
- 10  市外の学校の学生
- 11  無職(収入が年金のみの方を含む)
- 12  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

FS2 必須設定 回答必須

FS2  
現在、同居しているご家族はあなたを含めて何人いますか。

1  1人  
2  2人  
3  3人  
4  4人  
5  5人  
6  6人  
7  7人以上

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

**FS3**

**必須設定** 回答必須

**回答者条件** (FS2 = 「2. 2人」～「7. 7人以上」) または (FS2 = 「1. 1人」かつ SC2\_1 >= 65)

**回答制限** (SC2\_1 >= 85 かつ FS3 = 「2. 65歳以上の方」) または SC2\_1 <= 64 に該当しない場合はアラートを表示

**回答制御** 除外カテゴリ「3. あてはまるものはない」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 1. 18歳未満の方  
回答者条件: FS2 = 「2. 2人」～「7. 7人以上」

- カテゴリ 3. あてはまるものはない  
回答者条件: FS2 = 「2. 2人」～「7. 7人以上」

**FS3**  
現在、あなたを含めて同居している家族にあてはまる方はいらっしゃいますか。(いくつでも)

1  18歳未満の方

2  65歳以上の方

3  あてはまるものはない

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

**FS4** 必須設定 回答必須

- カテゴリ 4.20～29年  
回答者条件 SC2\_1 >= 20

- カテゴリ 5.30年以上  
回答者条件 SC2\_1 >= 30

**FS4**  
川崎市にどのくらいの期間住んでいますか。

1  5年未満  
2  5～9年  
3  10～19年  
4  20～29年  
5  30年以上

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

FS5 必須設定 回答必須

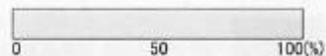
**FS5**  
あなたの現在のお住まいから最寄り駅までの移動手段と時間は、次のうちどれですか。

- 1  徒歩(自転車含む)で5分未満
- 2  徒歩(自転車含む)で5分以上10分未満
- 3  徒歩(自転車含む)で10分以上15分未満
- 4  徒歩(自転車含む)で15分以上
- 5  バス利用で15分未満
- 6  バス利用で15分以上30分未満
- 7  バス利用で30分以上
- 8  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



### 多様な世代が快適に暮らせる住まいに向けた取組について

川崎市では、子育て世帯の転出や高齢化の進行といった、住宅政策を取り巻く状況の変化や、新たな課題が生じていることから、「川崎市住宅基本計画」を改定し、新たな住宅政策の展開を進めております。  
今後の住宅政策の展開に向けた検討の基礎資料とするため、次の問いにお答えください。

A1

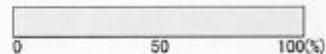
必須設定 回答必須

A1

あなたのお住まいは次の中のどれにあたりますか。

- 1  戸建て住宅(持ち家)
- 2  戸建て住宅(借家)
- 3  分譲マンション
- 4  賃貸マンション・アパート
- 5  高齢者向けの住宅  
(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど)
- 6  その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A2 必須設定 回答必須

A2  
あなたは現在のお住まいの住宅からどのような住宅に住み替えたいと思いますか。

- 1  戸建て住宅(持ち家)
- 2  戸建て住宅(借家)
- 3  分譲マンション
- 4  賃貸マンション
- 5  高齢者向けの住宅  
(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど)
- 6  その他
- 7  住み替えたいと思わない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A3 必須設定 回答必須  
回答者条件 A2 = 「1. 戸建て住宅(持ち家)」～「6. その他」

A3  
あなたの住み替えたいと思う住宅について教えてください。

1  取得費や家賃が高くても、新しい住宅

2  取得費や家賃が低く、古い住宅

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A4 必須設定 回答必須

A4  
あなたの今の生活環境は、子育てがしやすく、高齢者が住みやすいと思いますか。

1  子育てしやすく、高齢者も暮らしやすい

2  子育てしやすいが、高齢者は暮らしにくい

3  子育てしにくい、高齢者は暮らしやすい

4  子育てしにくく、高齢者も暮らしにくい

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A5

必須設定 回答必須

回答制限 回答個数値 (A5) <= 3 (該当しない場合はアラートを表示)

- カテゴリ 11.その他

- カテゴリ 11.その他 の詳細入力

必須設定 回答必須

入力文字数 100文字まで

A5

あなたが思う子育てしやすい住まいを考える上で、何が重要だと思いますか。(3つまで)

- 1  家・部屋の広さ
- 2  ローン・家買の家計への負担の大きさ
- 3  段差がないことや、転落防止措置がされているなど、子育てに配慮された住まいの間取り・設備・構造
- 4  公園等の子供が遊ぶ環境
- 5  職場との距離
- 6  親の家との距離
- 7  駅やバス停との距離
- 8  スーパー・コンビニとの距離
- 9  地域内で子育てに対する理解や助合いの意識
- 10  子育て等に関するコミュニティ活動
- 11  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A6

**必須設定** 回答必須

**回答制限** 回答個数値(A6)<=3 (該当しない場合はアラートを表示)

- カテゴリ 11.その他

- カテゴリ 11.その他の詳細入力 1

**必須設定** 回答必須

**入力文字数** 100文字まで

A6

あなたが思う高齢者の暮らしやすい住まいを考える上で、何が重要だと思いますか。  
(3つまで)

- 1  家・部屋の広さ
- 2  ローン・家賃の家計への負担の大きさ
- 3  段差がないことや、手すりが設置がされているなど、高齢者に配慮された住まいの間取り・設備・構造
- 4  介護・医療機関との距離
- 5  子の家との距離
- 6  駅やバス停との距離
- 7  スーパー・コンビニとの距離
- 8  地域での高齢者の見守り活動
- 9  身近な場所での働きやすさ
- 10  地域のコミュニティ活動
- 11  その他

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

A7 必須設定 回答必須  
-カテゴリ 1.同居  
回答者条件 FS2 = 「2.2人」～「7.7人以上」

A7  
親・子世帯の住まいのあり方について伺います。  
現在のあなたのお住まいと、親若しくは子世帯のお住まいの距離を教えてください。  
(親と子世帯が両方いる場合は、子世帯との距離をお答えください)

- 1  同居
- 2  徒歩10分以内
- 3  徒歩20分以内
- 4  移動時間30分以内(自転車や車、交通機関での移動を含む)
- 5  移動時間1時間以内(自転車や車、交通機関での移動を含む)
- 6  移動時間1時間以上(自転車や車、交通機関での移動を含む)

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

A8 必須設定 回答必須

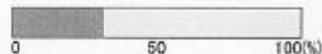
**A8**  
あなたのお住まいと親若しくは子世帯のお住まいとの理想の距離を教えてください。  
(親と子世帯が両方いる場合は、子世帯との距離)

- 1  同居
- 2  近居(徒歩10分以内)
- 3  近居(徒歩20分以内)
- 4  近居(移動時間30分以内(自転車や車、交通機関での移動を含む))
- 5  近居(移動時間1時間以内(自転車や車、交通機関での移動を含む))
- 6  近くなくていい

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



### 都市景観に関する市民意識調査

川崎市では、2007(平成19)年度に景観法に基づく「川崎市景観計画」を策定し、景観を「個々の建物の外壁、屋根、門扉、植栽などと道路、街路灯などの様々な要素が調和して形成されたもの」と定義し、積極的な景観形成に取り組んでいます。

皆様が、日頃お考えになっている川崎市の景観に対する印象や思いを、これからの景観まちづくりで反映していくために、以下の質問にお答えください。

なお、その他を選択される場合は設問の( )内にその内容を記載してください。

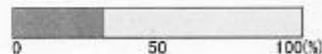
(1)都市景観の印象(川崎市全体の景観とお住まいの周辺の景観について)

B1 必須設定 回答必須

B1  
川崎市全体の景観について、どのような印象をお持ちですか。

- 1  良い
- 2  どちらかといえば良い
- 3  どちらかといえば悪い
- 4  悪い

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

B2 必須設定 回答必須

**B2**  
あなたがお住まいの地域周辺(町内会自治会くらいの範囲)の景観について、どのような印象をお持ちですか。

1  良い

2  どちらかといえば良い

3  どちらかといえば悪い

4  悪い

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

**B3** 必須設定 回答必須

**B3**  
お住まいの地域の景観は、現在のままで良いと思いますか。

1  もっと良くしたい  
2  このままで良い  
3  わからない

次へ

0 50 100(%)

1/4

このアンケートは、お住まいの地域の景観に関するアンケートです。アンケートの結果は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。ご回答いただき、誠にありがとうございます。

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

(2)川崎市内の屋外広告物について

B4

**必須設定** 回答必須

**回答制限** 回答個数値 (B4) = 2 に該当しない場合はアラートを表示

**回答制限** (B4 = 「1. 街に賑わいをもたらす。」～「5. 特になし」) かつ (B4 = 「6. 交通の妨げになる。」～「11. 特になし」) に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 4. その他

- カテゴリ 4. その他 の詳細入力 1

**必須設定** 回答必須

**入力文字数** 100文字まで

- カテゴリ 5. 特になし

**回答制限** B4 ≠ 「1. 街に賑わいをもたらす。」～「4. その他」 に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 10. その他

- カテゴリ 10. その他 の詳細入力 1

**必須設定** 回答必須

**入力文字数** 100文字まで

- カテゴリ 11. 特になし

**回答制限** B4 ≠ 「6. 交通の妨げになる。」～「10. その他」 に該当しない場合はアラートを表示

B4

私たちのまわりの様々な生活の中で、目に入ってくる「屋外広告物」について感じていることを、良い点、悪い点から1つずつ選んでください。(それぞれひとつずつ)

**【良い点】**

1  街に賑わいをもたらす。

2  店舗の所在など情報が得られる。

3  デザインが人を楽しませる。

4  その他

5  特になし

**【悪い点】**

6  交通の妨げになる。

7  掲出場所が悪い。

8  形状・デザインが悪い。

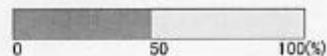
9  数量が多い。

10  その他

11  特になし

次へ

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



B6

必須設定 回答必須

回答者条件 B4 = 「1. 街に賑わいをもたらす。」～「4. その他」

回答制限 回答個数値 ( B5 ) <= 2 に該当しない場合はアラートを表示

回答制限 排他カテゴリ「8. 特になし」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 7.その他

- カテゴリ 7.その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

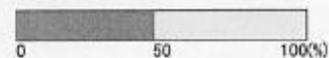
入力文字数 100文字まで

B5

B4で良い点を感じると回答いただいた「屋外広告物」は主にどこの場所で目にしますか。  
(2つまで)

- 1  幹線道路
- 2  高速道路
- 3  駅周辺の繁華街
- 4  住宅地
- 5  商店街
- 6  田園地区
- 7  その他
- 8  特になし

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

**B6**

**必須設定** 回答必須

**回答者条件** B4 = 「6. 交通の妨げになる。」～「10. その他」

**回答条件** 回答個数値 (B6) < 2 に該当しない場合はアラートを表示

**回答方向** 排他カテゴリ「8. 特になし」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 7. その他

- カテゴリ 7. その他の詳細入力 1

**必須設定** 回答必須

**入力文字数** 100文字まで

**B6**  
B4で悪い点を感じると回答いただいた「屋外広告物」は主にどこの場所で目にしますか。  
(2つまで)

1  幹線道路

2  高速道路

3  駅周辺の繁華街

4  住宅地

5  商店街

6  田園地区

7  その他

8  特になし

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

**B7**

**必須設定** 回答必須

**回答制限** 排他カテゴリ「8. 特になし」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 7.その他

- カテゴリ 7.その他 の詳細入力 1

**必須設定** 回答必須

**入力文字数** 100文字まで

**B7**

下記に示す場所において、魅力ある景観形成を進めていくために、屋外広告物の位置や大きさ、色彩といったデザインなどについて基準(制限)を定める必要があると思いますか。基準を定める必要があると思う場所をすべて選んでください。(いくつでも)

1  幹線道路

2  高速道路

3  駅周辺の繁華街

4  住宅地

5  商店街

6  田園地区

7  その他

8  特になし

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

(3)「公共空間の利活用」について

B8 必須設定 回答必須

**B8**  
近年、道路等の公共空間において、カフェを設置したり、イベントを開催したりするような「公共空間の利活用」が増えています。このような「公共空間の利活用」について、景観上どのような印象をお持ちですか。

1  賑わいを感じられて良い  
2  どちらかといえば良い  
3  どちらかといえば悪い  
4  雑然とした感じがして悪い

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

**B9** 必須設定 回答必須

- カテゴリ 3.その他

- カテゴリ 3.その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 100文字まで

**B9**  
「公共空間の利活用」について、景観上どのような点について配慮をおこなうべきだと思いますか。

1  イスやテーブル等、設置物のデザイン

2  屋外広告等の位置や大きさ、色彩等のデザイン

3  その他

4  特に必要ない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

### 市民自治の実態等について

川崎市では、多様な主体の協働・連携による地域課題の解決に向けた取組を進めていますが、こうした取組を進めるうえで、市民の力が欠かせません。このため、市民の社会活動(ボランティア団体やNPO法人などでの活動)や地域活動(町内会・自治会やPTAなどでの活動)に関する活動実態や意識などについて把握し、今後の施策を検討する際の参考とするため、次の問いにお答えください。

【地域の範囲】

Q1 必須設定 回答必須

Q1  
あなたにとって、「地域」とは、次のうちどの範囲をさすものですか。

- 1  向こう3軒両隣程度
- 2  同じ集合住宅(アパート、マンション)
- 3  町内会・自治会の範囲
- 4  小学校の校区
- 5  お住いの区内
- 6  その他

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

【地域の課題】

Q2

必須設定	回答必須
回答制限	回答個数値 ( Q2 ) <= 3 に該当しない場合はアラートを表示
回答制限	排他カテゴリ「13. 課題は特にない」に該当しない場合はアラートを表示
カテゴリ表示順	ランダム ( 1 - 11 )

Q2  
あなたがお住まいの地域において、課題だと感じる項目を選んでください。(3つまで)

- 1  自然災害に対する備えに不安がある
- 2  住民同士の関係が薄れている
- 3  治安や防犯、交通安全に不安がある
- 4  高齢者を地域で支える仕組みが不十分
- 5  住民同士が交流する場や機会がない(不足している)
- 6  子育てを地域で支える仕組みが不十分
- 7  商業活動が停滞している
- 8  病院や買い物などの交通が不便
- 9  環境への配慮が不足している
- 10  地域の人材を活かす仕組みがない
- 11  町内会・自治会の活動が停滞している
- 12  その他の課題
- 13  課題は特にない

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

**【課題解決に有効な取組】**

Q3

必須設定	回答必須
回答割合	回答個数値 ( Q3 ) <= 3 に該当しない場合はアラートを表示
カテゴリ表示順	ランダム(1-9)

Q3  
あなたがお住まいの地域における課題を解決するための取組として、何が有効だと思いますか。(3つまで)

- 1  地域住民と行政との協力・連携
- 2  行政からの支援
- 3  地域住民の意識の向上
- 4  住民同士の交流の活性化
- 5  地域におけるイベントの積極的な活用
- 6  町内会・自治会の強化
- 7  地域課題の解決を担う人材の育成
- 8  地域課題に取り組む主体間の協力・連携(行政との協力・連携は除く)
- 9  NPO法人などの市民活動団体の強化
- 10  その他の取組

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

【社会活動・地域活動への関心度】

Q4 必須設定 回答必須

Q4  
あなたは、社会活動・地域活動にどの程度関心を持っていますか。

- 1  非常に関心がある
- 2  やや関心がある
- 3  どちらともいえない
- 4  あまり関心がない
- 5  全く関心がない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

【社会活動・地域活動への参加状況】

Q5 必須設定 回答必須

Q5  
あなたは、現在、継続して社会活動・地域活動に参加していますか。

1  参加している

2  参加していない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

【参加しやすい活動範囲】

Q6 必須設定 回答必須

-カテゴリ 8.距離に関係なく参加したい

回答制限 ((Q6 ≠ 「1. お住まいの町内の範囲」～「7. 勤め先の近く」)かつ(Q6 ≠ 「9. 距離に関係なく参加したくない」, 「10. その他の範囲」))に該当しない場合はアラートを表示

-カテゴリ 9.距離に関係なく参加したくない

回答制限 (Q6 ≠ 「1. お住まいの町内の範囲」～「8. 距離に関係なく参加したい」)かつ(Q6 ≠ 「10. その他の範囲」)に該当しない場合はアラートを表示

Q6  
あなたが参加しやすい活動範囲は、次のどれですか。(いくつでも)

- 1  お住まいの町内の範囲
- 2  徒歩で数分以内
- 3  自転車圏内
- 4  最寄駅から徒歩で数分圏内
- 5  お住まいの区内(電車やバスなどを利用)
- 6  市内(電車やバスなどを利用)
- 7  勤め先の近く
- 8  距離に関係なく参加したい
- 9  距離に関係なく参加したくない
- 10  その他の範囲

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

【地域で活動を行う場合に気軽に使える場所】

Q7

必須設定 回答必須

回答制御 排他カテゴリ「11. 特にない」に該当しない場合はアラートを表示

ランダム表示順 ランダム(1-9)

Q7

あなたが、地域で活動を行う場合に、気軽に使える場所は次のどれですか。(いくつでも)

- 1  町内会館・自治会館
- 2  市民館・区役所
- 3  小学校・中学校の教室開放
- 4  集合住宅の集会スペース
- 5  こども文化センター
- 6  かわさき市民活動センター
- 7  地域の神社・仏閣
- 8  事業者・団体の集会スペースなど
- 9  市内の老人福祉センター
- 10  その他の場所
- 11  特にない

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

**【公益性が高い社会活動・地域活動に対して行政が支援すべき項目】**

Q8

必須設定	回答必須
回答制御	排他カテゴリ「8. 特にない」に該当しない場合はアラートを表示
カテゴリ表示順	ランダム(1-8)

Q8

不特定の第三者の役に立つような公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目はどれですか。(いくつでも)

- 1  活動費の助成
- 2  活動場所の提供
- 3  情報提供の充実
- 4  人材育成・確保
- 5  活動団体相互の交流
- 6  受託事業の増加
- 7  その他
- 8  特にない

送信

0 50 100(%)

# 「かわさき市民アンケート」平成29年11月

お忙しいところ大変にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## ■定住状況について

問1. あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。あてはまる番号を○で囲んでください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 1年未満
3. 1～3年未満
4. 3～5年未満
5. 5～10年未満
6. 10～20年未満
7. 20年以上

問2. あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(○は1つ)

1. これからも住んでいたい
2. できれば市内の他の区へ移りたい
3. できれば市外へ移りたい
4. わからない

問5へ

問3へ

問3. あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学が不便だから
2. 買い物が不便だから
3. 住宅事情がよくないから (家賃が高い、家が狭いなど)
4. 住環境がよくないから (日照、騒音、治安など)
5. 医療環境がよくないから
6. 保育環境がよくないから
7. 介護環境がよくないから
8. 子どもの教育のため
9. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_

右上の問4に進んでください。

問4. あなたは、どこに住みたいと思いますか。(○は1つ)

1. 川崎市
2. 幸区
3. 中原区
4. 高津区
5. 宮前区
6. 多摩区
7. 麻生区
8. 横浜市
9. 神奈川県 (川崎市・横浜市を除く)
10. 東京23区
11. 東京都 (23区以外)
12. その他の道府県

## ■生活環境の評価について

問5. お住まいの周りの生活環境についてうかがいます。あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(○はヨコに1つずつ)

	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
(1) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	1	2	3	4	5
(2) 風紀上・防犯上の安心感	1	2	3	4	5
(3) 交通事故・危険物からの安心感	1	2	3	4	5
(4) 空気や川、海のきれいさ	1	2	3	4	5
(5) 家の周りの静けさ	1	2	3	4	5
(6) 公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(7) 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
(8) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(9) 病院や医院までの距離	1	2	3	4	5
(10) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度	1	2	3	4	5
(11) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	1	2	3	4	5
(12) 市や区の窓口サービス	1	2	3	4	5

次のページの間6に進んでください。

問6. あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、  
今住んでいる地域にどの程度満足していますか。

(○は1つ)

1. 満足している
2. まあ満足している
3. 少し不満である
4. 不満である
5. わからない

#### ■ 関心ごとと行動範囲について

問7. あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 子ども
2. 家族
3. 友人・知人
4. 住宅・土地
5. お金・財産
6. 健康
7. 仕事(家事や勉強も含む)
8. 老後の生活
9. 趣味・娯楽
10. スポーツ・レジャー
11. 信仰・宗教
12. 政治
13. ボランティア活動
14. 地域活動(町内会・自治会、子ども会等)
15. その他
16. 特にない

右上の問8に進んでください。

問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。(1)から(10)それぞれの項目ごとにお答えください。

(○はヨコに1つずつ)

	川崎市内	横浜市内	川崎市・横浜市以外の神奈川県	東京23区	その他の地域	そういうことはしないのでわからない
(1) 自然に親しむための近距離の行楽	1	2	3	4	5	6
(2) 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽	1	2	3	4	5	6
(3) 観劇や映画鑑賞	1	2	3	4	5	6
(4) 音楽会や美術展	1	2	3	4	5	6
(5) 趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)	1	2	3	4	5	6
(6) 図書館の利用	1	2	3	4	5	6
(7) 美術館・博物館の利用	1	2	3	4	5	6
(8) レストランなどでの飲食	1	2	3	4	5	6
(9) 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング	1	2	3	4	5	6
(10) スポーツをする(観る)	1	2	3	4	5	6

次のページの間9に進んでください。

## ■ 市政に対する評価と要望について

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、

1. よくやっていると思われるものはどれですか。(○はタテにいくつでも)
2. また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(○はタテにいくつでも)

	1. よく やっている	2. 今後特に 力を入れてほしい
(1) 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1
(2) 行財政改革	2	2
(3) 市や区の仕事などについての情報提供	3	3
(4) 市政への市民参加の促進のための施策	4	4
(5) 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	5	5
(6) 防犯対策	6	6
(7) 交通安全対策	7	7
(8) 文化的な催しや文化施設の整備	8	8
(9) 女性の活躍推進のための施策	9	9
(10) 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	10	10
(11) 観光推進、都市イメージの向上（シティプロモーション）	11	11
(12) 道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	12	12
(13) 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	13	13
(14) 日常のごみ収集やリサイクル	14	14
(15) 子どものための施策	15	15
(16) 高齢者のための施策	16	16
(17) 障害者のための施策	17	17
(18) 病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	18	18
(19) 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	19	19
(20) 市営住宅の建設・整備	20	20
(21) 主要な駅周辺の再開発	21	21
(22) 河川の整備	22	22
(23) 下水道の整備	23	23
(24) 道路・歩道の整備	24	24
(25) 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	25	25
(26) 市民が親しむことのできる港湾の整備	26	26
(27) 水道水の安定供給	27	27
(28) バスなどの交通網の整備	28	28
(29) 消防力の強化や防災体制の整備	29	29
(30) 市民が学習・運動する機会や施設の整備	30	30
(31) 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	31	31
(32) わからない	32	32
(33) 特にない	33	33

次のページの間10に進んでください。

問10. あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. まあ満足している
3. 少し不満である
4. 不満である
5. わからない

■川崎市の職員について

問11. あなたは、日ごろ、市役所や区役所、市の施設等の利用などを通じて、どのくらいの頻度で川崎市の職員と接していますか。(○はヨコに1つずつ)

以下の川崎市の職員と…	よく接する	時々接する	ほとんど接しない	接したことはない
(1) 市役所 (本庁)	1	2	3	4
(2) 区役所 (支所、出張所を含む)	1	2	3	4
(3) その他の市の施設 (図書館、市民館、等)	1	2	3	4

問12. あなたは、川崎市の職員による市民対応等について、どのように感じていますか。(○はヨコに1つずつ)

	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
(1) 言葉づかい・態度がよい	1	2	3	4	5
(2) 各窓口が連携されており、たらい回しが無い	1	2	3	4	5
(3) 親身になって対応等を考えてくれる	1	2	3	4	5
(4) 最近(ここ1~2年)、対応が全体的によくなった	1	2	3	4	5
(5) 同じことを誰にたずねても、回答が変わらない	1	2	3	4	5
(6) 関連のある(役に立ちそうな)情報・制度等を積極的に教えてくれる	1	2	3	4	5

右上の問13に進んでください。

問13. あなたは、川崎市の職員の仕事ぶりについて、どのような印象を持っていますか。

(○はヨコに1つずつ)

	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
(1) 市民目線で仕事をしている	1	2	3	4	5
(2) 市民サービスの提供・事務処理が迅速になされている	1	2	3	4	5
(3) 市民サービスの提供・事務処理が的確になされている	1	2	3	4	5
(4) 市民への的確な説明・情報提供が行われている	1	2	3	4	5
(5) 市民とともに地域の課題に取り組もうとしている	1	2	3	4	5
(6) 問題を先送りせず、課題解決に積極的である	1	2	3	4	5
(7) 業務の改善・改革に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(8) 常に新しい取り組みを行おうとしている	1	2	3	4	5

問14. あなたが、川崎市の職員に求めるものとして、特に重要であると思うものは何ですか。(○は3つまで)

1. 市民の意見や要望への誠意ある姿勢
2. 利用者の立場に立った臨機応変な対応
3. 担当職務についてよく知っていること
4. 誰に対しても公平な対応をすること
5. 公務員としての倫理観
6. 地域についてよく知っていること
7. 市民を「お客さま」という意識
8. 民間企業的なコスト意識
9. 事業内容や予算に関する説明責任を果たすこと
10. 市民や企業等と協働して地域の活性化を進めること
11. 不測の事態に対応する危機管理意識
12. 新たな発想やしぐみを考え、その実現に向けて挑戦すること
13. 積極的に情報発信すること
14. その他(具体的に→) \_\_\_\_\_

次のページの間15に進んでください。

■がん検診について

川崎市や会社、健康保険組合等で実施するがん検診等についてうかがいます。

問15. あなたは、これまでにがん検診またはがんの検査を含む健康診断や人間ドック等を受けたことがありますか。受けたことがある場合には、一番最近受けた時期と機会を教えてください。

	受診の有無 (○はヨコに1つずつ)					⇒	受診した機会 (受診したことがあるものについて ○はヨコに1つずつ)		
	受けたことはない	受けたことがある					会社や健康保険組合等で 実施するがん検診	川崎市のがん検診	その他
		過去12か月以内	過去13か月以上前 過去24か月以内	過去25か月以上前	時期は覚えていない				
(1)肺がん検診 (胸のレントゲン撮影や喀痰(かくたん)検査など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3
(2)大腸がん検診 (便潜血反応検査(検便)など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3
(3)胃がん検診 (胃部エックス線検査)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3
(4)胃がん検診 (胃内視鏡検査)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3
(5)子宮がん検診 (子宮の細胞診検査など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3
(6)乳がん検診 (マンモグラフィ検査や乳房超音波(エコー)検査など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3

1つでも「1」に○がついた方は、問16をお答えください。

問16. あなたが、がん検診(検査)を受診していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 時間がないから (仕事や家事で忙しいなど)
2. 面倒くさいから
3. 費用がかかるから (料金が高等)
4. まだそういう年齢ではないから
5. 関心なかった(知らなかった)から
6. 検査に伴う苦痛等に不安があるから (不快、恥ずかしいなど)
7. 健康に自信があるから
8. 主治医に任せているから (通院中など)
9. 心配になったらすぐ医療機関で受診するから
10. 検査結果に不安がある(がんと分かるのが怖い)から
11. 受診しようとしていたが忘れていたから
12. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_

いずれかのがん検診を受けたことがある方は右の問17に進んでください。  
それ以外の方は次のページの間18に進んでください。

がん検診を受診したことがある方は問17をお答えください。

問17. あなたが、がん検診(検査)を受診した理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 市のお知らせが来たから
2. 市の広報(市政だよりや案内チラシなど)を見たから
3. 主治医や医療機関からの勧めがあったから
4. 家族や友人からの勧めがあったから
5. 職場に無料または安価な検診があるから
6. 身近な人ががんになったことがあるから
7. がんになって家族に負担をかけないため
8. 気になる症状があったから
9. がんへの不安があるため
10. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_

次のページの間18に進んでください。

問18. あなたは、がん検診について、どのような情報を川崎市から発信してほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. がん検診のメリットについて
2. がん検診のデメリットについて
3. 土日・夜間に受診できる医療機関について
4. 講演会等について
5. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
6. 発信してほしいと思う情報は特にない

■あなたご自身について

問19. あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. その他

※このアンケート調査では、性の多様性の視点から選択肢に「3. その他」を設けています。

問20. あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

1. 18～19 歳
2. 20～24 歳
3. 25～29 歳
4. 30～34 歳
5. 35～39 歳
6. 40～44 歳
7. 45～49 歳
8. 50～54 歳
9. 55～59 歳
10. 60～64 歳
11. 65～69 歳
12. 70～74 歳
13. 75 歳以上

右上の問21に進んでください。

問21. あなたのお仕事をお答えください。(〇は1つ)

1. 自営業主
2. 自家営業の手伝い (家族従業者)
3. 会社などの役員
4. 会社などの従業員 (正社員・正職員)
5. 会社などの従業員 (正社員・正職員以外、パート・アルバイトなどを含む)
6. 家庭内の賃仕事 (内職)
7. 主婦・主夫 (家事専業)
8. 学生
9. 無職 (収入が年金のみの方を含む)
10. その他

次ページへ進むことができます

問22へ

次ページへ進むことができます

問22. あなたのお仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。(〇は1つ)

1. 管理的職業
2. 専門的・技術的職業 (技術者、保健医療、教員など)
3. 事務
4. 販売 (商品販売・営業など)
5. サービス (介護・生活衛生サービス、飲食物調理・接客・給仕など)
6. 保安
7. 農林漁業
8. 生産工程 (製品製造・加工処理、機械組立・整備・修理、製品・機械検査、生産関連など)
9. 輸送・機械運転
10. 建設・採掘
11. 運搬・清掃・包装等
12. その他

次のページの問23に進んでください。

(第2回アンケート)

問23. あなたのお勤め先の事業は、以下のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 農林水産業
2. 鉱業
3. 製造業
4. 建設業
5. 電気・ガス・水道業
6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業
8. 不動産業
9. 運輸業
10. 情報通信業
11. 学術研究、専門・技術サービス業
12. 宿泊業・飲食サービス業
13. 教育・学習支援業
14. 医療・福祉
15. その他サービス業
16. 公務（他に分類されるものを除く）
17. その他

問24. あなたのお勤め先あるいは通学先はどちらですか。(○は1つ)

1. 川崎市（お住まいと同じ区）
2. 川崎市（お住まいと別の区）
3. 横浜市
4. 神奈川県（川崎市・横浜市以外）
5. 東京23区
6. 東京都（23区以外）
7. その他の道府県
8. 通勤・通学していない

右上の問25に進んでください。

問25. あなたの現在のお住まいは、この中のどれに当たりますか。(○は1つ)

1. 持ち家（一戸建）
2. 持ち家（マンション・集合住宅等）
3. 借家（一戸建）
4. 借家（マンション・集合住宅等、公営住宅）
5. 借家（民間アパート、間借、下宿）
6. 社宅・寮・公務員住宅
7. その他

問26. 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人
7. 7人以上

問27. 同居しているご家族の中に、以下のお子さんはいらっしゃいますか。(○はいくつでも)

1. 中学生
2. 小学生
3. 未就学児
4. いずれもない

問28. 65歳以上の方は同居していらっしゃいますか。(○は1つ)  
※ご自分が65歳以上の方は「1」に○を付けてください。

1. いる
2. いない

次のページの間29に進んでください。

問29. あなたが現在お住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

1. 川崎区
2. 幸区
3. 中原区
4. 高津区
5. 宮前区
6. 多摩区
7. 麻生区

**ご協力ありがとうございました。**

川崎市の市政について、ご意見やご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、何なりとご自由に記入してください。

この調査票は、返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **12月4日(月)まで(必着)**にご返送ください。

# Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

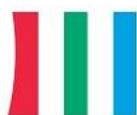
川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

平成 29 年度  
かわさき市民アンケート  
報告書  
平成 30 年 3 月発行

発行 川崎市総務企画局都市政策部企画調整課  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
電話 044-200-2148 (直通)  
FAX 044-200-3919